



# Sun™ Mainframe Transaction Processing ソフトウェア メッセージガイド

---

Release 8.1.0

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-2518-10  
2005 年 6 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, Java, AnswerBook2, docs.sun.com, JVM は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun™ Mainframe Transaction Processing Software Message Guide  
Part No: 817-7435-10  
Revision A



# 目次

---

はじめに v

1. Sun MTPMessages 1

0000 ~ 0499 メッセージ	1
0500 ~ 0999 メッセージ	47
1000 ~ 1499 メッセージ	80
1500 ~ 1999 メッセージ	116
2000 ~ 2499 メッセージ	140
2500 ~ 2999 メッセージ	175
3000 ~ 3499 メッセージ	198
3500 ~ 3999 メッセージ	213
4000 ~ 4499 メッセージ	224
4500 ~ 4999 メッセージ	227
5000 ~ 5999 メッセージ	243
6400 ~ 6999 メッセージ	247
7000 ~ 7799 メッセージ	259
8600 ~ 8899 メッセージ	264
9000 ~ 9499 メッセージ	269

2.	UT 系メッセージ	271
	UT0200 ~ UT0299	271
	UT0800 ~ UT0999	277
3.	3270 クライアントメッセージ	287
	3270 クライアントメッセージ	287
	3270 クライアントイニシエータメッセージ	295
A.	ISC メッセージ - サブエラーコード	301
	用語集	319
	索引	333

# はじめに

---

このマニュアルでは、Sun™ Mainframe Transaction Processing ソフトウェア (Sun MTP)、システム間通信 (ISC)、および 3279 クライアントで生成されるメッセージについて説明します。

---

## マニュアルの構成

第 1 章では、Sun MTP および ISC メッセージを番号順に掲載します。

第 2 章には、ユーティリティに関する Sun MBM メッセージが含まれています。これらのメッセージは、オンライン環境で実行していて、Sun MTP によって内部的に使用されている Sun MBM ユーティリティに問題が発生した場合に表示される場合があります。

第 3 章では、3270 クライアントと 3270 クライアントイニシエータが生成するメッセージを掲載します。

付録 A では、ISC サブエラーコードの一覧を掲載します。

---

## メッセージカテゴリ

3 つのメッセージカテゴリがあります。

---

### システム

Sun MTP ソフトウェアの操作に関する情報です。これらは、unikixmain.log ファイルおよび unikixmain.err ファイルに書き出されます。ほとんどのメッセージがこのカテゴリに属しています。

---

アプリケーション	トランザクションが強制的に中止されると、トランザクション画面の 24 行目に表示されます。
ユーティリティ	開発システムや、Sun MTP テーブルマネージャー、ファイルマネージャー、レコードエディタ、画面生成ユーティリティ (SGU) などの他の構成ユーティリティが生成します。これらのメッセージは、発行するユーティリティ画面の 23 行目に表示されます。

さらに、Sun MTP では、オプションの Sun Mainframe Batch Manager (Sun MBM) メッセージ交換機能 (MEF) からのメッセージも報告します。これらのメッセージの本文には、メッセージの発信元である MEF という文字列が含まれます。

## メッセージの形式

Sun MTPメッセージの形式は、次のとおりです。

KIX####メッセージ本文

値	説明
####	エラー番号
a	エラーの重要度を示す文字
• I	情報メッセージ
• W	警告メッセージ
• E	致命的ではないエラー
• F	致命的なエラー
• T	Sun MTP に影響しないトランザクションの終了
メッセージ本文	メッセージ。そのメッセージの原因となったサブルーチンの名前が、メッセージ本文の前に角括弧で囲まれて表示されることがあります。このような場合、メッセージは次のように表示されます。 KIX####a [subroutine-name] <b>メッセージ本文</b>

わかりやすいように、メッセージは番号順に表示され、KIX 接頭辞は、エラー番号から省略されます。メッセージ本文で使用される変数の一覧は、次のとおりです。

Variable (可変)	使用法
%c	メッセージ内で 1 文字に置き換えられます。
%d	メッセージ内で 10 進数に置き換えられます。
%s	メッセージ内で文字列に置き換えられます。
%r	メッセージ内で、サブルーチンまたはメソッドの名前に置き換えられます。
%x	メッセージ内で 16 進数に置き換えられます。

## UNIX コマンド

このマニュアルには、システムの停止、システムの起動、およびデバイスの構成などに使用する基本的な UNIX<sup>®</sup> コマンドと操作手順に関する説明は含まれていない可能性があります。これらについては、以下を参照してください。

- 使用しているシステムに付属のソフトウェアマニュアル
- 下記にある Solaris<sup>™</sup> オペレーティングシステムのマニュアル  
<http://docs.sun.com>

## シェルプロンプトについて

シェル	プロンプト
UNIX の C シェル	<i>machine_name%</i>
UNIX の Bourne シェルと Korn シェル	\$
スーパーユーザー (シェルの種類を問わない)	#

---

# 書体と記号について

書体または記号*	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例。	.login ファイルを編集します。 ls -a を実行します。 % You have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して表します。	% <b>su</b> Password:
AaBbCc123	コマンド行の可変部分。実際の名前や値と置き換えてください。	rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『Solaris ユーザーマニュアル』
「」	参照する章、節、または、強調する語を示します。	第 6 章「データの管理」を参照。 この操作ができるのは「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	% <b>grep</b> `^#define` \ <b>XV_VERSION_STRING</b> '

\* 使用しているブラウザにより、これらの設定と異なって表示される場合があります。

---

# 関連マニュアル

製品	タイトル	Part No.
Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』	819-2514-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』	819-2515-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』	819-2516-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア インストールガイド』	819-2517-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』	819-2519-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』	819-2520-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』	819-2358-10
	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』	819-2521-10
Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』	819-2505-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア インストールガイド』	819-2506-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア メッセージガイド』	819-2507-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』	819-2508-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア リファレンスマニュアル』	819-2360-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ユーザーズガイド』	819-2509-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』	819-2510-10
Sun Mainframe Administration Tool	『Sun Mainframe Administration Tool ユーザーズガイド』	819-2523-10
High Availability agents for Sun Cluster	『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	819-2522-10
	『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	819-2511-10
	『Sun Mainframe Security Facility 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』	819-2512-10

製品	タイトル	Part No.
Sun Mainframe Security Facility	『Sun Mainframe Security Facility 管理者ガイド』	819-2359-10
	『Sun Mainframe Security Facility ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』	819-2513-10
IBM CICS	『CICS アプリケーション・プログラミング・リファレンス』	SC33-1170
	『CICS アプリケーション・プログラミング・ガイド』	SC33-0674
	『CICS Master Index』	SC33-1074
	『CICS Supplied Transactions』	SC33-1686
	『CICS System Programming Reference』	SC33-1689
Server Express	Server Express のドキュメント	*
ACUCOBOL-GT	ACUCOBOL-GT のドキュメント	*
Open PL/I	『Liant Open PL/I User's Guide』	*
	『Liant Open PL/I Language Reference Manual』	*
	『Liant CodeWatch Reference Manual』	*
C	C コンパイラのマニュアル	*
C-ISAM	『C-ISAM Programmer's Manual』	*
	『System Performance Tuning』、Mike Loukides 著、砂原秀樹監訳、株式会社アスキー発行、1995 年	

\* これらのマニュアルは、使用するプラットフォームによって異なります。プラットフォームに該当するマニュアルについては、ご購入先にお問い合わせください。

## Sun のマニュアルの注文方法

日本語版を含め、Sun のマニュアルは次のサイトで、表示や印刷、または購入ができます。

<http://www.sun.com/documentation>

---

## Sun の技術サポート

この製品に関して、このマニュアルでも解決しない技術的な質問がある場合は、次のサイトからお問い合わせください。

<http://www.sun.com/service/contacting>

---

## Sun 以外の Web サイト

Sun は、このドキュメントに記載されている Sun 以外の Web サイトの可用性について、責任を負わないものとします。Sun は、このようなサイトやリソースで利用可能なコンテンツ、広告、製品、その他の資料に関して支援するのではなく、責任もありません。Sun は、このようなサイトやリソースで利用できるこのようなコンテンツ、商品、サービスを使用する、または信用することにより発生する、実際または主張される損害や損失に対して、一切責任を負わないものとします。

---

## コメントをお寄せください

マニュアルの品質改善のため、お客様からのご意見およびご要望をお待ちしております。コメントは下記よりお送りください。

<http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルと Part No. を記載してください。

『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア メッセージガイド』、Part No. 819-2518-10



# 第1章

## Sun MTPMessages

---

この章では、Sun MTP システムメッセージについて番号順に説明します。この章の全メッセージには、KIX 接頭辞が付きます。

---

### 0000 ~ 0499 メッセージ

0099I unikixmain startup options: <%s>

**説明:** unikixmain.log ファイルに書き出されるメッセージで、このファイルで Sun MTP メインサーバーのプロセスの開始で使ったオプションを一覧表示できます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0100E [%r] system errno %d from %s  
system errno %d (%s)

**説明:** システム関数から予期しないリターンコードを受け取りました。このメッセージの最初の行には、システムエラー番号とシステム関数の名前が表示されます。メッセージの2行目では、エラー番号がメッセージに変換されています。

0101I -d option specified

**説明:** Sun MTP を、unikixmain -d オプションで開始しました。内部の Sun MTP デバッグメッセージが、unikixmain.log ファイルに出力されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0102F %s option requires an argument

**説明:** unikixmain コマンド行で、このオプションに引数が指定されていません。

**対処:** unikixmain コマンドのオプションに引数を指定し、再実行します。

0103F The %s environment variable is not set

**説明:** 環境で、指定された環境変数が設定されていません。

**対処:** 領域を開始する前に、指定された環境変数を設定します。

0104F %s option must be greater than zero

**説明:** unikixmain コマンド行で、このオプションに引数をゼロで指定しました。

**対処:** unikixmain コマンドのオプションに正しい値の引数を指定し、再実行します。

0105F Cannot change to directory %s, errno = %d

**説明:** Sun MTP は、ディレクトリを \$KIXSYS に変更できませんでした。このエラーコードは chdir システム関数のエラーコードです。

**対処:** ご使用のオペレーティングシステムのマニュアルを参照し、chdir システム関数から返されたエラーコードを分析します。

0106F Argument for -M option must be c or t

**説明:** unikixmain の -M オプションの値が無効です。-M オプションは、引数 c (コア値) または t (しきい値) が必要です。

**対処:** オプションに正しい値を指定します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

0107F %s option must be greater than %s

**説明:** unikixmain コマンド行に指定したオプションの引数が小さすぎます。

**対処:** 正しい値でコマンドを再実行します。

0108F %s option must not be greater than %s

**説明:** unikixmain コマンド行に指定したオプションの引数が大きすぎます。

**対処:** 正しい値でコマンドを再実行します。

0109F Argument for -T option must be M or A

**説明:** unikixmain コマンド行で、-T オプションに M または A 以外の引数を指定しました。

**対処:** 正しい引数でコマンドを再実行します。

0110F Length of processor name in %s option must be 13 or less

**説明:** unikixmain -t オプションで指定したプロセッサ名 (パスを含まない) は、13 文字以下にする必要があります。

**対処:** 正しい値で unikixmain コマンドを再実行します。

0111I Terminating

**説明:** Sun MTP プロセスは終了中です。unikixmain プロセスを終了すると、領域は停止します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0112F errno %d from execv( %s ) in process %d

**説明:** 指定した Sun MTP プロセスのフォークに失敗しました。

0113F -l option requires a local full path

**説明:** unikixmain コマンドの -l オプションでは、フルパス (ルートディレクトリから始まる) を指定する必要があります。

**対処:** 絶対パス名を指定してコマンドを再実行します。

0114F Time-out while starting the %s daemon

**説明:** 開始した Sun MTP プロセスが、60 秒以内に応答できませんでした。

0115F Invalid option: %s

**説明:** unikixmain コマンド行で指定したこのオプションは、無効なオプションです。

**対処:** unikixmain コマンドに有効なオプションを指定し再実行します。

0116F Options -l and -t (or -v) are mutually exclusive

**説明:** unikixmain コマンド行で、-t オプションを指定する場合は、-l オプションを指定できません。

**対処:** 正しいオプションでコマンドを再実行します。

0117F Process %d (type %s ) ended unexpectedly: exit code %d  
signal %d

**説明:** 予期しない Sun MTP プロセス終了が発生しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルのメッセージを確認します。プロセスタイプリストのエラー KIX0143I を参照してください。

0118F IPC create of %s ( %d ) failed, errno = %d

**説明:** Sun MTP の内部キューを作成できませんでした。

**原因:** このエラーコードは、プロセス間通信 (IPC) システムコール shmget()、semget()、または msgget() のうちの 1 つに対する呼び出しから生成されました。

**対処:** 領域が実行中ではないことを確認します。次に、再度 kixclean コマンドを実行します。

0119F %s option has an invalid size qualifier. Enter M for Megabytes and K for Kilobytes

**説明:** unikixmain コマンド行では、数字の指定に M または K (大文字または小文字) の略語が使用できます。その他の文字は使用できません。

**対処:** 正しいサイズを指定し unikixmain コマンドを再実行します。

0120F %s option has an invalid size argument

**説明:** unikixmain コマンド行に指定されたオプションには、サイズ (数値) の引数が必要です。

**対処:** 正しいサイズを指定し unikixmain コマンドを再実行します。

0121F Process memory not available ( %d bytes requested)

**説明:** このプロセスは、ローカルメモリーを使い果たしました。

**対処:** 要求したバイト数をメッセージで確認します。

0122I External security Manager %s in use

**説明:** 起動メッセージです。この領域に外部のセキュリティーが定義されているかどうかを示します。このメッセージでは、環境変数 KIXSEC の値が返されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0123F Error occurred during initialization of VSAM

**説明:** 領域の起動時に VSAM ファイルのオープンエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0124E Error occurred while closing VSAM files

**説明:** 領域の停止時に VSAM ファイルのクローズエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0125E [%r] Call to kxsndm() failed

**説明:** 別の Sun MTP プロセスへのメッセージ送信に失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0126E [%r] Call to kxrcvm() failed

**説明:** 別の Sun MTP プロセスからのメッセージ受信に失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0127E [%r] Unexpected message type %d received

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0134W %s option must be greater than %s, using default min of %s\%

0135F Error on shutdown request to recovery processor

**説明:** 回復プロセッサは、正常にシャットダウンできませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0136W %s option must not be greater than %s, using default max of %s\%

**説明:** 仮想記憶アクセス方式 (VSAM) の索引ブロックに使用するバッファープールの割合を示すデフォルト値 (50%) が、不正な値で上書きされました。

**対処:** 現時点での対処は必要ありません。領域は、エラーメッセージで示されたデフォルトの最大バッファープールの割合を使用して実行を継続します。

0137F No transaction processors are defined in VCT

**説明:** VSAM 構成テーブル (VCT) が無効です。

**対処:** \$KIXSYS/vct.tbl ファイルを削除して、デフォルト値で開始します。

0138F semctl failed

**説明:** Sun MTP は、起動処理中にセマフォを設定できませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0139F Call to kxsemget() failed

**説明:** Sun MTP は、起動処理中にセマフォを作成できませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0141E Number of blocks exceeds max (524288)

**説明:** ご使用のプラットフォーム上で 2G バイトを超えるファイルの使用を Sun MTP がサポートしていない場合、回復ファイルの最大は 2G バイトです。

0142W sysconf returned -1, errno <%d>, # processors online set to 1

**説明:** オンラインのプロセッサ数を 1 に設定します。

0143I Process %d of type %s started

**説明:** Sun MTP プロセスが開始しました。このメッセージは、プロセスタイプを示すプロセス ID と次のコードの 1 つを示します。

a	unikixadmin	Sun Mainframe Administration Tool サーバー
c	unikixisc	Brixton システム間通信プロセッサ
e	unikixept	パーティション外データプロセッサ
i	unikixtrin	トランザクションイニシエータ
k	unikixsock	ソケットインタフェースプロセッサ
m	unikixmain	Sun MTP メインサーバー
p	unikixprt	印刷プロセッサ
r	unikixrcv	回復プロセッサ
s	unikixstrt	起動プロセッサ
t	unikixtran	トランザクション処理プログラム
y	unikixCommMgr	コミュニケーションマネージャー
z	unikixtcp	TCP/IP システム間通信プロセッサ

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0144F Format of KIXBTCH environment variable is invalid or  
KIXBTCH is same as KIXSYS

**説明:** \$KIXBTCH の値が不正な形式です。または、\$KIXSYS と同じ値が設定されています。

**対処:** \$KIXBTCH の値が \$KIXSYS ディレクトリを指していないことを確認して設定します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

0145F Userid not authorized to start this MTP (UNIX-APPLS  
permission)

**説明:** UNIX-APPLS 資産クラスのこのユーザー ID のプロファイルでは、\$KIXSYS で定義された UNIX アプリケーションの実行をユーザーに許可しません。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティー管理者に連絡してください。

0146F External security manager not available

**説明:** 環境変数 KIXSEC に YES が設定してあり、セキュリティーを外部機能によって管理する必要がありますが、外部セキュリティーマネージャーがシステム上にありません。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティー管理者に連絡してください。Sun MTP 組み込み型のセキュリティーを使用する場合は、KIXSEC を NO に設定します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』を参照してください。

0147F Shared memory not available (%d bytes requested)

**説明:** Sun MTP は、共有メモリーを使い果たしました。このメッセージは、要求したバイト数を示します。

**対処:** 共有メモリーの設定については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。

0149F %s not found (errno %d from stat)

**説明:** メッセージで示されるファイルは Sun MTP の動作に必要ですが見つかりません。

0150F Format of vct.tbl is invalid

**説明:** VCT が無効です。

**対処:** \$KIXSYS/vct.tbl ファイルを削除して、デフォルト値で開始します。

0151F Default userid %s not configured in SNT

**説明:** 外部セキュリティーを使用して Sun MTP を実行するために必要なユーザー ID とパスワードが、サインオンテーブル (SNT) エントリにありません。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティー管理者に連絡してください。

0152F Format of sit.tbl is invalid

**説明:** システム初期化テーブル (SIT) が無効です。

**対処:** \$KIXSYS/sit.tbl を削除して、デフォルト値で開始します。

0153F Default userid %s failed external security manager login validation

**説明:** 外部セキュリティーマネージャーは、SNT に設定されているデフォルトのユーザー ID のログインを拒否しました。

**原因:** ログインは、次のいずれかの理由で失敗しました。

- 外部セキュリティーマネージャーのエラーを示す他のメッセージが、このメッセージの直前にない場合、その SNT エントリに設定されているパスワードは無効です。
- このメッセージの直前にある外部セキュリティーマネージャーのエラーメッセージは、問題点を説明します。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティー管理者に連絡してください。

0154F Shared memory area of %d is too small, must be at least %d, increase -S

**説明:** unikixmain コマンド行で -s の引数に指定した共有メモリーブロックのサイズが小さすぎます。

**対処:** 正しい値で unikixmain コマンドを再実行します。

0155F User memory option -m option of at least 512k required

**説明:** unikixmain コマンド行の -m オプションには、引数として少なくとも 512K バイトが必要です。

**対処:** 正しい値で unikixmain コマンドを再実行します。

0156F Process %d of type %s has died unexpectedly

**説明:** 予期しない Sun MTP プロセス終了または不正終了が発生しました。タイプコードは、次のいずれか 1 つです。

---

a	unikixadmin	Sun Mainframe Administration Tool サーバー
c	unikixisc	Brixton システム間通信プロセッサ
e	unikixept	パーティション外データプロセッサ
i	unikixtrin	トランザクションイニシエータ
k	unikixsock	ソケットインタフェースプロセッサ
p	unikixprt	印刷プロセッサ
r	unikixrcv	回復プロセッサ
s	unikixstrt	起動プロセッサ
t	unikixtran	トランザクション処理プログラム
y	unikixCommMgr	コミュニケーションマネージャー
z	unikixtcp	TCP システム間通信プロセッサ

---

**対処:** プロセッサがタイプ t の場合、新しい unikixtran が開始されます。その他のタイプの場合、領域は終了します。

0157I Executing %s command

**説明:** Sun MTP 領域は、%s で指定されている UNIX コマンド実行ファイルかスクリプトを実行しています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0158E Unexpected end of file on %s

**説明:** 指定したファイルから読み取ろうとしましたが、予期しない EOF 条件を検出しました。

0159F Potential abort loop - Terminating

**説明:** unikixtran の強制的に中止された回数が、最終の 90 秒以内にトランザクション処理プログラム数 +3 よりも多くなると、領域は終了します。

0160I Shutting down tran processors

**説明:** シャットダウン処理中、トランザクション処理プログラムを終了していません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0161I Killing process %d

**説明:** シャットダウン処理中、トランザクション処理プログラムごとに終了シグナルを送って終了しています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0162I Calling rollback for processor %d

**説明:** トランザクションが不正終了したので、ロールバックしています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0163E EXEC CICS START: Termid %4.4s not logged on.

**説明:** ログインしていない端末 ID を指定して、START コマンドを発行しました。

0164E EXEC CICS START: Client not up for termid %4.4s TCT entry=%d

**説明:** 端末 ID を指定して START コマンドを発行しました。端末 ID は端末管理テーブル (TCT) で見つかりましたが、関連付けられているプロセスはありません。

0165E No background tasks allowed, START ignored

**説明:** VCT で指定されているバックグラウンドタスクの数がゼロです。

**対処:** 非同期で起動されたトランザクションを使用する場合、VCT で少なくとも 1 つのバックグラウンドタスクを指定する必要があります。

0166E Retrieve error for AUX TS queue %s item %d

**説明:** 一時記憶域キューの項目を読み取ろうとして失敗しました。トレースダンプ (トレースコード DRTT) が作成されました。

**対処:** ダンプの分析については、ご購入先に連絡してください。

0167E [%r] Error deleting TD record (eibrancode=%x)

**説明:** 一時データキューの項目を読み取ってから削除しようとして失敗しました。EIBRANCODE は CICS DELETE コマンドに定義されています。

0168T Invalid FREEMAIN address

**説明:** CICS FREEMAIN コマンドで指定したアドレスは、以前に CICS GETMAIN コマンドで割り当てたアドレスではありません。

0169E [%r] Unexpected value in dfheiv0[2]

**説明:** CSSN または CSSF トランザクションの処理中に、内部エラーが発生しました。

0170E Out of storage while allocating trace table

**説明:** トランザクション処理プログラムは、CICS TRACE コマンドの実行中にローカルメモリーを使い果たしました。

0171E [%r] Environment %s cannot be longer than 114 characters

**説明:** データファイルまたは回復ファイルの場所を指定する環境変数の値が長すぎます。

**対処:** 環境変数が 114 文字以下のパス名を指定していることを確認します。

0172E [%r] Value not found for environment variable %s

**説明:** データファイルまたは回復ファイルの場所を指定する環境変数に値がありません。

**対処:** データファイルや回復ファイルの環境変数を設定します。

0173I This MTP system is licensed for %s %s

**説明:** unikixmain.log ファイルに書き出されるメッセージで、ライセンスファイルで明記されたユーザー数を示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0176E [%r] Cannot allocate needed space

**説明:** このプロセスは、ローカルメモリーを使い果たしました。

0177F [%r] Cannot link to shared memory

**説明:** 共有メモリーへの接続に失敗しました。メッセージは、接続できなかったプロセスを示します。

**対処:** 起動時に領域が共有メモリーに接続する位置を変更することについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。

0178F Not all files passed have an FCT record associated with them

**説明:** VSAM ファイルを開く際の内部エラーです。

**対処:** VSAM カタログのすべてのファイルのエントリがファイル管理テーブル (FCT) にあることを確認します。

0179F [%r] cmsopen failed opening file %s

**説明:** 指定したファイルのオープンに失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0180E [%r] kxrcvm failed, errno = %d

**説明:** 別の Sun MTP プロセスからのメッセージ受信に失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0181E Message received must be of I/O request type

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0182E No buffers in shared memory or in msg present

**説明:** ファイルに書き込み中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0183E Record to be read is beyond end of file

**説明:** ファイルから読み取り中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0184E Record to be written is beyond end of file, record = %d

**説明:** ファイルに書き込み中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0185E Cannot allocate record, record number is incorrect

**説明:** ファイルの終わりにレコードを割り当て中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0186E cmsclose failed closing file %s, errno = %d

**説明:** 指定したファイルのクローズでエラーが発生しました。このエラー番号は、システムコール close() のエラーコードです。

0187E cmsclose failed closing index file %s, errno = %d

**説明:** 指定したファイルのクローズでエラーが発生しました。このエラー番号は、システムコール close() のエラーコードです。

0188E [%r] %s

**説明:** ローダーが共有ライブラリを見つけられない場合やライブラリで記号が見つからない場合の、発生したエラー条件に関連する汎用メッセージです。

次の例は、Solaris システムで返されるメッセージです。

```
0188E [crload] ld.so.1: unikixtran: fatal: dlysym: can't find symbol %s
```

**対処:** エラーや回避方法については、ご使用のプラットフォームのマニュアルを参照してください。

0189E [%r] Shared memory buffers not defined

**説明:** ファイルオープン、読み取り、または書き込み中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0190E [%r] Error locating file %s

**説明:** 指定したデータセットは、オープンされませんでした。

0191E Record to be written has incorrect type, file type = %d,  
rcd type = %d

**説明:** ファイルに書き込み中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0192E [%r] I/O error from cmswrite1, rcode = %d

**説明:** ファイルに書き込み中にエラーが発生しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール lseek() または write() のエラーコードです。

0193E [%r] Error %d unlinking queue file %s

0194E [%r] Error %d erasing temporary file %s

0195E [%r] Error %d erasing temporary index file %s

0196E [%r] Error %d closing temporary file %s

**説明:** ファイルのクローズでエラーが発生しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール close() のエラーコードです。

0197E [%r] Error %d erasing old file %s

**説明:** ファイルの削除でエラーが発生しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール unlink() のエラーコードです。

0198E [%r] Error %d linking old file %s to new file %s

**説明:** ファイルのリンクでエラーが発生しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール link() のエラーコードです。

0199E IPC create of %s ( %d ) failed

**説明:** Sun MTP の内部キューを作成できませんでした。

**原因:** このエラーコードは、システムコール msgget() のエラーコードです。

**対処:** kixstart または unikixmain コマンドの実行時にこのメッセージが返される場合は、unikixmain プロセスがすでに実行中かどうか確認します。実行中の場合、実行中の領域に接続するか、領域を停止して再度 kixstart または unikixmain コマンドを実行します。unikixmain プロセスが実行していない場合、kixclean コマンドを実行して、領域を再起動します。再度失敗するようであれば、システムの IPC 制限値を確認します。制限値が少ない場合は、増やします。

0200E ftok failed: path=%s id=%d

**説明:** \$KIXSYS 値からキーを作成しようとして失敗しました。

0201I All daemons ( %d ) have been started

**説明:** 領域は、処理の準備が整っています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0202E [%r] Invalid process number calling this routine

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0203F Invalid header on free space item.Index = %d, Addr = %x

**説明:** 共有メモリーのブロックが壊れています。

0204E No dynamic free space available

**説明:** 領域は共有メモリーを使い果たしました。

0205E Could not create shared memory key  
key = %x, size = %d, id = %d

**説明:** \$KIXSYS 値からキーを作成しようとして失敗しました。

0206E key = %x, size = %d, id = %d

**説明:** 共有メモリーブロックを作成またはその識別子を取得できません。

**対処:** ログファイルやコンソール上では、オペレーティングシステムのエラーは、このエラー番号の前に出力されます。次の表は、オペレーティングシステムのエラーを基にしたアクションを示します。

Error	アクション
EACCES	共有メモリーへの接続許可は拒否されます。このエラーは、Sun MTP の協調処理の 1 つが、異なるユーザーによって開始された場合に起こります。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』を参照してください。
EEXIST	その識別子の共有メモリーはすでに存在しています。領域がまだ稼働中の場合、その領域を継続して使用することも、停止することも可能です。その領域がすでに稼働していない場合、kixclean コマンドを実行し、領域が強制的に中止されたときに解放されなかった共有メモリーセグメントを削除します。
EINVAL、ENOSPC、 ENOMEM	オペレーティングシステムの管理者に連絡し、システムの制限を変更します。

0207E Error in releasing memory - invalid address = %x  
memaddr = %x, memptr = %x

**説明:** 解放するブロックのアドレスが、有効な共有メモリーブロックを指していません。

0208E [%r] memadr=%x,memsz=%x

**説明:** Sun MTPシステムは、memadrで指定されているアドレスにおいて、memszで指定されているサイズの共有メモリーセグメントを最初に接続できなかったか、引き続き再接続できませんでした。%r 変数は、初期接続の失敗では kxgetsm1、引き続きの再接続では kxgetsm2 のいずれかを表示します。

**対処:** 共有ライブラリの接続と共有メモリーの接続間に内部競合またはその他の内部問題があります。ご購入先に連絡してください。

0209E kxgetdm error, kxgetsm failed, next ptr = %x, index = %d

**説明:** 共有メモリーへの接続に失敗しました。

0210I [%r] Acquired %x (hex) bytes of shared memory (segment %d of maximum %d)

**説明:** 動的共有メモリーセグメントの割り当てを示す情報メッセージです。%r 変数は、Sun MTP システムまたは共有メモリーセグメントを取得したユーザーアプリケーションによって、Sys または Usr を表示します。

**対処:** 割り当てられたセグメント数が最大の 10 に近づく場合、unikixmain コマンド行で -s オプションに少なくとも 2M バイトの値を使用します。

0211E [%r] Invalid argument

**説明:** Sun MTP の内部ルーチンが、無効な引数で呼び出されました。

0212E [%r] A lower level semaphore is already locked

**説明:** Sun MTP の内部エラーによって、2 つのセマフォアを間違った順番で取得しました。トレースダンプ (トレースコード LLSL) が生成されました。

0213E [%r] Semaphore already locked, semaphore = %d

**説明:** Sun MTP の内部エラーによって、すでにロックされているセマフォアをロックしようとして失敗しました。トレースダンプ (トレースコード KXLE) が生成されました。

0214E [%r] Semaphore = %d, rc = %d from kxlocksem

**説明:** セマフォアのロックに失敗しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール semop() のエラーコードです。

0215E [%r] Call to kxgetdm failed

**説明:** 共有メモリーへの接続に失敗しました。

0216E [%r] Semaphore already unlocked, semaphore = %d

**説明:** すでにロック解除されているセマフォアをロック解除しようとして、Sun MTP の内部エラーが発生しました。トレースダンプ (トレースコード KXUE) が生成されました。

0217E [%r] Semaphore = %d, rc = %d from kxunlocsem

**説明:** セマフォアのロック解除で失敗しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール semop() のエラーコードです。

0218E [%r] msgrcv failed, sem = %d, queue = %d queue id = %d

**説明:** ロックされているセマフォが利用できるようになるまでの待機中にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTPコンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0219E [%r] Received message of wrong type (%d)

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0220E [%r] msgsnd failed, queue = %d queue id = %d

**説明:** 「semaphore unlocked」のメッセージを別の Sun MTP プロセスに送信しようとしてエラーが発生しました。

0221F [%r] semop failed, semid = %id semnum = %d

**説明:** Sun MTP はセマフォにアクセスできません。

0222E [%r] MTP semaphore number of %d is invalid

**説明:** セマフォを処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0223E [%r] MTP system environment not found

**説明:** \$KIXSYS 値からキーを作成しようとして失敗しました。

0224E Error <%d> from locking/unlocking mutex call

0225E [%r] Error getting queue %s

0226E [%r] Error deleting queue %s, queueid = %x

0227E [%r] Error getting memory %s

0228E [%r] Error deleting memory %s, memoryid = %s

0229E [%r] Error getting semaphore %s

0230E [%r] Error deleting semaphore %s, semaphoreid = %x

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** メッセージの詳細は、Sun MTP コンソールの unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルを確認します。

0231E [%r] Local memory not available (%d bytes requested)

**説明:** Sun MTP プロセスは、ローカルメモリーを使い果たしました。このメッセージは、要求したバイト数を示します。

0232E [%r] Shared memory not available (%d bytes requested)

**説明:** 領域は共有メモリーを使い果たしました。このメッセージは、要求したバイト数を示します。

0233I [%r] Retrying semop operation

**説明:** システムコール semop() は、errno の値 EINTR で失敗しました。呼び出しは再実行されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0234I [%r] Memory corruption %s at %x fixed, proceeding normally

**説明:** 指示された場所でメモリー破損を検出したため、修復しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0235I Fixing the corrupted memory block at %x and releasing to free memory

**説明:** 指定したアドレスから始まるメモリーが壊れていたが、修復できたことを示すメッセージです。このメモリーブロックは、あとで使用できるように空きリストに返されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0236E [%r] Irrecoverable memory corruption encountered at %x %s

**説明:** Sun MTP は、指定した場所から始まるメモリーが壊れていることを検出しましたが、そのメモリーを安全に使用できる状態に戻せませんでした。このメモリーは、使用対象から削除されます。

0237E [%r] kxopenprt error, print file number = %d

**説明:** スプールしたプリントファイルのオープンに失敗しました。

0238E [%r] Print line too long, length = %d

**説明:** プリントファイルに書き込みできる行の最大長は 139 文字です。

0239E [%r] Invalid control character %x

**説明:** ファイルの印刷中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0240E [%r] No free printers

**説明:** Sun MTP は、15 ある内部のプリンタブロックを使い果たしました。

0241E [%r] Dequeue error %d

**説明:** 回復処理時に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0242I [%r] Block beginning at %x, doesn't belong to free or allocated space

**説明:** メッセージは、kixdump コーティリティーが孤立しているメモリーブロックを検出したことを示しています。このブロックは、空きチェーンにも含まれず、使用中でもありません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0243E [%] Terminating the free chain prematurely

**説明:** 空きチェーンが壊れています。空きチェーンが壊れているので、その下位にあるメモリーを使用できません。

0244F [%r] msgget failed, queue=%d key= %x

**説明:** このキーに関連付けられたメッセージキューの識別子を取得しようとして、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、発生したエラーに関する情報を含む既出のメッセージを確認します。ご購入先に連絡してください。

0245I Init\_start unikixtran(%d) %s

**説明:** 実行中のトランザクション処理プログラムのパス名です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0246I Re\_start unikixtran(%d) %s

**説明:** 実行中のトランザクション処理プログラムのパス名です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0247F Erroneous call to <%s> in a non-COBOL environment

**説明:** COBOL 環境以外で、COBOL 関数の呼び出しが行われました。

**原因:** COBOL サポートがなく構築されたトランザクション処理プログラムを領域が実行中に、COBOL タイプのトランザクションを処理しようとした。

**対処:** 他のトランザクションを実行するか、あるいは COBOL で構築された別の領域にトランザクションをサブミットします。

0248I %s not found (errno %d from stat).Probably not supported on this platform

**説明:** コミュニケーションマネージャーを開始しようとしたのですが、実行可能ファイルが見つかりません。

**原因:** メッセージは、このプラットフォームでコミュニケーションマネージャーがサポートされていない場合に表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0249E [%r] Error %d from flushrcv

0250E [%r] Error %d from rollmsg

0251E [%r] File %s before image read error %d

**説明:** 回復処理中またはイメージの書き込み前に発生した、Sun MTP の内部エラーです。

0252F [%r] Memory allocation failed, size <%x>.Max data size is <%x>.Try increasing the -S parameter for unikixmain.

**説明:** プロセスに割り当てる共有メモリーの容量が不足していました。

**対処:** unikixmain コマンドの -s パラメータの値を増やして、領域を再起動します。

0253I [%r] aborting

0254I [%r] end of transaction

0255I [%r] syncpointing

**説明:** このメッセージは、unikixmain コマンド行で、-d オプションを指定した場合にだけ表示されます。これらは、強制的な中止、トランザクションの正常な終了、同期点、またはロールバックが実行中であることを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0256E Rollback user exit returned error code = %d

**説明:** ユーザー出口ルーチン kxuser\_rollback が、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

0257E Commit user exit returned error code = %d

**説明:** ユーザー出口ルーチン kxuser\_commit が、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

0258E [%r] kxsndm failed

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0259E [%r] kxrcvm failed

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0260F [%r] Transaction processor could not get shared memory, <%x> bytes, for program <%8.8s>. Process will exit.

**説明:** トランザクション処理プログラムが必要とする共有メモリーの容量が、プログラム実行に割り当てることができる容量を超えました。

**原因:** このエラーは、プログラムが必要とする共有メモリーより少ない容量で、領域を起動した場合に発生します。トランザクション処理プログラムはロールオーバーしますが、共有メモリーを増加して領域を再起動するまでプログラムを実行できません。

**対処:** unikixmain コマンドの -s オプションの値を増やして、領域を再起動します。

0261E [%r] No recovery buffers are free  
index = %d at %x, owner = %d, locked = %d, entries = %d

**説明:** 回復処理時に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0262E index = %d at %x, owner = %d, locked = %d, entries = %d

**説明:** このメッセージでは、回復バッファに関する情報のリストが表示されません。このメッセージは、KIX0261E のメッセージに続いて表示されます。

index	回復バッファの番号
at	バッファのメモリーアドレス
owner	回復バッファの所有者
locked	回復バッファがロックされている場合に表示
entries	回復バッファに回収された変更前イメージの数

**対処:** 内部障害です。ご購入先に連絡してください。

0263F [%r] Error finding next recovery buffer

**説明:** 回復処理時に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0264E [%r] writecon failed  
0265E [%r] startcon failed  
0266E [%r] readcon failed

**説明:** クライアントと通信中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** 詳細は、前のログメッセージを調査します。

0267E [%r] kxsnds failed  
0268E [%r] kxrcvsf failed  
0269E [%r] Terminal %4.4s not found

**説明:** クライアントと通信中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0270E [%r] kxsndts failed

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0271E [%r] reopen of %d failed, errno = %d

**説明:** 標準ファイル記述子の 1 つの再オープンに失敗しました。

**原因:** このエラーコードは、システムコール open() のエラーコードです。

0272E [%r] reopen of %d returned %d

**説明:** 標準ファイル記述子の 1 つを再オープンしようとしたのですが、誤ったファイルが返されました。

0273E [%r] Transaction %4.4s not found in PCT

**説明:** 指定されたトランザクションコードは、プログラム管理テーブル (PCT) ありません。

0274F Password invalid

**説明:** ライセンスファイル \$KIXLICDIR/hostname.lic が無効です。

**対処:** このファイルが正しいディレクトリに置かれていることを確認します。新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0275F Password expired

**説明:** ライセンスファイル \$KIXLICDIR/hostname.lic が期限切れです。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0276W Password will expire in %d day(s)

**説明:** ライセンスファイル `$KIXLICDIR/hostname.lic` が間もなく期限切れです。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0277F Password invalid for this version of software

**説明:** ライセンスファイル `$KIXLICDIR/hostname.lic` は、Sun MTP の以前のバージョンにだけ有効です。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。ご購入先

0278F MTP not authorized for this hardware

**説明:** ライセンスファイル `$KIXLICDIR/hostname.lic` は、このハードウェアプラットフォームには無効です。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0279F MTP function not authorized: %s

**説明:** ライセンスファイル `$KIXLICDIR/hostname.lic` は、この機能には無効です。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0280F MTP not authorized for this host name

**説明:** ライセンスファイル `$KIXLICDIR/hostname.lic` は、このホスト名には無効です。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0281F [%r] Local memory not available (%d bytes requested)

**説明:** Sun MTP プロセスは、ローカルメモリーを使い果たしました。このメッセージは、要求したバイト数を示します。

0282E Routine called with invalid length %d

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0283E [%r] Memory area at %x has been corrupted

**説明:** Sun MTP が割り当てたメモリーブロックで、チェックワードが上書きされました。

**原因:** アプリケーションがその境界を越えて書き込みをしているか、または Sun MTP の内部エラーが発生していることを示します。

0284E [%r] Memory area at %x is fixable, continuing

**説明:** 指示された場所でメモリー破損を検出したため、修復しました。

0285E [%r] Pad in the allocated block %x has been corrupted, continuing

**説明:** Sun MTP は、各メモリー割り当て要求の最後に追加されたメモリーで現在実行中です。追加されたメモリー空間は、指示されたメモリー位置で、壊れています。パディングにより、Sun MTP はこのメモリーブロックを継続して使用できます。

0286E [%r] Head of next block beginning at %x has been corrupted

**説明:** 1 つ前のメモリーブロックの終端を越えて書き込んだので、このメモリー位置のヘッダー情報が壊れました。

0287E [%r] Error from NCI\_resbit function, pgmname = %s

**説明:** COBOL 関数の NCI\_resbit から、負の戻り値を受け取りました。

0288E [%r] kxmkflnm failed

**説明:** 絶対パスによるファイル名を作成しようとして失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0289E Start txn user exit returned error code %d

**説明:** ユーザー出口ルーチン kxuser\_start\_txn は、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

0290I Transaction processor rolled back; received signal <%d>

**説明:** エラーメッセージが unikixmain.log ファイルに書き込みをしたときにトランザクション処理プログラムが受け取ったシグナルの番号を表示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0292E End txn user exit returned error code %d

**説明:** ユーザー出口ルーチン `kxuser_end_txn` は、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

0293E Terminal id %s not found

**説明:** CICS START コマンドで指定した端末 ID は、無効です。

0294E Write of start\_tranx record to recovery file failed

**説明:** 回復ファイルへの書き込みに失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで `unikixmain.err`、`unikixmain.dbg`、および `unikixmain.log` ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0295E [%r] Call to putenv(%s) failed

**説明:** 環境変数の設定に失敗しました。 `putenv` 関数が、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

0296I Local terminal processor received signal %d [%s]

**説明:** ローカルの端末ハンドラがシグナルを受け取りました。 `%d` が実際のシグナルの番号で、 `%s` がシグナルの記号名で、それぞれ置き換えられます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0297E [%r] Pop handle error during goback in program  
<%8.8s>.Possible system or application error.

**説明:** このメッセージは、エラーが発生したプログラム名を示します。

**対処:** ご使用のアプリケーションで、EXEC CICS PUSH HANDLE または EXEC CICS POP HANDLE のロジックエラーがないことを確認します。たとえば、POP ごとに、PUSH が必要です。コードを確認しても問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

0298E Semaphores = %x at end of tran %s

**説明:** ロックしていたすべてのセマフォアのロックを解除しないでトランザクションを終了しました。このエラーは、トレースダンプを生成します (トレースコード KXUN)。

0299I Process memory (%x) exceeds threshold (%x) - terminating  
txn processor

**説明:** トランザクション処理プログラムは、プロセスメモリーがしきい値に達したので終了しています。必要メモリーは、アプリケーションプログラムを読み込み、実行すると、通常は増加します。サーバーの終了後、アプリケーションプログラムを読み込まないで再起動します。

**対処:** 情報メッセージです。必要であれば、unikixmain コマンドの -M t オプションで、しきい値を増減してください。

0300I Re-start unikixsched

**説明:** unikixsched プロセッサは終了したので、再起動されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0301I Entering (VER. %s)

**説明:** Sun MTP プロセスが開始しました。プログラムのバージョンと日付が表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0302W [%r] warning ... fcb wait queue for batch

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0303F License file %s missing

**説明:** ライセンスファイル \$KIXLICDIR/hostname.lic がありません。

**対処:** 新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0304E [%r] Error deleting temporary file %s

0305E [%r] Error rolling back temporary file %s

0306E [%r] Error syncpointing temporary file %s

0307E [%r] File %s not found in VSAM FCT

**説明:** 出力用にオープンしたファイルのデータセット名が FCT にありません。

0308E [%r] Error closing temporary file %s

**説明:** バッチプログラムでファイルを処理中にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0309E [%r] kxgetenv error, variable %s

**説明:** 通常このメッセージは、環境変数が見つからないことを示します。

0310E [%r] Path too long: %s

**説明:** プログラムまたはマップへのパスの文字数が多すぎます。最大 129 文字です。

**対処:** パス名を 129 文字以下に変更し、再実行します。

0311E %s environment variable must be set to the directory where the license file resides.The check for license key has failed.

**説明:** KIXLICDIR 環境変数が設定されていません。

**対処:** 環境変数 \$KIXLICDIR に、ライセンスファイルがインストールされているディレクトリを設定し、再実行します。

0312E Number of ISC sessions defined %d exceeds number allowed in license %d

**説明:** 使用しようとしている ISC セッションの数が、ライセンス数を超過しています。

**対処:** 環境変数 TCPRTERM、TCPSTERM、DCLRTERM、および DCLSTERM で指定しているセッションの合計数とライセンスのセッション数を比較します。これらの環境変数のうち、1 つ以上の値を減らして、合計をライセンスで認められたセッション数以下にします。

0313E Batch job ended unexpectedly: exit code %d signal = %d

**説明:** 予期しないバッチジョブの消失が発生しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルのメッセージを確認します。

0314I Batch job %s ended, status = %d

**説明:** このメッセージは、終了したバッチジョブとその状態コードを示します。状態コードがゼロ以外の場合、最後の同期点以降プログラムが更新した VSAM データセットはすべてロールバックされます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0315I Batch job %s started, pid = %d

**説明:** バッチジョブが開始しました。ジョブ名、およびそのプロセス ID が表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0316E Batch job initiation failed for program %s, errno = %d

**説明:** バッチジョブの開始に失敗しました。

**原因:** このエラーコードは `execv` または `execvp` 関数のどちらかのエラーコードです。

0317E MEF channel could not be opened

0318E Write to MEF channel failed

0319E Job %d not found on batch queue

0320E Read from MEF channel failed: unknown message type %d

0321E getenv(XUANUM) failed

**説明:** Sun MBM ソフトウェアまたはメッセージ交換機能 (MEF) で問題が発生しました。

0322E Subprocess initiation failed for program %s, errno = %d

**説明:** サブプロセス (たとえば Sun MTP テーブルマネージャーやレコードエディタ) の開始に失敗しました。

**原因:** このエラーコードは `execv` または `execvp` 関数のどちらかのエラーコードです。

0323E Subprocess %d ended unexpectedly: exit code %d signal %d

**説明:** 予期しない Sun MTP テーブルマネージャーやレコードエディタなどのサブプロセスの消失が発生しました。

**対処:** `unikixmain.err` ファイルのメッセージを確認します。

0324E [%r] %s not found

**説明:** 指定したサブプロセスを開始しようとしたのですが、プログラムが見つからなかったので失敗しました。

0325E [%r] Subprocess %s ended: exit code %d, signal %d

**説明:** %s で示されるサブプロセスが、異常終了コードで終了しました。

0326I %s in `vct.tbl` is being overridden by value specified in license file

**説明:** 画面で入力した値は、ライセンスファイルで認められている値を超えています。

**対処:** 有効な値を再入力するか、システム管理者に連絡してライセンスの値を増やします。

0327E Trace dump suppressed: %s

**説明:** 重大なエラーが発生しましたが、unikixmain コマンド行で指定したパラメータでトレーステーブルが抑制されているので、トレースダンプは生成されませんでした。

0328E During syncpoint, UQE is found with before image not yet flushed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ログを添えて、ご購入先に連絡してください。

0329E Unable to create dump file: %s, errno = %d

**説明:** ダンプディレクトリに内部ダンプファイルを作成できません。ダンプディレクトリに関する KIX0332I メッセージは、unikixmain.log ファイルを確認します。

**対処:** ご使用のオペレーティングシステムのマニュアルを参照し、UNIX open() システム関数から返されたエラーコードを分析します。

0330E Trace dump requested: %s

**説明:** 重大なエラーが発生し、トレースダンプが生成されました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0331I Trace dump written to file: %s

**説明:** 内部トレースダンプがダンプディレクトリに書き込まれたことを示す情報メッセージです。

**対処:** ダンプディレクトリに関する KIX0332I メッセージは、unikixmain.log ファイルを確認します。

0332I Dump directory is:%s

**説明:** 内部トレースダンプが書き込まれたダンプディレクトリを表示する情報メッセージです。環境変数 KIXDUMPDIR の詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

0333E Requested trace table does not exist

**説明:** 存在しない内部トレーステーブルをダンプするように要求されました。

**対処:** 技術サポート要員に対するエラー通知です。領域への影響はありません。

0334E Formatted application dump skipped because maximum exceeded (%d)

**説明:** 書式付きアプリケーションダンプは、制限値に達したので生成されませんでした。ダンプファイルのデフォルトの制限値は 20 です。

**対処:** 領域を再起動し、カウントをリセットします。unikixmain コマンド行の -N オプションで制限値を高く設定できます。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

0335E [%r] Trace request could not be processed

**説明:** 内部トレース要求は、内部トレースダンプファイルをダンプできませんでした。

0336E Invalid pointer=%x passed to kxsym2func

**説明:** 不正なポインタが、プログラム名のポインタを共有オブジェクトのエントリポインタに変換する kxsym2func に渡されました。

**対処:** Liant Open PL/I 共有オブジェクトと併用する EXEC CICS LOAD ENTRY 文の詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

0337E PL/I libraries for run-time environment not found

**説明:** トランザクション処理プログラムが、プロセッサテーブル (PPT) にある Liant Open PL/I プログラムを起動した際に、Liant Open PL/I ランタイムライブラリが使用できないことを検出した場合、起動時の unikixmain.log ファイルに出力されます。

**対処:** Liant Open PL/I ランタイムライブラリが使用できることを確認し、領域を再起動します。

0338E Erroneous call to <%s> in a non-PL/I environment

**説明:** 起動したトランザクションが Liant Open PL/I プログラムを実行する際、Liant Open PL/I 実行環境が不正な場合に、ユーザーの端末に表示されます。トランザクションは終了します。

**対処:** Liant Open PL/I ランタイムライブラリが使用できることを確認し、再実行します。

0339F Program %s not found in shared library

**説明:** ローダーが共有ライブラリにオブジェクトを見つけられなかったため、トランザクションが異常終了しました。

0340E Program <%8.8s> not in PCT. SYSSTART/SYSTEM/USERSTART transaction bypassed.

**説明:** プログラムリストテーブル (PLT) で指定されたプログラムが PCT で見つからなかったため、実行されませんでした。

**対処:** プログラムが、PLT および PCT に正しく指定されていることを確認します。

0341E SYSTEM transaction <%4.4s> is not authorized so it will not be invoked.

**説明:** システムの終了時に呼び出すように PLT で指定されたプログラムを実行できません。システムを終了するユーザーは、トランザクションに対する権限がありません。

0342F %s process not started by unikixmain. Process will exit.

**説明:** Sun MTP は、プロセスの開始と終了を実行しなかったサーバープロセスを検出しました。このプロセスは、システム管理者が手動で開始した可能性があります。

**対処:** 対処は必要ありません。

0343E [spool:kxopenprt] Error: open failed for file %s, errno = %d

**説明:** 印刷ライターは、ファイルをオープンする際のエラーを検出しました。たとえば、トランザクションの強制的に中止したダンプファイルをオープンできませんでした。

**対処:** UNIX errno を調査して、適切な訂正を行います。問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

0344I No extra Java Classpath.appendends provided

**説明:** \$KIXSYS/kix\_java/Classpath.appendends ファイルが利用できないことを示す情報メッセージです。

**対処:** Java™ 仮想マシン (JVM™) が CLASSPATH 拡張子を必要としない場合、対処は必要ありません。その他の場合、MQ および MQ-JMS Bridge の使用については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

0345I No extra Java Libpath.appendends provided

**説明:** \$KIXSYS/kix\_java/Libpath.appendends ファイルが利用できないことを示す情報メッセージです。

**対処:** JVM が LIBPATH 拡張子を必要としない場合、対処は必要ありません。その他の場合、MQ および MQ-JMS Bridge の使用については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

0354F Terminal %4.4s failed external security validation,  
configured userid: %14.14s

**説明:** TCT エントリに登録されているユーザー ID は、SNT で設定されているパスワードによるログイン認証で拒否されました。

**対処:** SNT のユーザー ID およびパスワードは、TCT エントリに事前に構成するので、外部セキュリティーマネージャーによるログインに対して有効にする必要があります。

0355F Could not create socket

**説明:** 他のシステムのクライアントとの通信用ソケットの作成に失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0356E Printer initialization failed

**説明:** Sun MTP プロセスは、プリンタ接続の初期化ができませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0357F Error occurred while opening VSAM files

**説明:** 領域は、VSAM データファイルをオープンできません。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0358E Allocate user exit returned error code %d

**説明:** ユーザー出口ルーチン kxuser\_allocate は、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

0360I Setting system shutdown flag

**説明:** 領域はシャットダウンモードに移行中です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0361E Deallocate user exit returned error code %d

**説明:** ユーザー出口ルーチン kxuser\_deallocate は、ゼロ以外のリターンコードを返しました。

- 0362E %s should not have any component of length more than 14
- 説明:** 環境変数 \$UNIKIX と \$KIXPROGS のパス名の各要素は、14 文字以下にする必要があります。
- 0363I [%s] spin count set to <%d>
- 説明:** スピンロック時に許可する最大スピncountを、示されている値に設定します。この値は、unikixmain コマンド行の -j オプションで設定します。
- 対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 0364E Spinlocks not supported on %s platform
- 説明:** スピンロックが、指定のプラットフォームでサポートされていないことを示します。
- 対処:** unikixmain コマンド行で -j オプションを指定した場合、このオプションを指定しないでセマフォで領域を起動します。
- 0365I Transaction <%d> completed
- 説明:** システムの停止時、unikixmain プロセスは示されたトランザクションの完了メッセージを受け取りました。
- 対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 0366I Transactions still executing [%d]
- 説明:** システムの停止時、トランザクションの終了を指示されましたが、%d で指定されたクリティカルコードを実行しています。
- 対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 0367E [%r] Unknown file type [%d]
- 説明:** 内部エラーです。
- 対処:** ご購入先に連絡してください。
- 0370T Transaction %4.4s not found in PCT
- 説明:** PCT にないトランザクションコードが入力されました。
- 対処:** PCT にトランザクションコードを追加します。領域を再起動し、トランザクションを再実行します。
- 0371T System was shut down
- 説明:** 領域を停止したので、トランザクションが不正終了しました。

0372E Return code %d from kxTRwr  
0375E Return code %d from kxTRrd  
0376E Return code %d from kxTRdis  
0377E Return code %d from kxTrend

**説明:** トランザクション経路指定時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0380E [r%] unexpected error message number = %d

**説明:** 内部エラーです。ライセンスチェックで、予期しないエラーメッセージが返されました。ソフトウェア使用許可キーのチェックに失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0390E [%r] UNIX error returned from %s = %d

**説明:** 指定した関数は、パスワードファイルのエントリを読み取れませんでした。  
%s 変数の値は、getpwnam 関数か getsppnam 関数です。%d 変数の値は、追加情報を提供します。

**対処:** ご使用のオペレーティングシステム管理者に連絡してください。

0391I DBCS is enabled

**説明:** この領域ではダブルバイト文字セット (DBCS) のサポートが有効であることを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0396E [%r] Can't authenticate %.14s; no password from  
getpwnam/getspnam

**説明:** Sun MTPは、入力されたパスワードを使って、UNIX ユーザー ID を認証しようとしていますが、getpwnam() または getsppnam() 関数を持つユーザー ID のパスワードを取得できません。

**対処:** Sun MTP 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

0401T TIOA overflow

**説明:** アプリケーションは、端末に多すぎるデータを送ろうとしました。

**対処:** LENGTH オプションの制限については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』の「EXEC CICS SEND および EXEC CICS RECEIVE コマンド」を参照してください。さらに、有効な長さを使用できるように、アプリケーションプログラムを変更します。

0402T Out of storage

**説明:** ローカル記憶域を取得できないので、トランザクションは不正終了しました。

0403T CSPG transaction missing

**説明:** \$UNIX/lib/CSPG.int ファイルが見つかりません。

0404T Map set %s unable to load from disk

**説明:** Sun MTPは、ディスクから CICS コマンドによって指定された物理マップセットを読み込めませんでした。

**対処:** 環境変数 KIXMAPS が正しく設定されているか確認します。マップセットで指定したファイルがディスク上にあり、空でないことも確認します。

0405T Map set %s not found in PPT

**説明:** CICS コマンドで指定されたマップセットには、PPT でのエントリがありません。

**対処:** PPT でマップセットを定義します。

0406T Map set %8.8s alignment is wrong

**説明:** CICS コマンドで参照されたマップセットは、SIT で指定したシステム配置とは異なる配置 (バイトまたはハーフワード境界) を指定しました。

0407T Map %8.8s not found in map set

**説明:** CICS コマンドで参照されたマップは、コマンドの MAPSET オプションで指定された物理マップセットには見つかりませんでした。

0408T TD queue %8.8s not defined

**説明:** CICS コマンドで参照された一時データキューは、宛先管理テーブル (DCT) に定義されていません。

0409T Error deleting TD record from queue %8.8s

**説明:** CICS READQ TD コマンドは、読み取り後のレコードの削除時に発生したエラーによって失敗しました。

0410T Program %s not in PPT

**説明:** 実行しようとするプログラムが PPT にありません。

0411T Terminal write command failed

**説明:** Sun MTP による、端末またはプリンタへのデータ書き込みでエラーが発生しました。

**原因:** 通常このエラーは、端末またはプリンタに送信するデータストリームに 1 つ以上の無効な文字が含まれていることを示します。

**対処:** 端末に送信しようとしているデータで、無効な文字がないかどうかを確認します。問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

0412T Terminal read command failed

**説明:** Sun MTP による、端末からのデータ読み取りでエラーが発生しました。

0413T Background task attempted I/O

**説明:** 端末に接続されていないバックグラウンドトランザクションが端末入出力 (I/O) を実行しようとしたので、不正終了しました。

0414T Recovery file full

**説明:** 回復ファイルが満杯です。システムで、エラーを報告している最も古いトランザクションが、回復ファイルの領域を解放するために終了しようとしています。

0415T Deadlock detected

**説明:** 2 つ以上のトランザクションがデッドロック状態にあります。デッドロックを引き起こした要求を持つトランザクションは、この状態を回避するために終了します。

0416T Program %8.8s encountered internal error trying to restore working storage.

**説明:** %s は、問題が生じたプログラムです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0417T File %s not defined in Catalog

**説明:** VSAM カタログで定義されていないので、参照する VSAM ファイルにアクセスできません。

**対処:** VSAM カタログにファイルを定義し、領域を再起動します。

0418T Program %s not found on disk

**説明:** 読み込もうとしたプログラムが、環境変数 KIXPROGS が示すすべてのディレクトリで見つかりませんでした。

0419T Terminal initial read failed

**説明:** トランザクションの開始時に、Sun MTP が端末からデータを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

0420E Number of open files %d exceeded the maximum %d allowed by system

**説明:** オープンしているファイル数が、オペレーティングシステムで許可されている最大数を超えています。

**対処:** いくつかのファイルをクローズします。

0421E Terminal %s timed out

**説明:** 端末が指定した期間有効でない場合、強制的にログアウトします。

**対処:** 再度ログインします。必要であれば、SIT のタイムアウト時間を変更します。

0422E Number of open files must be less than %d as defined in the kernel configuration

**説明:** カーネルの構成で認められているよりも多くのファイルをオープンしました。

**対処:** カーネル構成の制限値を再定義するには、システム管理者に連絡してください。

0423E Attempt to access a file that is closed

**説明:** クローズした状態のデータセットに対して処理しました。

**原因:** データセットがオープンされていないか、オペレータによって明示的にクローズされています。

**対処:** kixfile ユーティリティでデータをオープンします。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

0424I Entering CISAM Process

**説明:** 一部のプロセスが VSAM データにアクセスするために C-ISAM インタフェースを使用していることを示します。このメッセージは、プロセスが最初のファイルをオープンしてトランザクション処理プログラムがビジーなときに unikixmain.log ファイルに書き込まれます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0425I CISAM Process Terminating

**説明:** C-ISAM インタフェースで VSAM データにアクセスするプロセスが最後のファイルをクローズし、トランザクション処理プログラムを解放するとき、このメッセージは unikixmain.log ファイルに書き込まれます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0426E Releasing of dataset %8.8s failed

**説明:** 示されているデータセットのクローズで失敗しました。

0428E The mirror program has abended

**説明:** 遠隔要求を処理しているミラープログラムが異常終了しました。

**対処:** 問題を解決するには、前のメッセージの対処を実行します。

0429I Possible working storage change for program  
<%s>.Transaction processor will terminate.

**説明:** CINI 要求の場合、Sun MTP のプログラム用内部カウンタがリセットされません。現在のトランザクション処理プログラムには、プログラムカウンタの古いコピーが含まれていますが、新しいコピーは、他のトランザクション処理プログラムに読み込まれています。

**対処:** トランザクションを再実行します。

0430I Shared info: ppt\_plad <%x> ppt\_plen <%d> ppt\_seqno <%d>

**説明:** 共有メモリーにある COBOL トランザクション処理プログラム作業用記憶保存領域が壊れている可能性があります。

**対処:** このメッセージの情報を使用して、プログラミング上の問題を修正します。

0431I Local info: pgmwsptr <%x> pgmwslen <%d> pgmseqno <%d>

**説明:** 共有メモリーにある COBOL トランザクション処理プログラム作業用記憶保存領域が壊れている可能性があります。

**対処:** このメッセージの情報を使用して、プログラミング上の問題を修正します。

0432E Memory corruption.Transaction processor will terminate.

**説明:** メモリー診断は、重大なメモリー破損障害を検出しました。

**対処:** トランザクション処理プログラムは、さらに破損が進むことを回避するために終了します。

0434E [%r] UNIX wait() command was interrupted by signal %s

**説明:** トランザクション処理プログラムは、子プロセスが終了するのを待機している間に、指定された信号によって中断されました。トランザクション処理プログラムは強制的に中止されました。

**対処:** 強制的に中止されたプログラムを再実行します。

0435E Transaction processor received signal SIGTERM

**説明:** 指定したプロセスが、SIGTERM シグナルを受け取りました。このメッセージは、プロセスができる限り早く終了することを示します。

0436F unikixept processor received an unexpected signal %d [%s]. Process will terminate.

**説明:** unikixept プロセッサで、予期しないシグナルを受信しました。このメッセージ中の、%d は実際のシグナルの番号、%s は SIGTERM や SIGUSRI などのシグナルの名前です。unikixept プロセスは終了します。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0437I Received signal 13 [SIGPIPE].

**説明:** unikixmain プロセスは SIGPIPE シグナルを受け取りましたが、無視しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0438T Map set %s is currently disabled.

**説明:** CICS コマンドで指定されたマップセットが無効です。

**対処:** システムトランザクションマップセット CEMT SET PROGRAM *mapset* ENABLED を使用して、マップセットを有効にします。

0439T Map set %s user not authorized to load this map

**説明:** 外部セキュリティーマネージャーが有効で、現在のユーザーは、指定したマップセットを読み込むのに必要なアクセス権を持っていません。

**対処:** このユーザーにマップセットへのアクセスを許可するには、必要なアクセス権を付与します。

0440E COBOL debugger is not supported on a TR terminal

**説明:** 遠隔システムで、COBOL ソースデバッガを使って COBOL プログラムをデバッグすることはできません。CEDF トランザクションは、トランザクション経路指定された端末で実行されています。

**対処:** ローカル領域で COBOL プログラムをデバッグする必要があります。

0441E PL/I CodeWatch is not supported on a TR terminal

**説明:** 遠隔システムで、CodeWatch を使って Liant PL/I プログラムをデバッグすることはできません。CEDF トランザクションは、トランザクション経路指定された端末で実行されています。

**対処:** ローカル領域で PL/I プログラムをデバッグする必要があります。

0442E C debugger is not supported on a TR terminal

**説明:** 遠隔システムで、C デバッガを使って C プログラムをデバッグすることはできません。CEDF トランザクションは、トランザクション経路指定された端末で実行されています。

**対処:** ローカル領域で C プログラムをデバッグする必要があります。

0444E Enter a DISPLAY value to debug on this 3270 type terminal

**説明:** TN3270 端末クライアントから COBOL ソースデバッガを実行するには、デバッグ機能のブレイクポイントの設定画面で、DISPLAY フィールドの値を指定する必要があります。これは、デバッガウィンドウを表示する、X windows DISPLAY 環境変数です。

**対処:** デバッグ機能のブレイクポイントの設定画面で、host1:32.0 などの DISPLAY 環境変数の値を入力します。

0445E Please enter a DISPLAY value

**説明:** Liant PL/I CodeWatch デバッガまたはデフォルトの C デバッガを実行するには、デバッグ機能のブレイクポイントの設定画面で、DISPLAY フィールドの値を指定する必要があります。これは、デバッガウィンドウを表示する、X windows DISPLAY 環境変数です。

**対処:** デバッグ機能のブレイクポイントの設定画面で、host1:32.0 などの DISPLAY 環境変数の値を入力します。

0447E No program is currently active so no memory address available for display

**説明:** CEDF トランザクションの使用時、ユーザーはプログラムを起動する前に PF6 ファンクションキーを押しました。有効なプログラムがないので、システムは記憶域を表示できません。

**対処:** Clear キーを押し、プログラムが起動されるまで CEDF セッションを続けます。次に PF6 キーを押して、記憶域の内容を表示します。

0448E COBOL debugger cannot be invoked on a non-COBOL system

**説明:** COBOL ソースコードデバッガを開始できません。

**原因:** COBOL 言語サポートを使って構築されていない領域で COBOL デバッガを開始しようとした。

**対処:** ご使用の言語に合った正しいデバッガを選択します。

0449I [%r] Requested format not supported for READ on extra partition queues yet

**説明:** アプリケーションの READQ TD 要求は、パーティション外の一時的データキューで拒否されました。

**対処:** パーティション外の一時的データキューを LINE レコード形式に変更します。

0450I [%r] Intrapartition queues not supported for set tdqueue

**説明:** 要求した SET TDQUEUE オプションは、パーティション外の一時的データキュー以外ではサポートされません。

**対処:** 必要であれば、一時的データキューをパーティション外のタイプに変更します。

0451E Invalid function key

**説明:** ユーザーが押したファンクションキーは、現在の画面では無効です。

**対処:** 現在の画面でサポートされているファンクションキーを使用します。

0452E Invalid hex value

**説明:** 入力した値は、有効な 16 進数ではありません。

**対処:** 有効な 16 進数 (0 ~ f または 0 ~ F) を入力します。

0453E Address exceeds virtual storage size

**説明:** ユーザーが入力したメモリーアドレスが無効です。

**対処:** プロセスのアドレス空間内にある有効なアドレスを入力します。

0454E Must be YES or NO

**説明:** ユーザーは無効なオプションを入力しました。

**対処:** YES または NO だけを入力します。

0455E CEDF ,COBOL is not supported on a 3270 type terminal

**説明:** 3270 EBCDIC タイプの端末では、CEDF、COBOL トランザクションを使って COBOL デバッグを実行できません。

**対処:** パラメータを使わずに CEDF トランザクションを実行し、デバッグ機能のブレークポイントの設定画面を表示します。COBOL デバッグオンフィールドに Y と入力し、DISPLAY フィールドに有効な値が入力されていることを確認します。

0456E May not be changed during transaction

**説明:** トランザクションに対して現在実行しているデバッグセッション中に、デバッグオプションを変更できません。

**対処:** 現在のトランザクションの終了時に、デバッグオプションを変更します。

0457E EDF cannot be invoked on a routed terminal

**説明:** CEDF トランザクションは、経路指定された端末ではサポートされていません。

**対処:** サポートする端末については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

0458E Userid %s not recognized

**説明:** 指定したユーザー ID は、SNT のユーザー ID に一致していません。

0459E Userid %s requires a password

**説明:** 指定したユーザー ID には、SNT で定義されているパスワードが必要です。

0460E Password invalid for userid %s

**説明:** 外部のセキュリティーをご使用の場合、このパスワードまたは新しく渡されたパスワードが認証できないことを示します。外部のセキュリティーを使用していない場合、このユーザー ID に対するパスワードが、SNT で定義されているパスワードと一致しないことを示します。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティー管理者に連絡してください。

0461E New Password is not accepted for userid %s

**説明:** このユーザー ID に対して指定した新しいパスワードは受け付けられませんでした。現在のパスワードは変更されません。

**原因:** パスワードが、セキュリティー環境の条件を満たしていません。外部セキュリティーマネージャーとして Sun MSF を使用していて、新しいパスワードの最初の文字が中括弧 ( { ) である場合は、パスワードが拒否されます。Sun MSF では、パスワードの最初の文字に中括弧を使用できません。

**対処:** セキュリティー環境の制限に適合した新しいパスワードを入力します。新しいパスワードの両方のエントリを注意して入力し直します。

0462I Sign-on transaction CSSN/CESN cancelled

**説明:** このメッセージは、CSSN または CESN トランザクションが終了するときに表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0463I Userid %s signed on terminal %s

**説明:** CESN トランザクションで、指定されたユーザー ID が端末にサインオンしました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0464I Userid %s signed off terminal %s

**説明:** CESF/CSSF トランザクションは、端末のユーザーをサインオフしました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0465I Sign-off failed at terminal %s. No user signed on

**説明:** この端末でサインオンしているユーザー ID が存在しないので、CESF/CSSF トランザクションを完了できません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0466E USAGE: CEDF [termid|sysid] [,ON|,OFF|,COBOL|,RCOBOL]

**説明:** CEDF トランザクションで指定したオプションは不正です。

**対処:** CEDF トランザクションを正しいオプションで指定します。

0467E No debug terminals configured

**説明:** VCT に設定されているデバッグ端末の数がゼロです。このため、CEDF トランザクションを使用できません。

**対処:** デバッグを有効にするには、設定されているデバッグ端末の数が 1 つ以上になるように VCT を変更して、領域を再起動します。

0468E Maximum debug terminals will be exceeded

**説明:** VCT に設定されているデバッグ端末の最大数がすでに有効になっているので、新しい CEDF セッションは許可されません。

0470E CEDF ,COBOL is not supported on a TR terminal

**説明:** 遠隔システムで、COBOL ソースデバッガを使って COBOL プログラムをデバッグすることはできません。CEDF トランザクションは、トランザクション経路指定された端末で実行されています。

**対処:** ローカル領域で COBOL プログラムをデバッグする必要があります。

0471I CICS Debugger initialized

**説明:** デバッグモードを開始しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0472I CICS Debugger terminated

**説明:** デバッグモードを終了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0473E Transaction not authorized by user.

**説明:** SNT の情報は、このユーザーに対するこのトランザクションを許可しません。

0474E Transaction not authorized for Transaction Routed 3270 terminal.

**説明:** トランザクション経路指定された 3270 端末では、次のトランザクションを実行できません。CMNU、CEMT、CTBL、CFMS、CRED、および CSGU。

0475E Transaction not authorized for 3270 terminal

**説明:** 3270 端末で、CMNU と CSGU トランザクションは実行できません。

0476E System is to be shutdown, no new transactions

**説明:** システムは停止処理中です。新しいトランザクションは許可されません。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

0477E System is in Quiesce or Batch mode, no new transactions

**説明:** これらのモードでは、新しいトランザクションは許可されません。

**対処:** システム状態については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』を参照してください。

0478E Program path on CBCH is too long. Maximum number of characters allowed is %d

**説明:** CBCH トランザクションで指定されたプログラムパス名に、許可されている最大文字数を超える文字が含まれています。

**対処:** プログラムファイルを \$KIXSYS ディレクトリまたはメッセージで示されている文字数を超えないパス名の長さを持つディレクトリに配置します。

0479E Transaction %4.4s not authorized for terminal %4.4s user %-8.8s

**説明:** 表示されているトランザクションは、バックグラウンドで実行するように実行依頼されましたが、実行依頼したユーザーに権限がありません。

0480E Turn off COBOL debugging before issuing a system transaction.

**説明:** CEDF 以外の Sun MTP システムトランザクション (C で始まる) を実行する前に、COBOL デバッガを終了します。

**対処:** CEDF トランザクションを実行し、COBOL デバッガフィールドを N に設定します。CEDF トランザクションの詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。他のシステムトランザクションについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』で説明しています。

0481E Userid %s not authorized for resource

**説明:** CESN トランザクションで入力したユーザー ID は、この端末または領域で実行する権限がありません。

**対処:** このユーザー ID に権限を認める必要がある場合は、システムのセキュリティー管理者にお知らせください。または、権限を持つユーザー ID または端末名でログインします。

0482E Transaction %4.4s not authorized for LU0 or LU1 terminal

**説明:** このトランザクションは、このタイプの端末から実行できません。

**対処:** 現在の端末で有効なトランザクションをサブミットするか、3270 端末からトランザクションをサブミットします。

0483E Operator %s not authorized for terminal %s

**説明:** 指定したオペレータ (ユーザー) は、指定された端末を使用する権限がありません。

**対処:** オペレータにこの端末を使用する権限が必要なことを、セキュリティー管理者にお知らせください。

0488E Password must be changed.

**説明:** CESN トランザクションを使用してログインしようとしたが、外部セキュリティーマネージャーが、ログイン処理の完了にパスワードの変更を必要としています。

**原因:** このメッセージは、セキュリティー管理者が、パスワードの変更を必要とするセキュリティーリポジトリにあるユーザーのプロファイルを変更した場合に表示されます。このメッセージは、ユーザーのパスワードの使用期限が切れたことを示すものではありません。

**対処:** CESN ログイン画面で、新規パスワードおよび新規パスワードの確認フィールドに、新しいパスワードを入力する必要があります。

0489E Password cannot be changed.The minimum number of days has not expired.

**説明:** 外部セキュリティーマネージャーが許可している時期より早くパスワードを変更しようとしたためです。

**原因:** セキュリティーリポジトリでこの主体 (ユーザー) を作成している場合は、セキュリティー管理者が、パスワードを変更する間隔の最小日数を指定しています。ログインしようとしたユーザーこの期間がまだ経過していません。

**対処:** CESN ログイン画面で、現在のパスワードを入力します。

0490E Unknown error %d in transaction %s

**説明:** このトランザクションは、EXEC CICS コマンドから予期しない EIBRESP2 の値を返しました。

0491E Operator %s not recognized

**説明:** ログイン時に、SNT で定義されているオペレータ名と一致しない、オペレータ名を入力しました。

**対処:** 有効なオペレータ名を使って、再度ログインしてみます。オペレータ名を忘れた場合は、セキュリティー管理者に連絡します。

0492E Password invalid for operator %s

**説明:** 指定されたオペレータとしてログインする時に、SNT で定義されているオペレータ名と一致しない、不正なパスワードを入力しました。

**対処:** 有効なパスワード名を使って、再度ログインしてみます。パスワードを忘れた場合は、セキュリティー管理者に連絡します。

0493I Operator %s signed on terminal %s

**説明:** CSSN トランザクションで指定されたオペレータ名が、端末にサインオンしました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0494E Tran %s abended: EIBFN = %d

**説明:** 指定されたトランザクションは、EIBFN 番号で特定される EXEC CICS コマンドで異常終了しました。

0495E Usage CESN [USERID=userid,PS=password [,NEWPS=newpassword] [,GROUPID=groupid]]

**説明:** CESN トランザクションで指定したオプションは不正です。

**対処:** メッセージに表示される正しい形式でトランザクションを再実行します。Sun MSF を使用している場合は、*groupid* がユーザーの役割 (主体) です。

0496E Terminal %s is already logged on elsewhere

**説明:** 端末 ID はすでに存在しています。

0497E Terminal %s is already signed on, you must sign off

**説明:** すでにサインオンしているユーザーがいるので、この端末ではトランザクションを完了できません。

0498E Password disabled for userid %s

**説明:** このユーザー ID のパスワードは、使用が停止されています。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティー管理者に連絡してください。

0499E %s password expired for the operator

**説明:** Sun MTP 管理者が設定しているルールに従って、パスワードが失効しています。

**対処:** オペレータ (ユーザー) は、次のセッションに有効な新しいパスワードを入力する必要があります。これでシステムを継続して使用できます。

---

## 0500 ~ 0999 メッセージ

0500E % password disabled for the operator

**説明:** オペレータのパスワードは無効です。

**対処:** Sun MTP 管理者に連絡してください。

0501I Executing %s

**説明:** メッセージにあるバッチプログラムが開始されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0502E Program %s not found

**説明:** メッセージにあるバッチプログラムが見つからなかったため実行されませんでした。

0503I Terminating %s

**説明:** メッセージにあるバッチプログラムが終了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0504E Too many arguments on the command line

**説明:** unikixvsam コマンドの引数の最大数は 250 です。

**対処:** 正しい数の引数を使って unikixvsam コマンドを再実行します。

0505E Error returned from COBOL runtime = %d

**説明:** COBOL ランタイム (バッチプログラムを実行するために使用) のリターンコードが、ゼロより小さいか 127 を超えていました。最後の同期点以降にプログラムが VSAM に実行した変更は、ロールバックされます。

0506E The %s environment variable is not set

**説明:** メッセージにある環境変数が設定されていません。%s が TERMDEV の場合、Sun MTP に管理されないでスタンドアロンでバッチジョブを実行しようとしていることを示します。

0507E The value of %s (%s) is too long

**説明:** メッセージにある環境変数 TERMDEV の文字の長さが長すぎます。最大長は 20 です。

0508E -p option requires a program name

**説明:** unikixvsam コマンドの -p オプションの引数としてプログラム名が指定されていません。

**対処:** -p オプションにプログラム名の引数を指定して、unikixvsam コマンドを再実行します。

0509E Invalid option: -%c

**説明:** メッセージに示されたオプションは、unikixvsam コマンド行で無効です。

**対処:** unikixvsam コマンドに有効なオプションを指定します。

0510E Invalid parameter %s to kixvsam subroutine

**説明:** Sun MTP ルーチンの kixvsam が、無効な引数で呼び出されました。有効な値は、SYNCPT と ROLLBACK です。

0511E Invalid VSAM request from batch program - %2.2x %2.2x

**説明:** バッチプログラムの VSAM コマンドが、Sun MTP が理解しない要求コードを生成しました。

0513E unikixvsam must be started by MTP. It may not be executed directly

**説明:** バッチジョブは、シェルスクリプトを \$KIXBTCH ディレクトリにコピーし、実行依頼するか、CBCH トランザクションを実行する必要があります。

0514E Program name too long: %s

**説明:** Sun MTP バッチ の VSAM プロセッサに渡されたプログラム名が長すぎます。最大長は 129 文字です。

0515E Terminating -- No file status variable defined

**説明:** COBOL バッチプログラムから呼び出された Sun MTP VSAM 関数は、アクセスするファイルにファイル状態変数が関連付けられている必要があります。

0516E VSAM filename too long or missing: %s

**説明:** Sun MTP バッチ の VSAM プロセッサに渡された VSAM ファイル名が長すぎます。最大長は 8 文字です。

0517E Key was lost in kxdeffle

**説明:** バッチの VSAM プロセッサでファイルをオープン中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0518E No free entries in ldtbl for kxget

**説明:** バッチの VSAM プロセッサでファイルをオープン中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0520E %r No Trigger Msg found: <CicsException>

**説明:** MQ トリガーキューにトリガーメッセージがないか、メッセージが不適切な形式でした。

**対処:** トリガーメッセージの形式について MQ のマニュアルを確認します。

0521E %r Error during 'onMessage':<Exception desc>

**説明:** Java Message Service (JMS) アプリケーションの onMessage メソッドで、Java エラーが発生しています。

**対処:** 訂正して再試行します。

0522E %r Exception <JMSEException>

**説明:** MQ-JMS Bridge で JMS 例外が発生しました。

**対処:** unikixmain.log と unikixmain.err ファイルとともに、JMS のマニュアルを確認します。訂正して再試行します。

0523E %r Exception <ClassNotFoundException>

**説明:** MQ-JMS Bridge クラスローダーは、クラス名を見つけれません。

**対処:** \$KIXSYS/kix\_java の Classpath.append ファイルをチェックし、すべてのクラスパスエントリがあることを確認します。また、PPT の完全修飾クラス名が正しいことも確認します。

0524E %r Exception <ClassCastException>

**説明:** MQ-JMS Bridge は、MessageListener インタフェースを実装しないアプリケーションまたは onMessage メソッドを持たないアプリケーションを読み込めません。このメッセージは、ClassInstantiationException も持つことができます。

**対処:** アプリケーションを修正して MessageListener インタフェースを実装し、再試行します。

0525W %r Exception <FileNotFoundException>

**説明:** このメッセージは、MQJMS.properties ファイルが見つからなかったことまたは読み取れなかったことを示します。デフォルトのプロパティー値を使用します。

0526E %r Exception <IOException>

**説明:** 何らかの Java I/O 例外が発生しました。

**対処:** 前述のメッセージについては、unikixmain.log と unikixmain.err ファイルを確認して、この問題を明らかにすることができます。

0527E %r Rollback Complete Exception <Exception desc>

**説明:** メッセージ処理の失敗により、ロールバックが実行されました。

**対処:** 例外を確認し、今後同じ障害を繰り返さないために適切な対処を取ります。

0539I Java ClassPath has these entries:%s

**説明:** この情報メッセージは、Sun MTP の Java 仮想マシン (JVM) クラスローダー クラスパスのディレクトリ要素を示します。ディレクトリ要素ごとに1つのメッセージがあります。次に例を示します。

```
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 :KIX0539I Java ClassPath has these entries:
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /pkgs/MTP8.1.0/lib/dfjcics.jar
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /pkgs/MTP8.1.0/lib/transMQJMS.jar
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /pkgs/MTP8.1.0/lib/transutil.jar
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /opt/mqm/java/lib/com.ibm.mqjms.jar
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /opt/mqm/java/lib/com.ibm.mq.jar
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /opt/mqm/java/lib/jms.jar
...
```

**原因:** このメッセージは、トランザクション処理プログラム 0 が起動または再起動されるごとに出力されます。その他のすべてのトランザクション処理プログラムは、クラスパス情報を処理しますが、起動または再起動時にこのメッセージを表示しません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0540I Java LibPath has these entries:%s

**説明:** このメッセージは、Sun MTP JVM クラスローダーライブラリパスの要素を示します。ディレクトリ要素ごとに1つのメッセージがあります。次に例を示します。

```
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 :KIX0540I Java LibPath has these entries:
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /pkgs/MTP8.1.0/lib
05/05/2005 10:25:37 unikixtran0 : /opt/mqm/java/lib
```

**原因:** このメッセージは、トランザクション処理プログラム 0 が起動または再起動されるごとに出力されます。その他のすべてのトランザクション処理プログラムは、ライブラリパス情報を処理しますが、起動または再起動時にこのメッセージを表示しません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0550W DBCS not enabled (-B ignored). You must specify a conversion table file

**説明:** 変換テーブルがありません。

**対処:** unikixmain コマンドの *-A conversion-table* オプションを使用して、領域を再起動します。

0551E Invalid conversion file %s. Length=%d, expected %d.

**説明:** 指定された変換テーブルのサイズが不正です。予想されるサイズは %d、実際のファイルサイズは %d です。

**対処:** 正しいファイルで領域を起動します。

0552E Errno %d from open of %s

**説明:** 変換テーブルファイル %s をオープンできません。

**対処:** エラー番号で示されている問題を修正し、領域を再起動します。

0553E The path to the file does not exist

**説明:** 変換テーブルが存在しません。

**対処:** 正しい変換テーブルファイルを指定して、領域を起動します。

0554E Errno %d from read of %s

**説明:** 変換テーブルファイル %s の読み取り中のエラーです。

**対処:** エラー番号で示されている問題を修正し、領域を再起動します。

0555W Errno %d from close of %s

**説明:** 変換テーブルファイル %s のクローズ中のエラーです。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

0556E Errno %d from stat of %s

**説明:** 変換テーブルファイル %s の状態を取得中のエラーです。

**対処:** エラー番号で示されている問題を修正し、領域を再起動します。

0557W Both "-A" and "-B" specified in MTP startup parameters.  
Possible conflict.

**説明:** 領域を起動する場合に、unikixmain(または kixstart) に、-A および -B オプションの両方を使用したことを示す警告メッセージです。

**原因:** DBCS 変換テーブルファイルが領域の起動時に指定される場合に (-B オプションを使用)、ファイルの最初の 256 色が、シングルバイトの文字セット (SBCS) 変換文字を示します。このため、-A オプションも指定すると、DBCS ファイルから構築される SBCS 変換テーブルが上書きされます。これは、ダブルバイトとシングルバイト文字セットの不一致を発生させます。

**対処:** 領域を起動する場合は、-A または -B のどちらかを使用します。

0600E %s specifies length too long for fixed records: %d

**説明:** 固定長レコードの最大長は 4072 です。

0601E [%r] Attempt to open %s with invalid environment

**説明:** %s の値は 28 文字列です。最初の 14 文字はファイル名を表し、次の 14 文字は環境を表します。環境部分の文字列が無効です。

0602I 3270 logged in, LU name %8.8s, pid = %d

**説明:** 3270 端末が、領域に正常にログオンしたときに書き出されるメッセージです。論理ユニット (LU) 名はデバイスのシステムネットワーク体型 (SNA) のセカンダリ論理ユニット (SLU) 名、PID はクライアントのプロセス ID です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0603I Dup new logon message, sending ACK

**説明:** 重複するログオンメッセージを受け取るときに書き出されるメッセージです。このメッセージは受信時に確認されますが、それ以外は無視されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0604E [%r] Start browse failed

**説明:** VSAM カタログの読み取りに失敗しました。

**原因:** VSAM カタログが壊れている可能性があります。

**対処:** 次の行に表示されるエラーを確認します。

0605E [%r] Read next failed

**説明:** VSAM カタログの読み取りに失敗しました。

**原因:** VSAM カタログが壊れている可能性があります。

**対処:** 次の行に表示されるエラーを確認します。

0606E [%r] Invalid type %s in Catalog

**説明:** VSAM カタログのエントリが無効です。

**対処:** VSAM カタログを調査します。壊れている場合があります。

0607E [%r] Error in kxgetdar: file %s

**説明:** 指定したファイルが、VSAM カタログで見つかりませんでした。

0608E %s - User trying to log in on the same terminal

**説明:** 指定した端末で、すでにユーザーが領域にログインしています。

0609E %s - All terminals are assigned

**説明:** ユーザーは、領域にログインしようとしたが、すべての TCT エントリが使用されているのでできませんでした。

**原因:** VCT で指定されているユーザーの最大数に達しています。

**対処:** ライセンスで許可されている場合は、VCT でユーザーの数を増やし、領域を再起動します。許可されていない場合は、ユーザーの利用数を増やすためにライセンスが必要となる場合があります。

0610E %s - Unable to locate GTA

**説明:** クライアントは、Sun MTP 共有メモリーに接続できません。

0611E %s - Terminal must be at least 24x80

**説明:** ユーザーは、小さなサイズの画面またはウィンドウで端末にログインしようとしています。端末のデバイス名がメッセージの最初に表示されます。

0612E [%r] Interrupt terminated

**説明:** クライアントは、割り込みシグナルを受け取ったので終了しました。

0613E %s - User not authorized

**説明:** セキュリティー管理者は、この端末または領域からクライアントセッションを実行する権限をこのユーザーに認めていません。

**対処:** ご使用のシステムのセキュリティ管理者に確認してください。または、クライアントセッションを終了して、権限のあるユーザー ID または端末で再開します。

0614E [%r] Path %s not found

**説明:** クライアントが実行するシェルスクリプトまたはプログラムを見つけられませんでした。

0615F [%r] kxgetdm failed

0616F [%r] kxgetsm failed

**説明:** 共有メモリーへの接続に失敗しました。

0617F [%r] Network port number %d is being used; use -s option

**説明:** unikixmain コマンド行の -s オプションで指定されたポート番号 (またはデフォルトのポート番号 2001) は、すでに使用されています。

**原因:** このメッセージは、Sun MTP の終了処理で、unikixtrin プロセスが正しく終了されなかった場合に表示されることがあります。

0618F [%r] Attempt to create socket failed

**説明:** 遠隔プロセッサとの通信用ソケットの作成に失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0619I [%r] LU name (%8.8s) match; assign TCT, pid = %d

**説明:** 3270 端末の SLU 名が Sun MTP TCT に見付き、割り当てられたことを示します。pid は、3270 クライアントのプロセス ID です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0620E [%r] KXSNANODE error in kxsndts

**説明:** 3270 クライアントイニシエータとの通信中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0621E [%r] KXSNANODE kxsndm error to KXSTRTO

**説明:** プロセス間通信中に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0622E [%r] KXTRMALC/KXTRMLST LU (%s) not found in TCT

**説明:** Sun MTP TCT 内で、3270 端末の SLU 名を見つけれませんでした。

**対処:** Sun Mainframe Administration Tool (Sun MAT) を使用して、端末が領域に認識されているかどうか判断します。その領域の端末に再度ログインする必要があります。

0623E [%r] KXTRMALC/KCTRMLST error in kxsndm

**説明:** トランザクションイニシエータサーバープロセスは、3270 terminal allocated または 3270 terminal lost メッセージのどちらかを Sun MTP 開始サーバープロセスに送信しようとしてエラーを受け取りました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0624I [%r] Send KXTRMALC/KXTRMLST to start processor

**説明:** 3270 terminal allocated または 3270 terminal lost メッセージが開始サーバープロセスに送信されたことを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0625E [%r] KXTRINAVL error in kxsndts

**説明:** 領域がまだ有効であることをクライアントイニシエータに知らせるメッセージを、ソケット間をまたがって 3270 クライアントイニシエータサーバープロセスに送信しようとして、エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0626E [%r] Error in kxsndts

**説明:** ソケット間で 3270 クライアントイニシエータサーバープロセスにメッセージを送信しようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0627E [%r] Can't assign terminal, error code = %d

**説明:** 3270 端末はサインオンできませんでした。1つのエラーコードだけが定義されます。

-3, 重複ログオン ID

0628E [%r] kxsndm to KXSTRTO failed

0629E [%r] kxsndm to KXPRTQ failed

0630E [%r] kxsndm to transaction processor failed

**説明:** トランザクションイニシエータサーバープロセスは、他の Sun MTP プロセスにメッセージを送信しようとして、エラーを受け取りました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0631E DCT entry %4.4s conflicts with FCT entry of %8.8s

**説明:** 宛先管理テーブル (DCT) に定義されている一時データキューの名前を、FCT に定義されているデータセットの名前と照合できません。

**対処:** 適切なテーブルでリソース定義を修正し、領域を再起動します。

0632F Start processor's parent pid is not equal to unikixmain's pid

**説明:** Sun MTP 開始サーバープロセスの初期化時、この妥当性チェックに失敗しました。

0633F A start processor is already running

**説明:** この領域では、起動プロセッサがすでに実行中です。

0636E Attempt to clear TERMQ failed

**説明:** 端末のキューにあるメッセージの削除に失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0637E [%r] Unexpected message type %d received

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0638E [%r] Cannot send signal to client, trmid = %4.4s, pid = %d

**説明:** ローカル端末にシグナルを送信しようとした結果エラーが発生しました。または、ソケット間でメッセージを遠隔クライアントに送信しようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0640E [%r] Not enough TCT slots - increase # users in VCT

**説明:** VCT に定義されているユーザーが不足しています。

**対処:** ライセンスで認められている範囲で、VCT で指定するユーザー数を増やします。

0641E [%r] kxrcvm failed

0642E [%r] kxsndm failed

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0643E [%r] Quitting due to error

**説明:** メニュープロセッサで、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0644E [%r] Menu function %8.8s not found

**説明:** メニュープロセッサで、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0645E [%r] kxduptbl failed

**説明:** Sun MTP プロセス初期化中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0646E Segment indicator mismatch on %s

**説明:** 物理ファイルのセグメントインジケータが、予想される値と一致しません。

0647E %s - Terminal must be at least 43x80 for Model 4 support

0648E %s - Terminal must be at least 27x132 for Model 5 support

**説明:** ユーザーは、小さなサイズの画面またはウィンドウで端末にログインしようとしています。端末のデバイス名がメッセージの最初に表示されます。

0649E Dataset %s has missing %s file

**説明:** キー順データセット (KSDS) には、見当たらないデータファイルまたは索引ファイルが1つ以上あります。Sun MTP は、そのデータセットのすべてのファイルと別名のデータセットをすべてクローズしました。

**対処:** バックアップファイルから見当たらないファイルを復元します。データセットを再初期化する必要がある場合は、指定したデータセットの残りのファイルを削除します。データセットとすべての別名データセットを kixfile コマンドで再度オープンし、通常のアクセスを再開します。または、unikixbld ユーティリティーでデータセットを再構築します。

0650E File %s can't recover free block chain.

**説明:** 指定された KSDS ファイルのヘッダー情報が壊れていたため、回復できませんでした。

**原因:** このエラーは、システムのクラッシュ後に回復不可能な KSDS ファイルに発生する場合があります。結果として、そのファイルにある既存の空きブロックはリンクが解除されるので利用できません。

**対処:** 即座に対処する必要はありません。ファイルは残りの有効なデータをさらに破壊しないように継続して使用できます。新しいレコードはファイルの最後に追加されるので、ファイルサイズが増えることがあります。大量の空き領域が失われているかどうか判断するために、このファイルに kixvalfle ユーティリティーを使用して、ファイル上のリンクが解除されたブロック数をレポートできます。ファイルを再編成して失われたファイルの領域を再生する場合、ファイルへの処理を停止し、unikixbld ユーティリティーでファイルの読み込みを解除してから、再度読み込みます。kixvalfle と unikixbld ユーティリティーの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

0651E Activity count error on %s

**説明:** 物理ファイルのアクティビティーカウントが、予想される値と一致しません。

0652W File %s does not exist.File to be created

**説明:** 指定したファイルは、領域の初期化中に見つかりませんでした。

**対処:** レコードのないファイルを作成します。

0653E File %s is already open

**説明:** 指定したファイルは、前の Sun MTP セッション時にクローズされませんでした。通常これは、前のセッションが正常に終了しなかったことを意味します。

0654E Disk is full. File %s set to read only

**説明:** 指定したファイルが置かれているディスクが満杯なので、ファイルは読み取り専用マークされています。

0655E File %s is read only

**説明:** 指定したファイルは、読み取り専用モードでオープンされます。

**対処:** ファイルへのアクセス権を確認します。

0656E Disk is full. File %s not created

**説明:** 指定したファイルは、配置するディスクが満杯なので作成されませんでした。

0657E Disk is read only. File %s not created

**説明:** 指定したファイルは、配置するディスクが読み取り専用なので作成されませんでした。

**対処:** アクセス権を確認します。

0658E Not enough FCT entries

**説明:** データベースの初期化時に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0659E File %s defined in CATALOG but not in FCT, file is tagged deferred open

**説明:** 表示されているファイルは、VSAM カタログで定義されていますが、FCT には定義されていません。アクセスできません。

**対処:** FCT にファイルを定義します。

0660E File %s already exists, cannot be created

**説明:** Sun MTP は、オープンするデータセットの KSDS データと索引ファイルを作成または初期化しようとしたのですが、指定したファイルがすでに存在していました。データセットはクローズしたままです。

**対処:** データセットについて、見当たらないファイルがあるかどうか確認します。見当たらないファイルがある場合は、バックアップファイルからそれらを復元します。それ以外の場合は、そのデータセットの残りのファイルを削除します。データセットを kixfile コマンドで再度オープンし、通常のアクセスを再開します。または、unikixbld ユーティリティーでデータセットを再構築します。

0661E Dataset %s could not be opened; missing file %s

**説明:** Sun MTP は、他のセグメントは存在するが、メッセージに表示されているデータセットの KSDS スパンファイルセグメントが見当たらないことを検出しました。データセットはクローズしたままです。

**対処:** バックアップファイルから見当たらないファイルを復元します。データセットを再初期化する必要がある場合は、指定したデータセットの残りのファイルを削除します。データセットとすべての別名データセットを kixfile コマンドで再度オープンし、通常のアクセスを再開します。または、unikixbld ユーティリティーでデータセットを再構築します。

0662E Dataset %s could not be initialized; segments still exist

**説明:** スパンファイルを使用してデータセットをオープンしようとする場合、Sun MTP はこのメッセージと 0660E メッセージをレポートします。

**対処:** データセットについて、見当たらないファイルがあるかどうか確認します。ある場合は、バックアップファイルからそれらを復元します。また、データセットを再初期化する必要がある場合は、残りのファイルを削除します。データセットを kixfile コマンドで再度オープンし、通常のアクセスを再開します。または、unikixbld ユーティリティーでデータセットを再構築します。

0663E Table %s has invalid version header

**説明:** %s 変数で指示されるテーブルファイル (PPT など) に無効なバージョンヘッダーが含まれているので、テーブルファイルを処理できません。

**対処:** Sun MTP の新しいメジャーリリースに移行した場合、kixcnvtblnn ユーティリティーを使用してテーブルを変換したかどうか確認します。ここで、nn は、81 などの現在のリリースレベルです。

0664E [%r] Invalid directory: %s

**説明:** グループ管理テーブル (GCT) に指定したディレクトリ名に、値を持たない環境変数が含まれています。

0665E [%r] File open error: %s

**説明:** GCT から指定したテーブルファイルをオープンできませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0666E [%r] File read error: %s

**説明:** GCT から指定したテーブルファイルを読み取れませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0667E Duplicate DCT entry %s in file: %s

**説明:** 指定したテーブルエントリが、テーブルに二重登録されています。

0668E Unknown DCT entry %s in file: %s

**説明:** 指定した 宛先管理テーブル (DCT) エントリのエントリタイプが、ID (パーティション内)、ED (パーティション外)、または RD (遠隔) ではありません。

0669E Duplicate FCT entry %s in file: %s

**説明:** 指定したエントリが、テーブルに二重登録されています。

0670E Unknown FCT entry in file: %s

**説明:** 指定した FCT エントリのエントリタイプが FE ではありません。

0671E Duplicate JCT entry %s in file: %s

0672E Duplicate PCT entry %s in file: %s

0673E Duplicate PLT entry %s in file: %s

0674E Duplicate PPT entry %s in file: %s

0675E Duplicate SNT entry %s in file: %s

0676E Duplicate CVT entry %s in file: %s

**説明:** 指定したエントリが、テーブルに二重登録されています。

0677E [%r] Memory not available for %s

**説明:** Sun MTP は、指定したテーブルにメモリーを割り当てられませんでした。

0678E Activity count error on cluster %s, override status to deferred open

**説明:** 表示されたファイルは、前の Sun MTP セッション時に正しくクローズされませんでした。このエラーは、たとえば復元プロセスで失敗したためなど、データセットを構成するファイルが同期されていない場合に発生することもあります。

**対処:** エラーについて前のセッションのログを確認します。kixverify コマンドを使用して、アクティビティカウンタをリセットします。

0679E error accessing CATALOG, file is open to another MTP system currently or it was not closed properly

**説明:** CATALOG ファイルは、前の Sun MTP セッションで、正しくクローズされませんでした。または、現在他の領域で使用されています。

**対処:** データベースを使用している領域が他にないことを確認し、kixverify コマンドでアクティビティカウンタをリセットします。

0680W Table %s not found. Defaults directory copied

**説明:** 警告メッセージです。指定したディレクトリには、デフォルト値が使用されます。 %s が unikix.dir ディレクトリの場合、\$UNIKIX/lib/unikix.tbl ディレクトリのエントリは、\$KIXSYS/unikix.dir ディレクトリにコピーされます。これにより、管理者は元の場所にバックアップコピーを置きながら、これらのテーブルへのフルアクセスが可能です。

**対処:** 警告メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0681W Table %s not found.Defaults set

**説明:** 警告メッセージです。指定したテーブルファイルには、デフォルト値を使用します。

0682E [r%] Zero Length Memory allocation attempt for %x

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0683E [r%] Unable to allocate file for auxiliary temporary storage

**説明:** 補助一時記憶域に使用するファイルをオープンできませんでした (TEMPSTG.dta と TEMPSTG.idx)。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0684E Cannot erase file %s

**説明:** 補助一時記憶域ファイルを消去できませんでした。

**対処:** メッセージの詳細は、Sun MTP コンソールの unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルを確認します。

0687E Data set %8.8s opened for read only

**説明:** 関連するデータセットに関連付けられた 1 つ以上のファイルは、読み取り専用モードでオープンできました。このため、データセットへのアクセスは読み取り専用で、書き込みはできません。

0689E Inconsistent data in Catalog for data set %8.8s (%1d)

**説明:** Sun MTP は、指定したデータセットの構成要素を探すために必要な情報を VSAM カタログで見つけることができませんでした。エラー番号は、発生する可能性のある 4 つのエラーのうちどのエラーなのかを示します。

0692E Spanned file entry not found for data set %8.8s, non-span assumed

**説明:** 指定されたデータセットは、スパンに指定されていましたが、VSAM カタログのデータセットにはスパンファイルのエントリは見つかりませんでした。

0694E Data set %8.8s could not be opened

**説明:** 指定したデータセットをオープンできませんでした。

**対処:** メッセージの詳細は、Sun MTP コンソールの unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルを確認します。

0695W Dataset %8.8s specified as deferred open

**説明:** 表示したファイルをオープンできませんでした。

**対処:** メッセージの詳細は、Sun MTP コンソールの unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルを確認します。

0697E Cannot locate %s in Catalog

**説明:** メッセージで示された代替ファイルは、VSAM カタログにありません。

0698E File %s defined in FCT but not in Catalog

**説明:** 指定したファイルは、FCT にエントリがありますが、VSAM カタログにはありません。

**対処:** ファイルマネージャーを使用して、VSAM カタログにファイルを追加します。

0699E FCT entry doesn't refer to cluster or data set %s

**説明:** 指定したデータセットは FCT にエントリがありますが、VSAM カタログに対応するエントリがありません。

**対処:** ファイルマネージャーを使用して、VSAM カタログにファイルを追加します。

0700I MTP is processing System PLT transactions, wait!!

**説明:** 情報メッセージです。Sun MTP サーバーは、起動中です。クライアントが接続を試みてから約 10 秒経過しています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0701F MTP is still running System PLT transactions, try later!!

**説明:** クライアントが Sun MTP サーバーに接続しようとしたのですが、まだ起動中なので 10 秒以上経過しても接続できませんでした。

**対処:** 領域を停止し、kixclean と kixverify ユーティリティを実行してから再度クライアントを起動します。

0702F System is in Batch mode, non-system user cannot logon

0703F System is in Quiesce mode, non-system user cannot logon

0704F System is to be shut down, non-system user cannot logon

**説明:** Sun MTP がバッチモード、静止モード、または停止処理中の場合、システム権限を持つユーザーだけがオンラインユーザーとしてログインできます。

0705F Logofile not found

**説明:** \$UNIXIX/lib/logofile ファイルをオープンできませんでした。

**対処:** ファイルの有無とアクセス権を確認します。

0706F Invalid logofile

**説明:** \$UNIXIX/lib/logofile ファイルの形式が無効です。

0707F Serial number file not found

0708F Invalid serial number

0709F Invalid password

0710F Error reading logofile or serial number file

**説明:** ライセンスファイル \$KIXLICDIR/hostname.lic が無効です。

**対処:** このファイルが正しいディレクトリに置かれていることを確認します。新規のソフトウェア使用許可キーを入手するには、ご購入先に連絡してください。

0711F Terminal id %s is already in use

**説明:** この端末は、これまで Sun MTP に接続されていましたが切断されています。

**対処:** しばらくしてから、再度ログオンします。この状況は、解決する必要がありません。

0712F MTP is already running on %s

**説明:** ユーザーは、指定したデバイスからすでにログオンしているので、再度ログインしようとして拒否されました。

0713F MTP connection not authorized

**説明:** 領域に接続できません。

**原因:** このメッセージは、次の状態のときに表示されます。

- 領域を開始したユーザー ID とは別のユーザー ID から kixclean コマンドを実行しようとしている場合
- (unikix コマンドを使用して) unikixl クライアントを開始しようとしていますが、所有権とアクセス権で領域との通信が認められていない場合
- unikixtn プロセスを実行しようとしていて、ユーザー ID が領域を開始したユーザー ID と一致しない場合

**対処:** 領域を開始した同じユーザー ID から kixclean コマンドを発行します。これができない場合、ipcrm コマンドを使用して、終了する領域に関連付けられたままのメモリーセグメントを削除します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア インストールガイド』を参照してください。

0714F MTP/Application synchronization error: %s version <%x>, gva size <%d>

**説明:** このメッセージは、unikixmain.log ファイルに 2 回表示されます。一方のメッセージは、Sun MTP のバージョンと共有メモリーのサイズを示し、他方のメッセージはアプリケーションのバージョンと共有メモリーのサイズを示します。これらのメッセージは、通常 Sun MTP と他のアプリケーションのバージョンとの間で不整合があることを示します。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0730F Invalid -O option keyword:%s

**説明:** 無効なキーワードが、コマンド行で指定されました。

**対処:** 有効なキーワードを使用してコマンドを再実行します。現在、有効なキーワードは TDINTRA のみです。

0731F Invalid -O option usage:-O TDINTRA=[NOEMPTY|EMPTY]

**説明:** -O TDINTRA=*value* オプションに構文エラーがあります。

**対処:** エラーメッセージで表示されている正しい構文を使って、コマンドを再実行します。

0732F Invalid value:%s for -O option keyword:%s

**説明:** 無効な値が、-O オプション キーワードに提供されました。

**対処:** 指定したキーワードの有効な値を使用してコマンドを再実行します。  
TDINTRA キーワードでサポートされている値は、NOEMPTY および EMPTYです。

0740F VSAM block size of the file doesn't match the system VSAM block size

**説明:** unikixmain コマンド行に指定された -b オプションは、カタログのブロックサイズまたは VSAM ファイルのブロックサイズと一致しません。これは、VSAM カタログがあるサイズであるときに、-b オプションで指定されたサイズがこのサイズと異なり、さらにシステムファイルが他のサイズである場合に発生します。

0741W VSAM block size of %d specified doesn't match with VSAM block size of %d in CATALOG. Using the CATALOG VSAM block size.

**説明:** unikixmain コマンド行に指定された -b オプションが、VSAM カタログのブロックサイズと一致しません。VSAM カタログのブロックサイズを使用します。

0742I Using VSAM block size of %d

**説明:** システムは、表示されているブロックサイズを使用します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0743W Dataset %s VSAM block size doesn't match the system VSAM block size. Tagging the VSAM dataset closed.

**説明:** 表示されるデータセットは、システムの VSAM ブロックサイズと一致しないブロックサイズです。Sun MTP は、このデータセットをクローズし、アクセスを無効にします。

**対処:** データセットの VSAM ブロックサイズの変換については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

0744F %s option has an invalid size argument. Use 4K, 8K, 16K, or 32K

**説明:** unikixmain コマンド行に指定された -b オプションが、有効な VSAM ブロックサイズと一致しません。

**対処:** 有効なサイズの引数を選び、unikixmain コマンドを再実行します。

0745F %s option has an invalid size qualifier. Enter K for Kilobytes

**説明:** unikixmain コマンド行に指定された -b オプションは、正しいサイズを示すために、サイズ修飾子のあとに K が必要です。

0746F %s option has an invalid size argument

**説明:** unikixmain コマンド行に指定されたオプションには、サイズ (数値) の引数が必要です。

0747F Invalid VSAM catalog file version

**説明:** このメッセージは、VSAM の起動から発行され、VSAM カタログファイルがこのリリースの Sun MTP と互換性がないことを示します。

**対処:** kixcnvtcat ユーティリティーを使用して、VSAM カタログを現在のリリースに移行する必要があります。このユーティリティーについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

0752E [%r] Buffer pointer is nil

**説明:** VSAM の処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

0753E [%r] Buffer lock count already zero

**説明:** VSAM の処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。前の行にファイル名とブロック番号が表示されます。

**対処:** このエラーは、データの紛失を引き起こす場合があるため、ご購入先に報告してください。

0754E [%r] Can't find primary dataset from alternate dataset %8.8s

**説明:** 代替データセットに更新処理を実行中、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0757E No unused buffers available  
Buf Addr Datasct           Block Lock Brws Serv

**説明:** Sun MTP は、VSAM の処理中、使用できるバッファーを使い果たしました。

**対処:** VCT で指定されているバッファー数を増やします。

0760E Browse count already zero

**説明:** VSAM のブラウズ処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** 前の行にファイル名とブロック番号が表示されます。

0761E Block has lock count %d

**説明:** VSAM の処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。すべてのロックカウントは、トランザクションの終了時はゼロであるべきですが、この場合はゼロではありませんでした。

0762E Block is beyond last block %d

**説明:** VSAM の読み取り処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。ファイルが壊れている場合があります。

**対処:** 前の行にファイル名とブロック番号が表示されます。

0763E Error in wrtrecov for alloc of block

**説明:** 回復処理時に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** 前の行にファイル名とブロック番号が表示されます。

0765E Block is already in use

**説明:** VSAM の処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。ファイルが破損している可能性があります。

**対処:** 前の行にファイル名とブロック番号が表示されます。

0767E Invalid header on recovery file

**説明:** 回復ファイルの形式が無効です。

0768E Recovery file was not created by this version of MTP.

**説明:** 前の Sun MTP セッションで障害が発生した場合、同じバージョンの Sun MTP を使用してファイルを回復します。

**対処:** 前の Sun MTP のセッションが正常に終了していた場合、回復ファイルは安全に削除できます。そうでない場合は、前のバージョンを使用して Sun MTP を再起動します。これは、回復ファイルの構造が変更されているので必要です。

0769F File error %d during %s of recovery record %d

**説明:** 回復ファイルの I/O 処理が失敗しました。

0770E [%r] File %s has no fcb

**説明:** 領域の初期化時に、回復ファイルに定義されているレコードのロールバックが必要ですが、領域にすでに定義されていないファイルであることを示します。

0771E Recovery file record has invalid function value %d

**説明:** 回復処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。あるいは、回復ファイルが壊れています。

0772I Records initially restored for database = %d

**説明:** レコードカウントがゼロではない場合、Sun MTP が以前の実行で異常終了したので、一部のレコードは領域の初期化時にロールバックされました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0773I Records restored thus far for database = %d

**説明:** 緊急の再起動中、このメッセージは、VSAM データセットへの復元処理によって回復された 100 レコードごとに表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0774F Recovery server failed; commit/rollback no longer functional

**説明:** unikixrcv プロセス終了が予期せず発生しました。領域が直ちに中止し、すべてのフライトトランザクション更新にロールバックするために、再起動する必要があります。

**対処:** unikixrcv プロセスが中止になった理由を調査し、ソフトウェアのエラーが関与していると思われる場合は、ご購入先に連絡してください。領域を再起動し、フライトトランザクションにある全更新をロールバックします。

0778F [%r] Unexpected message type %d received

**説明:** Sun MTP プロセス間の通信中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0779F Recovery initialization failed (error %d)

**説明:** 回復プロセッサの初期化時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

0780I Rolling back processor %d

**説明:** トランザクションは不正終了しました。このメッセージは、ロールバックされているトランザクション処理プログラムを表示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0781I Records recovered for processor %d = %d, records locked but no recovery needed = %d

**説明:** このメッセージは、トランザクションが不正終了したために、復元されたレコードの数を示します。復元は、リソースでは利用できないため、ロックされているが回復されていないレコードの数も表示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0782I Recovery file full (processor %d)

0783I Recovery file full (processor %d is rolling back processor %d)

**説明:** 情報メッセージです。回復ファイルがほとんど満杯なので、システムで最も古いトランザクションをロールバックする必要があります。プロセッサは、メッセージを生成するプロセッサの場合 (KIX0782I) と他のプロセッサをロールバックするプロセッサ (KIX0783I) の場合があります。

**対処:** 長期実行するトランザクションによって回復ファイルが満杯になった場合は、回復ファイルを大きくすることを考慮します。バッチジョブによる回復を実行する場合に考慮すべき点については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

0784F Abort vsam during recovery

**説明:** 回復プロセッサは、VSAM データベースを更新しようとして失敗しました。

0785E Invalid update type in recovery record

**説明:** 回復ファイルで無効なエントリが見つかりました。

0786E Recovery failed for %s

**説明:** 回復処理時に Sun MTP の内部エラーが発生しました。このメッセージは、処理するファイル名を示します。ログファイル内の次のメッセージ行には、発生したエラータイプが表示されます。

0787I Before Images Statistics

Reads        %d

Writes       %d

```
Average recovery records per buffer = %f
Average recovery records per physical write = %f
Average recovery records per physical read = %f
```

**説明:** このメッセージは、Sun MTP セッションの終わりに表示され、回復ファイルの使用状況に関する統計値が表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

```
0794I Data base recovery is active
```

**説明:** Sun MTP 回復が有効です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

```
0795I Data base, Transient Data Queue and Temporary Storage
Queue recovery is NOT active
```

**説明:** Sun MTP 回復が有効ではありません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

```
0796E File error %d during %s of recovery file
```

**説明:** 回復ファイルの I/O 処理が失敗しました。

```
0797E System finish write did not take place (error %d)
```

**説明:** 回復ファイルへの最後のレコードの書き込みに失敗しました。このエラーコードは、システムコール UNIX lseek() または write() のエラーコードです。

```
0798F Recovery file protected or read only, MTP terminating
```

**説明:** 回復ファイルは、Sun MTP で書き込み可能である必要があります。

**対処:** アクセス権を訂正します。

```
0799E Recovery file completely full
```

**説明:** トランザクションの処理は、システムで最も古いトランザクションをロールバックする間、一時停止する必要があります。

```
0801D Tran %s has abended: Function %s Condition %s
```

**説明:** トランザクション %s は、異常終了しました。現在の関数は %s、条件は %s です。

```
0802D Tran %s has abended: Function %s Abcode = %s
```

**説明:** トランザクション %s は、異常終了しました。現在の関数は %s、中止コードは %s です。

0803D Tran %s has abended:Function %s Eibrcode = %s

**説明:** トランザクション %s は、異常終了しました。現在の関数は %s、Eibrcode コードは %s です。

0804D Tran %s Function %s Eibrcode = %s

**説明:** 実行トランザクションは %s、現在の関数は %s、EXEC インタフェースブ ロック (EIB) コードは %s です。

0805D EXEC CICS ABEND called with ABCODE( %s )

**説明:** ユーザーは、%s で指定された ABCODE で、EXEC CICS ABEND コマンドを 呼び出しました。

0806D Transaction %s program %s has abended

**説明:** プログラム %s を実行したトランザクション %s が不正終了しました。

0807D Transaction %s program %s

**説明:** トランザクション %s はプログラム %s を実行しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0808D Function %s CID# %s Incomplete

**説明:** ソース識別子 %s の関数 %s は、まだ実行中です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0809D Function %s CID# %s Condition %s

**説明:** ソース識別子 %s の関数 %s は、条件 %s を返しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0810D Function %s CID# %s Condition Successful

**説明:** ソース識別子 %s の関数 %s は、正常に完了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0811D Function %s CID# %s Eibrcode = %s

**説明:** ソース識別子 %s の関数 %s には、%s の EIB コードがあります。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0812D Processor is idle

**説明:** トランザクション処理プログラムには、実行するトランザクションがありま せん。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0813D Transaction is waiting for %s

**説明:** トランザクションは、指定されたリソースを待機中です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0814D Transaction %s executing CICS Application Code

**説明:** 指定されたトランザクションは、アプリケーションコードを実行中です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0815D Transaction %s executing MTP code

**説明:** 指定されたトランザクションは、Sun MTP コードを実行中です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0820T Transaction %4.4s cancelled

**説明:** デバッグモードのユーザーがトランザクションをキャンセルすると表示されます。

0821D Transaction %s executing user exit code

**説明:** Sun MTP は、特定のイベントで関数に制御を渡します。ユーザーは、これらの関数を拡張して、機能の追加や製品のカスタマイズが可能です。メッセージが表示されたとき、Sun MTP の制御はユーザーが拡張したコードに移りました。

0822E Transaction CSGU is not supported on MTP for Windows NT

**説明:** Windows で CSGU トランザクションを使用できません。SGU はサポートされていません。

**対処:** kixbms ユーティリティーを使用して、基本マッピングサポート (BMS) マクロファイルからマップファイルを生成します。

0824D Transaction %s executing either batch shell code or batch application code

**説明:** 指定したトランザクションは、バッチジョブスクリプトまたはバッチアプリケーションプログラムでアプリケーションコードを実行しています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーのアクションは必要ありません。

0860I Dataset %s Path %s Opened

**説明:** このメッセージは、領域の起動時に開かれた各データセットの名前とフルパス名を出力します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーのアクションは必要ありません。

0861E %s environment variable mismatch between batch and MTP

**説明:** 指定した環境変数で含まれているディレクトリにある、VSAM データセットにアクセスするバッチジョブを実行しようとしています。ただし、バッチジョブで環境変数に指定されたディレクトリは、領域の起動時に定義された同じ環境変数にあるディレクトリと一致しません。

**対処:** バッチジョブの環境変数で指定したディレクトリが、領域で定義されている環境変数指定のディレクトリと同じであることを確認します。

0900E Data set %8.8s

**説明:** データセット名を指定します。

**対処:** エラーを説明するメッセージを読みます。

0901E Key type invalid for data set type

**説明:** FCT で定義されているファイルタイプは、アプリケーションプログラミングインタフェース (API) のオプションに一致しません。

**対処:** データセットの正確な詳細事項については、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0902E RBA does not reference start of record

**説明:** 入力順データセット (ESDS) レコードをフェッチするために与えられた相対バイトアドレス (RBA) は、レコードの最初を参照しません。

**対処:** 正しい RBA を指定し、レコードを参照します。

0903E Data set not defined in FCT or FMU

**説明:** システムは、データセットにファイルブロックを作成できませんでした。これは、データセットの定義が FCT と VSAM カタログで一貫していない場合に起こります。

**対処:** FCT または カタログを訂正してデータセットの正しい情報を設定するには、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0904E Length of generic key is invalid

**説明:** GENERIC 処理操作の場合、キー長がゼロまたはデータセットのキーよりも長いことを示すエラーです。

**対処:** プログラムを訂正します。

0905E Key length not same as file definition

**説明:** API で指定されたキー長とシステムに定義されたキー長が異なります。

**対処:** データセットの正確な詳細事項については、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0906I Record not found in data set

**説明:** 要求されたレコードが、ファイルに存在しません。

**対処:** 情報メッセージです。正しいレコードとデータセットにアクセスしていることを確認してください。

0907I Key already exists in data set

**説明:** 挿入するように要求されたレコードが、すでにファイルにあります。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0908E RIDFLD value does not equal record key

**説明:** レコード識別フィールド (RIDFLD) の内容が、レコードのキー長と一致しません。

**対処:** RIDFLD と FROM パラメータの値が矛盾しないようにプログラムを訂正します。

0909E REWRITE requires prior READ UPDATE

**説明:** REWRITE 要求の場合、READ コマンドに UPDATE オプションを付けて発行し、レコードを配置する必要があります。

**対処:** コードを訂正して UPDATE オプションで必要なレコードを読み取り、REWRITE 要求を発行します。

0910E REWRITE cannot change ESDS record length

**説明:** ESDS レコード長は、REWRITE 要求時に変更できません。

**対処:** コードから API を削除します。

0911E Primary key value changed by REWRITE

**説明:** 主キーの値は、REWRITE 要求時に変更できません。

**対処:** 古いキーの値を持つレコードを削除し、新しいキーで WRITE 要求を発行します。

0912E Alternate access key changed by REWRITE

**説明:** REWRITE 要求で、代替キーの値が変更されています。

**対処:** レコードを削除します。代替キー位置にある新しい値で、WRITE 要求を発行します。

0913E Record length exceeds input area length

**説明:** 読み取るレコードに合わせて割り当てられたバッファが十分ではありませんでした。

**対処:** VSAM 要求に割り当てたバッファにサイズを増やします。

0914E Length required for variable records

**説明:** API で SET オプションが使用されていない場合、可変レコードには長さのパラメータが必要です。

**対処:** データセットの正確な詳細事項については、Sun MTP 管理者に連絡してください。コードを訂正し、バッファのサイズを増やします。または、SET オプションを使用するのに必要な変更を必ず行ってから SET オプションを使用します。

0915E Length incorrect for fixed records

**説明:** レコードを読み取るために割り当てられたバッファは、VSAM カタログで固定長レコードファイルについて定義されたレコード長と異なります。

**対処:** データセットの詳細については、Sun MTP 管理者に連絡してください。コードを訂正し、正しい長さのデータセットを使用します。

0917E Previous READ UPDATE requires UNLOCK

**説明:** UPDATE 要求に対する現在の READ は、同じファイルに UPDATE 要求に対する有効な READ があるので受け付けられません。

**対処:** UNLOCK、REWRITE、および DELETE コマンドを発行して前のレコードを解放し、UPDATE オプションで READ に対する要求を発行します。

0918E No browse active on file for REQID

**説明:** VSAM ブラウズ処理は、ブラウズを確立しないで REQID 値を使用して実行されました。

**対処:** REQID 値に対応するブラウズを確立し、現在の BROWSE 要求を発行します。

0920E Key sequence error on forward browse

**説明:** READNEXT 要求で、キーが以前の正常なブラウズ処理と比べて低い値に変更されました。

**対処:** RESETBR 要求を現在のキー値で発行します。

0921E Key type changed during browse

**説明:** ブラウズは、特定のファイルタイプについて確立されましたが、現在の要求でそのタイプが変更されました。

**対処:** コードを訂正し、正しいオプションを使用します。

0922E REQID is already active for file

**説明:** ブラウズは、現在の REQID 値に対してすでに確立されています。

**対処:** 新しい REQID 値を使用します。

0923I End of file on forward read

**説明:** 現在の READNEXT 処理で取得するレコードがこれ以上ありません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0924E READPREV issued with generic key

**説明:** ブラウズを GENERIC キーで確立し、READPREV を要求しました。

**対処:** この処理は認められません。

0925I Start of file on reverse read

**説明:** READPREV 要求で取得するレコードがこれ以上ありません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0926E RIDFLD changed on reverse browse

**説明:** READPREV 要求を、前のブラウズからキー値を変更して発行しました。ブラウズを代替キーで確立しました。

**対処:** この処理は認められません。

0928E Cannot delete ESDS record

**説明:** ESDS ファイルに対する DELETE 要求が発行されました。

**対処:** この処理は認められません。

0929E Alternate key already exists for data set.

**説明:** 代替キーがすでにあるファイルに対して WRITE 要求が発行されました。代替キーは、重複しないよう定義してあります。

0930I Duplicate alternate key on read

**説明:** 重複した代替キーが存在します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

0931E DELETE needs READ UPDATE if no RIDFLD

**説明:** DELETE 要求の場合、READ コマンドに UPDATE オプションを付けて発行し、レコードを配置する必要があります。または RIDFLD 値が必要です。

**対処:** コードを変更して、レコードの UPDATE に対する READ を確立してから、DELETE を発行します。または、現在の DELETE 要求に RIDFLD を指定します。

0932E Alternate index pointer not in keyed DS

**説明:** 主キーと代替キーのファイルが矛盾しています。代替キーファイルのレコードが、主キーのファイルに存在しません (またはその逆)。

**対処:** ユーザーは、領域を起動する前に主キーのファイルと代替キーファイルの誤ったバージョンを復元し、kixverify コマンドを実行した可能性があります。

0938E Record length does not include keys

**説明:** 現在の要求に使用した LENGTH オプションが、レコードのキーオフセットにキー長を加えたものよりも短いエラーです。データセットが可変タイプの場合、最も短いレコード長は、キー位置の最も大きいオフセットに代替キーを含むキー長を加えた長さになります。

**対処:** 代替ファイルを含むデータセットの詳細については、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0941E Output length exceeds max record length

**説明:** ファイルへの書き込みに使用するバッファが、このファイルに許容されている最大長を超えています。

**対処:** データセットの詳細については、Sun MTP 管理者に連絡してください。コードを訂正し、正しいバッファサイズを指定します。

0943I Data set is not open

**説明:** VSAM 要求が、ファイルのオープン時に問題のあったデータセットに対して発行されました。

**対処:** ファイルの修復については、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0945I Data set is read only

**説明:** VSAM 更新要求が、読み取り専用のデータセットに対して行われました。

**対処:** ファイルの使用可能性を確認するには、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0946E Disk is full

**説明:** ディスクが満杯なので、VSAM 要求を完了できませんでした。

**対処:** この問題を修正するには、Sun MTP 管理者またはシステム管理者に連絡してください。

0948I Data set is disabled

**説明:** データセットがこの環境 (システム、バッチ、およびオンライン) で使用できません。または、他のユーザーが排他的制御のためにロックしています。

**対処:** ファイルの使用可能性を確認するには、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0949I Data set is closed

**説明:** VSAM 要求は、クローズされたデータセットに対して行われました。

**対処:** ファイルの使用可能性を確認するには、Sun MTP 管理者に連絡してください。

0950E Queue not found

**説明:** 一時記憶域要求で使用された QUEUE の値は存在しません。

**対処:** キュー情報を取得するには、Sun MTP システムプログラマに連絡してください。

0951E Item number invalid

**説明:** 一時記憶域要求で使用された ITEM の値は存在しません。

**対処:** コードを変更し、有効な項目番号を指定します。

0963E Error in MTP internal PID table

**説明:** Sun MTP が保持している内部の PID テーブルが壊れていることを示す内部メッセージが unikixmain.log ファイルに送信されました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

0964E Use of third party RDBMS not authorized in license file

**説明:** ユーザーはサン以外のリレーショナルデータベース管理システム (RDBMS) を使用しようとしたますが、ライセンスファイルではその権限が認められていません。

**対処:** この問題を解消するには、ご購入先に連絡してください。

0965E Third party RDBMS validation check failed

**説明:** 妥当性チェックに失敗しました。

**対処:** この問題を解消するには、ご購入先に連絡してください。

0966W Temporary Storage Queue <%8.8s> has reached the maximum of %d active items.

**説明:** このメッセージは、一時記憶域キューの有効なレコード数が、最大数である 32K バイト (32,768 バイト) に達すると、unikixmain.log ファイルに書き込まれます。これらのレコードは、データを持つ START コマンドが初期化したトランザクションの結果によるものです。START コマンドに関連付けられたデータは、一時記憶域キューに保存されます。EXEC CICS START コマンドを発行したプログラムに、IOERR 条件が返されます。

---

## 1000 ~ 1499 メッセージ

1001I Connected to database %s

**説明:** 指定された外部のデータベースに正常に接続していることを、unikixmain.log ファイルに書き込みます。このメッセージは、領域が開始されるときと、新しいトランザクション処理プログラムが起動されるたびにログファイルに表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1002I Disconnected from database %s

**説明:** 指定されたデータベースとの接続がクローズされたことを、unikixmain.log ファイルに書き込みます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1003I Start of transaction in database %s

**説明:** 指定されたデータベースでのトランザクションの開始を、unikixmain.log ファイルに書き込みます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1004I End of transaction in database %s

**説明:** 指定されたデータベースでのトランザクションの終了を、unikixmain.log ファイルに書き込みます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1005I Committed transaction for database %s

**説明:** 指定されたデータベースでトランザクションがコミットされたことを、unikixmain.log ファイルに書き込みます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1006I Transaction rolled back for database %s

**説明:** 指定されたデータベースでトランザクションがロールバックされたことを、unikixmain.log ファイルに書き込みます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1097I KIXRDBMS\_BYPASS set, user exits bypassed

**説明:** KIXRDBMS\_BYPASS 環境変数が設定され、RDBMS なしで領域を起動できません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1098D User err: %60.60s

**説明:** unikixmain.log ファイルに表示されるデバッグメッセージで、データベースから返されたエラーを表示します。

1099E Generic database error %d

**説明:** データベースエラーです。

**対処:** 起動時または停止時に、エラー番号 1098D で示された実際のデータベースエラーを確認します。それ以外のすべての場合、データベースエラーはユーザー端末に表示されます。

1100E VSAM internal error, job cancelled by system

**説明:** Sun MBM が呼び出したバッチプログラムで、VSAM 内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1101E Unable to connect to MBM

**説明:** 領域が、Sun MBM への接続に失敗しました。

**対処:** バッチ管理マネージャー (BAM) ユーティリティを使用して Sun MBM を起動します。

1102E MBM not active

**説明:** 領域は、Sun MBM へのメッセージの送信に失敗しました。Sun MBM は応答しません。

**対処:** バッチ管理マネージャー (BAM) を使用して Sun MBM を起動します。

1103W Warning: me\_putmsg interrupted

**説明:** Sun MTP は、Sun MBM へのメッセージ通信に失敗しました。システムコールに割り込みが発生しました。

1104E Error on me\_putmsg tp\_errno = %d

**説明:** Sun MTP は、Sun MBM へのメッセージ通信に失敗しました。内部エラーです。

1105I MBM (Version %s) active

**説明:** Sun MBM プロセスが開始しました。メッセージには、プログラムのバージョンと日付が表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1106E me\_getmsg interrupted

**説明:** Sun MTP は、Sun MBM メッセージの読み取りに失敗しました。システムコールに割り込みが発生しました。

1107E Error on me\_getmsg tp\_errno = %d

**説明:** Sun MTP メッセージ読み取り時の Sun MBM エラーです。

1108E Error connecting MBM, me\_getmsg returns msg = %d

**説明:** Sun MBM メッセージ読み取り時の未知のエラーです。

1109E \$KIXBTCH directory should be in the same file system as \$KIXSYS

**説明:** \$KIXBTCH ディレクトリを見つけられません。

**対処:** Sun MTP では、KIXBTCH 環境変数に指定されたディレクトリが \$KIXSYS ディレクトリと同じファイルシステムにある必要があります。

1110E Error relinking batch programs, start processor owner should be root

**説明:** バッチプログラムに再接続できませんでした。

**対処:** \$UNIKIX/bin/unikixstrt ファイルの所有者をルートに変更します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア インストールガイド』を参照してください。

1111F [%r] cfindnuc failed

**説明:** Sun MTP は、内部データ領域を割り当てられませんでした。

**対処:** カーネルのパラメータを確認し、必要であれば変更します。問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

1112E [%r] Delete table failed, rcode = %d

**説明:** Sun MTP テーブルを削除しようとして失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1113E [%r] Write table failed, rcode = %d

**説明:** Sun MTP テーブルに書き込もうとして失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1114E [%r] Open table failed, rcode = %d

**説明:** Sun MTP テーブルファイルをオープンしようとして失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1115E [%r] Close table failed, rcode = %d

**説明:** Sun MTP テーブルファイルをクローズしようとして失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1116E [%r] Group %s not found in GCT, write failed

**説明:** テーブルエンタリに、GCT に定義されていないグループ名があります。エンタリはディスクに保存されません。

**対処:** GCT にグループ名を定義します。

1117E [%r] No write permission for \$KIXSYS/unikix.dir/%.7s

**説明:** \$KIXSYS/unikix.dir ディレクトリのテーブルエンタリを更新するように要求されましたが、これらのファイルへの書き込み権がありませんでした。

**対処:** ファイルへのアクセス権を変更し、コマンドを発行します。

1119E [%r] Generation of key table failed

**説明:** メニュー画面ファイルの \$UNIKIX/lib/KXMNUSCR.scr の形式が無効です。

1120E [%r] Map not found in screen file

**説明:** メニュー画面ファイルの \$UNIKIX/lib/KXMNUSCR.scr に矛盾したエントリが含まれています。

1121E [%r] Invalid number of fields in map

**説明:** メニュー画面ファイルの \$UNIKIX/lib/KXMNUSCR.scr の形式が無効です。

1122E [%r] Buffer overflow

**説明:** メニュープロセッサで、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

1123I Connecting MBM

MBM Node Dir=%s

%s

COM VERSION=%s

**説明:** 情報メッセージです。この領域は、VCT に定義されているディレクトリにインストールされている Sun MBM ノードに接続中です。

**対処:** COM VERSION は、Sun MTP 通信バージョンを示します。Sun MBM 通信バージョンを表示するには、Sun MBM コマンドの batchelp -v を使用します。Sun MTP と Sun MBM の通信バージョンには、互換性が必要です。

1124E [%r] Screen file load failed

**説明:** メニュー画面ファイルの \$UNIKIX/lib/KXMNUSCR.scr を読み込めませんでした。

1126E [%r] Menu not found in screen file

**説明:** メニュー画面ファイルの \$UNIKIX/lib/KXMNUSCR.scr に矛盾したエントリが含まれています。

1127E [%r] Fork failed on starting grandchild

**説明:** メニュープロセッサはサブプロセスを開始できませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1128E MBM: invalid time synchronization, connection refused

**説明:** 現在の日付が一致しないので、Sun MBM は Sun MTP への接続を拒否しました。

**対処:** Sun MBM BAM ユーティリティーまたは kixdate ユーティリティーを使用して、Sun MBM と Sun MTP の両方に現在の日付を設定します。

1129E [%r] SGU file load failed for %s

**説明:** メッセージで指定されたマップファイルを読み込めませんでした。

1130E [%r] Map table generation failed

**説明:** メニュープロセッサ (CMNU) が Sun MTP テーブルを生成しようとして、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** この問題を解消するには、ご購入先に連絡してください。

1131E [%r] Invalid buffer or address

**説明:** メニュー処理時に Sun MTP の内部エラーが発生しました。

1132E [%r] Error loading SGU map set file

**説明:** 要求された SGU マップセットファイルを読み込めませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1133E [%r] Error occurred during initialization of VSAM

**説明:** サブプロセスの初期化時に、VSAM ファイルをオープンしようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1134E [%r] Open error on sequential file

**説明:** 構築プロセス時に、入力ファイルまたは出力ファイルをオープンできませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1135E [%r] Memory error in child process

**説明:** 構築プロセスのサブプロセスは、システムメモリーを使い果たしました。

1136E [%r] Unknown error %d from child process

**説明:** Micro Focus 形式ファイルを読み取るために作成されたプロセスで、エラーが発生しました。

1137E [%r] Child process timed out

**説明:** 構築プロセスは、Sun MTP プロセス間の通信エラーで失敗しました。

1138E [%r] Read error on sequential file

**説明:** 構築プロセスで、入力ファイルの読み取り時にエラーが発生しました。

1139E [%r] Length error on sequential file

**説明:** 構築プロセスで、入力ファイルに無効な長さのレコードが見つかりました。

1140E [%r] Child process %d ended unexpectedly, exit = %d,  
signal = %d

**説明:** 構築プロセスのサブプロセスが異常終了しました。

1141E [%r] Child process %d ended (status = %d)

**説明:** 構築プロセスのサブプロセスが、予期しない終了コードで終了しました。

1142E [%r] Open error on input VSAM file

**説明:** 構築プロセスで、入力ファイルをオープンしようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1143E This MTP system is not configured to connect to MBM

**説明:** このメッセージは、領域が Sun MBM に接続できないことを示します。

**原因:** このメッセージは、次の理由により表示されます。

- この領域に構成されているサブシステムがありません。
- \$KIXSYS 値が不正です。たとえば、\$KIXSYS ディレクトリの名前を変更したか、場所を移動したなどの場合です。
- \$KIXSYS ディレクトリを削除して、バックアップから復元しました。これは、\$KIXSYS ディレクトリの i ノードを変更します。

**対処:** サブシステムが存在しない場合は、BAM を使用してサブシステムを Sun MBM で作成します。サブシステムが存在するが、\$KIXSYS 値が変更されている場合は、BAM を使用してサブシステムの設定を更新し、Sun MTP 領域を変更する必要があります。サブシステムの作成および Sun MTP 領域の変更方法の詳細は、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。Sun MBM とともに Sun MTP を使用する場合にこの問題が発生したときの解決法の詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』を参照してください。

1144E [%r] Disk write error %d

**説明:** 構築プロセスで、出力ファイルの書き込み時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1145E [%r] Open error on alt index output file

**説明:** 構築プロセスで作成された一時代替索引ソートファイルをオープンできませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1146E MBM internal error . . . connection aborted

**説明:** Sun MBM サブシステムテーブルは壊れています。接続は切断されています。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1147E [%r] Read error on VSAM file

**説明:** 構築プロセスで、入力ファイルの読み取り時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1148E [%r] Write error on VSAM file

**説明:** 構築プロセスで、出力ファイルの書き込み時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1149E MBM: invalid protocol number, connection aborted

**説明:** Sun MTP と Sun MBM の通信バージョンには、互換性がありません。

**対処:** Sun MBM コマンドの batchelp -v を使用して、Sun MBM 通信バージョンを表示します。

1151E [%r] Sort script %s not found

**説明:** 一時代替索引キーファイルのソートに使用するシェルスクリプトを見つけれませんでした。

1152E [%r] Close failed for alt key %d sort file

**説明:** 構築によって作成された一時代替索引ソートファイルがクローズできませんでした。

1153E %d records are out of sequence, the first one is %d

**説明:** VSAM ファイル構築プロセスへの入力用の順編成ファイルは、主キーの順でソートする必要があります。順序が正しくないレコードは、スキップされます。

1154E %d records are duplicate, the first one is %d

**説明:** VSAM ファイル構築プロセスへの入力用の順編成ファイルに、重複する主キーを含めることはできません。重複キーを含むレコードはスキップされます。

1155E [%r] Close error on VSAM file

**説明:** 構築プロセスで、出力ファイルをクローズしようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1157E [%r] Close failed for alt key %d data file

**説明:** 構築プロセスで、代替キー出力ファイルをクローズしようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1159E [%r] Write failed on alt key %d sort file

**説明:** 一時代替索引ソートファイルへの書き込み時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1160E [%r] Index level exceeds maximum allowable level of %d

**説明:** このデータセットの作成に必要な索引レベル数が、サポートする最大数を超過しています。

1162E Record number %d out of sequence

**説明:** VSAM ファイル構築プロセスへの入力用の順編成ファイルは、主キーの順でソートする必要があります。順序が正しくないレコードは、スキップされます。

1164E Embedded blanks not allowed

**説明:** 「build file」画面の「format」フィールドに、空白を埋め込むことはできません。

**対処:** 「format」フィールドに埋め込まれた空白を削除します。

1165E Illegal length for format procedure

**説明:** 「build file」画面で指定された「format procedure」の名前が長すぎます。

1166E Path name too long

**説明:** 「build file」画面で指定された「format program」のパス名が長すぎます。

1167E Format program %s does not exist

1168E Format program %s is not accessible

**説明:** 「build file」画面で指定された「format program」が存在しないか、権限がないのでアクセスできません。

1169E [%r] Build failed for %s

**説明:** 構築プロセスが失敗しました。

**対処:** メッセージの詳細は、Sun MTP コンソールの unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルを確認します。

1170E [%r] Required field not entered

**説明:** 「build file」画面に必要なフィールドの1つが入力されていません。

1171E [%r] Permission denied on input file

**説明:** 構築プロセスへの入力ファイルに、正しい読み取り権がありません。

**対処:** ファイルへのアクセス権を訂正します。

1172E [%r] Build failed

**説明:** 構築プロセスが失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1173E [%r] File out of space, record count = %d

**説明:** 出力ファイルの構築プロセスが、ディスクが満杯なので失敗しました。

1174E [%r] Function %s not found

**説明:** \$UNIKIX/lib/KXMNUSCR.scr ファイル内で、Sun MTP の内部関数を見つけられませんでした。

1177E [%r] Open failed for alt key %d data file

**説明:** 構築プロセスで、代替キー出力ファイルをオープンしようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1179E [%r] Illegal character in altdef

**説明:** ファイルマネージャーで、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

1180E [%r] Rewrite error on Catalog

**説明:** VSAM カタログファイルのレコードを書き換えようとして失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1181I Processor %d purged by processor %d

**説明:** CEMT トランザクションがタスクのページに使用されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1182F unikixbld must be started as a batch job

**説明:** unikixbld ユーティリティーは、バッチジョブとして Sun MTP に発行されたスクリプトから実行する必要があります。

**対処:** unikixbld ユーティリティーの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』と『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

1183F Directory %s does not exist

**説明:** unikixbld コマンド行で指定されたディレクトリは存在しません。

1185E Fill percentage applies only to KSDS files

**説明:** 充てん率が unikixbld コマンド行で指定されましたが、ファイルタイプが KSDS ではありません。

1186F No build argument specified

**説明:** 構築引数の指定に失敗しました。

**対処:** unikixbld コマンドで、-i、-tv、-ts、-tx、または -ta の引数の 1 つを指定する必要があります。

1187F -ta and -tx options are for KSDS files only

**説明:** unikixbld コマンドで -ta または -tx のどちらかが指定されましたが、ファイルタイプが KSDS ではありません。

**対処:** unikixbld コマンドの構文を修正します。

1188F VSAM file is read only

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された出力 VSAM データセットは読み取り専用です。

**対処:** kixfile ユーティリティを使用して、ファイルの状態を動的に変更します。

**説明:** このメッセージは、.dta および .idx の物理ファイルに対するアクセス権が読み取り専用の場合にも表示されます。

**対処:** .dta および .idx の物理ファイルに対する権限を変更します。

1190F Invalid sequential file name

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された順編成ファイル名が無効です。

**対処:** -s パラメータの名前が正しいことを確認します。

1191F File %s not found

**説明:** 指定された順編成ファイルが、Sun MTP のレポートングプロセスで見つけれませんでした。

**対処:** プロセスが検索するディレクトリにファイルが配置されていることを確認します。

1192F Access permission denied on file %s

**説明:** unikixbld コマンドで指定された順編成ファイルにアクセスできません。

**対処:** アクセス権を訂正します。

1193F [%r] Unknown error code %d

**説明:** 構築プロセスから、予期しないエラーコードが返されました。

1194F VSAM file can't have the same name as Sequential file

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された入力ファイルと出力ファイルが同じです。

**対処:** 入力ファイルと出力ファイルに互いに異なるファイル名を指定します。

1195F Invalid record format program %s

**説明:** unikixbld コマンドで指定された形式に対応するフォーマットプログラムがありません。

**対処:** \$UNIKIX/local/bin または \$UNIKIX/bin/build ディレクトリにフォーマットプログラムを配置します。

1196F unikixbld received error from UNIX stat function

**説明:** unikixbld ユーティリティーに指定された入力ファイルに対する stat() システムコールから、予期しないリターンコードを受け取りました。

**対処:** このエラーの前のエラーメッセージを確認します。

1198F [%r] Open failed on file %s

**説明:** 構築プロセス時に入力ファイルをオープンできません。

**対処:** ファイルへのアクセス権を訂正します。

1199F The input file %s is empty

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された入力ファイルにデータが含まれていません。

**対処:** 正しい入力ファイル名を入力したかどうか確認します。

1201F [%r] Write error on sequential file

**説明:** 構築プロセスで、出力ファイルの書き込み時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1202F [%r] Close error on sequential file

**説明:** 構築プロセスで、出力ファイルをクローズしようとしてエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1203F Invalid record format

**説明:** レコード形式が不正です。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1204F sortx memory specification (-M nnn) < 0 or > 999

**説明:** unikixbld コマンド行の -M オプションで渡されたメモリー引数が不正です。

**対処:** メモリーは MB 単位で示し、0 ~ 1000 の値を使用して、手順を再実行します。

1205F Abend occurred during build process

**説明:** 構築プロセスを実行できませんでした。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1206F Access permission denied on output file

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された出力ファイルにアクセスできません。

**対処:** ファイルへのアクセス権を訂正します。

1207F Out of disk space for output file

**説明:** ディスク容量が不足しているため、unikixbld コマンド行で指定された出力ファイルに書き込めません。

1208F VSAM fill is less than 0 or greater than 99

**説明:** unikixbld コマンド行で指定する充てん率は、0 と 99 の間 (0 および 99 を含む) の値である必要があります。

1209E File is open exclusively by another process

**説明:** 他のプロセスで出力のためにオープンされたファイルには、同期点が開始されるまでアクセスできません。

1210F No data set name specified

**説明:** unikixbld コマンド行で指定されたデータセット名がありません。

**対処:** データセット名をコマンド行で指定します。

1211F Sequential file name is missing

**説明:** unikixbld コマンド行の -s オプションで、順編成ファイルにファイル名が指定されませんでした。

**対処:** 順編成ファイルに名前を指定します。

1212F No -l option specified

**説明:** -l オプションを指定できませんでした。

**対処:** 複数の順編成ファイルを指定し、unikixbld コマンド行で -ts オプションを指定する場合、-l オプションも指定する必要があります。

1213F -l option is not in 999[K|M|G] format

1214F File size exceeds 2G limit

**説明:** unikixbld コマンド行の -l オプションには、ファイルサイズ引数を付ける必要があります。

**対処:** 有効な形式については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

1215F Record format is wrong or missing

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された -r オプションが無効です。

**対処:** 有効な形式については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

1216F Sequential file name <%s> longer than %d character max

**説明:** unikixbld コマンド行の -s オプションで指定された順編成ファイル名は、14 文字以下である必要があります。フルパス名は、143 文字以下である必要があります。

1217F No option specified after -t

1218E Invalid -t option

**説明:** unikixbld コマンド行の -t オプションには、a、s、v、または x を付ける必要があります。

**対処:** 有効な形式については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

1219F Invalid number of records

**説明:** unikixbld コマンド行の -v オプションに続く値は、ゼロより大きい必要があります。

**対処:** unikixbld コマンド行を変更し、バッチジョブを再実行します。

1220F -d dataset option must be specified

**説明:** unikixbld コマンド行には、-d オプションが必要です。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1221F -s seqfile option must be specified to use -tv or -ts option

**説明:** unikixbld コマンド行には、-s オプションが必要です。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1222F -r seqfile option must be specified to use -tv or -ts option

**説明:** unikixbld コマンド行には、-r オプションが必要です。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1223F -i option and -tv, -ts, -tx, -ta options are mutually exclusive

1224F -tv and -ts options are mutually exclusive

1225F -tv, -ts and -tx, -ta options are mutually exclusive

**説明:** unikixbld コマンド行で、これらのオプションを組み合わせで指定できません。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1226F Maximum 50 sequential files are allowed

**説明:** unikixbld コマンド行には、最大で 50 の順編成ファイルを指定できません。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1227F -l option must be specified to build multiple sequential files

**説明:** 複数の順編成ファイルを指定し、unikixbld のコマンド行で -ts オプションを指定する場合、-l オプションも指定する必要があります。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1228F -m option is only used for line, record or recordv format

**説明:** レコード形式がメッセージにある 3 つのうちのいずれかでなければ、unikixbld コマンド行に -m オプションは指定できません。

**対処:** unikixbld コマンドを変更し、バッチジョブを再実行します。

1229F Cannot acquire exclusive lock to VSAM file

**説明:** unikixbld コマンド行で指定した VSAM ファイルには、他のプロセスがすでに排他的にアクセスしています。

1230F Fatal error in releasing lock on VSAM file

**説明:** 構築プロセス時に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1231I Dataset %s access is also being quiesced

**説明:** 指定したデータセットへのすべての I/O アクティビティは、アクセス状態を変更する要求に回答して休止されています。データセットは、PEND 状態に設定されます。このメッセージは、同じ VSAM 物理ファイルを参照する各データセット名について表示され、そのファイルへのすべてのデータセットパスに対するアクティビティが休止されていることを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。また、unikixmain.log ファイルの中でこのメッセージを見ることができるので、アクセス変更が要求された時間を判断できます。

1232E User %d tranid %s waiting for buffer %d of dataset %s, %s file, owned by user %d

**説明:** トランザクション処理プログラム %d は、トランザクション処理プログラム %d が所有するブロック番号 %d を待機しています。バッファには、データセット %s のレコードがあり、このデータセットのタイプは %s で、トランザクション %s を実行していました。

1233E User %d tranid %s waiting for record key %s of dataset %s, owned by user %d

**説明:** トランザクション処理プログラム %d は、トランザクション処理プログラム %d が所有するレコードを待機しています。レコードには、データセット %s のキー %s があり、トランザクション %s を実行しています。

1234E User %d tranid %s waiting for queue resource %s, owned by user %d

**説明:** トランザクション処理プログラム %d は、トランザクション処理プログラム %d が所有するキュー %s を待機しています。トランザクション処理は、トランザクション %s を実行していました。

1235E Error in deadlock detection logic, user = %d, runstat = %d

**説明:** デッドロックの可能性を検出しようとして、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1236I %d records processed

**説明:** unikixbld の -v オプションで指定された処理レコード数を示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1237I Total number of records processed = %d

**説明:** 順編成ファイルから VSAM ファイルを構築する際に処理するレコード数を示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1238E Error in redundant start removal for starts with no data  
when terminal is busy, tran=%s, datalen=%d

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1239I '-k replace|noreplace' ignored when '-p reuse' is set

**説明:** unikixbld コマンド行の -k オプションが無視されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1240I '-p reuse|noreuse' and '-k replace|noreplace' invalid on  
RRDS VSAM files

**説明:** この情報メッセージは、これらの unikixbld オプションが相対レコードデータセット (RRDS) ファイルでサポートされていないことを示します。

**対処:** RRDS ファイルを使用している場合は、-p と -k オプションを外します。

1242I '-p reuse|noreuse' and '-k replace|noreplace' ignored if  
'-t v' not set

**説明:** -p と -k オプションは、-t v VSAM オプションがない unikixbld 処理では、常に無視されます。

1243F '-p reuse|noreuse' or '-k replace|noreplace' option wrong  
or missing

**説明:** オプションのスペルミスによって、unikixbld 処理が失敗しました。

**対処:** コマンドを訂正し、unikixbld ジョブを再実行します。

1244E VSAM file %s has not been defined with REUSE

**説明:** ユーザーは unikixbld コマンド行でファイルの再利用を要求していますが、VSAM ファイルの再利用属性が N に設定されており、かつ、このファイルは空ではありません。

**対処:** 処理内容によって、ファイル属性を変更する、ファイルのすべてのレコードを削除する、unikixbld コマンド行の reuse オプションを削除する、などの選択肢があります。

1245I Process signal-terminated -- Signal=%d

**説明:** プロセスは、%d シグナルなので終了しました。

**対処:** ユーザー要求 (ここで %d は値 15 です) 以外の理由で処理が強制的に中止された場合、ご購入先まで連絡し、システムログファイルを提供してください。

1246W Signal-terminating kill of batch script and child

**説明:** Sun MTP プロセッサはバッチユーティリティーに強制的な中止を求めるシグナルを送信しました。このユーティリティーはシグナルを受け取らなかったため、Sun MTP プロセッサに応答しませんでした。Sun MTP プロセッサはバッチユーティリティーを強制的に終了します。

**対処:** 内部障害です。ログを添えて、ご購入先に連絡してください。

1247E REPRO Counts: %s at %d Replace = %d

**説明:** これらの情報メッセージには、unikixbld 処理時のアクティビティーに関する要約カウントが含まれます。SYNCP メッセージは、-w オプションで決まる *nnn* レコードごとに毎回書き込まれます。ENDJB メッセージは、ジョブが正常に終了すると書き込まれます。ROLBK メッセージは、ジョブが異常終了すると書き込まれます。

1249E [%r] Step has aborted, I-O request other than CLOSE is received, current request %x

**説明:** 制御が呼び出し元に戻されました。たとえば、COBOL 実行時システムおよび VSAM は CLOSE 以外の要求を受け取りました。

1250E Dataset %s has no lock pending

**説明:** リセットを指示されたデータセットに、保留中のロック要求がないので、`kixfile -c dataset` コマンドは完了しませんでした。

**対処:** `kixfile -p` コマンドで、指示されたデータセットの状態を確認します。状態が PEND ではない場合、対処は必要ありません。

1251E Dataset %s still busy, can't reset lock pending

**説明:** 指示したデータセットに有効なトランザクションやバッチジョブの処理がありますが、`kixfile -c dataset` コマンドは完了できません。このメッセージは、1252E または 1253E メッセージのどちらか、および 1 つ以上の 1254E メッセージがあとに続きます。これらのメッセージには、このデータセットにアクセスするトランザクションに関する情報が含まれます。

**対処:** `kixdump -u` コマンドを実行します。または、Sun MAT を使用し、データセットに対して有効なトランザクションまたはバッチ (CBCH) 処理を探します。これらのトランザクションまたはバッチジョブを完了させ、`kixfile -p` コマンドでデータセットの状態を確認します。

1252E Transaction processor %d (%s) waiting: check for pid %d

**説明:** このトランザクションは、ロックの保留を設定し、前の 1251E メッセージで指示されたデータセットへのアクセスが変更されるのを待機します。指定したプロセス PID をチェックし、プロセスを特定します (たとえば、`unikixbld`、`kixfile`)。

**対処:** ありません。このメッセージは、1251E メッセージの追加情報です。次の 1254E メッセージに表示されるトランザクションやバッチジョブがデータセットに対してアクティビティーを完了してから、この待機プロセスはアクセス状態を変更して、自動的に保留中のロック要求をリセットします。

1253E No transaction currently waiting, but:

**説明:** メッセージ 1251E で指定されたデータセットの状態はロックの保留中ですが、その要求に対して責任を持つトランザクション処理プログラムがすでにありません。待機中のプロセスは強制終了され、PEND 状態だけが残っています。ただし、`kixfile -c dataset` コマンドは、そのデータセットに対して完了する必要があるアクティビティーを持つトランザクションまたはバッチジョブがあるので、完了できません。

**対処:** 次の 1254E メッセージに表示されるトランザクションまたはバッチジョブが、データセットに対するアクティビティーを完了させるまで待ちます。次に、`kixfile -c dataset` コマンドを再実行して、保留中のロックをリセットします。

1254E Transaction processor %d (%s) has dataset busy

**説明:** 1251E メッセージで指定されたデータセットには、指示されたトランザクションによるアクティビティーがあり、保留中のロック状態をリセットする前に完了させる必要があります。

**対処:** このメッセージは、1251E の追加情報です。

1255E Dataset %s waiting pid %d still alive, can't reset lock pending

**説明:** 指定されたデータセットには、指示されたプロセスからの保留中のロック要求があり、このプロセスはまだ実行中です。保留中のロックをリセットするために、`kixfile -c dataset` コマンドを使用する必要はありません。

**対処:** ありません。`kixfile -c dataset` コマンドからこのメッセージがレポートされたあともデータセットの PENDING 状態が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

1256I Dataset %s waiting pid %d has died

**説明:** 指定されたデータセットには、指示されたプロセスからの保留中のロック要求があり、このプロセスは強制的に終了または中止したばかりです。

**対処:** ありません。保留中のロック状態がリセットされるので、必要であれば、次の 1257I メッセージで確認します。

1257I Dataset %s lock pending has been reset

**説明:** `kixfile -c dataset` コマンドは残っている保留中のロック状態を正常にクリアしました。

**対処:** ありません。これは情報メッセージです。また、`unikixmain.log` ファイルにこのメッセージが書き込まれるので、保留中のロックがいつリセットされたかが判断できます。

1260F [%r] Loading of runtime %s failed

**説明:** Sun MTPは、指定した実行時システムを読み込めませんでした。

**原因:** この種類のエラーは、実行時ファイルが破損している、ライセンスに問題がある、不正な実行時バージョンなどの原因により発生します。

**対処:** `unikixmain.err` ファイルおよびコンソール情報を参照すると、この問題を解決するのに役立つ情報が含まれている場合があります。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

1300 File %s block %d

**説明:** メッセージに続く各行には、指定されたファイルとブロックで検出された問題が示されます。

1301E No unused buffers found

**説明:** すべての VSAM バッファは現在使用中です。

**対処:** VCT で指定するバッファを増やします。

1303E Unexpected key continuation  
1304E AIX reposition error  
1305E EOF instead of continuation  
1306E Unexpected continuation  
1307E Attempt to read unallocated block  
1308E Split error  
1309E Index points to spanned situation  
1310E Data length error

**説明:** VSAM データセットは壊れている可能性があります。

**対処:** unikixbld ユーティリティを使用してデータセットを作成し直します。

1312E Received UQE which is corrupted

**説明:** 同期点の終了時、変更前のイメージは回復ファイルに記録されませんでした。

**対処:** ログのコピーを添えて、ご購入先に連絡してください。

1316E Index recovery failed  
1317E AIX error  
1319E AIX error at end of file  
1320E Segment continuation error  
1321E Spanned record error  
1322E Index continuation error  
1323E Previous data error  
1324E Spanned continuation error  
1325E Cannot locate start of spanned record  
1326E Unrecoverable index error  
1327E Alternate index correction failed  
1328E Alternate index length error  
1329E Free block error  
1330E End file for index  
1331E Linkage broken  
1332E Master index delete error

**説明:** VSAM データセットは壊れている可能性があります。

**対処:** unikixbld ユーティリティを使用してデータセットを作成し直します。

1334E Deadlock detected

**説明:** 「重大な競合」状態が発生し、2 つ以上のプロセスが、互いに所有するリソースが解放されるのを待機しています。

**対処:** 最後にリソース要求を実行したプロセスは不正終了されます。

1335E Error during operation of recovery file

**説明:** 回復処理時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1336E Index insertion error

1337E Attempt to update index failed

1338E Attempt to update index out of order

**説明:** VSAM データセットは壊れている可能性があります。

**対処:** unikixbld ユーティリティを使用して、索引を再構築します。

1339E Index out of range for setting acb pointers

**説明:** VSAM の処理中に、Sun MTP の内部エラーが発生しました。

1340E [%r] Error writing to a file

**説明:** VSAM の書き込み処理が失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1341E [%r] Error reading a file

**説明:** VSAM の読み取り処理が失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

1342E Shared memory not available

**説明:** エンキューの実行中に、共有メモリーの取得に失敗しました。

1351E Index search failed

**説明:** このエラーは、VSAM データセットが壊れているか、VSAM ブロックが更新処理で使用されていたので、ブロックを 10 回取得しようとしてできなかったことを示します。

1360E Recovery file completely full

**説明:** 回復ファイルが満杯です。システムで最も古いトランザクションがロールバックされるまで、処理を待機する必要があります。

1380I [%r] Flip requested for journal %s id %2.2s

**説明:** ジャーナルファイルが最大サイズに達する前に、ジャーナルファイルのフラッシュが要求されました。

1382W [%r] Accounting file id specified in SIT (%2.2d)  
not in JCT. Defaults used

**説明:** ジャーナル管理テーブル (JCT) の SIT で指定されたアカウンティングファイル ID を定義する必要があります。

1384W [%r] SIT Accounting file id (%2.2d) shall be used  
for transaction %4.4s  
for user %14.14s

**説明:** ユーザーの SNT エントリで指定されたアカウンティングファイル ID は、JCT で定義されていません。このため、SIT にあるアカウンティングファイル ID が使用されます。

1387I [%r] Journal id %2.2d, filename %14.14s  
environment %14.14s  
opened for accounting

**説明:** メッセージには、開いているジャーナルファイルの識別子、ファイル名、環境が含まれます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1388W [%r] Journal id %2.2d, filename %14.14s,  
environment %14.14s  
has buffer size (%d) < size of accounting rec. (%d)  
No accounting is possible

**説明:** 指定されたジャーナルファイルのサイズは、アカウンティングジャーナルに不適切です。

**対処:** ジャーナルファイルのバッファサイズを 32K バイトに増やします。JCT でジャーナルのバッファサイズを設定する方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

```
1391W [%r] Journal id %2.2d, filename %14.14s,  
environment %14.14s  
    has buffer size (%d) > file size (%d)  
    Buffer size being truncated to file size
```

**説明:** ジャーナルファイルのバッファサイズが大きすぎます。

**対処:** バッファサイズをファイルサイズに合うように減らします。JCT でジャーナルのバッファサイズを設定する方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

```
1394E [%r] Accounting id %2.2d not found in JCT
```

**説明:** アカウンティング ID が JCT に見つかりませんでした。

```
1395I [%r] Capacity of accounting file %s  
    id %2.2s full
```

**説明:** 指定したアカウンティングファイルは、管理者が設定したサイズの制限値に達しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

```
1396I [%r] Passing file %s to  
    'kixjournal' for processing
```

**説明:** アカウンティングジャーナルファイルが満杯なので、代替りのファイルで置き換えられています。完成したファイルは、kixjournal スクリプトで処理されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

```
1400E Maximum number of allowed transaction processors exceeded
```

**説明:** VCT にトランザクション処理プログラムの数を入力しようとしたのですが、その値がライセンスファイルで認められているトランザクション処理プログラムの数を超えています。または、ユーザーは 224 を超える値を入力しようとした。

```
1401E Invalid key
```

**説明:** 現在の画面では無効なプログラムファンクション (PF) キーが使用されました。

```
1402E Data invalid/required
```

**説明:** 強調表示されているフィールドに無効なデータが含まれています。またはデータがありません。

**対処:** 値を入力しなかった、または不正な値を入力した場合は、ここで有効な値を入力します。

1403E File close error  
1404E File write error  
1405E File delete error  
1406E Program not JAVA type  
1407E File open error

**説明:** ファイル処理からエラーが返されました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1408W Table modified. Press PF3 if modification is only temporary.

**説明:** テーブルマネージャーがテーブルを変更しました。このメッセージは、変更が一時的なものであることを警告します。

**対処:** PF2 キーを押して変更をディスクに書き込みます。変更を保存しない場合は、PF3 キーを押します。

1409E Duplicate key field

**説明:** このエントリは、テーブルにすでにあるエントリと重複しています。

1410E Beginning of data reached

**説明:** レコードエディタに表示されたレコードは、ファイルの最初の論理レコードです。ファイルの最初のレコードで、ページを戻す PF7 キーを押しても無効です。

1411E End of data reached

**説明:** レコードエディタに表示されたレコードは、ファイルの最後の論理レコードです。ファイルの最後のレコードで、ページを進める PF8 キーを押しても無効です。

1412W Press ENTER again to delete item

**説明:** このメッセージは、データが誤って削除されないように表示されます。

**対処:** Enter キーを押す前に、表示されているデータを削除してもよいかどうかを確認します。

1413I Data modified

**説明:** 画面のデータ入力フィールドが変更されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1414I Write complete

**説明:** ディスクへの書き込みが完了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1415E Delete not allowed

**説明:** レコードの削除は、入力順データセットでは認められません。

1416I Writing output file

**説明:** システムは、現在ディスクにファイルを書き込んでいます。書き込みを完了すると、新しいメッセージが表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1417E Read error on VSAM file

**説明:** VSAM ファイルを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1418E Dataset not found in File Control Table

**説明:** 要求されたデータセットが、FCT に定義されていません。

**対処:** 綴りをチェックし、入力されたデータセットが正しいことを確認します。綴りが正しい場合、FCT をチェックしてファイルが存在していることを確認します。

1419E Dataset must be defined in Catalog

**説明:** 要求されたデータセットが、VSAM カタログに定義されていません。

**対処:** 綴りをチェックし、入力されたデータセットが正しいことを確認します。綴りが正しい場合、VSAM カタログをチェックしてファイルが存在していることを確認します。

1420E Dataset is not a primary one

**説明:** レコードエディタは、代替キーによってデータを表示しません。

**対処:** 一次データセットを指定し、要求を再度入力します。

1421E Out of local memory

**説明:** 記憶域が不足しているため、処理が終了しました。

**対処:** 現在のユーティリティを終了し、再起動してメモリーを要求し直します。

1422E Error on the write

**説明:** VSAM ファイルの書き込みからエラーが返されました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1423E Out of disk space

**説明:** ファイルシステムに領域が不足しているため、ファイルの追加処理失敗しました。

**対処:** ファイルシステムの領域の一部を消去し、もう一度処理を実行します。

1424E Start browse error on VSAM file

**説明:** VSAM のブラウズ開始でエラーが返されました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1425E Delete next error

**説明:** レコードエディタは、レコードを削除しようとしたがエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1426E Output file already exists.Press PF2 again to delete/rebuild

**説明:** 構築しようとした KSDS または RRDS ファイルはすでに存在しています。このメッセージは、誤ってファイルが上書きされることを防ぐための警告メッセージです。

**対処:** ファイルを上書きしない場合、PF3 キーを押してファイルの構築を強制的に中止します。

1427W Output file already exists. Press PF2 again to append

**説明:** 構築しようとした ESDS ファイルはすでに存在しています。このメッセージは警告メッセージです。

**対処:** ファイルにデータを追加しない場合、PF3 キーを押してファイルの構築を強制的に中止します。

1428E File not found

**説明:** 要求されたファイルがディスク上に見つかりませんでした。システムを起動してから環境変数を定義し直す場合によく発生するエラーです。この場合、Sun MTP は環境変数に以前の値を使用します。

**対処:** 環境変数が有効であることと、ファイル名が正しいことを確認します。

1429E Data file error

**説明:** レコードエディタは、VSAM または順編成ファイルを作成しようとしてエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1430E Input and output files cannot have the same names

**説明:** 構築プロセスの出力ファイル名が、入力ファイル名と同じです。

**対処:** 出力ファイル名を他の名前に変更し、要求を再度入力します。

1431E File out of space

**説明:** ファイルシステムに領域が不足しているため、ファイルの追加処理に失敗しました。

**対処:** ファイルシステムの領域の一部を消去し、もう一度処理を実行します。

1432E Read only file

**説明:** 現在のファイルは読み取り専用なので、更新できません。

**対処:** ファイルのアクセス権が正しいことと、領域を起動したユーザーがこのファイルにアクセスできることを確認します。

1433E Out of local memory

**説明:** 記憶域が不足しているため、処理が終了しました。

**対処:** 現在のユーティリティを終了し、再起動してメモリーを要求し直します。

1434E Embedded spaces not allowed in file name

**説明:** ファイル名には、後ろにスペースが続く場合を除いて、スペースを入れることはできません。

**対処:** エラーを訂正し、ファイル名を入力し直します。

1435I VSAM file is empty

**説明:** 表示したファイルにデータが存在しないことを示す情報メッセージです。

1436E Delete not allowed

**説明:** レコードの削除は、ESDS データセットでは認められません。

1437E Access permission to file denied

**説明:** レコードエディタが使用する順編成ファイルにアクセスできません。

**対処:** ファイルのアクセス権を確認し、それらを訂正してから要求を再実行します。

1438E File is full

**説明:** ファイルシステムに領域が不足しているため、ファイルの追加処理に失敗しました。

**対処:** ファイルシステムの領域の一部を消去し、もう一度処理を実行します。

1439E Key cannot be changed

**説明:** レコードの主キーの変更にレコードエディタを使用できません。

**対処:** 主キーが正しくない場合、新しいレコードを追加してから古いレコードを削除します。

1440E Invalid hex number

**説明:** 16進数で利用できる文字は、0～9とA～Fだけです。また、桁数を偶数にする必要があります。

1441E Record not found

**説明:** 要求されたレコードが見つかりませんでした。

**対処:** キーをチェックし、正しく入力したことを確認します。

1442I Write complete

**説明:** システムがディスクへの書き込みを完了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1443E No data in record

**説明:** 書き込むレコード長は、0より大きい必要があります。

1444E File empty

**説明:** ファイルのデータを必要とする処理が要求されましたが、ファイルにはデータがありません。

1445E Write error

**説明:** 書き込み処理が失敗しました。読み取り専用のファイルに書き込もうとしたか、ファイルの領域が不足していることが考えられます。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1446E Duplicate record

**説明:** 書き込み中のレコードには、ファイルにすでにあるレコードと同じキーがあります。VSAMは主キーの重複を認めません。

**対処:** キーをチェックし、正しいかどうか確認します。正しくない場合、キーを変更してレコードに書き込みます。キーが正しい場合、新しいレコードを挿入するのではなく、既存のレコードを変更します。

1447E Read previous error

**説明:** 現在のファイルをブラウズ中、レコードエディタが失敗しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1448E Invalid record length

**説明:** Sun MTP のレコード長の上限は、32576 バイトです。

**対処:** レコード長がこの数値よりも大きい場合または主キー位置にキー長を加えたものよりも小さい場合、エラーを訂正して要求を入力し直します。

1449E Maximum number of allowed users exceeded

**説明:** VCT のユーザーの最大数が、Sun MTP にライセンスされているユーザーの最大数を超過しています。

**対処:** システムごとにユーザーの最大数について、ライセンス契約を確認します。

1450I Loading SGU data file . . .

**説明:** 現在システムは、ディスクから SGU にファイルを読み込んでいます。読み込みを完了すると、新しいメッセージが表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1451I New file created . . .

**説明:** 要求されたファイルが見つからなかったため、作成していることを示す情報メッセージです。

**対処:** ファイルが存在する場合は、環境変数とファイル名を確認します。

1452E No fields defined

**説明:** このメッセージは、問題のマップにフィールドが何も定義されていないことを示します。

1453E Attribute error

**説明:** 属性識別子は、以下の場合に無効であると考えられます。

- マップ列の最後にあり、マップの幅によってフィールドの折り返しができない場合
- マップの最後の位置にある場合

1454E Cursor not in valid location in map

**説明:** SGU で定義されたマップが、全画面より小さく定義されています。カーソルは、現在マップ内の位置にありません。

**対処:** カーソルを有効な位置に移動し、再度処理を実行します。

1455E Field spans -- operation not allowed

**説明:** ある行で始まったフィールドが、次の行で終わっています。行のコピー関数と移動関数は、このタイプのフィールドには無効です。

1456E No more room on screen

**説明:** 画面には行を追加できるだけの空き領域がありません。

**対処:** 行を追加する前に、既存の行をいくつか削除します。

1457E Data exists on target line. Hit key again to overwrite

**説明:** SGU でコピー処理が実行されています。コピー先となる画面上の行は、現在占有されています。

**対処:** Enter キーを押して現在のデータを削除し、新しいデータで置き換えてください。

1458E Maximum number of maps reached

**説明:** Sun MTP は、マップセットで 1023 マップの制限があります。

**対処:** この制限に達した場合、新しいマップセットを開始する必要があります。

1459E Disk is full

**説明:** ファイルシステムに領域が不足しているため、ファイルの追加処理に失敗しました。

**対処:** ファイルシステムの領域の一部を消去し、もう一度処理を実行します。

1460E Write error

**説明:** 書き込み処理が失敗しました。読み取り専用のファイルに書き込もうとしたか、ファイルの領域が不足していることが考えられます。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1461W SGU file has been modified.Press PF3 to quit or PF2 to save

**説明:** SGU は、.sgu ファイルを変更しました。

**対処:** 変更を保存しない場合、PF3 キーを押します。変更を保存するには、PF2 キーを押して .sgu ファイルをディスクに書き込みます。

1462I Writing to disk . .

**説明:** 情報メッセージです。システムは、現在ディスクにファイルを書き込んでいます。

**対処:** 応答する必要はありません。書き込みの完了後、新しいメッセージが表示されます。

1463I Generating BMS macros . .

1464I Function complete

**説明:** 情報メッセージです。システムは現在、SGU 形式ファイルから BMS マクロを含むファイルを作成しています。BMS マクロの作成を完了後、続いてメッセージが表示されます。

1465E File not found

**説明:** 要求されたファイルをディスク上に見つけれませんでした。システムを起動してから環境変数を定義し直す場合によく発生するエラーです。この場合、Sun MTP はこの環境変数に以前の値を使用します。

**対処:** 環境変数が有効であることと、ファイル名が正しいことを確認します。

1466E Not enough memory to load file

**説明:** ファイルが大きすぎるので、許容できる仮想記憶では足りません。

**対処:** ファイルをチェックし、有効なファイル名で実行したかどうかを確認します。

1467I Generating SGU file . .

**説明:** 情報メッセージです。Sun MTP は、BMS 入力ファイルから SGU ファイルを生成しています。

1468E Key length/position definition not allowed for ESDS/RRDS file

**説明:** 定義されているファイルは、入力順データセットまたは相対レコードデータセットです。どちらのファイルタイプも、Sun MTP では代替キーを持つことはできません。

1469E Key length + position > record length or 4072

**説明:** 4,072 バイトよりも小さなレコードの場合、レコードのキーは、レコード内にすべて含まれている必要があります。レコードが 4,072 バイトより大きな場合はスパンされます。この場合、キーはレコードの最初の 4,072 バイトに置く必要があります。

1470E No such record

**説明:** ファイルの最後のレコードよりも大きなレコードが要求されました。このメッセージは、テーブル検索で要求されたエントリが見つけれられない場合にも表示されます。

**対処:** キーをチェックし、正しく入力したことを確認します。

1471E System error

**説明:** Sun MTP の内部システムエラーが発生しました。

**対処:** この問題を解消するには、ご購入先に連絡してください。

1472E File name cannot be changed

1473E Environment name cannot be changed

1474E Alternate definition cannot be changed

**説明:** 保護されたフィールドの内容を変更しようとしてしました。

1475E Invalid file name

**説明:** Sun MTP のファイル名は、最大 14 文字までです。VSAM キー順データセットのファイル名は最大 10 文字なので、これを使用する場合は、.idx または .dta 拡張子を追加できます。さらに、ファイル名は次の有効な文字だけにします。A ~ Z, 0 ~ 9。

**対処:** 有効な長さで文字でファイル名を指定します。

1476E Invalid environment name

**説明:** Sun MTP の環境名は、英数字で最大 14 文字です。

**対処:** エラーを訂正して、要求を再実行します。

1477E Invalid alternate definition

**説明:** 代替キー構成が、このファイルの構成に適合していません。

**対処:** 代替キー長を確認し、正しくオフセットを定義します。

1478E No alternate key defined

**説明:** 問題のファイルには、代替キーが定義されていません。

1479E File empty

**説明:** 表示されているファイルにはデータがありません。

**対処:** これは情報メッセージなので、対応する必要はありません。

1480E Key length may not be greater than 255

**説明:** VSAM キー長は、1 ~ 255 の値でなければなりません。

**対処:** キー長を訂正し、要求を入力し直します。

1481E Duplicate alternate key

**説明:** ファイルマネージャーの代替キー入力画面でハイライトされているキーには、画面上の他のキーと同じキー位置とキー長が割り当てられています。

1482E Key length must be defined for KSDS file

**説明:** KSDS データセットには、キー長が必要です。

**対処:** ファイルのキー長を訂正し、要求を再実行します。

1483E Invalid key name

**説明:** 入力したキー名には、無効な文字が含まれています。

**対処:** キー名を訂正し、要求を入力し直します。

1484E Record already exists

**説明:** 書き込もうとしているレコードは、すでにファイル上に存在しています。VSAM は主キーの重複を認めません。

**対処:** キーをチェックし、正しいかどうか確認します。正しくない場合は、キーを変更してレコードを書き込みます。キーが正しい場合、新しいレコードを追加するのではなく、既存のレコードを変更します。

1485E No such environment

**説明:** 入力された環境変数は定義されていません。

**対処:** 綴りをチェックし、正しい場合は、その環境変数が存在することと起動前に設定されていることを確認します。

1486E Record length may not exceed 32767

**説明:** Sun MTP のレコード長の上限は、32,767 バイトです。

**対処:** レコード長がこの 32,767 よりも大きい場合、または主キー位置にキー長を加えたものよりも小さい場合、エラーを訂正して要求を入力し直します。

1487E Record length must be defined

**説明:** KSDS データセットは、レコード長を定義する必要があります。

1488E Key length may not exceed 255

**説明:** Sun MTP のキー長の上限は 255 ですが、それを超えています。

1489E Key position may not exceed 4072

**説明:** KSDS ファイルのキーは、スパンレコードの最初のブロックに置く必要があります。Sun MTP は 4,096 バイトのブロックサイズを使用し、システム情報に 24 バイトを必要とするので、4,072 バイトをスパンレコードの最初のデータブロックに使用できます。

1490E No such record can be modified

**説明:** VSAM カタログの更新時に内部エラーが発生しました。VSAM カタログが壊れている場合があります。

1491E Alternate key not allowed for RRDS/ESDS file

**説明:** 定義されているファイルは、ESDS または RRDS のいずれかのデータセットです。どのファイルタイプも、代替キーを持つことはできません。

1492E Length of KSDS file name may not exceed 10

1493E Length of KSDS alternate keyname may not exceed 10

**説明:** Sun MTP のファイル名は、最大 14 文字までです。VSAM KSDS データセットのファイル名は最大 10 文字なので、これを使用する場合は、.idx または .dta 拡張子を追加できます。

**対処:** 10 文字以下の名前を使って、カタログでファイルの名前を変更します。

1494E Read next error

**説明:** 現在のファイルをブラウズ中、レコードエディタが失敗しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1495E Read error on input sequential file

**説明:** レコードエディタは、順編成ファイルの読み取りユーティリティからエラーを受け取りました。

**対処:** ファイルが Sun MTP でアクセス可能かどうか確認します。

1496E Input file out of sequence

**説明:** レコードエディタは、KSDS 構築処理用の入力ファイルに順序エラー状態を検出しました。ファイルは、ASCII 昇順でソートされている必要があります。

**対処:** ファイルをソートし、要求を入力し直します。

1497E System unlink error

**説明:** Sun MTP は unlink() システムコールを使用しようとしたますが、エラーが返されました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1498E System link error

**説明:** Sun MTP は link() システムコールを使用しようとしたますが、エラーが返されました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1499E Key index overflowed maximum index levels

**説明:** レコードエディタの構築関数によって構築されている索引ファイルが、テーブルサイズを超えました。

**対処:** この問題を解消するには、ご購入先に連絡してください。

---

## 1500 ～ 1999 メッセージ

1500E Invalid fill percentage

**説明:** 各ブロックに残しておく空き領域の容量を指定するレコードエディタの構築関数の充てん率は、0 ～ 99 の間である必要があります。

**対処:** エラーを訂正して、要求を再実行します。

1508E No displays for the parameters entered

**説明:** 指定したオプションに一致する有効なトランザクションがありません。

1509E Task/s requested has/have been purged

**説明:** Sun MTP は要求したタスクをパージしました。

1510E Request not allowed for Catalog

**説明:** VSAM カタログの I/O 処理が失敗しました。

**対処:** \$KIXSYS/CATALOG.dta と \$KIXSYS/CATALOG.idx をチェックし、保護されていないことを確認します。

1511W Press PF3 to confirm shutdown of MTP

**説明:** このメッセージは、領域が誤って停止されないように表示されます。

**対処:** PF3 キーを押して領域を停止するかどうか確認します。あるいは、その他の PF キーを押して、領域の実行を継続します。

1512E Too many parameters set

**説明:** COBOL コンパイラオプション文字列を作成しようとして失敗しました。Server Express はこれらの文字列に最大長を指定していますが、この要求はその長さを超過しました。

**対処:** コンパイラのデフォルトを変更し、要求に適合するようにします。

1513E Error in read sequential file process

**説明:** 順編成ファイルを読み取ろうとしてエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain.err ファイルの追加情報を確認します。

1514E Format file error

**説明:** unikixbld コマンドへの -r 引数で指定したフォーマットプロシージャーにアクセスできません、またはファイルが存在しません。

1515E Record changed but not rewritten. Press PF3 to quit

**説明:** レコードが変更されましたが、ディスクに書き込まれません。

**対処:** ファイルのこのレコードを変更しない場合は、PF3 キーを押します。

1516E Record added but not written. Press PF3 to quit

**説明:** レコードが追加されましたが、ディスクに書き込まれません。

**対処:** ファイルのこのレコードを追加しない場合は、PF3 キーを押します。

1517E No files for display

**説明:** VSAM カタログに定義されているファイルがありません。

1518E Enter name for new file

**説明:** ファイル名が必要です。

1519I Finished requested compilations

**説明:** 要求したコンパイルが完了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1520E Press relevant PF key for desired action

**説明:** 表示されているリストから機能を選択するには、関連する PF キーを押します。

1521E Error in loading SGU file

**説明:** SGU ファイルを読み込もうとして失敗しました。

**対処:** 詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1522E Invalid input for file name/environment

**説明:** 入力したファイルや環境の情報は、画面の命名規則に従っていません。

**対処:** 情報を正しく入力し直します。

1523E Environment variable not found

**説明:** 指定された環境変数が設定されていません。

**対処:** 環境変数を設定します。

1524E No pattern specified

**説明:** grep コマンドで、パターンが指定されませんでした。

**対処:** grep コマンドにパターンを指定します。

1525E Read permission denied for this file

**説明:** 必要なファイルに読み取り権がありません。

**対処:** ファイルのアクセス権を確認します。

1526E Delete permission denied for this file

**説明:** システムは、問題のファイルを削除するアクセス権を拒否しました。

**対処:** ファイルに設定されているアクセス権を確認します。アクセス権の変更が必要な場合は、Sun MTP 管理者に連絡してください。

1527E Source and target files identical

**説明:** この処理の対象となるファイルを、ソースファイルと同じにすることはできません。

1528E Target file exists.Specify 'Replace' to override

**説明:** この処理の対象となるファイルはすでに存在しています。

**対処:** 対象となるファイルを削除して置き換える場合は、replace を指定します。

1529E Write permission denied for target file

**説明:** 対象となるファイルへの書き込み権がありません。

**対処:** ファイルのアクセス権を確認し、ファイルにアクセスする場合は Sun MTP 管理者に連絡してください。

1530E Target directory does not exist

**説明:** 対象となるディレクトリを指定する環境変数が定義されていないか、環境変数の値が存在しないディレクトリを指定しています。

1531E Write permission denied for target directory

**説明:** 対象となるディレクトリへの書き込み権がありません。

**対処:** ディレクトリのアクセス権を確認し、ディレクトリにアクセスする場合は Sun MTP 管理者に連絡してください。

1532E No output file specified

**説明:** この処理の出力ファイル名を指定します。

1533E This file does not exist anymore

**説明:** 指示されたファイルは、ファイルシステムに存在しません。

1534E Output file cannot be one of input files

**説明:** 出力ファイルが、入力ファイルの 1 つと同じです。

1535E Illegal file extension for compile

**説明:** 正当なファイル拡張子は、.bms、.clt、.cl2、.cbl、.cop、.eco、および .pco です。

1536E Entry is not a directory

**説明:** 指定されたパス名は存在しないか、ディレクトリではありません。

1537E Cluster already deleted

**説明:** VSAM カタログからすでになくなっているクラスタを削除しようとした。

1538E kixasm not found

**説明:** BMS アセンブリを実行するシェルスクリプト、\$UNIX/bin/kixasm が見つかりませんでした。

**対処:** 環境変数 PATH に \$UNIX/bin ディレクトリが定義されていることを確認します。

1539E kixcob not found

**説明:** COBOL コンパイルを実行するシェルスクリプト、\$UNIX/bin/kixcob が見つかりませんでした。

**対処:** 環境変数 PATH に \$UNIX/bin ディレクトリが定義されていることを確認します。

1540E Attempt to exceed maximum field count of 1023

**説明:** BMS マップのフィールドは、最大で 1,023 です。このメッセージは、そのフィールドカウントを超過した BMS マップから SGU を生成しようとする则表示されます。

**対処:** マップを再設計します。

1541E Maximum number of allowed batch jobs exceeded

**説明:** 並列して実行するバッチジョブのストリームの数は、管理者が設定した制限値に達しました。

**対処:** 負荷が少ないときにジョブをスケジュールし直すか、管理者に連絡して制限値を増やします。

1542E Maximum number of allowed background tasks exceeded

**説明:** 並列して実行するバックグラウンドトランザクションの数は、管理者が設定した制限値に達しました。

**対処:** 負荷が少ないときにトランザクションをスケジュールし直すか、管理者に連絡して制限値を増やします。

1543E Variable length record not allowed for RRDS file

**説明:** 相対レコードデータセットでは、レコードを固定長にする必要があります。

1544E Error on file read

**説明:** テーブルのインポート中にエラーが発生しました。

1545I Read complete

**説明:** テーブルは正常にインポートされました。

**対処:** 情報メッセージです。

1546E Error in table group updating

**説明:** GCT の処理中にエラーが発生しました。

**対処:** 詳細は前のメッセージに含まれるので、unikixmain.err ファイルを確認します。

1547E USAGE: CSMT [SHUT,YES|NO]

**説明:** CSMT トランザクションを誤って入力しました。

**対処:** メッセージに表示される形式でトランザクションを入力し直します。

1548E File does not Span

**説明:** 選択したファイルはスパンファイルではありません。

1549E Batch jobs + background tasks exceed transaction processors

**説明:** バッチジョブとバックグラウンドタスクの数が、VCT でトランザクション処理プログラムの合計数に設定されている値を超えています。

**対処:** 一部のジョブをスケジュールし直すか、VCT のトランザクション処理プログラムの数を増やします。VCT の値を変更する場合、領域を再起動する必要があります。

1550E Spanned File not allowed for RRDS/ESDS file

**説明:** Sun MTP は、KSDS データセットだけをスパンファイルとしてサポートします。

1551W Press PF2 again to write GCT to disk

**説明:** GCT の更新時、1 つ以上のエラーが発生しました。

**対処:** PF2 キーを押して、GCT をディスクに書き込みます。

1552E Filename/Environment can't be empty for local files

**説明:** ファイル名または環境フィールドの値が見つかりません。

**対処:** 遠隔ファイルとして定義されていない限り、ファイルにはファイル名と環境変数を指定する必要があります。

1553I CEMT Transaction terminated

**説明:** CEMT トランザクションが終了したことを示す情報メッセージです。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

1554E Invalid CEMT option--must be INQ, SET or PERFORM

1555E Invalid INQ option

1556E Invalid SET option

1557E Invalid TASK option

1558E Invalid TRANID option

1559E Invalid FACILITY option

**説明:** CEMT に指定したオプションのどれかが無効です。

**対処:** トランザクションを訂正して、再実行します。

1560E No matches for the parameters entered

**説明:** 指定したオプションに一致する有効なトランザクションがありません。

1561I Task (s) requested have been purged

**説明:** Sun MTP は要求したタスクをパージしました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1562E Invalid PERFORM option

**説明:** CEMT トランザクションに指定したオプションのいずれかが無効です。

1564I Terminal requested has been taken out of service

**説明:** CEMT は、指定した端末を「out of service」状態に正常に設定しました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1565E Invalid TERMINAL option

**説明:** CEMT トランザクションに指定したオプションのいずれかが無効です。

1566E Terminal requested not found

**説明:** CEMT トランザクションに指定した端末が無効です。

1567E Communication with start processor failed

**説明:** 処理プログラムを起動できませんでした。

1568I Host UNIX node for this terminal is not online

**説明:** この端末の 3270 開始プロセス unikixi が、Sun MTP への接続を確立していないので、3270 端末が領域にログインできないことを示す情報メッセージです。

**対処:** unikixi プロセスを起動します。

1569I Terminal requested has been put into service

**説明:** CEMT トランザクションは、指定した端末を「in service」状態に正常に設定しました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1570E Start processor received invalid option

**説明:** 発行したオプションは無効です。

1571I Terminal requested is already in service

**説明:** 「in service」状態に設定しようとした端末は、すでにその状態です。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1572I Terminal requested is already out of service

**説明:** 「out of service」状態に設定しようとした端末は、すでにその状態です。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1573I Connection requested is already in service

**説明:** 「in service」状態に設定しようとした接続は、すでにその状態です。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1574I Connection requested is already out of service

**説明:** 「out of service」状態に設定しようとした接続は、すでにその状態です。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1575I Connection requested has been put into service

**説明:** CEMT トランザクションは、要求した接続を「in service」状態に正常に設定しました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1576I Connection requested has been taken out of service

**説明:** CEMT トランザクションは、要求した接続を「out of service」状態に正常に設定しました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1577E Connection requested not found

**説明:** CEMT トランザクションは、要求した接続を特定できません。

1578E Invalid CONNECTION option

**説明:** CEMT トランザクションに指定したオプションのどれかが無効です。

1579E Invalid PROGRAM option. Program not in PPT.

**説明:** 要求されたプログラムが、PPT に見つかりませんでした。

1580E Improper argument for trigger level in set tdqueue

**説明:** トリガーレベルは整数でなければなりません。

1581E Invalid TDQUEUE option

**説明:** SET TDQUEUE トランザクションに与えられたオプションが不正か、サポートされていないオプションです。

1582I NEWCOPY Task(s) has been processed

**説明:** CEMT SET PROGRAM *name* NEWCOPY トランザクションが成功しました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1583E Requested TDQUEUE not found in DCT

**説明:** 指定された一時データキュー (TDQ) は、宛先管理テーブル (DCT) で定義されていません。

1584I CEMT transaction terminated ShrLib = %s

**説明:** CEMT INQ PROGRAM *prog-name* LIBRARY トランザクションから返されるメッセージです。プログラムに共有オブジェクトライブラリがある場合、トランザクションは %s にあるライブラリの名前を返します。プログラムに共有オブジェクトライブラリがない場合、Sun MTP は NoSharedLibPrsnt メッセージを返します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1585I Menu Processor terminated  
1586E Menu Processor terminated due to menu file error  
1587E Menu Processor terminated due to screen file error  
1588E Menu Processor terminated due to message file error  
1589E Menu Processor terminated due to ipc error  
1590E Menu Processor terminated due to error

**説明:** Sun MTP メニュー処理プログラムが終了しました。

**対処:** エラーによって終了した場合、詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1591I Record Editor terminated  
1592E Record Editor terminated due to menu file error  
1593E Record Editor terminated due to screen file error  
1594E Record Editor terminated due to message file error  
1595E Record Editor terminated due to ipc error  
1596E Record Editor terminated due to error

**説明:** レコードエディタが終了しました。

**対処:** エラーによって終了した場合、詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1597I Screen Generator terminated  
1598E Screen Generator terminated due to menu file error  
1599E Screen Generator terminated due to screen file error  
1600E Screen Generator terminated due to message file error  
1601E Screen Generator terminated due to ipc error  
1602E Screen Generator terminated due to error

**説明:** Sun MTP Screen Generator が終了しました。

**対処:** エラーによって終了した場合、詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1603I Transaction terminated

**説明:** Sun MTP が返すエラー情報です。

1604E Length error on input file

**説明:** 入力 VSAM ファイルに、ファイルの最大レコード長よりも長いレコードが含まれています。

1605E Unexpected end of file on input

**説明:** ファイルの最後のレコードは、不完全なレコードです。

1606E Read error on input file

**説明:** 入力ファイルの読み取り時にエラーが発生しました。

**対処:** 詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1607E Fatal VSAM I/O error

**説明:** VSAM ファイルの読み取りまたは書き込み時にエラーが発生しました。

**対処:** 詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1608E Termid reserved for MTP allocation

**説明:** TCT の「Term Id」フィールドに入力した端末 ID が、Sun MTP によってすでに割り当て済みの端末 ID と一致します。

**対処:** 異なる端末 ID を選択します。

1609E Unrecognized standalone process: %4.4s

**説明:** Sun MTP は、認識されていないプロセスをフォークしようとしてしました。

**対処:** CEBR または CECI などのシステムトランザクションとともに EXEC CICS START コマンドを実行した場合に、このエラーが発生します。システムトランザクションとともに EXEC CICS START コマンドを使用することは、Sun MTP ではサポートされていません。その他のタイプの行為の結果としてこのエラーが発生した場合は、ご購入先に連絡してください。

1610E Record length may not exceed (VSAM blksize - 24) for RRDS files

**説明:** RRDS ファイルに指定したレコード長が長すぎます。

1611E Record length must be greater than zero.

**説明:** ファイルマネージャーは、ESDS ファイルにはゼロより大きなレコード長を必要とします。

**対処:** レコード長をゼロより大きくします。

1612W Cannot start %d transaction processors, license allows only %d

**説明:** VCT で多数のトランザクション処理プログラムを指定しましたが、ライセンスで認められているトランザクション処理プログラムの数を超えています。

**対処:** トランザクション処理プログラムの数を確認し、正しい値を入力し直します。

1613I Table Manager terminated

1614E Table Manager terminated due to menu file error

1615E Table Manager terminated due to screen file error

1616E Table Manager terminated due to message file error  
1617E Table Manager terminated due to ipc error  
1618E Table Manager terminated due to error

**説明:** テーブルマネージャーが終了しました。

**対処:** エラーによって終了した場合、詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1619I File Manager terminated  
1620E File Manager terminated due to menu file error  
1621E File Manager terminated due to screen file error  
1622E File Manager terminated due to message file error  
1623E File Manager terminated due to ipc error  
1624E File Manager terminated due to error

**説明:** ファイルマネージャーが終了しました。

**対処:** エラーによって終了した場合、詳細は unikixmain.err ファイルを確認します。

1625I Sign-on Table in use

**説明:** SNT を変更できるのは、一度に 1 人のユーザーだけです。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1626E INQUIRE not authorized on this resource.

**説明:** このユーザー ID が外部セキュリティーマネージャーによって権限を与えられていないリソース上 (たとえば、TASK または TERM) で、CEMT INQUIRE トランザクションまたは EXEC CICS INQUIRE コマンドが実行されました。

**対処:** このユーザー ID にこのタイプの要求を認める場合、システムのセキュリティー管理者に連絡してください。

1627E SET not authorized on this resource

**説明:** このユーザー ID が外部セキュリティーマネージャーによって権限を与えられていないリソース上 (たとえば、TASK または TERM) で、CEMT SET トランザクションまたは EXEC CICS SET コマンドが実行されました。

**対処:** このユーザー ID にこのタイプの要求を認める場合、システムのセキュリティー管理者に連絡してください。

1628E PERFORM not authorized

**説明:** このユーザー ID が外部セキュリティーマネージャーによって権限を与えられていないリソース上で、CEMT PERFORM トランザクションが実行されました。

**対処:** このユーザー ID にこのコマンドを認める場合、システムのセキュリティー管理者にお問い合わせください。

1629E conversecon called with an invalid terminal number  
(ptermnum = %d)

**説明:** conversecon 関数が、有効な範囲外の端末番号で呼び出されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

1630I Program currently in use

**説明:** トランザクションの1つがプログラムを実行中なので、そのプログラムの新しいコピーを完了できませんでした。

**対処:** プログラムを実行しているユーザーがいないときに、再度コマンドを発行します。

1631I Newcopy request executed successfully.

**説明:** リソースの新しいコピーが、メモリーで正しく更新されました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1632E Environment variable \_KIX\_RESERVED\_MAPS not set

**説明:** \_KIX\_RESERVED\_MAPS 環境変数が設定されていません。設定されている場合、それはマップのステージングディレクトリを指している必要があります。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

1633E Environment variable KIXMAPS not set

**説明:** KIXMAPS 環境変数が設定されていません。

**対処:** 変数 KIXMAPS を、マップファイルが置かれているディレクトリに設定します。

1635I Specified Mapset to \_KIX\_RESERVED\_MAPS

**説明:** 指定されたマップセットは、\$\_KIX\_RESERVED\_MAPS ステージングディレクトリにコピーされました。

1636I Unable to copy Mapset to \_KIX\_RESERVED\_MAPS

**説明:** マップセットを \$\_KIX\_RESERVED\_MAPS ディレクトリにコピーできませんでした(デフォルトのディレクトリは \$KIXSYS/\_kix\_reserved\_maps です)。このエラーは、書き込み権を持たない場合、または十分なディスク容量がない場合に生じます。

**対処:** 領域を起動したユーザーにディレクトリへのアクセス権があるか、マップセットを維持できるディスク容量があるかを確認します。

1637E Loop protection in kxtblsearch() function activated

**説明:** テーブル検索に何らかの問題があることを示します。ほとんどの場合テーブルがソートされていないことが原因です。

**対処:** テーブルがソートされていることを確認します。正しくソートされていることを確認するには、テーブルマネージャーでテーブルのエクスポートとインポートを実行する必要があります。

1638I [%r] Waiting for PLT check to complete

**説明:** 領域の起動時、定義されているものがあれば、unikixtran0 トランザクション処理プログラムは PLT プログラムを実行します。その他のトランザクション処理プログラムは、unikixtran0 処理プログラムが完了するのを待ってから継続します。このメッセージは、unikixtran0 トランザクション処理プログラムが PLT プログラムの実行を完了するまで、トランザクション処理プログラムが待機することを示します。

1639I [%r] PLT check complete

**説明:** このメッセージは、unikixtran0 が PLT プログラムの実行を終了したため、PLT プログラムの実行終了を待っていた unikixtran0 トランザクション処理プログラムが、待機状態でなくなったことを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1640E [%r] Win32 error %s

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1641E [%r] Failed to open Communications Manager port %d

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1642E [%r] Failed to send init message to Communications Manager

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1643E [%r] handle\_input failed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1644E [%r] Error %d in cm\_stream.recv method

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1645E [%r] DclTerm not found

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1646E [%r] WinAPPCASyncEx failed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1647E [%r] Failed to open atmregistry

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1648E [%r] Failed to get an attach event

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1649E [%r] The KIXSYS Environment Variable MUST be set

**説明:** KIXSYS 環境変数を設定する必要があります。

**対処:** KIXSYS 環境変数を設定してから、領域を起動します。

1650I Mapset staging directory is %s

**説明:** この領域がマップセットを使用する前に格納しておくディレクトリです。Sun MTP は、\$KIXMAPS ディレクトリからこのディレクトリにマップセットをコピーします。この行為により、すべてのトランザクション処理プログラムに同じマップセットのコピーが保証されます。マップセットの新しいバージョンは、CEMT SET PROG NEWCOPY (*mapset*) トランザクションの実行時にコピーされます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』を参照してください。

1659I ATM Server process has connected to Local LU %s

**説明:** IBM Communications Server for Windows NT をご使用の場合、Sun MTP は unikixatm と呼ばれる追加プロセスを使用します。このメッセージは、unikixatm プロセスが開始され、レポートされたローカル LU を使用するよう構成されていることを示します。

1660E [%r] Nof error %s

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1661E [%r] Failed to realloc %d bytes for PIPLIST data

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1662E [%r] atmentry not pending

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1663E [%r] Failed to open shared memory

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1664E [%r] TMPDIR not set

**説明:** TMPDIR 環境変数が設定されていません。

**対処:** 領域を起動する前に、環境変数 TMPDIR を設定する必要があります。

1665E [%r] DCLRTERM not set

**説明:** DCLRTERM 環境変数が設定されていません。

**対処:** SNA を使用する場合、領域を起動する前に DCLRTERM 環境変数を設定します。

1666E [%r] DCLRTERM must be > 0

**説明:** DCLRTERM 環境変数は、0 より大きくする必要があります。

**対処:** DCLRTERM 環境変数を 0 より大きな値にリセットします。

1667E [%r] DCLRTERM must not be > 100

**説明:** DCLRTERM 環境変数は、100 より大きくできません。

**対処:** DCLRTERM 環境変数を 1 ~ 100 の値にリセットします。

1668E [%r] Failed to unlock shared memory

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1669E [%r] Failed to lock shared memory

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1670E [%r] SNA\_SET\_IO\_NOTIFICATION failed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1671E [%r] Failed to register ESIPC acceptor

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1672E [%r] Failed to open ESIPC listener

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1673E [%r] ESIPC listenName failed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1674E [%r] ESIPC initialize failed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1675E [%r] Failed to open Communications Manager port

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1676E [%r] Failed to connect to unikixssl

**説明:** unikixsock プロセスは、unikixssl プロセスへの接続に失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1677E [%r] Invalid certificate type %c

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1678E [%r] CERTIFICATE is a required option

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1701I gethostname () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。このシステムのホスト名を取得しようとして、unikixtran からの gethostname () システムコールが失敗しました。

**対処:** ホスト名が設定されていること、およびこのシステムに指定されているホスト名と一致していることを確認します。

1702I gethostbyname () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。EHLLAPI サーバーを実行中のシステムのホスト名を返そうとして、unikixtran からの gethostbyname () システムコールが失敗しました。

**対処:** EHLLAPI サーバーを実行しているシステムが、Sun MTP を実行しているシステムに設定されていることを確認します。

1703I getservbyname () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。Sun MTP EHLLAPI ポートのサービスエントリを取得しようとして、getservbyname () システムコールが失敗しました。

**対処:** Sun MTP EHLLAPI サービスが設定されていることを確認します。

1704I socket () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。ソケットを作成しようとして、socket () システムコールが失敗しました。

**対処:** エラーメッセージを確認し、レポートされている問題を訂正します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

1705I getsockopt () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。ソケットオプションを取得しようとして、getsockopt () システムコールが失敗しました。

**対処:** 問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

1706I connect () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。unikixtran プロセッサを EHLAPI サーバープロセス (unikixeh11) に接続しようとして、connect () システムコールが失敗しました。

**対処:** エラーメッセージを確認し、取るべき対処を判断します。

1707I read () failed: %r

**説明:** 情報メッセージです。ソケットからデータを読み取ろうとして、read () システムコールが失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1708I kxsndelphi () error returned: %r

**説明:** 情報メッセージです。EHLAPI サーバープロセス (unikixeh11) にメッセージを送信しようとして、トランザクション処理プログラムが失敗しました。

**対処:** エラーメッセージを確認し、取るべき対処を判断します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

1750E Invalid PERFORM operation -- External Security not enabled

**説明:** 領域が有効な外部セキュリティーマネージャー (ESM) を持たない (\$KIXSEC=NO) 場合、PERFORM SECURITY REBUILD トランザクションを試みている端末に、このエラーが報告されます。

**対処:** アクションは必要ありません。

1775E No class specified after TRANCLASS option

**説明:** このメッセージは構文エラーです。

**対処:** TRANCLASS オプションのあとに、有効なクラス名を指定します。

1776E MAXACTIVE parameter must be all numeric digits

**説明:** MAXACTIVE 値に、数値ではない文字が検出されました。

**対処:** MAXACTIVE パラメータに数値を使用して、CEMT トランザクションを再度入力します。

1777E Invalid class name specified - greater than 8 characters

**説明:** クラス名の文字が、8 文字を超えています。

**対処:** 8 文字のクラス名で CEMT トランザクションを再度入力します。

1778E TRANCLASS class specified could not be found

**説明:** 指定されたクラス名をシステムに見つけれませんでした。

**対処:** TCT をチェックし、トランザクションクラスの名前を確認します。次に、CEMT トランザクションを入力し直します。

1779E USE class specified could not be found

**説明:** USE 節で指定されたクラス名をシステムで見つけれませんでした。

**対処:** TCT をチェックし、トランザクションクラスの名前を確認します。次に、CEMT トランザクションを入力し直します。

1780E TRANCLASS and target classes are the same - no action performed

**説明:** TRANCLASS と USE 節で指定するクラスはそれぞれ一意である必要があります。

**対処:** 一意のクラスを使用して、CEMT トランザクションを入力し直します。

1781E Not enough transaction servers available to add to class

**説明:** 再構成を実行できません。

**対処:** CEMT INQUIRE TRANCLASS トランザクションまたは kixdump -St コマンドを使用して、現在のクラス構成を判断します。

1782I Transaction class reconfiguration message(s) sent

**説明:** トランザクションクラスを再構成するメッセージが正しく送信されました。これは、再構成を実行するメッセージが適切なトランザクション処理プログラムに送信されたことを示すだけで、再構成に成功したことを示してはいません。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

1783E Failure sending KXRECONFIG message

**説明:** このシステムエラーメッセージは、unikixmain.log ファイルに表示されます。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

1784E No MAXACTIVE option or value specified

**説明:** この構文エラーは、MAXACTIVE パラメータまたは MAXACTIVE 値のいずれかが指定されていないので、コマンドが不完全であることを示します。

**対処:** CEMT トランザクションを入力し直します。

1785E Invalid MAXACTIVE option specified

**説明:** ユーザーは無効な MAXACTIVE オプションを入力しました。

**対処:** 綴りをチェックします。

1786E MAXACTIVE option length error

**説明:** MAXACTIVE の長さの値が 9 文字を超えていました。

**対処:** 正しい値で、CEMT トランザクションを入力し直します。

1787E KIXADMIN/KIXDFLT must have at least one transaction server

**説明:** KIXADMIN または KIXDFLT クラスに、トランザクション処理プログラムを割り当てないまま再構成を実行しようとした。

1788E No class name specified after the USE token

**説明:** USE オプションのあとに、クラス名を指定する必要があります。

**対処:** CEMT トランザクションを入力し直します。

1789E There are no transaction classes defined

**説明:** このメッセージは、ユーザーがトランザクションクラス関数を実行しようとしたが、その領域に定義されているユーザートランザクションクラスがない場合に表示されます。

1799E Communication with EPT processor failed.

**説明:** パーティション外トランザクションキュープロセッサとの送受信に失敗しました。

1800E Queue name must not exceed 4 characters.

**説明:** DCT のキュー名は、4 文字を超えることはできません。

**対処:** キュー名を 4 文字以下に変更します。キューには、ALL という名前は付けません。

1801E Same option specified more than once

**説明:** CEMT SET TDQUEUE トランザクションでは、OPEN/CLOSED または ENABLED/DISABLED のどのオプションも、2 回以上指定できません。

1802E Conflicting options specified simultaneously

**説明:** CEMT SET TDQUEUE トランザクションでは、OPEN と CLOSED、または ENABLE と DISABLE オプションを同時に指定できません。

1803E Open/Closed only applicable to extrapartition queues

**説明:** OPEN または CLOSED オプションが、パーティション外トランザクションキュー以外のキューに対して要求されました。

1804E Open/Closed set for a disabled queue or Disabled set for open

**説明:** キューのオープンまたはクローズを実行するには、まずそのキューが使用可能である必要があります。

1805I TDQUEUE options changed

**説明:** 要求された TDQUEUE オプションは、正常に変更されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1806E Triggerlevel must be between 0 and 32767

**説明:** 不正なトリガーレベルを入力しました。

**対処:** CEMT SET トランザクションは、0 ~ 32,767 のトリガーレベルで実行します。

1807E Triggerlevel specified for an extrapartition queue

**説明:** トリガーレベルは、パーティション内キューについてだけ指定できます。

1808E Options open/closed and disabled not allowed simultaneously

**説明:** 同じ CEMT SET TDQUEUE トランザクションには、DISABLED と同時に OPEN または CLOSED オプションを指定できません。OPEN および CLOSED オプションは、使用不可のキューに適用できません。

**対処:** あるトランザクションで、使用可能なキューをクローズしてから、もう1つのトランザクションで使用不可にします。あるいは、キューを使用可能にしてから、オープンします。

1850E The data associated with the START could not be removed: tranid = <%4.4s>, termid = <%4.4s>

**説明:** このメッセージは、EXEC CICS START によって実行されたトランザクションのトランザクション ID と端末 ID を示します。Sun MTP は、このトランザクションがその RETRIEVE を完了する前に異常終了したか、または RETRIEVE を完了していないかのどちらかを検出しました。この状態が発生すると、Sun MTP が START トランザクションに関連付けられているデータの削除を試みます。エラーは、この START データが処理をクリーンアップしている間に発生しました。

**対処:** 内部 Sun MTP エラーです。kixsnap ユーティリティを実行して、この情報のスナップショットを取得し、ご購入先に送信してください。

1851E Unexpected recoverable START encountered in cleanup processing: tranid = <%4.4s>, termid = <%4.4s>, reqid = <%4.4s>

**説明:** Sun MTPは、START トランザクションがその RETRIEVE の完了前に異常終了したか、または START トランザクションが RETRIEVE をまだ完了していないかのどちらかを検出しました。さらに、Sun MTP は、START トランザクションが回復可能であることも検出しました。回復可能な START は、クリーンアップの対象とはならず、Sun MTP による復元可能な START のクリーンアップ処理は実行されませんでした。トランザクション ID、端末 ID、リクエスト ID が表示されま

**対処:** 内部 Sun MTP エラーです。kixsnap ユーティリティーを実行して、この情報のスナップショットを取得し、ご購入先に送信してください。

1900E Empty file %s. Skipping it.

**説明:** unikixbld コマンド行で指定された外部タイプの入力ファイル (たとえば、mfrcd および順編成) にレコードが含まれていないので、スキップされます。

**対処:** 設計上の理由で入力ファイルが空の場合は、その理由を調査します。

1901I No records in %s.

**説明:** unikixbld コマンドで指定された VSAM 入力ファイルにレコードが含まれていません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1903E The last owner (pid=%d) of mutex %d died while holding it

**説明:** unikixmain または unikxtran プロセスのレポートが、その PID がメモリ違反のために終了したことを示さない場合、外部の要求によって終了した可能性があります。

**対処:** unikixmain または unikxtran プロセスがメモリ違反をレポートする場合は、ご購入先に連絡してください。

1904E The last owner (pid=%d) of mutex %d unmapped while holding it

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーは、ダンプを添えてご購入先に連絡してください。

1905E The last owner (pid=%d) of mutex %d left the mutex unrecoverable

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーは、ダンプを添えてご購入先に連絡してください。

1906E [%r] mutex\_init for semaphore [%d] returned EFAULT for wrong address [%x]

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーは、ダンプを添えてご購入先に連絡してください。

1907E [%r] in mutex\_init, value specified by type is invalid for semaphore [%d]

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーは、ダンプを添えてご購入先に連絡してください。

1908I Initialize %d blocks for VSAM Recovery File: VSAM blocksize=%d

**説明:** 回復ファイルの初期化が開始されていることを示します (VSAM recov\_file)。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1912I Still initializing Recover File: %d of %d Blocks Completed

**説明:** このメッセージは、50,000 ブロックごとに表示され、回復ファイルの初期化が進行中であることを示します。このメッセージは、50,000 ブロック以上の回復ファイルで表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1913I Recovery File finally initialized: %d of %d Blocks Completed

**説明:** 回復ファイルの初期化が完了したことを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1920I Batch termination err [x] [y] [z]

**説明:** さまざまな終了エラーコードが記録されています。

x: エラーまたはプロセス ID 番号を示す -1

y: プロセスの終了状態またはゼロ (0)

z: プロセスを終了したシグナル番号またはゼロ (0)

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1921I SIGSTOP batch pid1=nnn

**説明:** 指定した PID を停止するシグナルが送信されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1922I SIGTERM batch pid2=nnn

**説明:** 指定した PID を終了するシグナルが送信されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1923I Sleep 1 sec Waiting Batch pid2=nnn termination

**説明:** 指定した PID を終了する要求が送信されました。このメッセージは、プロセスは終了要求を受け取ったことをまだ確認していないことを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1924I Unable to create .thr\_lck[n] -- may have batch problems

**説明:** ファイルを作成できませんでした。バッチジョブを実行するときに、あとで問題になる場合があります。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1925I Permissions err .thr\_lck[n] -- may have batch problems

**説明:** ファイルには正しいアクセス権がありません。バッチジョブを実行するときに、あとで問題になる場合があります。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1926I Batch resource contention OPENerr - process nnn abandoned

**説明:** 単一スレッドのジョブステップで使用する外部ファイルの .thr\_lck[n] が利用できません。おそらく、削除されているかアクセス権が変更されています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1927I Batch resource contention LOCKerr - process nnn abandoned

**説明:** このメッセージは、あるステップが実行中で、次のステップが同じジョブストリーム内で発行される場合に表示されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

1928I ProcessID = nnn -- Abandoned

**説明:** PID は、要求によってまたは異常な状態のために強制的に中止されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

---

## 2000 ～ 2499 メッセージ

2000E Code page for CVT template %s %s %s is invalid

**説明:** データ変換テンプレートテーブル (CVT) テンプレートに指定されたコードページが無効です。

**対処:** 現在、有効な値は 1 だけです。

2001E Intel field for CVT template %s %s %s has an invalid length

**説明:** CVT テンプレートの「Intel」フィールドに指定された長さが無効です。

**対処:** 「Intel」フィールドに入力できる長さは、2 または 4 だけです。

2002E Field type for CVT template %s %s %s is invalid

**説明:** CVT テンプレートのエントリタイプが無効です。

**対処:** エントリタイプには、次の値のみを指定できます。C、I、O、R、B、P、D、および 50～80。

2003E Missing default template for CVT entry type %s, resource %s

**説明:** 比較テンプレートが CVT に定義されましたが、デフォルトのテンプレートが見当たりません。

**対処:** デフォルトのテンプレートもリソースに定義します。

2004E Repeat field cannot be the last entry for CVT template %s %s %s

**説明:** リpeatフィールドの CVT エントリは、リソースの最終エントリとして定義できません。

**対処:** 追加のエントリを定義して、リpeatフィールド内で変換する必要があるフィールドを指定する必要があります。

2010E Synclevel 1 syncpoint to system %s failed

**説明:** 同期レベル 1 の文字コード化同期点を使用するコミットが失敗しました。このトランザクションのローカルリソースはコミットされましたが、遠隔システム上の回復可能なリソースがバックアウトされている可能性があります。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認し、必要な対処を取ります。

2020T Length 0 received by transformer 4

**説明:** 機能シッフ変換プログラム 4 がデータを受け取りませんでした。この失敗は通常、遠隔システムでのミラートランザクションの不正終了が原因で起こります。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認し、必要な対処を行います。

2021T ISC Function Ship failed, communication error

**説明:** 機能シッフを遠隔領域に実行しようとしたましたが、通信エラーによって失敗しました。

**対処:** LU6.2 コマンドが失敗した特定のエラーについて、メッセージが Sun MTP ログファイルにレポートされます。メッセージにある対処を実行し、問題を解決します。

2022T Unexpected synclevel 1 syncpoint message received

**説明:** 同期レベル 1 の文字コード化同期点を使用するコミットまたはバックアウトが失敗しました。受信したメッセージが無効でした。このトランザクションのローカルリソースはバックアウトされましたが、遠隔システム上の回復可能なリソースがコミットされている可能性があります。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認し、必要な対処を行います。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2023T Invalid function passed to transformer

**説明:** 機能シッフ変換プログラム 1 に渡された EXEC CICS コマンドが、有効な機能シッフコマンドではありません。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2024T Unacceptable FMH type received

**説明:** 機能シッフ変換プログラム 4 は、有効な機能管理ヘッダー (FMH) を含まない遠隔領域から応答を受け取りました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2025T Request/Response mismatch in transformer

**説明:** 機能シッフ変換プログラム 4 は、変換プログラム 1 で送信された機能と一致しない機能について、遠隔領域から応答を受け取りました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2026T Invalid argument number in transformer

**説明:** 機能シップ変換プログラム 4 は、予期しない引数を構文解析しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2027T ISC unable to allocate LU62 buffer

**説明:** ISC が使用するメモリーを取得しようとして失敗しました。

**対処:** unikixmain -M tvalue オプションに、より大きな値を使用して領域を再起動します。

2028W Filename and environment ignored for remote file %s

**説明:** FCT の「SysId」フィールドがファイルを遠隔にするように設定されていますが、「Filename」と「Environment」フィールドも設定されています。これらのフィールドは無視されます。

**対処:** ファイルが遠隔の場合、対処は必要ありません。このメッセージを表示しないようにするには、FCT の「Filename」と「Environment」フィールドの値を削除します。ファイルがローカルの場合、「FCT Remote File」画面の「SysId」フィールドの値を削除します。

2030I ISC opened for local LU %s host %s Service name %

**説明:** Sun MTP ISC プロセッサまたは Sun MTP トランザクション処理プログラムのどちらかと LU6.2 サーバーの接続がオープンしています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2031E ISC lu62\_register\_tp failed returned %d return code %x

**説明:** このトランザクションに対して、インバウンドの ISC 接続を受け入れることができるように、Sun MTP ISC プロセッサは LU6.2 サーバーでトランザクションを登録しようとして失敗しました。lu62\_register\_tp コマンドは失敗しました。

**対処:** 『BrxLU62 Programmer's Reference Manual』でリターンコードを探し、システムメッセージから LU6.2 サーバーコードを実行しているシステムを確認します。このエラーは、Brixton LU6.2 構成ファイルの定義に問題がある場合に発生します。

2032E ISC lu62\_listen failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP ISC プロセッサは、インバウンドの ISC 接続を待機しようとして失敗しましたが、lu62\_listen コマンドは失敗しました。

**対処:** LU6.2 サーバーコードを実行するシステムと遠隔領域の両方のシステムメッセージを確認します。このエラーからは、Sun MTP は実行していますが、LU6.2 サーバーが停止していることが考えられます。

2034E ISC close for local LU %s host %s

**説明:** Sun MTP ISC プロセッサと LU6.2 サーバーの接続が、lu62\_listen または lu62\_register\_tp コマンドのどちらかによるエラーによってクローズされました。

**対処:** lu62\_listen または lu62\_register\_tp コマンドが失敗した理由を確認します。ISC プロセッサは、30 秒間隔で自動的に LU6.2 サーバーへの接続を再オープンします。

2035E ISC configuration failure multiple local LUs defined

**説明:** TCT の「System Entries」テーブルの定義の「LU Name」または「Host Name」フィールドに、異なるエントリが含まれています。特定の Sun MTP 領域で、すべての「LU Name」と「Host Name」エントリは同じである必要があります。

**対処:** TCT の「System Entries」テーブルで、「LU Name」と「Host Name」エントリを変更します。Sun MTP 領域はこの状態で実行し続けますが、ISC 通信ができません。

2036E ISC open failed for local LU %s return code %x

**説明:** Sun MTP ISC プロセッサは LU6.2 サーバーへの接続をオープンしようとしたのですが、lu62\_open コマンドは失敗しました。

**対処:** 『BrxLU62 Programmer's Reference Manual』でリターンコードを探し、システムメッセージから LU6.2 サーバーコードを実行しているシステムを確認します。このエラーは、Brixton LU6.2 構成ファイルの定義に問題がある場合、または LU6.2 サーバーが実行中ではない場合に発生します。

2037E ISC attach received from system %4.4s which is out of service

**説明:** TCT の「System Entries」テーブルで「out of service」と定義されたシステムから、ISC インバウンド要求を受け取りました。

**対処:** TCT の「System Entries」テーブルで遠隔システムエントリの「In Svc」フィールドを編集して、値を Y に変更します。領域を再起動し、変更を有効にします。

2038E ISC transaction %s invalid for schedule from system %s to terminal %s

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を受け取りました。Sun MTP が起動する必要があるトランザクションが、PCT に見つかりませんでした。

**対処:** PCT にトランザクションを追加します。

2039E ISC terminal %s invalid for schedule from system %s with transaction %s

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を受け取りました。トランザクションを開始するために Sun MTP を必要とする端末が、起動時にログオンされていませんでした。

**対処:** 端末にログオンしてから、トランザクションを実行します。

2040E ISC schedule to system %s failed. Connection not defined in the TCT

**説明:** Sun MTP によって、遠隔スケジュール要求が行なわれましたが、要求の送信先システムが、TCT の「System Entries」テーブルで定義されていませんでした。

**対処:** そのシステムを TCT の「System Entries」テーブルに追加します。

2041E ISC remote schedule failed. Connection to LU62 server is not open

**説明:** Sun MTP によって遠隔スケジュール要求が行なわれましたが、トランザクション処理プログラムは LU6.2 サーバーに接続していませんでした。

**対処:** LU6.2 サーバーコードを実行するシステムのシステムメッセージを確認します。このエラーは、LU6.2 サーバーが実行していない場合、または定義に誤りがある場合に発生します。また、エラーメッセージ 2036E についても Sun MTP ログファイルを確認し、接続がオープンしていない理由を判断します。

2042E ISC schedule to system %s failed. Response was invalid

**説明:** Sun MTP が遠隔スケジュール要求を送信しましたが、遠隔システムから返された応答が無効なフォーマットでした。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2043E ISC schedule to system %s failed. Terminal %s was invalid

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を送信しました。遠隔システムは、指定された端末が無効なことをレポートしました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。

2044E ISC schedule to system %s failed. Transaction %s invalid

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を送信しました。遠隔システムは、トランザクションが無効なことをレポートしました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。

2045E ISC schedule to system %s failed.

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を送信しました。遠隔システムは、エラーが発生したことをレポートしました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。

2046E ISC schedule to system %s failed. System is shutting down

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を送信しました。遠隔システムは、システムが停止していることをレポートしました。

**対処:** システムが実行中であるときに、要求を再実行します。

2047E ISC schedule to system %s failed. Unknown response code

**説明:** Sun MTP は遠隔スケジュール要求を送信しました。遠隔システムは未知の応答コードをレポートしました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2048E ISC TR for terminal %s from system %s failed. Terminal already assigned

**説明:** Sun MTP はトランザクション経路指定要求を受け取りました。同じ端末 ID を持つ端末がすでに Sun MTP にログインしています。

**対処:** 遠隔システムの他の端末を使用するか、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』の説明にあるように、TCT の「3270 Devices」テーブルに、「Term ID」、「SysID」、および「RmtNam」フィールドを使用して遠隔端末を定義します。

2049E ISC schedule to system %s failed. Connection is out of service

**説明:** Sun MTP によって遠隔スケジュール要求が行なわれましたが、要求の送信先システムが「out of service」状態でした。

**対処:** TCT の「System Entries」テーブルの「In Svc」フィールドを Y に変更するか、CEMT トランザクションを使用して接続を「in service」にします。

2050E ISC allocate failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は LU6.2 セッションを割り当てようとしたましたが、allocate コマンドが失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2051E ISC send\_data failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は LU6.2 データを遠隔システムに送信しようとしたのですが、send\_data コマンドが失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2052E ISC receive\_and\_wait failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は LU6.2 データを遠隔システムから受信しようとしたのですが、lu62\_mc\_receive\_and\_wait コマンドが失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2053E ISC deallocate failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は LU6.2 セッションを解放しようとしたのですが、deallocate コマンドが失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2054E ISC acquire\_connection failed returned %d return code %x

**説明:** 遠隔領域に接続するための EXEC CICS SET CONNECTION 要求が失敗しました。

**対処:** Sun MTP を実行しているユーザー ID が /etc/group ファイルの sna グループのメンバーであることを確認します。

2055E ISC release\_connection failed returned %d return code %x

**説明:** 遠隔領域の接続を解放するための EXEC CICS SET CONNECTION 要求が失敗しました。

**対処:** Sun MTP を実行しているユーザー ID が /etc/group ファイルの sna グループのメンバーであることを確認します。

2056E ISC Terminal Not Found exit failed.Partner LU alias %s not in IST

**説明:** EXEC CICS START 要求で指定された端末のローカル領域を探そうとして、Sun MTP は 端末非存在状態の出口を使用しました。端末は Sun MTP のローカルではありませんでした。端末非存在状態の出口は、TCT の「System Entries」テーブルで定義されていないパートナー LU 別名を返しました。

**対処:** パートナー LU 別名を持つエントリを TCT の「System Entries」テーブルに追加します。または、TCT の「System Entries」テーブルに定義されているパートナー LU 別名を返す端末非存在状態の出口を使用します。

2057E ISC lu62\_mc\_flush failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は LU6.2 データを遠隔システムにフラッシュしようとしたが、flush コマンドが失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2058E ISC Read for TS queue %s failed during LOCALQ START processing error %d

**説明:** Sun MTP は、一時記憶域を読み取ってローカルキューの開始要求を遠隔システムに送信しようとしたが、読み取りに失敗しました。

**対処:** Sun MTP コンソールで unikixmain.err、unikixmain.dbg、および unikixmain.log ファイルの内容を調べて、より詳細な情報を含む既出のメッセージを確認します。

2060E ISC LOCALQ START requests to system %s failed

**説明:** Sun MTP は、ローカルキューの開始要求を遠隔システムに送信しようとしたが、送信に失敗しました。

**対処:** このメッセージの前に、メッセージ 201E が表示されます。メッセージにある対処を確認します。

2061E ISC FS of START request returned invalid REQID length of %d

**説明:** Sun MTP は、START 要求を遠隔システムに機能シッしました。遠隔システムから返された REQID 値は、無効な長さです。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2062E ISC FS command request received from remote system is unknown

**説明:** Sun MTP は、無効なグループまたはファンクションコードを持つインバウンド機能シッ要求を受け取りました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2063E ISC FS mirror program failed to take syncpoint

**説明:** Sun MTP は、インバウンド ISC 機能シッ要求の同期点を完了しようとしたが、受け取った文字コード化同期レベル 1 の同期点要求が無効でした。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2064E ISC Invalid outbound DPL request function code 0x%2.2x

**説明:** 分散プログラムリンク (DPL) 要求に渡されたファンクションコードは、LINK 要求のものではありませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2065E ISC Invalid inbound DPL request option byte 0x%2.2x

**説明:** 受け取ったインバウンド DPL 要求には、必須の PROGRAM オプションビットセットがありませんでした。

**対処:** Sun MTP は、遠隔システムから受け取ったメッセージを unikixmain.dbg デバッグファイルにダンプします。このファイルを保存し、エラーをご購入先に報告してください。

2066E ISC Invalid inbound FC %s request

**説明:** 受け取ったインバウンドファイル制御 (FC) 要求には、必須の FILE オプションビットセットがありませんでした。

**対処:** Sun MTP は、遠隔システムから受け取ったメッセージを unikixmain.dbg デバッグファイルにダンプします。このファイルを保存し、エラーをご購入先に報告してください。

2067E ISC Invalid inbound FC request function code 0x%2.2x

**説明:** インバウンド FC 要求で渡されたファンクションコードが無効でした。

**対処:** Sun MTP は、遠隔システムから受け取ったメッセージを unikixmain.dbg デバッグファイルにダンプします。このファイルを保存し、エラーをご購入先に報告してください。

2068E ISC Invalid inbound FC %s request argument type 0x%2.2x

**説明:** インバウンド FC 要求が渡した引数が無効でした。

**対処:** Sun MTP は、遠隔システムから受け取ったメッセージを unikixmain.dbg デバッグファイルにダンプします。このファイルを保存し、エラーをご購入先に報告してください。

2069E ISC Invalid inbound DPL request argument type 0x%2.2x

**説明:** インバウンド DPL 要求が渡した引数が無効でした。

**対処:** Sun MTP は、遠隔システムから受け取ったメッセージを unikixmain.dbg デバッグファイルにダンプします。このファイルを保存し、エラーをご購入先に報告してください。

2070E ISC No session TCT entries available

**説明:** インバウンド LU6.2 要求が開始されましたが、空きセッション接続がないので使用できませんでした。要求はタイムアウトしました。

**対処:** BRXRTERM 環境変数を使用して、利用できるインバウンドセッションを増やします。

2071E ISC Schedule from system %4.4s failed. Communication failure

**説明:** 遠隔システムからの遠隔スケジュール要求を実行しましたが、receive コマンドが失敗しました。

**対処:** A2052E エラーが、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2072E ISC Transaction Route from system %4.4s failed. Communication failure

**説明:** 遠隔システムからのトランザクション経路指定要求を実行しましたが、receive コマンドが失敗しました。

**対処:** A2052E エラーが、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2073E ISC Function Ship from system %4.4s failed. Communication failure

**説明:** ミラーが遠隔システムからの要求を実行していましたが、receive\_and\_wait または send\_data コマンドのどちらかが失敗しました。

**対処:** KIX2052E または KIX2051E エラーが、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2074E ISC Remote Schedule to system %4.4s failed. Communication failure

**説明:** 遠隔スケジューラは遠隔システムに要求を送信しようとしたのですが、receive\_and\_wait または send\_data コマンドのどちらかが失敗しました。

**対処:** KIX2052E または KIX2051E エラーが、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2100E ISC accept failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は遠隔システムからインバウンド ISC 要求を受け取り、会話を受け入れようとしたましたが、accept コマンドが失敗しました。

**原因:** このエラーは、accept コマンドを実行する前に遠隔システムからの ISC 要求がタイムアウトした場合に発生することがあります。実行しているシステムのトランザクション処理プログラムが少なすぎる場合に、この問題が発生します。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2101E ISC Invalid transaction route message convid=%d command=0x%2.2x

**説明:** Sun MTP トランザクション処理プログラム側での期待値は、インバウンドトランザクション経路指定か遠隔スケジューラ要求でしたが、受け取ったデータは無効でした。

**対処:** トランザクションが分散トランザクション処理 (DTP) トランザクションの場合、「APPC」フィールドが PCT で (y に) 正しく設定されていることを確認します。これが DTP トランザクションではない場合、遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2102E ISC No entries available to install terminal %s from system %s

**説明:** インバウンドトランザクション経路指定を受け取りましたが、Sun MTP は、TCT に利用可能なエントリがないので、端末の定義をインストールするのに失敗しました。

**対処:** TCT エントリが利用できる場合、要求を再実行します。

2104E ISC Transaction Route to system lu62 deallocate failed convid = %d

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定が失敗しました。

**対処:** このメッセージの前に LU6.2 エラーメッセージが表示されるので、そのメッセージにある対処に従います。

2105E ISC Expecting transaction Route command=0x%2.2x

**説明:** Sun MTP は、遠隔領域と会話状態にあり、トランザクション経路指定要求を待っていましたが、受け取ったデータは無効でした。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2106E ISC Expecting transaction Route relay command=0x%2.2x

**説明:** Sun MTP は、遠隔領域と会話状態にあり、トランザクション経路指定要求を待っていましたが、受け取ったデータは無効でした。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2110E ISC No shared memory is available for commarea of length %d

**説明:** Sun MTP は、トランザクション経路指定中に通信領域 (commarea) を受け取りましたが、記憶域を割り当てられませんでした。

**対処:** unikixmain -M t オプションに、より大きな値を使用して領域を再起動します。

2114E ISC TR return code %4.4x from remote system

**説明:** 遠隔システムは、トランザクション経路指定データで不正なリターンコードを送信しました。

**対処:** 遠隔領域のシステムメッセージを確認します。問題の説明が見つからない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2116E ISC delete failed for TR terminal %s system %s remote name %s

**説明:** 遠隔システムは、端末または端末グループを削除するために、遠隔削除 (REMDL) または遠隔リセット (REMRESET) 要求を送信しました。要求は、端末が使用中なので失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2117E ISC Transaction Route failed, connection to LU6.2 server not open

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を実行しようとしたのですが、トランザクション処理プログラムから LU6.2 サーバーへの接続がオープンしていませんでした。

**対処:** システムメッセージから、LU6.2 サーバーコードを実行しているシステムを確認します。このエラーは、LU6.2 サーバーが実行していない場合、または定義に誤りがある場合に発生します。

2118E ISC Transaction Route to system %s failed, connection not defined

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を実行しようとしたのですが、要求の送信先システムが TCT の「System Entries」テーブルに定義されていませんでした。

**対処:** そのシステムを TCT の「System Entries」テーブルに追加します。

2119E ISC Transaction Route to system %s failed, connection out of service

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を実行しようとしたのですが、要求の受信先システムが「out of service」状態でした。

**対処:** TCT の「System Entries」テーブルの「In Svc」フィールドを Y に変更するか、CEMT トランザクションを使用して接続を「in service」にします。

2120E ISC Transaction Route to system %s failed, BMS paging not supported

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定が実行されたので、遠隔システムは BMS ページングデータを返しました。Sun MTP は、BMS ページのアウトバウンドトランザクション経路指定をサポートしていません。

**対処:** BMS ページングを使用する遠隔プログラムからコードを削除します。

2121E ISC TR TCTUA received %d greater than TCTUA buffer size %d

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定が実行されたので、遠隔システムは TCT ユーザー領域 (TCTUA) 値を返しましたが、この領域が Sun MTP 上の端末の TCTUA を超えています。TCTUA は無視されます。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2122E ISC Transaction %s cannot be routed, system %s is unavailable

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を実行しようとしたのですが、要求の送信先システムが利用できませんでした。

**対処:** このメッセージの前には、KIX2050E メッセージが表示されます。メッセージにある対処に従います。

2123E ISC Transaction Route to system %s failed, communication error

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定が実行されましたが、会話で LU6.2 エラーが発生しました。

**対処:** このメッセージの前には、KIX2051E または KIX2052E メッセージが表示されます。メッセージにある対処に従います。

2124I ISC CRTE The routing session to system %4.4s has been started

**説明:** 経路指定トランザクション (CRTE) がこの端末で開始されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2125E ISC CRTE PF keys cannot be used to start transactions on other systems

**説明:** 経路指定トランザクション (CRTE) を使用しているとき、トランザクションは PF キーで開始できません。

**対処:** トランザクション名を入力し、Enter キーを押してトランザクションを開始します。

2126E ISC CRTE Format of CRTE command is CRTE SYSID=XXXX

**説明:** 経路指定トランザクション (CRTE) を開始するには、CRTE SYSID=XXXX の形式でコマンドを入力します。XXXX はトランザクションを経路指定する際に使用する接続を指します。

**対処:** 正しい形式で要求を再実行します。

2127E ISC CRTE No transaction specified. Please try again

**説明:** 経路指定トランザクション (CRTE) セッション時に、トランザクションを入力する前に Enter キーを押しました。

**対処:** トランザクション識別子を入力し、Enter キーを押してトランザクションを開始します。

2128E ISC CRTE failed, connection to LU62 server not open.  
Route terminated

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を経路指定トランザクション (CRTE) を使用して実行しようとしたましたが、トランザクション処理プログラムから LU6.2 サーバーへの接続がオープンしていませんでした。

**原因:** このエラーは、LU6.2 サーバーが実行していない場合、または定義に誤りがある場合に発生します。

**対処:** システムメッセージから、LU6.2 サーバーコードを実行しているシステムを確認します。

2129E ISC CRTE failed, system %4.4s is not defined. Route terminated

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を経路指定トランザクション (CRTE) を使用して実行しようとしたますが、要求の送信先システムが TCT の「System Entries」テーブルに定義されていませんでした。

**対処:** そのシステムを TCT の「System Entries」テーブルに追加します。

2130E ISC CRTE failed, system %4.4s is out of service. Route terminated

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を経路指定トランザクション (CRTE) を使用して実行しようとしたますが、要求の受信先システムが「out of service」状態でした。

**対処:** TCT の「System Entries」テーブルの「In Svc」フィールドを Y に変更するか、CEMT トランザクションを使用して接続を「in service」にします。

2131E ISC CRTE failed, system %4.4s is unavailable. Route terminated

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定を経路指定トランザクション (CRTE) を使用して実行しようとしたますが、要求の受信先システムが利用できませんでした。

**対処:** このメッセージの前には、KIX2050E メッセージが表示されます。メッセージにある対処に従います。

2132E ISC CRTE failed, communication error with system %4.4s. Route terminated

**説明:** アウトバウンドトランザクション経路指定が経路指定トランザクション (CRTE) を使用して実行されましたが、会話で LU6.2 エラーが発生しました。

**対処:** このメッセージの前には、2051E または 2052E メッセージが表示されません。メッセージにある対処に従います。

2133I ISC CRTE routing session to system %4.4s terminated

**説明:** 経路指定トランザクション (CRTE) を使用したアウトバウンドトランザクション経路指定セッションが、CANCEL コマンドによって終了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2134E ISC TR Allocated terminal %s from system %s is out of service

**説明:** Sun MTP は、トランザクション経路指定要求を受け取りましたが、経路指定要求で指定された端末が「out of service」状態でした。

**対処:** TCT-3270 の「Devices」テーブルの「In Svc」フィールドを Y に変更するか、CEMT トランザクションを使用して端末を「in service」にします。

2135E ISC TR Terminal %s from system %s is not defined as shippable

**説明:** Sun MTP は、トランザクション経路指定要求を受け取りましたが、経路指定要求で指定された端末は Sun MTP の定義もシップ可能の定義もされていませんでした。

**対処:** 遠隔システムの端末にシップ可能属性を追加するか、TCT の「3270 Devices」テーブルを使用して Sun MTP に端末を定義します。

2136E ISC TR Failed to obtain BPS for terminal %s from system %s

**説明:** Sun MTP は、トランザクション経路指定要求を受け取りましたが、経路指定要求で指定された端末が Sun MTP に定義されていませんでした。このため、構築パラメータセット (BPS) 要求が遠隔システムに送信されました。BPS のインストールは、会話での LU6.2 エラーによって失敗しました。

**対処:** このメッセージの前には、KIX2051E または KIX2052E メッセージが表示されます。メッセージにある対処に従います。

2137E ISC Request for transaction %4.4s from system %4.4s rejected

**説明:** インバウンド ISC 要求が、前のエラーによって拒否されました。

**対処:** このメッセージの前には、KIX0370E または KIX0479E メッセージが表示されます。メッセージにある対処に従います。

2138E ISC System transaction CRSR received an invalid message

**説明:** 遠隔スケジューラトランザクション (CRSR) が無効なメッセージを受け取りました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2139E ISC Invalid TR parameter at index %d for argument 0x%2.2x

**説明:** 遠隔システムから受け取ったトランザクション経路指定要求を実行していましたが、Sun MTP はそれを復号化できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2140E ISC Expected TCP FMH-5, received bytes %2.2x %2.2x %2.2x

**説明:** TCP サーバーからのインバウンド要求を受け取りましたが、Sun MTP はデータストリームに FMH-5 の値を見つけられなかったためその要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2142E ISC Pip data present on TCP FMH-5, byte is %2.2x

**説明:** TCP サーバーからインバウンド要求を受け取りましたが、Sun MTP は FMH-5 にサポートされていない プログラム初期化パラメータ (PIP) データが含まれていることを検出したので、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2143E ISC Conversation received on TCP FMH-5 is not mapped, byte is %2.2x

**説明:** TCP サーバーからインバウンド要求を受け取りましたが、Sun MTP は 会話 が FMH-5 パラメータで mapped のとおりに定義されていないことを検出したので、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2144E ISC Invalid synclevel received on TCP FMH-5, byte is %2.2x

**説明:** TCP サーバーからインバウンド要求を受け取りましたが、Sun MTP は FMH-5 パラメータに会話に無効な同期化レベルが含まれていることを検出したので、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2145E ISC End of FMH-5 expected on TCP FMH-5, pointers %p and %p

**説明:** TCP サーバーからインバウンド要求を受け取りましたが、Sun MTP はこの FMH-5 パラメータに関連付けられた長さが適合しないことを検出したので、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2146W ISC Error opening TCP Trace file, errno %d, no tracing will be performed

**説明:** Sun MTP は、TCP LU6.2 呼び出しのトレースファイルをオープンしようとしていましたが、できませんでした。Sun MTP はトレースなしで実行を続けます。

**対処:** このメッセージの前には、システムエラーメッセージが表示されます。

2147W ISC Error renaming TCP Trace file, errno %d

**説明:** Sun MTP は、TCP LU6.2 呼び出しのトレースファイルの名前を変更しようとしたが、できませんでした。領域はトレースなしで実行を継続します。

**対処:** このメッセージの前には、システムエラーメッセージが表示されます。

2149E ISC Loop detected decoding CTIN transaction, offset %d

**説明:** 端末インストールトランザクション CTIN を実行していましたが、Sun MTP は遠隔システムから送信されたデータストリームを復号化できなかったため、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2150E ISC Loop detected decoding CCIN transaction, offset %d

**説明:** システムインストールトランザクション CCIN を実行していましたが、Sun MTP は遠隔システムから送信されたデータストリームを復号化できなかったため、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2151E ISC Unable to install IST entry for %s

**説明:** 遠隔システムからトランザクションを受け取りましたが、このトランザクションのエントリが見つかりませんでした。したがって、このエントリを自動インストールできないので、Sun MTP は要求を拒否しました。

**対処:** 遠隔システムが、Sun MTP または CICS クライアントではなく、システム間のプロトコルが SNA の場合、IST エントリは TCT の「System Entries」テーブルであらかじめ定義する必要があります。

遠隔システムが Sun MTP または CICS クライアントである場合やプロトコルが SNA ではない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2152E ISC Length of CCIN argument 2 was %d

**説明:** システムインストールトランザクション CCIN を実行していましたが、Sun MTP はデータストリームの引数 2 が無効な長さであることを検出したため、要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2153E ISC No available entries to autoinstall connection for %s

**説明:** 遠隔システムからトランザクションを受け取りましたが、この接続をインストールするために使用可能な空いている IST エントリがないので、Sun MTP は要求を拒否しました。

**対処:** KIXMAXIST 環境変数を使用して、自動インストールされる IST エントリの数を増やします。この値のデフォルトは 0 です。

2154E ISC Unable to initialize conversation for %s

**説明:** 遠隔システムからトランザクションを受け取りましたが、Sun MTP は会話を初期化できなかったので、要求を拒否しました。

**対処:** このメッセージの前には、Sun MTP エラーメッセージが表示されます。メッセージにある対処に従います。

2155E ISC Terminal of type 0x%2.2x is not valid for Transaction Route

**説明:** トランザクション経路指定の実行に使用している端末タイプがサポートされていません。

**対処:** 他の端末タイプを使用して、トランザクション経路指定を実行します。

2200E RDM error %d from kix\_init. Check that INFORMIX is running

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2201I \*\*ERROR\*\* during RDM init. See previous message for error

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2202I Txn processor running but unable to perform RDM functions

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2203E RDM error %d from rdma1. Check that INFORMIX is running

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2204E RDM error %d from kix\_syncp

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2205E RDM error %d from kix\_open for file <%s>. File will not be accessible

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2206E malloc error trying to allocate %d bytes

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2207E RDM kix open returned undefined file org = %d

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2208I RDM error %d from kix\_info for file <%s>. Processing continues

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2209E lsysstat = %d, errno = %d, RDM command was <%s>

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2212I kxfct or kxvfct ptr NULL

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2213F Error occurred during initialization of RDM VSAM

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2214I Attempting to perform function on file <%s>

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2216I RDM error %d not mapped to a VSAM error - please report this

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2217I RDM error symbol: <%s>, text: %s

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2218I RDM error %d for kix\_unlock during temp storage processing

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2219E Error opening journal files in RDM environment

**説明:** RDM 製品に予約されています。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2250E Error <%d> invoking debugger via CBL\_DEBUGBREAK() call

**説明:** 変数 %d は、CBL\_DEBUGBREAK() 呼び出しからのエラー状態を含みます。このメッセージは、unikixmain.log ファイルに書き込まれます。

**対処:** エラー番号を、ご購入先にお知らせください。

2301E MTP Inbound Buffer Overflow Detected

**説明:** このメッセージは次の 2 つの場合に発行されます。

- TN3270 クライアントから受け取ったデータが、Sun MTP 内で割り当てられている端末入出力域 (TIOA) の最大サイズをオーバーフローした場合
- msgctl() システムコールの発行時に、unikixtn リスナープロセスが内部の再試行回数を超えた場合

**対処:** ご使用の端末タイプが、モデル 2、4、あるいは 5 のいずれかであることを確認します。

2302E Non IBM Terminal Attempted to Connect to Unikixtn

**説明:** TN3270 サーバーとの接続を確立している端末が、IBM 3270 タイプの端末ではありません。

**対処:** TN3270 クライアント端末タイプオプションをチェックし、タイプを IBM 3270 モデル 2、4、あるいは 5 のどれかに設定します。問題が解消されない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2303E Unknown TN3270/Telnet Protocol Message Received From Client

**説明:** TN3270 サーバーの内部 telnet 受信状態が、無効な状態に設定されています。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2304E Unable to acquire Network Port %d. Is another Unikixtn running?

**説明:** unikixtn プロセスに指定されたネットワークポートは、現在使用中です。

**対処:** 実行中の他の unikixtn プロセスが、すでにネットワークポートを使用していないことを確認します。複数の unikixtn リスナープロセスが必要な場合や、ポートがポート番号を必要とする他のアプリケーションと重複している場合、netstat コマンドを使用して未使用の TCP/IP ポート番号を探し、`-s port-number` オプションで unikixtn プロセスを再度開始します。

2321E Unable to acquire Network Port %d. Is Another Unikixsock process running?

**説明:** unikixsock プロセスに指定されたネットワークポートは、現在使用中です。

**対処:** 他の Sun MTP 領域が、すでにそのネットワークポートを使用していないことを確認します。ソケットインタフェースを持つ複数の Sun MTP 領域が必要な場合や、ポートがポート番号を必要とする他のアプリケーションと重複している場合、netstat コマンドを使用して未使用の TCP/IP ポート番号を探し、他のポート番号で領域を再起動します (`unikixmain -p port-number`)。

2322E Accept() call failed with remote MTP socket connection

**説明:** 遠隔接続の待機中に `accept()` システムコールが失敗しました。

**対処:** 問題が解消されない場合は、unikixmain コマンド行の `-D s` オプションで領域を再度開始します。このオプションにより、エラー番号の取得に使用できるデバッグ情報がオンになります。

2323E Error detected constructing Named-Pipe for Pipe FD %d

**説明:** unikixsock プロセスは、トランザクション処理プログラムにソケットファイル記述子 (FD) を渡すために使用する名前付きパイプを作成できませんでした。

**対処:** メッセージでパイプファイル記述子 (FD) として表示されるエラー番号を調べて、適切な対処を決定します。

2324E Named-Pipe Accept() failed with errno = %d

**説明:** 接続するトランザクション処理プログラムを待機中に、名前付きパイプの `accept()` システムコールが失敗しました。

**対処:** メッセージに表示されるエラー番号を調べて、対処を決定します。

2325E Failed to get memory for new transaction\_connection structure

**説明:** 新しい接続にメモリーを割り当て中に、malloc() システムコールが失敗しました。

**対処:** 問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

2326E getpeername() call failed identifying remote MTP Socket peer.

**説明:** クライアントプロセスの IP アドレスとポート番号を取得する getpeername() システムコールが失敗しました。

**対処:** 問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

2327E Error detected receiving data from socket. Errno = %d

**説明:** TCP/IP 接続のクライアントからの読み取りでエラーが発生しました。

**対処:** メッセージに表示されるエラー番号を調べて、エラーの原因を判断します。

2328E Input format from socket illegal with regard to transid

**説明:** クライアントから受け取った入力が、予期した形式と一致しません。

**対処:** クライアントプログラムがソケットデータに使用できる形式は次のとおりです。

TRANID[,User-Data] [,XX [,HHMMSS]]

詳しくは、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』のソケットに関する章と『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』のアプリケーション環境のカスタマイズに関する章を参照してください。

2329E Input format from socket illegal. Data Area too long at %d bytes

**説明:** ソケットに渡されたデータが、事前定義の制限値を超えています。

**対処:** クライアントプログラムがソケットデータに使用できる形式は次のとおりです。

TRANID[,User-Data] [,XX [,HHMMSS]]

詳しくは、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』のソケットに関する章と『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』のアプリケーション環境のカスタマイズに関する章を参照してください。

2330E Input format from socket illegal. Start-Type Unknown

**説明:** トランザクションに、未知の起動タイプを要求しました。

**対処:** クライアントプログラムがソケットデータに使用できる形式は次のとおりです。

TRANID[,User-Data] [,XX [,HHMMSS]]

詳しくは、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』のソケットに関する章と『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』のアプリケーション環境のカスタマイズに関する章を参照してください。

2331E Input format from socket illegal. Start-Time Not Numeric

**説明:** トランザクションに指定された開始時間が有効ではありません。

**対処:** クライアントプログラムがソケットデータに使用できる形式は次のとおりです。

TRANID[,User-Data] [,XX [,HHMMSS]]

詳しくは、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』のソケットに関する章と『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』のアプリケーション環境のカスタマイズに関する章を参照してください。

2334E process\_np\_fd was unable to match incoming FD with existing entry

**説明:** unikixsock プロセスは、ファイル記述子とトランザクション識別子を照合できませんでした。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

2335E Attempted to remove non-existent connection structure

**説明:** unikixsock プロセスは、unikixsock プロセス内に接続構造を持たないソケット接続をクローズしようとしています。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

2336E Unable to set a catch function for SIGINT. errno \$d

**説明:** unikixsock プロセスは、SIGINT シグナルにシグナルハンドラを設定できませんでした。

**対処:** メッセージに含まれる errno 番号を調べて、適切な対処を決定します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

2337E select() returned an error. errno = %d

**説明:** このエラーは、select() システムコールから返されました。

**対処:** メッセージに含まれる errno 番号を調べて、適切な対処を決定します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

2338E Unable to connect to named pipe server. error = %d

**説明:** unikix プロセスは、unikixsock プロセスが作成した名前付きパイプに接続できませんでした。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

2339E Unable to send message over Named Pipe. errno = %d

**説明:** トランザクション処理プログラムは、名前付きパイプを使用して unikixsock にメッセージを送信できませんでした。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

2340E Rcvd CICSSKT msg with named pipes unestablished.

**説明:** unikix プロセスはソケットメッセージを受け取りましたが、unikixsock プロセスの名前付きパイプは存在しません。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

2343I Socket server connected to port %d host %s

**説明:** ソケットサーバーは接続されています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2344E Socket request for transaction %4.4s rejected

**説明:** ソケット要求が、前のエラーによって拒否されました。

**対処:** このメッセージの前には、0370E または 0479E メッセージが表示されません。メッセージにある対処に従います。

2345E Socket request of type TD failed with EIBRESP=%d %s

**説明:** 一時データキューへの書き込み時に、TD オプションを使用したソケット要求が失敗しました。

**対処:** 返された EIBRESP 値を使用して、問題を訂正します。

2346E Socket request of type IC failed with EIBRESP=%d %s

**説明:** トランザクションの開始時に、IC オプションを使用したソケット要求が失敗しました。

**対処:** 返された EIBRESP 値を使用して、問題を訂正します。

2347E The Named Pipe storage array is full

**説明:** 名前付きパイプを使用して、トランザクション処理プログラムは初期化時にソケットサーバーに接続します。ソケットサーバーは、接続されているトランザクション処理プログラムのリストを保持します。リストに、このトランザクション処理プログラム情報の保存に使用できるエントリがありません。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2352E DTP Unexpected Parameter-Check error received from LU62 on receive() call

**説明:** LU6.2 の receive() 呼び出しがパラメータチェックで失敗しました。コマンドに渡す値を Sun MTP がチェックするときの期待値と異なりました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2353E DTP Unexpected error received from LU62 on receive() call value = 0x%x

**説明:** LU6.2 の receive() 呼び出しが予期しないリターンコードで失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2354E ISC prep\_to\_receive failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は、遠隔システムに方向の変更を送信しようとして失敗しました。prep\_to\_receive コマンドは失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2355E DTP Unexpected error returned on kx62\_send() or related call of 0x%x

**説明:** LU6.2 呼び出しが予期しないリターンコードで失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2356E ISC confirmed failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は、遠隔システムに確認を送信しようとして失敗しました。confirmed() 呼び出しでのエラーです。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2357E ISC send\_error failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は、遠隔システムにエラーを送信しようとしてしました。  
send\_error() 呼び出しは失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2358E ISC request\_to\_send failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は、方向を変更するために遠隔システムにシグナルを送信しようとしてしました。request\_to\_send() 呼び出しは失敗しました。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2359E DTP kxDTPfree failed on a normal conversation closure

**説明:** DTP 会話を解放しているときに、deallocate コマンドが失敗しました。

**原因:** このセッションは、解放するセッションが正しい状態ではなかった可能性があります。

**対処:** 会話を解放する前に EXTRACT ATTRIBUTES コマンドを使用してセッションの状態を確認します。

2360E DTP getcore() failed during kxDTPcreate\_conv

**説明:** 新しい会話が作成されていましたが、メモリーを取得する呼び出しが失敗しました。新しい会話を取得する要求は、拒否されます。

**対処:** カーネルのパラメータを確認し、必要であればシステム管理者に連絡してください。問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

2361E ISC confirm failed returned %d return code %x

**説明:** Sun MTP は、遠隔システムに確認を要求しようとしてしました。confirm() 呼び出しでのエラーです。

**対処:** 付録 A にあるエラーの説明から、エラーの理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2363T DTP Conversation in invalid state during task termination

**説明:** タスクの終了中、Sun MTP は、プログラムが解放しなかった会話を解放します。ある会話の状態が原因で、その会話を解放できません。

**対処:** プログラムはタスクを終了する前にすべての会話を解放する必要があります。

2365E writecon called with an invalid terminal number (ptermnum = %d)

**説明:** writecon 関数が、有効な範囲外の端末番号で呼び出されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2366T DTP command %s attempted in an illegal state.

**説明:** DTP コマンドを会話に実行しようとしたましたが、その会話はコマンドの実行に有効な状態ではありません。

**対処:** DTP コマンドを発行する前に EXTRACT ATTRIBUTES コマンドを使用してセッションの状態を確認します。

2370E ISC Client install transaction failed for applid %8.8s

**説明:** クライアントのインストールが、LU6.2 エラーによって失敗しました。

**対処:** LU6.2 エラーメッセージは、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2371E ISC Client terminal install transaction failed for applid %s

**説明:** クライアント端末のインストールが、LU6.2 エラーによって失敗しました。

**対処:** LU6.2 エラーメッセージは、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2372E ISC System install transaction for %4.4s failed

**説明:** システムインストールランザクションを遠隔システムのクライアントに送信する要求が、LU6.2 エラーによって失敗しました。

**対処:** LU6.2 エラーメッセージは、ログに前もって表示されています。メッセージの原因を調査します。

2373E ISC Incorrect response for system install transaction from %4.4s

**説明:** 遠隔システムからシステムインストールランザクションへの応答が無効でした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2374E could not allocate storage for owner certificate (%d bytes)

**説明:** プログラムは、所有者証明書を格納するためのメモリーを十分に取得できませんでした。

2375E could not allocate storage for issuer certificate (%d bytes)

**説明:** プログラムは、発行者証明書を格納するためのメモリーを十分に取得できませんでした。

2376E previous owner certificate buffer not freed

**説明:** 前の所有者証明書を格納しているバッファが解放されていません。

2377E previous issuer certificate buffer not freed

**説明:** 前の発行者証明書を格納しているバッファが解放されていません。

2378E ISC protected install to system %s was denied

**説明:** このメッセージは、指定したシステムに対して保護セッションを確立しようとしたが、拒否されたことを示します。システムは、「サービス停止中」としてフラグが設定され、このあとのシステムへの通信の試行は拒否されます。

**対処:** 指定したシステムでエラーログを調べ、拒否の理由を判断します。エラーメッセージ KIX4808E および KIX4809E を探します。

2391E TCP failed to clear SSL prefix

**説明:** 接続の確立中に unikixsock プロセスは、セキュリティーソケットレイヤ (SSL) のクライアントソケットからの SSL 識別子をクリアできませんでした。

2392E TCP failed to read certificate length

**説明:** 接続の確立中に unikixsock プロセスは、SSL 証明書の長さ情報の読み取りに失敗しました。

2393E TCP failed to read certificate

**説明:** 接続の確立中に unikixsock プロセスは、SSL 証明書情報の読み取りに失敗しました。

2394E TCP failed to clear certificate from socket (%d bytes left)

**説明:** unikixsock プロセスは、SSL 証明書を保持する領域の割り当てに失敗しました。ソケットからの証明書をクリアできません。

**対処:** 領域を停止し、再起動します。

2395E TCP failed to allocate PROC Q message (%d bytes)

**説明:** unikixsock プロセスは、SSL ソケットトランザクションを開始するためのプロセスキューメッセージに必要な領域の割り当てに失敗しました。

2396E TCP client SSL certificate %d:%d was not found

**説明:** 接続の確立中に unikixsock プロセスは、unikixssl プロセスからの証明書情報の取得に失敗しました。

2397E TCP failed to send certificate request %d:%d

**説明:** 接続の確立中に unikixsock プロセスは、unikixssl プロセスに対する証明書情報の要求の送信に失敗しました。

2398E TCP failed to connect to the SSL server

**説明:** unikixsock プロセスは、証明書を要求するための unikixssl プロセスへの接続に失敗しました。

2399E TCP invalid SSL connection address %s:%d

**説明:** unikixsock プロセスは、unikixssl 接続が無効な (遠隔) アドレスであることを確認しました。これは、unikixsock と unikixssl プロセスが同じシステムにあることを確認するセキュリティーチェックです。

**原因:** 同じホストではなく別のホストから接続されています。

**対処:** SSL の設定が unikixsock 起動オプションと一致するか確認します。

2400E TCP unikixtcp processor received signal %d [%s]

**説明:** TCP サーバーはシグナルを受け取りました。

**対処:** シグナル SIGINT、SIGUSR1、および SIGUSR2 は、Sun MTP を正常に実行しているときに送信されます。その他のシグナルについては、Sun MTP に送信された理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2401E TCP attempt to create socket failed

**説明:** socket () システムコールが失敗しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** 前のエラーメッセージを確認し、socket () 呼び出しが失敗した理由を調査します。

2402E TCP attempt to bind socket to port %d failed

**説明:** bind () システムコールが失敗しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** エラーメッセージをチェックし、バインドに失敗した理由を調査します。

2403E TCP network port %d already in use.

**説明:** ソケットをバインドしようとしたますが、要求されたポートはすでに使用されていました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** netstat コマンドを使用して、ポートが使用中である原因を判断します。または領域の起動時に代わりのポートを指定します。

2404E TCP attempt to listen on socket failed

**説明:** listen() システムコールが失敗しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** 前のエラーメッセージを確認します。listen() 呼び出しが失敗した理由を調査します。

2405E TCP service %s is not defined in the network services data base

**説明:** getservbyname() 関数への呼び出しが NULL を返しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**原因:** ポート番号ではなく名前を使用して TCP サーバーを起動する場合、Sun MTP は、ネットワークサービスのデータベースを検索して、この名前をポートに解決しようとします。

**対処:** データベースにポート名を定義するか、データベースにすでに定義されている名前を使用するか、または起動オプションでポート番号を指定します。

2406I TCP server bound to socket port %d

**説明:** TCP サーバーはソケットポートに結合されているので、要求を受け入れることができます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2407E TCP select failed, errno %d

**説明:** select() システムコールが失敗しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** 前のエラーメッセージを確認します。select() 呼び出しが失敗した理由を調査します。

2408E TCP accept failed, errno %d

**説明:** accept() システムコールが失敗しました。このエラーは、新しいソケット要求が拒否される原因となりますが、他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** 前のエラーメッセージを確認し、accept() 呼び出しが失敗した理由を判断します。

2409E TCP esipcReply failed, return code %s

**説明:** esipcReply 関数が失敗しました。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2410E TCP esipcGetEvent failed, return code %s

**説明:** esipcGetEvent 関数が失敗しました。このエラーは、領域の終了時だけに表示されます。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合、または領域が終了中ではないのにメッセージが表示される場合は、ご購入先に連絡してください。

2411E TCP esipcStartTran failed, return code %s

**説明:** esipcStartTran 関数が失敗しました。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2412E TCP esipcInitialize failed, return code %s

**説明:** esipcInitialize 関数が失敗しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2413E TCP esipcCntl failed, return code %s

**説明:** unikixtcp プロセスは、アウトバウンド ISC の際にトランザクション処理プログラムの応答に失敗しました。

2414E TCP esipcAddTerminal failed, return code %s

**説明:** esipcAddTerminal 関数が失敗しました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2415E TCP could not allocate storage

**説明:** TCP サーバーは記憶域を割り当てようとしたますが、NULL ポインタが返されました。このエラーは、TCP サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** 記憶域が割り当てられなかった理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2416E TCP esipcGetEvent failed, return code %s

**説明:** esipcGetEvent 関数が失敗しました。システムは、関数呼び出しの再試行を継続します。このエラーは、領域の終了時にだけ発生します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合、または領域が終了中ではないのにメッセージが表示される場合は、ご購入先に連絡してください。

2417E TCP esipcReply failed, return code %s

**説明:** esipcReply 関数が失敗しました。システムはクライアントが関連付けられていないトランザクションをロールバックしようとしてしました。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2418W TCP Extended LUW rolled back because the client socket was closed

**説明:** TCP サーバーは、クライアントがクローズしているので、トランザクションをロールバックしました。他のすべてのクライアントは継続します。このエラーは、トランザクションの実行中にユーザーがクライアントセッションをクローズした場合に発生します。

2419W TCP getrlimit call failed %d, errno %d

**説明:** getrlimit() システムコールが失敗しました。このコールを使用して、プロセスに使用できるファイル記述子の現在の数を決定します。ファイル記述子の数は変更されませんが、TCP サーバーは実行を継続します。

**対処:** 前のエラーメッセージを確認し、コールが失敗した理由を判断します。

2420E TCP setrlimit call failed %d, errno %d

**説明:** setrlimit() システムコールが失敗しました。このコールを使用して、プロセスに使用できるファイル記述子の現在の数を設定します。ファイル記述子の数は変更されませんが、TCP サーバーは実行を継続します。

**対処:** 前のエラーメッセージを確認し、コールが失敗した理由を判断します。

2421I TCP Number of file descriptors set to %d

**説明:** ファイル記述子の数は、Sun MTP 起動オプションを使用して設定されました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2422W TCP Maximum number of file descriptors reached

**説明:** ファイル記述子の最大数に達しているため、TCP サーバーに接続できるクライアントはありません。現在接続されているすべてのクライアントは継続できません。

**対処:** より多くのファイル記述子が必要な場合は、unikixmain -L オプションを使用して TCP サーバーに使用できるファイル記述子の数を増やします。

2423E TCP MTP '-P' option specified but %s environment variable unset

**説明:** -P オプションを使用して TCP サーバーを起動しましたが、必要な TCP 環境変数が設定されていませんでした。

**対処:** Sun MTP の起動から -P オプションを削除するか、環境変数を設定します。

2424E TCP esipcDeleteConnection failed, return code %s

**説明:** 遠隔システムへの接続はクローズしました。遠隔システムのテーブルエントリを削除しようとして失敗しました。

**対処:** このメッセージが発生したときにシステムが停止状態ではなかった場合、このエラーをご購入先に報告してください。

2450I DCL Server process has connected to Local LU %s

**説明:** unikixdcl サーバプロセスは、リソースファイル (unikixrc.cfg) で指定した LU6.2 ローカル LU に正常に接続しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2451E DCL returned invalid what\_received value %4.4x

**説明:** Sun MTP は、DCL MC\_RECEIVE コマンドの what\_rcvd オプションが返した値を what\_received 値に変換できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2452E DCL Couldn't allocate storage for container (%d terminals)

**説明:** DCLSTERM と DCLRTERM 環境変数によって指定された複数の端末に、Sun MTP から十分な記憶域を割り当てられませんでした。

**対処:** DCLSTERM と DCLRTERM 環境変数で指定した端末の数を減らします。エラーが解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

2453E DCL unikixdcl processor received signal %d [%s]

**説明:** unikixdcl サーバーはシグナルを受け取りました。

**対処:** シグナル SIGINT、SIGUSR1、および SIGUSR2 は、Sun MTP を正常に実行しているときに送信されます。その他のシグナルについては、Sun MTP に送信された理由を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2454E DCL error %d in cm\_stream.recv method

**説明:** unikixCommMgr プロセスからのデータ受信にエラーが発生しました。DCL サーバーは異常終了します。

**対処:** 受信に失敗した理由を調査します。

2455E DCL SNA command has failed with primary\_rc 0x%4.4x,  
secondary\_rc 0x%8.8x

**説明:** DCL SNA コマンドが失敗しました。Sun MTP は、このエラーを Sun MTP エラーに変換できませんでした。実行されている LU6.2 関連のコマンドを含むメッセージがあとに続きます。

**対処:** 『DCL SNAP-IX APPC Programmer's Guide』で、コマンドが失敗した理由を調査します。

2456E DCL SNA RECEIVE\_ALLOCATE command failed primary\_rc  
0x%4.4x, secondary\_rc 0x%8.8x

**説明:** DCL RECEIVE\_ALLOCATE コマンドが失敗しました。このセッションに割り当てられるインバウンド会話がありません。

**対処:** 『DCL SNAP-IX APPC Programmer's Guide』で、コマンドが失敗した理由を調査します。

2457E The %s environment variable is not set or invalid

**説明:** DCLRTERM と DCLSTERM 環境変数を有効な値に設定する必要があります。

**対処:** 環境変数を 0 より大きな値に設定します。

---

## 2500 ~ 2999 メッセージ

2500E TN server %d, could not open connection with CommMgr

**説明:** unikixCommMgr プロセスへの接続をオープンできません。このエラーは、Telnet (TN) サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** 原因を調査します。解決策が見つからない場合は、ご購入先に連絡してください。

2501E TN server %d, unable to register with ACE Reactor in [%r]

**説明:** TN サーバーは、ACE リアクタに登録しようとしてエラーリターンコードを受け取りました。このエラーは、TN サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

2502E TN server %d, error on send of '%s' message header

**説明:** TN サーバーは指定したメッセージヘッダーを unikixCommMgr プロセスに送信できません。unikixCommMgr プロセスとの通信エラーは、最終的に TN サーバーを異常終了させる原因になります。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

2503E TN server %d, error on send of '%s' message data

**説明:** TN サーバーは指定したメッセージデータを unikixCommMgr プロセスに送信できません。unikixCommMgr プロセスとの通信エラーは、最終的に TN サーバーを異常終了させる原因になります。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

2504E TN server %d, error on send of '%s' fd

**説明:** TN サーバーは指定したファイル記述子を unikixCommMgr プロセスに送信できません。unikixCommMgr プロセスとの通信エラーは、最終的に TN サーバーを異常終了させる原因になります。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

2505E TN server %d, error %d in [%r] cm\_stream.recv method

**説明:** unikixCommMgr プロセスまたはクライアントからのデータ受信でエラーが発生しました。unikixCommMgr プロセスのエラーの場合、TN サーバーは異常終了します。そうではない場合は、エラーを引き起こしたクライアントだけをクローズし、他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** 受信に失敗した理由を調査します。

2506E TN server %d, invalid msgType = %d in [r]

**説明:** unikixCommMgr プロセスから無効なメッセージタイプを受信しました。unikixCommMgr プロセスとの通信エラーは、最終的に TN サーバーを異常終了させる原因になります。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

2507E TN server %d, esipcInitialize failed, return code %s

**説明:** esipcInitialize 関数が失敗しました。このエラーは、TN サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2508E TN server %d, esipcTerminate failed, return code %s

**説明:** esipcTerminate 関数が失敗しました。TN サーバーはすでに終了しているので、このエラーによる影響はありません。

**対処:** 通常は、このメッセージは無視します。

2509E TN server %d, esipcListenName failed, return code %s

**説明:** esipcListenName 関数が失敗しました。このエラーは、TN サーバーが異常終了する原因になります。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2510E TN server %d, esipcAddTerminal failed, return code %s

**説明:** esipcAddTerminal 関数が失敗しました。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** クライアントは、この関数が失敗した理由を示すメッセージを受け取ります。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2511E TN server %d, esipcDelTerminal failed, return code %s

**説明:** esipcDelTerminal 関数が失敗しました。現在の TN 実装では、この関数は使用しません。

2512E TN server %d, esipcStartTran failed, return code %s

**説明:** esipcStartTran 関数が失敗しました。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2513E TN server %d, esipcReply failed, return code %s

**説明:** esipcReply 関数が失敗しました。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2514E TN server %d, esipcSenseCode failed, return code %s

**説明:** esipcSenseCode 関数が失敗しました。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2515E TN server %d, esipcGetEvent failed, return code %s

**説明:** esipcGetEvent 関数が失敗しました。このエラーは、領域の停止時のみに表示されます。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2516E TN server %d, epID = %d NOT valid from esipcGetEvent

**説明:** esipcGetEvent 関数は、無効な終端 ID を返しました。

**対処:** サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2517E TN server %d, peer\_acceptor.open failed in [%r], errno = %d

**説明:** トランザクション処理プログラムへのドメインソケット接続のオープンに失敗しました。このエラーが原因で、TN サーバーが異常終了することがあります。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2518E TN server %d, peer\_acceptor.accept failed in [%r], errno = %d

**説明:** ソケットの accept (AFINET または UNIX ドメイン) が失敗しました。

**対処:** リターンコードを使用して、関数が失敗した理由を調査します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2519E TN server %d, OUT-of-MEMORY creating %s object in [%r]

**説明:** クライアント接続をサポートするオブジェクトを作成できません。

**原因:** 空きヒープメモリーがありません。

**対処:** ローカル処理メモリーのアドレスを増やす必要があります。領域を停止し、`-Mt value` オプションで再起動します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

2520E TN server %d, svc\_handler->open failure in [%r]

**説明:** ACE リアクタで `Esipc_Handler` オブジェクトをオープンするときにエラーが発生しました。

**対処:** サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2521E TN server %d, invalid event (%d) from esipcGetEvent

**説明:** `esipcGetEvent` 関数が、無効なイベントまたは認識されないイベントを返しました。

**対処:** サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2522E TN server %d, [%r] requesting STOP LISTEN (fd = %d)

2523E TN server %d, [%r] error sending STOP LISTEN

2524E TN server %d, [%r] received STOP LISTEN ACK

2525E TN server %d, [%r] error removing 'listen' with ACE  
Reactor

**説明:** これらのエラーはすべて、ソケット待機ファイル記述子の交換に関連付けられています。これらのエラーは、既存のクライアント接続には影響しません。ただし、新しい接続は拒否される場合があります。

**対処:** サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2526E TN server %d, [%r] unable to do ACE remove\_Handler for fd = %d

**説明:** TN サーバーと ACE ルーチン間の内部エラーです。

**対処:** サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2527E TN server %d, unknown TN3270/Telnet Protocol Message (%d)  
Received

**説明:** サポートされていない TN3270 プロトコルメッセージのエラーです。エラーの原因となったクライアントはクローズします。他のすべてのクライアントは継続します。

**対処:** サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2528E [%r] TN server negotiation error, host %s, fd %d

**説明:** TN3270 サーバーは、3270 クライアントかもしれないクライアントとの通信中に、バッファオーバーフローを検出しました。このクライアントは、指定された fd 番号で接続されており、指定されたホストから実行されています。このメッセージには、常に KIX2529E が続きます。

**対処:** 接続しているクライアントが、本当に TN3270 クライアントであるかどうかを確認します。

2529E Host %s did not send valid TN3270 protocol data to the TN server. The connection has been rejected.

**説明:** このメッセージは、常に KIX2529E メッセージに続きます。TN3270 サーバーが接続中のクライアントの 3270 データをバッファリング中に、予期していた 3270 コマンドを受信できなかったことを示します。このため、TN3270 サーバーは、接続中のクライアントが 3270 クライアントではないと見なし、接続を拒否します。

**対処:** 指定したホストで実行されているクライアントが、本当に TN3270 クライアントであるかどうかを確認します。

2530E Unable to acquire port %d, MTP must be recycled after the conflict is resolved.

**説明:** ポート番号が重複しています。

**対処:** unikixrc.cfg ファイルの TNServer\*ListenPort エントリの値を調査して、ポート番号が他のプロセスに使用されていないことを確認します。

2531E Printer %.8s at %s disconnected with reason code %2.2d

**説明:** TN プリンタが、不良なデータが送信されたために、切断されました。プリンタの LU 名とプリンタが接続されているホスト名が表示されます。

**対処:** 領域の TN メッセージトレースを収集し、分析するためにご購入先に送信します。領域がメッセージのトレース用に設定されていない場合は、設定を更新し、問題を再現してみます。この領域を停止します。\$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルを更新して、メッセージのトレースをオンにします。領域を再起動します。トランザクションを再度サブミットして、トレースを取り込みます。

2532E Printer %.8s at %s disconnected

**説明:** TN プリンタが、ハードウェアの故障などの外部的な理由で切断されました。プリンタの LU 名とプリンタが接続されているホスト名が表示されます。

**対処:** Sun MTPがプリンタとの通信を失った理由を判断します。システム管理者に連絡して、問題を解決するために、プリンタの LU 名とホスト名を提供する必要があります。が生じることがあります。

2550E The UNIKIX and KIXSYS Environment Variables MUST be set

**説明:** UNIKIX または KIXSYS 環境変数が設定されていません。

**対処:** UNIKIX と KIXSYS の両方の環境変数を設定します。

2551E Unable to Create IPC Listen Port

\$KIXSYS/mtp\_runtime/CommMgrPort.

**説明:** unikixCommMgr プロセスと外部の通信サーバー間の通信に、待機ポートが必要です。Sun MTP はこのポートを作成できませんでした。プロセスは終了します。

**対処:** 待機ポートが作成されなかった理由を調査します。

2552E Internal Error registering IPC Acceptor to Reactor.

**説明:** unikixCommMgr プロセスで作成された待機ポートは、リアクタに追加できませんでした。プロセスは終了します。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2553E Accept of new Endpoint Server connection Failed.

**説明:** unikixCommMgr プロセスは外部の通信サーバーからの接続を受け取りましたが、この接続は受け付けられませんでした。接続は無視されます。

**対処:** accept 関数が失敗した理由を調査します。

2554E CommMgr\_Handler Error Receiving Data From EndPoint Server Stream

**説明:** 外部通信サーバーから unikixCommMgr プロセスにデータが送信されましたが、receive 関数は失敗しました。データは無視されます。

**対処:** receive 関数が失敗した理由を調査します。

2555E CommMgr\_Handler Error EndPoint Server Has Closed the Connection.

**説明:** 外部の通信サーバーは、unikixCommMgr プロセスへの接続をクローズしました。

**対処:** 接続がクローズした原因を調査します。

2556E Received Unrecognized Command (%d) From EndPoint Server

**説明:** 外部の通信サーバーからコマンドが送信されましたが、unikixCommMgr プロセスは認識しませんでした。このコマンドは無視されます。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2557E Recv failed processing an Endpoint Server Initialization Message.

**説明:** 外部通信サーバーから unikixCommMgr プロセスにデータが送信されましたが、receive は失敗しました。メッセージは無視されます。

**対処:** receive に失敗した理由を調査します。

2558E Error Sending to Endpoint Server. Data Sent/Return Code %d Desired %d

**説明:** unikixCommMgr プロセスから外部の通信サーバーにデータが送信されましたが、要求されたすべてのデータを送信できませんでした。余りのデータは無視されます。

**対処:** send に失敗した理由を調査します。

2559E Unable to Register CommMgr\_Handler with Reactor.

**説明:** 外部の通信サーバーと unikixCommMgr プロセスとの通信に使用したポートをリアクタに追加できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2560E Resource File: line %d, Unsupported Character %2.2x

**説明:** リソースファイル (unikixrc.cfg) の行に無効な文字が入っていました。

**対処:** リソースファイルを編集し、無効な文字をすべて削除します。

2561E Resource File: line %d, Parser Internal State Error.State--> %s

**説明:** リソースファイルパーサーで、内部エラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2562E --> Symbol (%s) is too long.

**説明:** リソースファイル (unikixrc.cfg) にある記号が長すぎるので、パーサーは読み取れません。

**対処:** リソースファイルを編集し、無効なシンボルを訂正します。

2563E --> Expected a colon (:) But read %s

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg 中の正しい位置にコロンがありません。

**対処:** リソースファイルを編集し、コロンを追加します。

2564E --> Expected a colon (:) or Asterisk (\*) But read %s

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg 中の正しい位置にコロンまたはアスタリスクがありません。

**対処:** リソースファイルを編集し、コロンまたはアスタリスクのいずれかを追加します。

2565E --> Expected a String, Word or Number but read %s

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg 中の正しい位置に文字列、ワード、または数字がありません。

**対処:** リソースファイルを編集し、正しいシンボルを追加します。

2566E Resource File: line %d, End of Line Reached Before Closing Quote.

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg の文字列に終了引用符がありません。

**対処:** リソースファイルを編集し、文字列の終わりに終了引用符を追加します。

2567E Resource File: line %d, Errno Number %d Occurred.

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg を読み取り中に、パーサーの予期しないエラーが発生しました。

**対処:** リソースファイルを表示し、この問題について、考えられる原因を調査します。原因が見当たらない場合、このエラーをご購入先に連絡してください。

2568E Resource File: line %d . .

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg の解析時にパーサーのエラーが発生しました。

**対処:** 次のメッセージに、エラーに関する詳細な情報が表示されます。メッセージにある対処に従います。

2569E Resource File: Value for option --%s-- MUST be greater than 0

**説明:** リソースファイル (unikixrc.cfg) で見つかったオプションに負の値が指定されていますが、使用可能なのは正の値だけです。

**対処:** リソースファイルを編集し、値を正の値に変更します。

2570E Resource File: TNServer Option -- %s -- is Not a Recognized Option

**説明:** 不正なオプションで実行されました。

**対処:** unikixrc.cfg ファイルを確認し、エラーのあるオプションを訂正します。

2571E The TNServer\*Endpoints:%d value is too high. Your System limit is %d

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg の EndPoints オプションが、システムでサポートできない値に設定されています。unikixCommMgr プロセスは EndPoints オプションをシステムの制限値に減らします。

**対処:** 指定した値を減らします。

2572E Resource File: Value for option --%s-- MUST be "True" or "False"

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg で指定したオプションの値は、boolean 型である必要があります。

**対処:** 値を、True または False に変更します。

2573E Resource File: %s for option --%s-- is invalid

**説明:** リソースファイル unikixrc.cfg で指定したオプションの値が無効です。

**対処:** オプションを有効なタイプに変更します。

2574E Server of type %s is not supported on this platform

**説明:** リソースファイルに、このプラットフォームでサポートされていないプロセスの実行を要求する情報が含まれています。

**対処:** 失敗するプロセスへの参照を削除します。

2575E CommMgr could not start the %s server

**説明:** unikixCommMgr プロセスは、リソースファイルで指定されたサーバーを起動できませんでした。このメッセージの前に、問題を詳しく説明するメッセージが表示されます。

**対処:** 前のメッセージから、サーバーが起動に失敗した原因を調査します。

2576E :esipc: Construction of Endpoint Array Failed

**説明:** ESIPC 終端に関する情報を保持するための、内部配列の領域確保に失敗しました。malloc() 呼び出しでのエラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2577E :esipc: MTP never stabilized after initialization plt:%d, gta\_system:%d

**説明:** ESIPC は共有メモリーに接続しようとしたますが、領域を完全に初期化する前にタイムアウトになりました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2578E :esipc: KIXSYS Environment Variable Was Not Set

**説明:** 領域を起動する前に KIXSYS 環境変数を設定する必要があります。

**対処:** KIXSYS 環境変数を設定します。

2579E :esipc: KIXSYS Path is too long (i.e. greater than 112 characters)

**説明:** KIXSYS 環境変数のパス名が長すぎるので、ESIPC は使用できません。

**対処:** 環境変数を短いパス名に変更します。

2580E :esipc: \$KIXSYS/kixcomm directory creation failed.  
stat:%d errno:%d

**説明:** ESIPC は一時ファイルを保持するディレクトリを作成できませんでした。

**対処:** stat および mkdir errno 値を使用して、作成に失敗した原因を調査します。

2581E :esipc: socket() failed. errno:%d

**説明:** ESIPC はトランザクション処理プログラムにソケットリスナーを作成できませんでした。

**対処:** socket errno 値を使用して、作成に失敗した原因を調査します。

2582E :esipc: bind() failed. errno:%d

**説明:** ESIPC はソケットをポートに接続できませんでした。

**対処:** bind errno 値を使用して、作成に失敗した原因を調査します。

2583E :esipc: listen() failed. errno:%d

**説明:** ESIPC はソケットでの待機に失敗しました。

**対処:** listen errno 値を使用して、作成に失敗した原因を調査します。

2584E :esipc: Endpoint Removal Failed

**説明:** ESIPC は終端配列の解放に失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2585E :esipc: MTP Connection destruction failed

**説明:** ESIPC はクライアントの解放に失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2586E :esipc: Error adding new Endpoint

**説明:** ESIPC は終端配列に端末を追加できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2587E :esipc: TCT allocation failed due to all TCTs being previously assigned

**説明:** ESIPC は、すべての端末が使用中であったので、領域に端末を追加できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2588E :esipc: TCT allocation failed ErrorCode:%d

**説明:** ESIPC は領域に端末を追加できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2589E :esipc: MTP State Invalid. gta\_system:%d gta\_shutdown:%d

**説明:** ESIPC は、領域がトランザクションを受け取ることができなかったため、トランザクションを開始できませんでした。

**対処:** このエラーは、システムが停止している場合、またはバッチモードの場合に発生します。領域がどちらの状態でもない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2590E :esipc: Term/Tran state invalid. TermState:%s, TranState:%s, code:%d

**説明:** ESIPC は、端末がトランザクションを受け取ることができなかったため、トランザクションを開始できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2591E :esipc: Endpoint's TCT already locked. Assuming ATI in progress

**説明:** ESIPC は、トランザクションを開始しようとしたが、端末の TCT エントリがロックされていました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2592E :esipc: kxsndm () failed. code:%d

**説明:** ESIPC はトランザクションを開始しようとしたが、プロセスキューにメッセージを送信できませんでした。

**対処:** このエラーは、システムが停止モードの場合に発生します。領域が停止していない場合は、このエラーをご購入先に報告してください。

2593E :esipc: Invalid State Transition. TermState:%s,  
Event:KXTERMINP

**説明:** ESIPC は端末のトランザクションを開始しましたが、端末の状態を変更できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2594E :esipc: Message Received For Unknown Terminal

**説明:** ESIPC は不明な端末のイベントを受け取りました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2595E :esipc: Invalid State Transition: %s -> %d, epID: %d

**説明:** ESIPC は Sun MTP からイベントを受け取りましたが、端末の状態を変更できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2596E :esipc: User Data area invalid or too small

**説明:** ESIPC は Sun MTP から 端末に対する SEND イベントを受け取りましたが、要求を受け取るデータ領域が小さすぎました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2597E :esipc: Unrecognized Cntl request.Request: %d

**説明:** ESIPC は無効なタイプの control 要求を受け取りました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2598E :esipc: Unexpected message-type received. msg\_type: %d

**説明:** ESIPC は無効なタイプのイベントを受け取りました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2599E :esipc: kxgetdm() Failed.

**説明:** ESIPC は共有メモリーの動的 VSAM 領域に接続できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2600E :esipc: kxgetsm() Failed.

**説明:** ESIPC は共有メモリーのグローバル端末領域に接続できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2601E :esipc: Shared Memory Magic Value Invalid

**説明:** ESIPC は共有メモリーのグローバル端末領域に接続しようとしたのですが、領域が壊れていました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2602E :esipc: Release of Dynamic Memory Failed

**説明:** ESIPC は共有メモリーの動的 VSAM 領域から切断できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2603E :esipc: shmtd() failed. Error Msg: %s

**説明:** ESIPC は共有メモリーのグローバル端末領域から切断できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2604E :esipc: recv() failed. Error Msg: %s

**説明:** ESIPC はトランザクション処理プログラムに接続されたソケットから受信できませんでした。

**対処:** 変数 %s のエラーメッセージ情報を使って、呼び出しが失敗した理由を調査します。解決策が見つからない場合は、このエラーをご購入先に連絡してください。

2605E :esipc: Connection %d Reset By Peer

**説明:** ESIPC はトランザクション処理プログラムへのソケット接続が遮断されていることを発見しました。

**対処:** このエラーは、トランザクション処理プログラムが正常に終了している場合にも、異常終了している場合にも発生します。トランザクション処理プログラムが終了した理由を調査します。

2606E CommMgr unable to DUP Listen fd in TN(pid=%d), errno=%d

**説明:** CommMgr プロセスは、Listen fd を転送するための、unikixtnmux プロセスの Listen fd を複製できませんでした。このメッセージは、Windows NT 上の Sun MTP に対して適用されます。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

2607E [main] Server %d terminated without completing attach

**説明:** このメッセージは、サーバー (unikixtnmux、unikixdcl、unikixssl、unikixqm など) が、接続プロトコルシーケンスを完了する前に強制的に中止すると、unikixCommMgr プロセスによって報告されます。このエ

ラーは、unikixdcl サーバーが .unikixrc または unikix.cfg ファイルで構成されているが、SNA 通信サーバーがインストールされていない場合に、Windows システムで発生することがあります。

**対処:** SNA 通信サーバーをインストールするか、unikixrc または unikix.cfg ファイルの対応するエントリを False に設定します。

2608E :esipc:[%r] Socket Connection table FULL

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーメッセージと該当する kixsnap 出力をご購入先に送信します。

2609E :esipc: [%r] Malloc failure for Socket Connection table entry

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーメッセージと該当する kixsnap 出力をご購入先に送信します。

2757I CEDA INSTALL GROUP %s %s was executed by the user [%s]

**説明:** CEDA INSTALL コマンドごとに、unikixmain.log ファイルに書き込まれます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2758I Adding PROGRAM dynamically into ppt table is not implemented

**説明:** Sun MTP の現行バージョンでは、プログラムを動的に追加することはできません。このメッセージは、グループに複数のプログラムがある場合でも、CEDA INSTALL コマンドの使用ごとに 1 回だけ表示されます。

**対処:** オンラインで CEDA コマンドを使用するか、バッチから dfhusdup コマンドを使用して、必要なプログラムを必要なグループに追加します。新しいプログラムを含むグループを追加して、領域を再利用します。

2759I No GROUPS resource file specified

**説明:** 領域の起動時に、オプション -G が指定されていませんでした。このオプションは、システム定義ファイルからリソースを追加します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2760E Error opening the resource file [%s]

**説明:** 起動時に unikixmain コマンドで -G オプションを使用して指定したリソースファイルのオープン時に、エラーが発生しました。

**対処:** ファイルが存在するかどうか、パス名が正しいかどうか、また読み取り権があるかどうかを確認します。

- 2761I Number of %s entries that can be dynamically added = %d  
**説明:** 領域へ動的に追加できるリソースタイプエントリの数です。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 2762I Processing of Group %s started  
**説明:** unikixmain コマンドに -G オプションで指定されたファイルのグループごとに表示される情報メッセージです。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 2763I Number of %s entries added %d  
**説明:** KIX2762I メッセージに現在表示されているグループから追加される、リソースタイプエントリの数です。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 2764I Number of %s entries updated %d  
**説明:** 領域にすでに追加され、現グループのリソースタイプエントリで置き換えられたリソースタイプエントリの数です。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 2765I Processing of Group %s ended  
**説明:** KIX2762I メッセージに表示されたグループの処理が完了しています。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 2766E Group name is more than %d characters long %s  
**説明:** -G オプションで指定されたファイルにあるグループ名が、決められた長さを超えています。  
**対処:** ファイルを編集し、領域を再起動します。
- 2767I User [%s] requested to install resource [%s] of type [%s]  
**説明:** ユーザーがインストールしたリソースごとに、このメッセージが unikixmain.log ファイルに追加されます。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。
- 2768I User [%s] resource [%s] successfully [%s]  
**説明:** リソースが領域に正しく追加されたか、動的に置き換えられたことを示します。置き換えられたリソースの場合、このメッセージは、領域のリソースの属性がインストールされているものと異なる場合にだけ表示されます。  
**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2769E User [%s] resource [%s] failed for [%s]

**説明:** リソースのインストールが、次のいずれかの理由で失敗しました。

**原因:** 別のトランザクションが、リソースにアクセスしています。

**対処:** どのトランザクションもそのリソースにアクセスしていないときに、再実行します。

**原因:** マップされていません。

**対処:** 領域を新しい PPT エントリで再利用します。

**原因:** 新しい PPT エントリの追加に使用可能な領域がありません

**対処:** 領域を再利用します。unikixmain -ap オプションの数字を増やしてみます。

**原因:** 内部エラーです。

**対処:** 問題をご購入先に報告してください。

2770E Conflicting options or wrong format

**説明:** コマンドは重複したオプションを含んでいるか、無効な形式です。

**対処:** コマンドを編集し、再実行します。

2771E Internal Error

**説明:** Sun MTP の内部エラーが発生しました。

**対処:** 問題をご購入先に報告してください。

2772I %s complete

**説明:** 要求されたコマンドが完了しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2773I No records to display

**説明:** CEDA DISLAY トランザクションで指定された基準に一致するレコードがありません。

2774I Target record already exists, group [%s] resource [%s]  
type [%s]

**説明:** 目的のレコードはすでに存在しています。

**対処:** 必要であれば、REPLACE オプションを指定し、ジョブを再実行します。

2775I Merge or Replace not specified

**説明:** TO GROUP パラメータで指定されたグループに、リソースが存在します。

**対処:** 必要であれば、REPLACE または MERGE オプションを追加し、ジョブを再実行します。

2777I Group %s Resource %s was written by user %s

**説明:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2778I Group %s Resource %s was updated by user %s

**説明:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2779I Group %s Resource %s was deleted by user %s

**説明:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2780F dfhusdup must be started as a batch job

**説明:** dfhusdup ユーティリティーをバッチジョブとして実行する必要があります。

**対処:** dfhusdup コマンドとオプションを含むファイルを作成し、バッチジョブとして再実行します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

2781E Not supported

**説明:** dfhusdup ジョブで要求されたコマンドのオプションは、このバージョンの Sun MTP ではサポートされていません。

**対処:** コマンドを編集してサポートされていないオプションを削除し、ジョブを再実行します。

2782E USD option is set to READONLY

**説明:** USD オプションが、dfhusdup ユーティリティーで発行されました。

**対処:** READONLY オプションを削除するか、コマンドを編集してから、ジョブを再実行します。

2783E %s file [%s] open failed, error number [%d]

**説明:** dfhusdup ユーティリティーの CMDFILE オプションで指定されたファイルのオープン時にエラーが発生しました。

**対処:** ファイルが存在するかどうか、読み取り権があるかどうかを確認し、ジョブを再実行します。

2785I Record not found

**説明:** 要求されたレコードが、DFHUSD ファイルに存在しません。

2786I Duplicate Record

**説明:** 定義されたリソースはすでに存在しています。

2788E Invalid Length

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** 問題をご購入先に報告してください。

2789E VSAM Error

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** 問題をご購入先に報告してください。

2790E FILE does not exist

**説明:** DFHUSD ファイルに問題があります。

**原因:** DFHUSD の VSAM カタログにエントリがないか、DFHUSD ファイルが壊れています。

**対処:** カタログのエントリが存在していることを確認します。存在している場合、kixvalfle ユーティリティを使用して、DFHUSD ファイルが壊れているかどうか判断します。壊れている場合、標準の回復方法を使用してファイルを回復します。サポートが必要な場合は、ご購入先に連絡してください。

2791E No permission to use the FILE

**対処:** アクセス権を変更し、コマンドを再実行します。

2792I Command completed, check log file for resources not installed

**説明:** CEDA INSTALL コマンドは正常に完了しましたが、グループ内の 1 つまたはいくつかのリソースは使用中のためにインストールされませんでした。

**対処:** unikixmain.log ファイルを調査して、インストールに失敗したリソースのリストを取得します。取得されたリソースは KIX2769E メッセージに示されません。

2800E SSL Failed to accept socket server connection

**説明:** unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスからの接続要求の受け入れに失敗しました。unikixssl プロセスは再起動します。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2801E SSL Failed to listen for socket server connection

**説明:** unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスからの接続要求の待機に失敗しました。unikixssl プロセスは再起動します。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2802E SSL Failed to bind socket server listen socket

**説明:** unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスからの接続要求を待機するソケットの確立に失敗しました。unikixssl プロセスは再起動します。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2803E SSL Failed to create thread

**説明:** unikixssl プロセスは、SSL クライアントソケットの処理を要求するスレッドの作成に失敗しました。SSL クライアントソケットは切断されます。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2804E SSL Failed to send to socket server

**説明:** 接続の確立中に unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスへの SSL 識別子の送信に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2805E SSL Failed to get local socket port

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアントソケットのポート番号の取得に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2806E SSL Failed to create socket

**説明:** unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスからの接続要求の待機するソケットの作成に失敗しました。unikixssl プロセスは再起動します。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2807E SSL Failed to get socket server host address

**説明:** unikixssl プロセスは、SslServer\*Sockhost 値のアドレスへの解釈処理に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

**対処:** unikixrc.cfg ファイルを確認し、有効な値であることを確認します。

2808E SSL Failed to connect to socket server.Is it running?

**説明:** unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスへの接続に失敗しました。実行されていないか、SslServer\*Sockhost と SslServer\*Sockport の値が unikixsock 起動オプションと一致しません。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

**対処:** unikixsock プロセスが実行中かを確認します。実行中の場合は、unikixrc.cfg ファイルを確認し、有効な値であることを確認します。

2809E SSL Handshake with client failed

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアント証明書を拒否したか、SSL クライアントとの暗号化アルゴリズムのネゴシエーションに失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

**対処:** 原因を調査し、適切な対処を実行します。

2810E SSL Failed to interrupt partner thread

**説明:** 内部エラーです。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2811E SSL Failed to read from socket

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアントまたはトランザクション処理プログラムソケットのいずれかからの読み取りに失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2812E SSL Failed to allocate memory for certificate entry

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアント証明書の情報を格納するメモリーの割り当てに失敗しました。

2813E SSL Failed to get client certificate information

**説明:** 正常なハンドシェークが行われたあと、unikixssl プロセスは、クライアント証明書の情報を読み取れませんでした。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2814E SSL Failed to notify join thread

**説明:** 内部エラーです。

2815E SSL Failed to allocate memory for join entry

**説明:** 内部エラーです。

2816E SSL Failed to set invalid certificate callback

**説明:** 内部エラーです。

2817E SSL Failed to set certificate authorization callback

**説明:** unikixssl プロセスは、証明書検証のユーザー出口の設定に失敗しました。クライアントが切断されました。

2818E SSL Failed to set socket option

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアントソケットでのソケットオプションの設定に失敗しました。クライアントが切断されました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2819E SSL Failed to get client address

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアントアドレスの取得に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2820E SSL Failed to verify client certificate

**説明:** unikixssl プロセスは、クライアント証明書を拒否しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2821E SSL Failed to get certificate database password

**説明:** unikixssl プロセスは、証明書データベースパスワードの検出に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2822E SSL Failed to get client certificate

**説明:** SSL ハンドシェイクの際に、unikixssl プロセスは、クライアント証明書の取得に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

2823E SSL Failed to remove client thread from join list

**説明:** 内部エラーです。

2824E SSL The join list is empty

**説明:** 内部エラーです。

2825E SSL %serror %d (line %d)

**説明:** 障害の原因を示す汎用メッセージが生成されます。

2826E SSL %serror %s%d (line %d)

**説明:** 障害の原因を示す汎用メッセージが生成されます。

2827E SSL Unrecoverable error server no longer active

**説明:** SSL サーバーは、回復不能なエラーを検出しました。サーバーは実行中ですが、有効ではありません。このメッセージの前に、障害の原因を示すメッセージが表示されます。

**対処:** 障害の根本原因を修正し、領域を再起動します。

2828E SSL Failed to remove certificate

**説明:** unikixssl プロセスは、unikixsock プロセスとの通信障害のあと、証明書のクリーンアップに失敗しました。

2829E SSL Asked to handshake as a client

**説明:** 内部エラーです。

2830E SSL Failed to get certificate database pointer

**説明:** 内部エラーです。

2831E SSL Certificate rejected by user exit

**説明:** このエラーは、カスタマイズされた証明書検証のユーザー出口がクライアント証明書を拒否した場合に発生します。

2832E SSL Join list is empty

**説明:** 内部エラーです。

2833E SSL Failed to find join entry

**説明:** 内部エラーです。

2834E SSL Certificate list is empty

**説明:** 内部エラーです。

2835E SSL Failed to find certificate entry

**説明:** 内部エラーです。

2836E SSL Failed to configure client socket for SSL

**説明:** クライアントソケットを SSL に設定できません。このメッセージの前に、障害の原因を示す詳細なメッセージが表示されます。

2837E SSL Failed to create certificate

**説明:** ハンドシェークのあとで、unikixssl プロセスは、クライアントから受信した証明書の格納に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示す詳細なメッセージが表示されます。

2838E SSL Failed to add certificate to certificate list

**説明:** ハンドシェークのあとで、unikixssl プロセスは、クライアントから受信した証明書の格納に失敗しました。このメッセージの前に、障害の原因を示す詳細なメッセージが表示されます。

2839E SSL Failed to add client thread to join list

**説明:** 内部エラーです。

2900I Number of rollback messages = %u

**説明:** システムがロールバックを呼び出した回数です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2901I Number of recovery flush messages = %u

**説明:** システムが、回復プロセスで回復バッファをフラッシュするように要求した回数です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2902I Number of recovery sync messages = %u

**説明:** システムが、回復バッファのしきい値レベルに達する前に回復プロセスで回復バッファをフラッシュするように要求した回数です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2903I Number of flush waiting messages = %u

**説明:** 回復ファイルで変更前イメージを保護するために進行中のフラッシュを、システムが待機する必要がある回数です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2904I Average recovery records per buffer = %s

**説明:** 回復ファイルに書き込まれた各バッファ内の回復レコード数の平均を示すメッセージです。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2905I Average recovery records per physical write = %s

**説明:** 物理的書き込みごとの回復ファイルに書き込まれたレコード数の平均を示すメッセージです。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2906I Average buffer fit ratio per physical write = %s

**説明:** 物理的書き込みごとに使用されるバッファ領域の平均の割合を示すメッセージです。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

2925F Process %s is not built using thread library on Solaris

**説明:** 起動時に Solaris システムで相互排除が有効になっている場合 (デフォルト) にだけ、このメッセージが表示されます。

**対処:** 指定されたプロセスが Sun MTP の場合は、ご購入先に連絡してください。C-ISAM ライブラリの使用など、プロセスがユーザーにより作成された場合、ユーザーはスレッドライブラリで実行可能プログラムを作成する必要があります。代わりに、相互排除なしで領域を再起動することもできますが、パフォーマンスに影響を与える場合があります。

---

## 3000 ～ 3499 メッセージ

3000E MQDISC() Error %ld Reason %ld

**説明:** MQDISC 関数の呼び出しが、予期しないエラーで失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3001E MQCONN() Error %ld Reason %ld

**説明:** MQCONN 関数の呼び出しが、予期しないエラーで失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3002E MQOPEN() Error %ld Reason %ld

**説明:** MQOPEN 関数の呼び出しが、予期しないエラーで失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3003E MQGET() Error %ld Reason %ld

**説明:** MQGET 関数の呼び出しが、予期しないエラーで失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3004E MQCLOSE() Error %ld Reason %ld

**説明:** MQCLOSE 関数の呼び出しが、予期しないエラーで失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3005W WebSphere MQ Trigger Monitor is not available

**説明:** Sun MTPトリガーモニターで、キューマネージャーとの通信中にエラーが発生しました。この状態では、トリガー機能を使用できません。

**原因:** 通常、このエラーは、次のような理由でキューマネージャーが使用できなくなった場合に発生します。

- キューマネージャーが、システム管理者によって停止された。
- チャネルリスナーが停止された。

**対処:** 設定されているキューマネージャーが有効で、通信可能であることを確認します。たとえば、キューマネージャーシステムで `dspmqr` コマンドを実行し、どのキューマネージャーが現在有効であるかを確認します。

3006E Invalid startup parameter

**説明:** \$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルの MQ パラメータが不正です。

**原因:** トリガーキュー名が、\$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルで定義されていません。

**対処:** \$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルで、トリガーキュー名を定義します。

3007W WebSphere MQ Queue does not exist

**説明:** \$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルで定義されている Sun MTP トリガーキューが、設定されているキューマネージャーで存在しません。

**対処:** \$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルで定義されているトリガーキューの名前が正しいことを確認します。このキューが設定されているキューマネージャー用に作成されていることを確認します。

3008E WebSphere MQ Triggered transaction %4.4s does not exist

**説明:** Sun MTP WebSphere MQ トリガーモニターは、領域で設定されていないトランザクションを開始しようとしてしました。

**対処:** キューマネージャーの APPLICID パラメータで、トランザクションが正しいことを確認します。領域の設定を調査し、指定したトランザクションが領域で定義されていることを確認します。

3009E WebSphere MQ Queue Manager is stopping

**説明:** MQ キューマネージャーが終了しています。トリガーのモニターは実行されません。

**対処:** 必要であれば、キューマネージャーを再起動します。

3010W MQSeries Trigger Queue is already in use

**説明:** 他のプロセスが、トリガーキューを読み取っています。

**原因:** このエラーは、Sun MTP トリガーモニターを前に起動したときに、異常終了したことが原因の場合があります。

**対処:** このエラーは一時的なものですが、続く場合はシステム構成を調べて、キューをロックしているプロセスを調査し、適切な対処を実行します。

3011W WebSphere MQ Queue Manager is unknown

**説明:** \$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルで定義されているキューマネージャーが存在しません。

**対処:** \$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルでキューマネージャー名が正しいことを確認します。キューマネージャーが作成されていることを確認します。

3012W MTP is not authorized to access the WebSphere MQ Queue Manager

**説明:** Sun MTP は、指定した MQ キューマネージャーにアクセスする権限がありません。

**対処:** MQ キューの権限を変更します。

3013W MQGET has been disabled for the WebSphere MQ Trigger Queue

**説明:** 指定したキューが構成されているので、MQGET() 関数の呼び出しが失敗しました。システム管理者が、保守管理目的で構成している場合があります。

**対処:** キューマネージャーの設定を変更し、関連付けられたトリガーキューで MQGET 処理を有効にします。

3014I WebSphere MQ Trigger Monitor is ready for work

**説明:** トリガーキューへの接続に成功しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3015I MQGET has been enabled for the MQSeries Trigger Queue

**説明:** MQGET() 関数の呼び出しは無効でしたが、現在は有効です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3016E dynmem area was not allocated by unikixmain

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3017I discarding prior [QueueManager]:QueueName %s:%s Pid %d

**説明:** unikixqm プロセスが再起動されましたが、キューマネージャー名 %s またはキュー名 %s が異なります。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3018I [QueueManager]:QueueName is %s:%s

**説明:** unikixqm プロセスは、キューマネージャー名 %s およびキュー名 %s を使用して、MQ に接続しています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3030E TermID %4.4s has preset security, sign on/off not allowed

**説明:** この端末でサインオンまたはサインオフを試みましたが、拒否されました。

**原因:** 端末管理テーブル (TCT) の 3270 Devices 部分で、この端末が、ID (OpUser ID フィールド) とともに設定されています。これは、サインオンまたはサインオフを許可されていません。

**対処:** このデバイスで、ユーザーのサインオンまたはサインオフが必要な場合は、TCT エントリからユーザー ID を削除します。

3031W Preset userid %8.8s for termID %4.4s not defined in SNT, default used

**説明:** TCT (OpUser ID フィールド) の 3270 Devices 部分にあるこの端末で設定されているユーザー ID が、サインオンテーブル (SNT) で拒否されました。基本的な Sun MTP セキュリティーを使用している場合は、TCT で拒否された OpUser ID は、スペースで上書きされ、デフォルトのセキュリティーキー 1 が設定されます。外部セキュリティーマネージャー (ESM) を使用している場合は、TCT で拒否された OpUser ID は、KIXSECDFLTUSER 値で上書きされ、権限がこの端末で設定されます。

**対処:** SNT でユーザー ID を定義する必要があります。定義されていない場合は、デフォルトユーザーのセキュリティープロファイルが使用されます。

3032W Preset userid %8.8s for printer %4.4s not defined in SNT, default used

**説明:** TCT (OpUser ID フィールド) の UNIX Printers 部分にあるこの端末で設定されているユーザー ID が、SNT で拒否されました。基本的な Sun MTP セキュリティーを使用している場合は、TCT で拒否された OpUser ID は、スペースで上書きされ、デフォルトのセキュリティーキー 1 が設定されます。外部セキュリティーマネージャー (ESM) を使用している場合は、TCT で拒否された OpUser ID は、KIXSECDFLTUSER 値で上書きされ、権限がこのプリンタで設定されます。

**対処:** SNT でユーザー ID を定義する必要があります。定義されていない場合は、デフォルトユーザーのセキュリティープロファイルが使用されます。

3210I Enter API Command.

**説明:** この情報メッセージは、CECI コマンド入力画面への入力時に表示されません。

**対処:** コマンドを入力します。

3211E Invalid API Command - please reenter.

**説明:** CECI トランザクションのコマンド入力画面で無効なコマンドを入力しました。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

3212E You are already at the top of the screen.

**説明:** このメッセージは、CECI コマンド入力画面の表示可能部分の最上部にいる状態で PF7 キーを押し、画面を後方にスクロールすると表示されます。

**対処:** PF8 キーを押して、他のコマンドを表示します。

3213I There are no further API commands.

**説明:** このメッセージは、CECI コマンド入力画面の表示可能部分の最下部にいる状態で PF8 キーを押し、画面を前方にスクロールすると表示されます。

**対処:** PF7 キーを押して、他のコマンドを表示します。

3214E CECI writecon failed

**説明:** これは端末の内部 I/O エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3220E Translation Error - see PF9.

**説明:** このメッセージは、CECI 「Syntax」画面に入力したコマンドに、構文エラーがある場合に表示されます。

**対処:** PF9 キーを押して、「Translator Messages」画面を表示します。

3230E Variable has not been defined.

**説明:** CECI 「Syntax」画面で、キーワード引数に存在しない CECI 変数名を指定しました。

**対処:** 変数を定義するか、コマンドの構文を変更し、再実行します。

3231E An opening parenthesis is missing.

**説明:** 指定したコマンドの構文に、開き括弧がありません。

**対処:** コマンドの構文を訂正し、再実行します。

3232E A closing parenthesis is missing.

**説明:** 指定したコマンドの構文に、閉じ括弧がありません。

**対処:** コマンドの構文を訂正し、再実行します。

3233E API Verb requires an argument.

**説明:** 指定したコマンドの構文に、引数がありません。

**対処:** コマンドの構文を訂正し、再実行します。

3240E CECI Variables must commence with &.

**説明:** このメッセージは、定義する変数の名前がアンパサンド (&) 文字で始まらない場合に表示されます。

**対処:** 変数名を訂正し、再実行します。

3241E Maximum variable length is 32767 - please reenter.

**説明:** このメッセージは、指定した変数の長さが最大の 32,767 バイトを超えている場合に表示されます。

**対処:** 変数の長さを訂正し、再実行します。

3242E Illegal length field entered - please reenter.

**説明:** 入力した長さが不当です。

**対処:** 正しい長さを入力します。

3250I The end of the variable is already displayed.

**説明:** 現在の画面には、最後の変数が表示されています。

**対処:** PF8 キーを押して、前方にスクロールします。

3251I The beginning of the variable is already displayed.

**説明:** 現在の画面には、最初の変数が表示されています。

**対処:** PF7 キーを押して、後方にスクロールします。

3252E An invalid character has been entered.

**説明:** 認識できない文字が入力されました。

**対処:** 正しい文字で再実行します。

3260I CECI has not been installed on this MTP region

**説明:** Sun MTP トランザクション処理プログラムの unikixtran には、CECI ライブラリが含まれていません。

**対処:** CECI は、すべての Sun MTP プラットフォームでサポートされているわけではありません。サポートされているプラットフォームについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア ご使用にあたって (Solaris プラットフォーム用)』を参照してください。

3300I Usage: kixexpcat -c catalog\_file\_name [-l list\_file\_name]  
[-x Y|N]

**説明:** kixexpcat ユーティリティーの使用方法メッセージです。

**対処:** 使用方法メッセージにあるように、正しいオプションと引数で kixexpcat コマンドを再実行します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

3301F Could not access file %s - stat() failed

**説明:** 与えられたファイルの 1 つにアクセスできませんでした。

**対処:** 正しいアクセス権のファイルが存在するかどうかを確認します。

3302F Could not allocate storage - malloc() failed

**説明:** 記憶域を割り当てられませんでした。

**対処:** システム管理者に連絡してください。

3303F Could not open file %s - fopen() failed

**説明:** 与えられたファイルの 1 つをオープンできませんでした。

**対処:** ファイルとファイルが置かれているディレクトリに書き込み権があることを確認します。

3304I Usage: kiximpcat -l list\_file\_name -c catalog\_file\_name

**説明:** kiximpcat ユーティリティーの使用方法メッセージです。

**対処:** 使用方法メッセージにあるように、正しいオプションと引数で kiximpcat コマンドを再実行します。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

3305F File %s, Line %d: Invalid block size specified

**説明:** 4K バイト、8K バイト、16K バイト、32K バイト以外のブロックサイズが指定されました。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのブロックサイズを訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3306F Fatal error: No space left in index

**説明:** 索引ファイルには、残っている領域がありません。これは、CATALOG.lst ファイルのエントリの数が増え、2952 を超えた場合に起こります。これは、kiximpcat の制限事項です。

**対処:** VSAM カタログのエントリを減らし、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』に、CATALOG.lst ファイルの制約について説明されています。

3307F File %s, Line %d, Field %d: Field may not exceed %d characters

**説明:** CATALOG.lst ファイルのフィールドの 1 つが長すぎます。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのフィールドサイズを訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3308F File %s, Line %d: Block size may only be specified on line 1

**説明:** CATALOG.lst ファイルの 1 行目以外の行に、VSAM ブロックサイズを定義しようとした。

**対処:** CATALOG.lst ファイルの 1 行目で VSAM ブロックサイズを定義し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3309F File %s, Line %d, Field %d: Invalid record format

**説明:** V または F 以外のレコード形式を定義しようとした。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのすべてのレコード形式が、V または F のどちらかであることを確認し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3310F File %s, Line %d, Field %d: Invalid access type

**説明:** KSDS、ESDS、または RRDS 以外の VSAM ファイルのアクセスタイプを定義しようとした。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのすべてのアクセスタイプが、KSDS、ESDS、または RRDS のいずれかであることを確認し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3311F File %s, Line %d: Maximum number of alternate records exceeded

**説明:** プライマリファイルごとに認められている代替レコード定義は、最高で 12 です。

**対処:** 超過したレコード定義を削除し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3312F File %s, Line %d: Alternate record does not match current primary record

**説明:** 代替レコードには、前のプライマリレコード定義と同じプライマリ環境およびプライマリファイル名が必要です。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのプライマリ環境とプライマリファイル名を訂正し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3313F File %s, Line %d: Maximum number of spanned records exceeded

**説明:** プライマリファイルごとに認められているスパンレコード定義は、最高で 7 です。

**対処:** 超過したスパンレコード定義を削除し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3314F File %s, Line %d: Spanned record does not match current primary record

**説明:** スパンレコードには、前のプライマリレコード定義と同じプライマリ環境とプライマリファイル名が必要です。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのプライマリ環境とプライマリファイル名を訂正し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3315F File %s, Line %d, Field %d: Record type must be B,P,A or S

**説明:** 無効なレコードタイプが指定されました。

**対処:** CATALOG.lst ファイルのすべてのレコードタイプが、B、P、A、または S であることを確認し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3316F File %s, Line %d, Field %d: Keylength must be zero for  
ESDS and RRDS records

**説明:** ESDS と RRDS レコードのキー長は、ゼロである必要があります。

**対処:** CATALOG.1st ファイルの ESDS と RRDS レコードのキー長がゼロであることを確認し、kiximpcat コマンドを実行し直します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3317F File %s, Line %d: Primary record is out of order

**説明:** CATALOG.1st ファイルのすべてのレコードは、プライマリ環境と主ファイル名からなるキーで昇順にソートする必要があります。このメッセージは、このルールに違反していることを示します。

**対処:** CATALOG.1st ファイルを編集し、kiximpcat コマンドを実行し直します。最初の主キーのプライマリクラスタのレコードは、2 番目の主キーのレコードの前に、というようになります。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』で、レコード形式と CATALOG.1st ファイル例の記述を確認します。

3318F File %s, Line %d: Duplicate primary record

**説明:** 重複するプライマリレコードが指定されました。

**対処:** 重複するレコードを削除または訂正し、kiximpcat コマンドを実行し直します。

3319F File %s, Line %d: Spanned records are only permitted for  
KSDS files

**説明:** ESDS または RRDS ファイルにスパンレコードを定義しようとした。

**対処:** CATALOG.1st ファイルをチェックし、エントリのレコードタイプまたはファイルタイプを変更します。kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3320F File %s, Line %d: Alternate records are only permitted  
for KSDS files

**説明:** ESDS または RRDS ファイルに代替レコードを定義しようとした。

**対処:** CATALOG.1st ファイルをチェックし、エントリのレコードタイプまたはファイルタイプを変更します。kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3321F File %s, Line %d, Field %d: Key position must be zero for ESDS and RRDS records

**説明:** ESDS と RRDS レコードのキー位置フィールドは、ゼロである必要があります。

**対処:** キー位置フィールドの値を訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3322F File %s, Line %d, Field %d: RRDS records may not be variable length

**説明:** RRDS レコードは、固定長だけです。

**対処:** プライマリクラスタの RRDS レコードのレコードタイプを訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3323F File %s, Line %d: The key is not completely within the record

**説明:** このキー位置とキー長は正しく定義されていないため、キーの一部が定義されたレコード長を外れます。

**対処:** キー定義を訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3324F File %s, Line %d: The alternate key is not completely within the primary record

**説明:** この代替キー位置とキー長は正しく定義されていないため、代替キーの一部が定義されたレコード長を外れます。

**対処:** キー定義を訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.1st ファイルのレコード形式について説明されています。

3325F File %s, Line %d, Field %d: Invalid spaces detected in field

**説明:** スペースは、フィールドの末尾の文字としてだけ認められています。

**対処:** フィールドの最後にあるスペース以外のスペースを削除し、kiximpcat コマンドを再実行します。

3326F File %s, Line %d, Field %d: A KSDS record must have a record length in the range 1 to 32767  
3327F File %s, Line %d, Field %d: A ESDS or RRDS record must have a record length in the range 1 to 4072  
3328F File %s, Line %d, Field %d: A KSDS record must have a key length in the range 1 to 255  
3329F File %s, Line %d, Field %d: A KSDS record must have an alternate key length in the range 1 to 255

**説明:** 範囲を超えるレコードまたはキー長が、CATALOG.lst ファイルに入力されていました。

**対処:** レコードまたはキー長を訂正し、kiximpcat コマンドを再実行します。  
『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』に、CATALOG.lst ファイルのレコード形式について説明されています。

3330F File %s, Line %d, Field %d: invalid/missing batch read-locking flag

**説明:** このメッセージは、クラスタのバッチ読み取りロックパラメータが存在しないか、Y または N 以外の値の場合、kiximpcat ユーティリティーによって表示されます。

**対処:** CATALOG.lst ファイルの不正なエントリを編集し、kiximpcat コマンドを再実行します。

3331F File %s: batch read-locking flag not set; need to specify -x Y|N

**説明:** このメッセージは、VSAM カタログファイルが移行されていないか、またはクラスタレコードのバッチ読み取りロック位置に空白が含まれている場合、kixexpcat ユーティリティーによって表示されます。

3332F File %s, Line %d: First record in file must be block size

**説明:** VSAM カタログの作成に使用する、指定されたファイルが不正です。最初の行には、VSAM ブロックサイズが必要です。

**対処:** ファイルを編集し、再実行します。

3333F Could not restore %s from backup file

**説明:** コンソールの前の行で示された理由により、VSAM カタログのインポートに失敗しました。ファイルを元の内容に復元しようとしたのですが、システムがバックアップファイルからコピーできなかったので失敗しました。

**対処:** VSAM カタログのインポートに関する問題を修正し、ユーティリティーを再実行します。元のファイルが以後も必要な場合、バックアップから復元します。

3334F Could not create backup file for %s

**説明:** ユーティリティーは、ファイルを破棄する前に、そのバックアップの作成に失敗しました。

**対処:** ユーザーは、ユーティリティーを実行するディレクトリへの書き込み権が必要です。

3335F File %s, Line %d, Field %d: Primary size cannot be greater than 2Gb

**説明:** プライマリサイズフィールド %d は、2G バイト以上にはできません。

**対処:** %d 行の %d フィールドを編集して、有効な値を入力します。

3336F File %s, Line %d, Field %d: Secondary size cannot be greater than 2Gb

**説明:** セカンダリサイズフィールド %d は、2G バイト以上にできません。

**対処:** %d 行の %d フィールドを編集して、有効な値を入力します。

3337F File %s, Line %d, Field %d: Percent fill must be in the range of 0 to 99

**説明:** 不正な値が指定されました。

**対処:** %d 行の %d フィールドを編集して、有効な値を入力します。

3338F File %s, Line %d, Field %d: Percent Fill must be zero for an ESDS or RRDS

**説明:** ESDS および RRDS VSAM ファイルでは、充てん率は使用できません。

**対処:** %d 行の %d フィールドを編集して、0 に設定します。

3339F File %s, Line %d, Field %d: invalid / missing reuse\_allowed flag

**説明:** フィールド %d の値は、Y または N である必要があります。

**対処:** %d 行の %d フィールドを編集して、Y または N に設定します。

3350F CISAM ERROR: %s Error is %d

**説明:** VSAM データにアクセスするために C-ISAM インタフェースを使用する処理で、エラーが発生しました。このメッセージは、エラーの簡単な説明、ファイル名、およびエラー番号を示します。次に例を示します。

CISAM ERROR: Number of OPEN File Exceeded Error is 98

3351F CISAM ERROR: %s %s Error is %d

**説明:** VSAM データにアクセスするために C-ISAM インタフェースを使用する処理で、エラーが発生しました。このメッセージは、エラーの簡単な説明、ファイル名、およびエラー番号を示します。

3400I Java Support Loaded

**説明:** Java ランタイムが正常に読み込まれ、Java CICS (JCICS) が有効になっています。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3401I Java not supported

**説明:** Java サポートがこのバージョンの Sun MTP に組み込まれていません。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3402E Java Support Library [%s] could not be found

**説明:** 領域の起動時に、Java サポートライブラリが見つからない場合、Java サポートは無効になります。

**対処:** Java アプリケーションをサポートする領域の構成については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

3403W Warning!Java Support Disabled [%s]

**説明:** Java 環境が不正に設定されました。変数文字列には、問題のさらに詳細な説明が表示されます。

**原因:** このメッセージは、システムに Java がライセンスされているにもかかわらず、構成されていない場合に表示されます。

**対処:** Java アプリケーションをサポートする領域の構成については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

3404E Erroneous call to <%s> in a non-Java environment

**説明:** Java ランタイムが無効なときに、Java を含むトランザクションを実行しようとしています。このメッセージの前に通常は、メッセージ 3403W が表示されます。

**対処:** Java アプリケーションをサポートする領域の構成については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

3405W Illegal attempt to call System.exit(int) or  
Runtime.exit(int) ignored

**説明:** 指定されたメソッドのどちらかへの呼び出しが、ユーザーの Java コードから実行されました。呼び出しは無視されました。

**対処:** ソースコードを調べ、これらの呼び出しを削除します。

3406E Java Runtime called abort\_hook() following serious error

**説明:** 通常 abort\_hook() 関数は、ユーザーの Java Native Interface (JNI) コードのエラーが原因で、JVM によって呼び出されます。

**対処:** ユーザーの Java コードを調べ、修正します。

3407E Internal Error in Java Support [Failed to create the JVM]

**説明:** Sun MTP は JVM を見つけられません。

**対処:** 共有ライブラリ環境変数を含む Java 構成を調査します。Java の構成については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。構成エラーが見つからない場合は、この問題をご購入先に連絡してください。

3408E Java Class %s does not have a valid 'main' method

**説明:** 指定したクラスには、有効な main() メソッドはありません。

**対処:** main() メソッドの詳細について『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照し、アプリケーションを修正します。

3409I Java disabled by user

**説明:** KIX\_DISABLE\_JAVA 環境変数が YES に設定されているので、Java による処理が実行できないことを示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

---

## 3500 ~ 3999 メッセージ

3500I MTP date/time is being set to %s  
Current MTP date/time is %s

**説明:** Sun MTP が現在のシステム日付/時間とは異なる日付/時間を使用しています。Sun MTP が使用する日付/時間は、unikixmain.log ファイルに出力されます。

**対処:** これは情報メッセージなので、対処は必要ありません。Sun MTP の日付/時間を変更するには、kixdate ユーティリティーを使用します。

3501I Current MTP date/time is %s

**説明:** Sun MTP の現在の日付と時間を表示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3502E Date/Time %s is invalid.

**説明:** Sun MTP の日付/時間は、正しい形式で指定されませんでした。このエラーが発生すると、指定された日付/時間の代わりにシステムの日付/時間が使用されます。有効な形式については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 管理者ガイド』を参照してください。

**対処:** \$KIXSYS/datefile の内容をチェックし、日付/時間の指定を調査します。kixdate を使用し、Sun MTP の日付/時間をリセットしてから Sun MTP の日付/時間を設定します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3503E Internal processing error in date/time shift

**説明:** Sun MTP システム管理者が指定した Sun MTP の日付/時間を設定しようとして、起動ロジックにシステム上の問題が発生しました。このエラーが発生すると、Sun MTP は指定された日付/時間の代わりにシステムの日付/時間を使用します。

**対処:** システムリソースを確認します。問題を特定できないで解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3520I Use PF9 to Enter JAVA Details

**説明:** PF9 キーを押し、絶対パスで Java の完全修飾クラス名を入力できる PPT の「Java Details」画面を表示します。

**対処:** 情報メッセージです。

3521I Remote Object/IIOP not supported - fields accepted

**説明:** 「Remote Object」と「IIOP」フィールドは、このリリースの Sun MTP では使用しません。これらのフィールドに値を入力すると、受け取られますが無視されます。

**対処:** 情報メッセージです。

3550E [%r] Lost terminal not found in local list of %d messages

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3590I Data modified (and propagated to all aliases as well!)

**説明:** fct.tbl ファイルの別名データセットが変更され、変更はデータセットの他のすべての別名に反映されました。別名とは、同じ物理ファイルを参照する異なるデータセット名です。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3592E Entry does not match other aliases

**説明:** 挿入モードで、FCT 中の既存のデータセットの別名である新しいデータセットの定義に使用する引数が、既存の別名の引数と矛盾しています。

**対処:** 既存の別名と矛盾しない引数を指定します。

3593E Maximum count of alias datasets exceeded

**説明:** 定義できる別名データセットは、最高で 8 個です。この最大値に達していません。

**対処:** 定義するデータセットの数を、8 個未満に変更します。

3594E CodeWatch not properly started/attached to unikixtran  
pid=nnn

**説明:** Sun MTP は、名前付きトランザクションの PID に接続する CodeWatch プロセスのプロセス ID を決定できません。

**対処:** UNIX のバージョンをチェックし、ps システムコマンドの ps -ef 形式をサポートしていることを確認します。

3596E CodeWatch cannot be invoked on a non-PL/I system

**説明:** Liant Open PL/I 環境ではない領域で、CEDF から CodeWatch モードを設定しようとした。

**対処:** Liant Open PL/I ランタイムモジュールでトランザクション処理プログラムを再構築します。

3597E Excessive PW failures - Userid %s is suspended

**説明:** ログインしようとしたユーザー ID が、SIT に設定されているパスワードの失敗回数を超えました。このユーザー ID は、停止されます。

**対処:** Sun MTP 管理者は、SNT のユーザーのエントリを変更し、新しい一時パスワードでサインオンできるようにします。

3600I MAXIMUM aliases exceeded - - ignoring %8.8s

**説明:** FCT エントリの別名は最大数 8 個を超えています。エラーメッセージで表示された別名は無視されます。

**対処:** FCT エントリを再構成し、最大値を超えないようにします。

3605I Resource %8.8s was configured as type %c but is being change to type 'M' (mapset)

**説明:** リソース %8.8 は、タイプ %c として構成されましたが、初めてアプリケーションのマップセットとして使用されました。システムは、このリソースを %c からマップセットに変更しました。アプリケーションは、リソースが同じまたは異なる属性で再度インストールされるか、システムが再使用されるまで、このリソースをマップセットとして使用する必要があります。

**対処:** リソースの属性を BMS に変更できます。

3606I Resource %8.8s was configured as type 'M' (mapset) but is being used in a non-BMS CICS API.

**説明:** CICS API は、マップセットとしてシステムに定義されていますが、このリソースをプログラムとして使用しました。

**対処:** リソースを適切なタイプに訂正します。

3610I [%r] Child pid %d not found in pid table

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3650E [%r] Odd number of bytes between SO (index %d) and SI (index %d) in data stream

**説明:** ダブルバイト文字を SO (shift-out) と SI (shift-in) 文字の間に埋め込みます。SO と SI の間のバイト数は、2 の倍数になります (ダブルバイト文字の数の 2 倍)。

**対処:** アプリケーションプログラムの SOSI (shift-out, shift-in) リテラルを調査します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3651E [%r] SO (index %d) not followed by SI in data stream

**説明:** SO 文字には、ダブルバイト文字に続く対となる SI 文字が必要です。SI 文字がありません。

**対処:** アプリケーションプログラムの SOSI リテラルを調査します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3652E [%r] SI (index %d) encountered in data stream before SO

**説明:** SI 文字の前には、ダブルバイト文字があとに続く SO 文字が必要です。SO 文字がありません。

**対処:** アプリケーションプログラムの SOSI リテラルを調査します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3653E [%r] Odd number of bytes received for double-byte translation

**説明:** ダブルバイト変換は、一度に 2 バイトを変換します。このため、ダブルバイト変換要求は、2 の倍数のバッファサイズを必要とします。

**対処:** アプリケーションプログラムの SOSI リテラルを調査します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3654E [%r] Could not obtain current locale, errno = %d

**説明:** Sun MTP は実行中の言語の環境設定を取得できません。Sun MTP はシステムコール `setlocale()` を使用して、現在の言語設定を取得します。この障害は、ログ、画面、およびダンプの表示または印刷に使用する文字を Sun MTP がどう扱うかに影響する可能性があります。端末ユーザーが入力する文字の小文字から大文字への変換にも影響します。UNIX `errno` の値が表示されます。

**対処:** これはシステム上の問題です。システム管理者に連絡してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3655E [%r] setlocale failed, errno = %d

**説明:** Sun MTP は、環境で指定された言語環境を設定できませんでした。端末ユーザーが入力する文字の小文字から大文字への変換にも影響します。Sun MTP はシステムコール `setlocale()` を使用して、関連する環境変数で指定された言語環境を設定します。UNIX `errno` の値が表示されます。

**対処:** `LANG`、`LC_CTYPE`、および `LC_ALL` 環境変数が正しく設定されていることを確認します。システム管理者に連絡してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3656E [%r] mblen failed, return code = %d, errno = %d

**説明:** Sun MTP は受信した入力文字のバイト長を判定できません。バイト長はシングルバイト文字の場合は 1、ダブルバイト文字の場合は 2 になります。Sun MTP はシステムコール `mblen()` を使用して、バイト長を判定します。`mblen()` のリターンコードが表示されます。`mblen()` が失敗した場合、このコードは通常 -1 になります。UNIX `errno` の値が表示されます。

**対処:** これはシステム上の問題です。システム管理者に連絡してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3657E [%r] Unexpected return from mblen; Character comprises %d bytes

**説明:** Sun MTP は、シングルバイトまたはダブルバイト文字だけを受信します。メッセージ KIX3656E を参照します。`mblen()` が 2 より大きい数字を返す場合、Sun MTP は複数バイト文字を検出しました。現在、Sun MTP は、3 バイト以上の文字を扱えません。文字のバイト数は、`mblen()` で、表示されます。

**対処:** このエラーを起こす入力文字が、有効なシングルバイト文字またはダブルバイト文字であるかを確認します。問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

3658E [%r] Could not restore locale back to %s, errno = %d

**説明:** Sun MTP は、言語環境を復元できませんでした。メッセージ KIX3654E を参照します。Sun MTP は、小文字から大文字に変換する前に、現在の言語環境を保存します。変換が完了したあと、言語環境は復元されます。Sun MTP はシステムコール `setlocale()` を使用して、保存と復元の両方を行います。Sun MTP が復元しようとした言語環境を示す文字列が表示されます。UNIX `errno` の値が表示されます。

**対処:** これはシステム上の問題です。システム管理者に連絡してください。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

3659E [%r] Encountered a data stream order before encountering an SI while processing data after an SO.

**説明:** SOSI コンストラクトがデータストリーム順に分割された場所で、不正なデータストリームが発生しました。

**原因:** 大容量のデータを持つ EXEC CICS SEND TEXT の呼び出しが、不正なデータストリームの作成の原因となりました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3660W [%r] No SI encountered in data stream after SO.Blank inserted and continued processing

**説明:** SO 文字がありますが、SI 文字がデータストリームの終わりより前で検出されませんでした。

**原因:** データストリームが正しく構築されていません。

**対処:** データストリームを作成したコードを調査します。Sun MTP は、見つからない SI 文字を仮定するか、入力します。

3661W kxlocale() for category %s has already been 'set' with no intervening 'reset'. Call has been ignored.

**説明:** Sun MTPは、内部関数で、不正な呼び出しシーケンスを検出しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3690E No write permission for unikix group

**説明:** テーブルマネージャーを使用して GCT を変更しようとした場合に、このエラーは、ユーザーがテーブルへの書き込み権を持っていないことを示します。

**対処:** GCT の有効なアクセス権を調査します。

3691E Invalid group - group name not found in GCT

**説明:** グループエントリが、GCT に存在しません。

**対処:** GCT を訂正し、もう一度グループエントリを変更してみます。

3692I Transaction [%s] disabled

**説明:** 使用できないトランザクションを実行しようとしてしました。

**対処:** トランザクションを使用可能にして、再実行します。

3693I Program [%s] disabled

**説明:** API コールは使用できないプログラムを読み込もうとしました。API に PGMIDERR が返されます。

**対処:** プログラムを使用可能にします。

3700E Sum of Max Active greater than transaction servers in vct

**説明:** トランザクションクラステーブル (TXC) のすべての「Max Active」フィールドの合計は、VCT に構成されているトランザクション処理プログラムの数以下である必要があります。このエラーは、TXC の構成時に発生します。

**対処:** 「Max Active」フィールドに有効な値を入力します。

3701E Transaction servers is less than the sum of Max Active in txc

**説明:** VCT に構成されているサーバー数は、TXC のすべての「Max Active」フィールドの合計未満です。このエラーは、VCT の構成時に発生します。

**対処:** 「Transaction Servers」フィールドに有効な値を入力します。

3702I Init\_start unikixsched(%d) %s

**説明:** このメッセージは、システムの起動時にスケジューラプロセスが開始されると、unikixmain.log ファイルに出力されます。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

3703E Transaction class specified does not exist in txc table

**説明:** このメッセージは、TXC に存在しないクラス名を PCT で指定すると表示されます。

**対処:** 有効なクラス名を入力するか、TXC にクラスを追加して、PCT を更新します。

3704E KIXDFLT/KIXADMIN maxactive must be at least 1

**説明:** このメッセージは、TXC で、ユーザーが KIXDFLT または KIXADMIN トランザクションクラスの「Max Active」フィールドをゼロに変更しようとする则表示されます。

3713E Error attempting to reconfigure class <%8.8s> using SET TRANCLASS

**説明:** このメッセージが表示されると、メッセージ KIX3714E も unikixmain.log ファイルに出力されます。これらのメッセージは、クラスと内部の再構成 ID を表示します。

**原因:** これはシステムエラーの場合がありますが、複数の再構成が同時に実行されていることを示す場合もあります。

3714E Message reconfig id <%d> does not match class reconfig id <%d> <%d>

**説明:** メッセージ KIX3713E を参照してください。

3715E No KIXDFLT class was found.Check \$KIXSYS/unikix.dir/txc.tbl file

**説明:** KIXDFLT クラスが見つけれませんでした。参照ファイルがないか、壊れています。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3716E Fatal error setting up transaction class information

**説明:** これはシステムエラーです。unikixmain.log ファイルの別のメッセージを確認します。おそらく KIXDFLT クラスが見つけれられなかったことを示す、KIX3715E メッセージがあるはずです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3717F Sum of Max Active in txc.tbl exceeds transaction servers in vct.tbl

3718I System will run without classes - check vct.tbl and txc.tbl

**説明:** このメッセージは、通常 unikixmain.log ファイルと一緒に出力されます。これらは、VCT に構成されているトランザクション処理プログラムが、TXC にあるトランザクションクラスの構成を処理するのに十分ではないことを示します。領域は、トランザクションクラスを実行しないで開始されます。

**原因:** この状況は、VCT をある領域の \$KIXSYS ディレクトリから他の領域の \$KIXSYS ディレクトリにコピーする場合に発生します。

**対処:** テーブルマネージャーを使用して、矛盾を解消します。

3719E Maximum number of classes allowed is 64

**説明:** TXC で構成できるクラスの最大数は、64 です。

**対処:** テーブルを変更します。

3720E Duplicate TXC entry %s in file: %s

**説明:** 指定したエントリが、TXC に 2 回表示されています。

**対処:** テーブルを編集し、重複したエントリを削除します。

3801E [%r] Signal [%d] received; exit process already entered

**説明:** プログラムによるシグナルの処理中に、他のシグナルを受け取りました。

**対処:** ユーザーが 2 つめのシグナルを生成していない場合、ご購入先に連絡してください。

3802I [%r] Signal [%d] received before previous signal [%d] was reset

**説明:** プログラムがシグナルの状態をクリアする前に、他のシグナルを受け取りました。

**対処:** ユーザーが 2 つめのシグナルを生成していない場合、ご購入先に連絡してください。

3803E [%r] Signal structures are already established

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3804E [%r] Not able to determine the number of signal events

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3805E [%r] Not able to allocate memory

**説明:** メモリーが不十分です。

**対処:** unikixmain コマンドの `-M t` と `-M c` の値を変更します。

3806E [%r] Not able to establish signal event for signal [%d]

**説明:** オペレーティングシステムが正しくインストールされていない可能性があります。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3807E [%r] Signal number [%d] is out of the operating system range

**説明:** 新しいシグナルがオペレーティングシステムに追加された可能性があります。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3808E [%r] Cannot catch signal [%d]

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3809E [%r] Cannot establish RESTART for signal [%d]

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3810E [%r] Already signal handlers are saved on behalf of the context [%d]

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

3811E [%r] Signal structures are NOT established

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

3812E [%r] Process exiting because of signal %.20s

**説明:** プロセスはシグナル %.20s を受信しましたが、Sun MTP が予期したシグナルではありません。

**対処:** SIGSEGV (メモリー違反) の場合は、アプリケーションプログラムによるエラーかを調査します。他のシグナルについては、シグナルの起点を調査します。たとえば、SIGABRT の場合は、Sun MTP 以外のユーザーまたはアプリケーションがシグナルを生成したかを調査します。

3813E [%r] Transferring control to %.20s for further processing

**説明:** シグナルを処理したあと、コントロールに実行時システム %.20s が渡されているために、実行時システムはデバッグ情報を出力できます。

3814E [%r] Process exiting because of SIGTERM signal

**説明:** Sun MTP プロセスはアイドル状態ですが、SIGTERM が Sun MTP プロセスに送信されました。プロセスは終了中です。このシグナルは、シャットダウン中にプロセスを終了するために使用されます。

3815I Region might be active, execute kixdump -Ss to verify

**説明:** オペレーティングシステムのリソースがすでに存在しているので、領域はそれを作成できませんでした。

**原因:** 領域が有効か、または正しく停止されていません。

**対処:** システムが有効ではない場合、kixclean コマンドを実行してリソースをクリーンアップしてください。

3817W [%r] KIXBTCH directory does not exist %s

**説明:** KIXBTCH 環境変数の設定された指定ディレクトリが存在しません。

**対処:** 適切なアクセス権でディレクトリを作成し、領域を再起動します。

3818W [%r] KIXBTCH is not set but the VCT is configured for batch

**説明:** VCT に、バッチジョブの番号値が含まれていますが、KIXBTCH 環境変数が設定されていません。領域は起動しますが、\$KIXBTCH ディレクトリ外で実行される SUN MTP バッチジョブを実行することはできません。

**対処:** バッチジョブを実行する場合は、領域を停止し、設定ファイルで KIXBTCH 環境変数を設定し、設定ファイルを提供し、領域を再起動します。バッチジョブを実行する計画がない場合は、VCT を開き、バッチジョブの数値をゼロに設定し、VCT を保存して、領域を停止してから、再起動します。

3819W [%r] KIXBTCH directory time interval is invalid

**説明:** KIXBTCH 環境変数の設定された間隔で、無効な形式が使用されています。

**対処:** 間隔を正しく設定します。バッチ環境の設定方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

3820E core file directory:%s

**説明:** unikixmain.err ファイルに書き込まれるこのメッセージは、UNIX コアファイルが書き込まれたディレクトリを示します。

**対処:** コアファイルを調査し、問題の原因を判断するか、ファイルをご購入先に送信します。

3821E Caught signal:signal=%d, code=%d, address=%s, sender pid=%d, sender userid=%s

**説明:** シグナルハンドラ処理が、シグナルを取得し、このメッセージは、シグナルの送信者に関する情報を示します。

**対処:** 詳細については、KIX3822I メッセージを参照してください。

3822E Sender process:pid=%d, ppid=%d, userid=%s, euserid=%s, name=%s

**説明:** このメッセージは、Sun MTP 処理が、送信者処理に関する情報を取得する権限を持つ場合にのみ、メッセージ KIX3821I のあとで表示されます。このメッセージは、メッセージ KIX3821I で報告されたプロセス ID (pid 値)を基にしたプロセス情報を報告します。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

3823E %s received the following signal %d at %s

**説明:** unikixmain サーバー処理は、示された日付と時間で、示されたシグナル番号を処理したトランザクションプログラムが失敗したことを検出しました。

**対処:** シグナルに関する情報を含み、管理者のアクションが必要かどうかを示す、他のログメッセージを調査します。

3830E Received signal [s%] when system was in [%s] mode

**説明:** システムが指定したモードである場合に、指定したシグナルが受信されました。モードは次のとおりです。

ABORT - 領域が瞬時停止モードであったことを意味します。

NORMAL、BATCH、QUIESCE、SHUT - 領域モードを示します。

TRANS CLEANUP、MESSAGE CLEANUP、BUFFER CLEANUP、ROLLBACK - これらのモードは、unikixmain が強制的に中止されたトランザクション処理プログラムでクリーンアップ処理を実行していたかどうかを示します。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

3900W Configuration File %s not found.

**説明:** この警告は、\$KIXSYS/unikixrc.cfg ファイルが見つからなかったことを示します。

**対処:** 対処は必要ありません。コミュニケーションマネージャーにこのファイルを作成する方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア構成ガイド』を参照してください。

---

## 4000 ~ 4499 メッセージ

4000I External Security: access allowed - %s (terminal %4.4s)

**説明:** Sun MSF セキュリティーサーバーで与えられた Sun MTP のリソース、ユーザー、およびアクセス権を表示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

4001W External Security: access denied - %s (terminal %4.4s)

**説明:** Sun MSF セキュリティーサーバーで拒否された Sun MTP のリソース、ユーザー、およびアクセス権を表示します。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

4002W External Security forced signoff of user %8.8s on terminal %4.4s

**説明:** セキュリティーサーバーの接続が切断され再接続するために、表示されたユーザーが自動的にログアウトされたことを示します。

**対処:** ユーザーは再びログオンして、リソースアクセスの調査のためにセキュリティーサーバー情報を再確立する必要があります。

4003E External Security: socket send %d bytes didn't complete

**説明:** セキュリティーサーバーに送信したデータに問題があります。このプロセスでのセキュリティーサーバーの接続は切断され、セキュリティーサーバーが使用可能になったときに再接続されます。

4004E External Security inoperative: socket error %d

**説明:** セキュリティーサーバーへのソケット要求は、UNIX エラーを検出しました。このプロセスでのセキュリティーサーバーの接続は切断され、セキュリティーサーバーが使用可能になったときに再接続されます。

4005E External Security inoperative: socket connection closed by Security Server

**説明:** セキュリティーサーバーが応答しません。このプロセスでのセキュリティーサーバーの接続は切断され、セキュリティーサーバーが使用可能になったときに再接続されます。

4006E External Security: invalid protocol message

**説明:** セキュリティーサーバーから予期しないメッセージを受け取りました。このプロセスでのセキュリティーサーバーの接続は切断され、セキュリティーサーバーが使用可能になったときに再接続されます。

4007E External Security: %s

**説明:** セキュリティーサーバーからエラーメッセージを受け取りました。このプロセスでのセキュリティーサーバーの接続は切断され、セキュリティーサーバーが使用可能になったときに再接続されます。

4008E External Security: connection to Security Server re-established

**説明:** 切断後、または前回の接続が失敗したときに、セキュリティーサーバーへのソケット接続が確立されています。

**対処:** アクションは必要ありません。

4009E External Security: Environment variable KIXSEC\_SERVERPORT must be set

**説明:** KIXSEC\_SERVERPORT 環境変数は、ユーザーによる設定がされていません。この環境変数は、Sun MSF の使用に必要です。

**対処:** KIXSEC\_SERVERPORT 環境変数を有効なポート番号に設定します。

4010E External Security:NSS function %s failed:status = %d

**説明:** Sun MTPが、ユーザーパスワードの暗号化を試みている間に、指定した NSS 暗号化機能が、示された状態で失敗しました。

**対処:** エラーの状態を理解するには、Mozilla Web サイト <http://www.mozilla.org/projects/security/pki/nss/ref/ssl/> にある SSL Reference の NSS エラーコードの節を参照します。

- 必要な NSS ライブラリが LD\_LIBRARY\_PATH 環境変数で指定されていないというエラーが示されている場合は、Sun MTP 領域設定ファイルの環境変数に、これらを追加し、再実行します。Solaris 9 および 10 では、ライブラリは、`/usr/lib/mps/libnss3.so` と `/usr/lib/mps/libssl3.so` です。
- エラーの原因を特定できない場合は、ご購入先に連絡してください。

4011E External Security:invalid trust token

**説明:** Sun MTP のトラストトークンが、Sun MSF セキュリティーサーバーによって無効であるとされ、拒否されました。

**対処:** このメッセージは、Sun MTP と Sun MSF 間の内部エラーを示します。ご購入先に連絡してください。

4012E External Security: PK11 context not initialized; password encryption failed

**説明:** Sun MTPは、パスワードの暗号化に必要な、NSS 暗号初期化を完了できませんでした。

**対処:** 必要な NSS ライブラリが、LD\_LIBRARY\_PATH 環境変数で指定されていることを確認してください。

- 指定されていない場合は、Sun MTP 領域の設定ファイルで環境変数にこれらを追加し、再実行します。
- これがエラーの原因ではない場合は、ご購入先に連絡してください。

4013E External Security:invalid encrypt method %s; password encryption failed

**説明:** 指定した暗号化方式が、Sun MTP で認識されませんでした。このため、ログインしようとしているユーザーのパスワード暗号化が実行できません。

**対処:** このメッセージは、Sun MTP と Sun MSF 間の内部エラーを示します。ご購入先に連絡してください。

---

## 4500 ～ 4999 メッセージ

4500E [%r] Exception %s; terminating CorbaListener ...

**説明:** Common Object Request Broker Architecture (CORBA) リスナープロセスに例外が発生しました。これは、汎用の共通メッセージです。個別の説明が表示されます。

**対処:** 説明によって異なります。ご購入先に連絡してください。

4501I Entering - port %s

**説明:** CORBA リスナープロセスからの起動メッセージです。CORBA リスナープロセスが待機中のポート番号を表示します。

**対処:** これは情報メッセージです。アクションは必要ありません。

4502E %r Received an object of unknown type from transaction processor

**説明:** CORBA リスナーは、不明な、要求していないメッセージを受け取りました。

**対処:** 実行中の領域の数とそれぞれに対応する IPC リソースが正しいか確認します。領域の数を減らします。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

4503E %r Exception %s; terminating read thread ...

**説明:** CORBA リスナープロセスの読み取りスレッドの1つで、例外が発生しました。個別の説明が表示されます。

**対処:** 説明によって異なります。ご購入先に連絡してください。

4504E %r Read Thread terminated due to %s

**説明:** CORBA リスナープロセスの読み取りスレッドの1つで、例外が発生しました。個別の説明が表示されます。

**対処:** 説明によって異なります。ご購入先に連絡してください。

4505E %r Exception %s ;returning null repids

**説明:** PPT に構成されている CORBA サーバントには、関連付けられているインタフェースがありません。

**対処:** CORBA サーバントの PPT エントリを確認します。CLASSPATH 環境変数をチェックし、CORBA サーバントが \$CLASSPATH ディレクトリの1つにあることを確認します。CORBA サーバントの POA クラスも \$CLASSPATH ディレクトリの1つにあることを確認します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

4506E %r Exception %s

**説明:** 例外に関する共通メッセージです。個別の説明が表示されます。

**対処:** 説明によって異なります。ご購入先に連絡してください。

4507I %r All interfaces registered with TRADER

**説明:** CORBA リスナープロセスが、PPT に構成されているすべてのインタフェースをトレーダーに正常に登録しました。

**対処:** 情報メッセージです。ユーザーの対処は必要ありません。

4508E [%r] Fatal error in PPT callback

**説明:** PPT 情報の読み取りに関する内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

4525E [%r] Fatal error %d while saving signal handlers

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

4550E %r Message queue factory failure

**説明:** CORBA リスナープロセスがメッセージキューのインフラストラクチャクラスを使用しようとして、問題が発生しました。

**対処:** transutil.jar ファイルが \$UNIKIX/lib ディレクトリにあることを確認します。ご購入先に連絡してください。

4552E %r Send to ProcQ failed

**説明:** CORBA リスナープロセスは、Sun MTP のプロセスキューにメッセージを送信できませんでした。

**対処:** 実行中の領域の数とそれぞれに対応する IPC リソースが正しいか確認します。領域の数を減らします。ご購入先に連絡してください。

4554E %r Write object exception %s

**説明:** CORBA リスナープロセスは、トランザクション処理プログラムにメッセージを書き込もうとして失敗しました。

**対処:** プロセスをリストし、\$KIXSYS/unikixmain.log ファイルでトランザクション処理プログラムの障害を示すメッセージを探して、トランザクション処理プログラムが正しいことをチェックします。ご購入先に連絡してください。

4555E %r Read object exception %s

**説明:** CORBA リスナープロセスは、トランザクション処理プログラムからメッセージを読み取ろうとして失敗しました。

**対処:** プロセスをリストし、\$KIXSYS/unikixmain.log ファイルでトランザクション処理プログラムの障害を示すメッセージを探して、トランザクション処理プログラムが正しいことをチェックします。ご購入先に連絡してください。

4557E %r Find trader exception %s

**説明:** CORBA リスナープロセスは、トレーダーサービスを見つけられませんでした。

**対処:** Object Request Broker (ORB) が正しくインストールされていること、およびトレーダーが起動されていることを確認します。ご購入先に連絡してください。

4558E %r Could not resolve host name; Exception %s

**説明:** JVM は、実行中のシステムのホスト名を見つけられませんでした。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

4559E %r Context create exception %s

**説明:** ORB コンテキストを作成できませんでした。

**対処:** ORB が正しくインストールされていることおよびトレーダーが起動されていることを確認します。ご購入先に連絡してください。

4560E %r Create type exception %s

**説明:** 作成できないインタフェースのタイプです。

**対処:** ORB が正しくインストールされていることおよびトレーダーが起動されていることを確認します。ご購入先に連絡してください。

4561E %r Register exception %s

**説明:** インタフェースを登録できませんでした。

**対処:** ORB が正しくインストールされていることおよびトレーダーが起動されていることを確認します。ご購入先に連絡してください。

4562E %r Remove offers exception %s

**説明:** 起動時に無効な機能を削除できませんでした。

**対処:** ORB が正しくインストールされていることおよびトレーダーが起動されていることを確認します。ご購入先に連絡してください。

4575E %r Failed to open message queue, id=%s, path=%s, perm=%s.

**説明:** 存在しているはずの Sun MTP メッセージキューのオープン時にエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain、unikixtran、および unikixcorba プロセスのアクセス権をチェックし、それらが同じであることを確認します。実行中の領域の数とそれぞれに対応する IPC リソースが正しいか確認します。実行中の領域の数を減らします。ご購入先に連絡してください。

4576E %r Failed to receive from message queue, msqid=%d, type=%d, blocking=%s.

**説明:** Sun MTP メッセージキューからの受信時にエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain、unikixtran、および unikixcorba プロセスのアクセス権をチェックし、それらが同じであることを確認します。実行中の領域の数とそれぞれに対応する IPC リソースが正しいか確認します。実行中の領域の数を減らします。ご購入先に連絡してください。

4577E %r Failed to send to message queue, msqid=%d, blocking=%s.

**説明:** Sun MTP メッセージキューへの送信時にエラーが発生しました。

**対処:** unikixmain、unikixtran、および unikixcorba プロセスのアクセス権をチェックし、それらが同じであることを確認します。実行中の領域の数とそれぞれに対応する IPC リソースが正しいか確認します。実行中の領域の数を減らします。ご購入先に連絡してください。

4578E %r Message queue not open.

**説明:** Sun MTP メッセージキューがオープンされていません。オープンしようとしたときにエラーが発生した可能性があります。

**対処:** unikixmain、unikixtran、および unikixcorba プロセスのアクセス権をチェックし、それらが同じであることを確認します。実行中の領域の数とそれぞれに対応する IPC リソースが正しいか確認します。実行中の領域の数を減らします。ご購入先に連絡してください。

4579E %r Failed to destroy message queue, msgid=%d.

**説明:** Sun MTP メッセージキューを破棄しようとしてエラーが発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

4700E Dump file write error:fd = %d, errno = %d

**説明:** KIX4701I メッセージで参照されているファイル記述子のダンプファイル情報を書き出せません。

**対処:** 問題が解決できない場合は、ご購入先に連絡してください。

4701I ABORT dump written to file:%s, fd = %d

**説明:** 指定されたファイルに内部ダンプが書き込まれたことを示す情報メッセージです。

**対処:** 問題が解決できない場合は、障害追跡のため、このファイルをご購入先に提供する必要が生じる場合があります。

4702E Unable to dump %s information to file %s

**説明:** kixdump ユーティリティーが、指定した情報を指定したファイルにダンプできませんでした。

**対処:** 原因を示している可能性のある前のメッセージを探します。

4703I Structure dump written to file:%s

**説明:** 指定したファイルに、構造のダンプまたは kixdump コマンドで要求された構造が含まれています。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

4704E -E and -r options are mutually exclusive

**説明:** kixdump ユーティリティーを使用している場合は、-r オプションとともに、-E オプションを使用することはできません。

**対処:** 正しい構文を使用して、コマンドを再度サブミットします。

4705E File is incompatible. kixsformat is version %d, file %s is version %d

**説明:** kixsformat ユーティリティーが、指定したファイルをフォーマットできません。

**原因:** ファイルをダンプするのに使用した Sun MTP のバージョンと、kixsformat ユーティリティーのバージョンに互換性がありません。

**対処:** ファイルの生成に使用した Sun MTP のバージョンに一致する、kixsformat ユーティリティーのバージョンを使用します。kixsformat ユーティリティーは、ダンプファイルを生成するよう指導した、ご購入先の指示によってのみ使用してください。

4706E File %s is not a structure dump

**説明:** フォーマットしようとしているファイルは、Sun MTP ユーティリティーで作成されたダンプファイルではありません。

**対処:** Sun MTP ユーティリティーによって作成されたダンプファイルとのみ kixsformat ユーティリティーを使用できます。kixsformat ユーティリティーは、ダンプファイルを生成するよう指導した、ご購入先の指示によってのみ使用してください。

4707E Error reading file %s, errno = %d

**説明:** システムの read コマンドが、指定したファイルの読み取り中に失敗しました。

**対処:** 指定されたエラー番号の UNIX errno テーブルを調査し、読み取りエラーの原因を判断します。

4708E Invalid parameter, Usage:kixsformat <filename>

**説明:** kixsformat コマンドで不正なパラメータを使用しました。正しいコマンド形式は、メッセージに表示されます。

**対処:** 唯一のパラメータとしてダンプファイルの名前とともに kixsformat コマンドを再度サブミットします。kixsformat ユーティリティーは、ダンプファイルを生成するよう指導した、ご購入先の指示によってのみ使用してください。

4709E Unrecognized structure %s

**説明:** %s 変数で指定されているように、不明な構造をダンプしようとしてしました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

4710E Error writing structure dump header, errno = %d

**説明:** ディスクにヘッダーレコードを書き込んでいる時に、システムの write コマンドが失敗しました。

**対処:** 指定されたエラー番号の UNIX errno テーブルを調査し、書き込みエラーの原因を判断します。

4711E %r Error writing structure dump, errno = %d

**説明:** ディスクにメモリー構造を書き込んでいる時に、システムの write コマンドが失敗しました。

**対処:** 指定されたエラー番号の UNIX errno テーブルを調査し、読み取りエラーの原因を判断します。

4712W File %s is an incorrect length %d, file length should be %d

**説明:** ファイルのサイズが、ヘッダー情報に一致しません。提携出力に信頼できないデータが含まれる可能性があります。

**対処:** 出力を見て、正確かどうかを判断します。ファイルを再度ダンプする必要がある場合があります。

4713I There is no transaction class information to dump for this region

**説明:** トランザクションクラステーブルでこの領域用に定義されたトランザクションクラスがないため、kixdump -r txc コマンドが実行された時に、ダンプするトランザクションクラス情報がありません。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

4714I There is no socket information to dump for this region

**説明:** unikixsock ソケット処理プログラム (kixstart -p オプション) を使って領域が起動されていないため、kixdump -r skt コマンドが実行された時に、ダンプするソケット情報がありません。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

4715I There is no WebSphere MQ information to dump for this region

**説明:** 領域が WebSphere MQ を使って設定されていないため、kixdump -r mq コマンドが実行された時に、ダンプする MQ 情報がありません。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

4716E Invalid kixdump -r option %s

**説明:** kixdump -r コマンドに無効なオプションを指定しました。

**対処:** kixdump -r の使用情報については、メッセージ KIX4717I を参照してください。

4717I Usage:kixdump -r %s

**説明:** このメッセージは、常にメッセージ KIX4716E に続き、kixdump -r コマンドの使用法を表示します。

**対処:** 正しいオプションを使って、コマンドを再実行します。

4718I ABORT dump complete

**説明:** このメッセージは、ダンプ処理が終了したことを示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

4719I Debug option to create user application core files is set

**説明:** このメッセージは、このデバッグオプションが設定された場合に、特定の状態でコアファイルが生成されることを示します。デバッグオプションは、unikixmain または kixcontrol コマンドで設定できます。

**対処:** 情報メッセージです。kixcontrol -D c オプションと unikixmain -D c オプションの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

4750E Transid must be between 1 and 4 characters long

**説明:** kixcontrol -T オプションで指定されたトランザクション ID は、1~4 文字である必要があります。

**対処:** 正しい長さのトランザクション ID とともに、kixcontrol -T コマンドを再実行します。

4751E Termid must be between 1 and 4 characters long

**説明:** kixcontrol -R オプションで指定された端末 ID は、1~4 文字である必要があります。

**対処:** 正しい長さの端末 ID とともに、kixcontrol -R コマンドを再実行します。

4752E Program must be between 1 and 8 characters long

**説明:** kixcontrol -P オプションで指定されたプログラム名は、1~8 文字である必要があります。

**対処:** 正しい長さのプログラム名とともに、kixcontrol -P コマンドを再実行します。

4753E Dataset must be between 1 and 8 characters long

**説明:** kixcontrol -F オプションで指定されたデータセット名は、1~8 文字である必要があります。

**対処:** 正しい長さのデータセット名とともに、kixcontrol -F コマンドを再実行します。

4754E Command must be between 1 and 16 characters long

**説明:** kixcontrol -C オプションで指定された CICS コマンドは、1~16 文字である必要があります。

**対処:** 正しい長さの CICS コマンドとともに、kixcontrol -C コマンドを再実行します。

4755E Command %s is not supported

**説明:** kixcontrol -C オプションで指定された CICS コマンドは、Sun MTPでサポートされていません。

**対処:** サポートされているすべての CICS コマンドについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。kixcontrol -h コマンドを入力して、サポートされている CICS コマンドのリストを表示することもできます。有効な CICS コマンドとともにコマンドを再実行します。

4756E Command %s is not a recognized CICS command

**説明:** kixcontrol -C オプションで指定されたコマンドは、CICS コマンドではありません。

**対処:** サポートされているすべての CICS コマンドについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。kixcontrol -h コマンドを入力して、サポートされている CICS コマンドのリストを表示することもできます。有効な CICS コマンドとともにコマンドを再実行します。

4757E Options -A and -N are mutually exclusive

**説明:** kixcontrol コマンドで -A と -N オプションをともに使用することはできません。-A オプションは、すべての CICS API トレースを有効にし、-N オプションは、すべての CICS API トレースを無効にします。

**対処:** -A または -N のいずれかを使って、kixcontrol コマンドを再実行します。

4758E You cannot specify -A or -N options, with either of -T, -R, -P, -C, or -F options

**説明:** -A (すべての CICS API トレースを有効化) または -N オプション (すべての CICS API トレースを無効化) のいずれかとともに kixcontrol コマンドを実行している場合は、-T、-R、-P、-C、-F オプションを指定することはできません。-T、-R、-P、-C、-F オプションは、トレースの範囲を微調整または絞り込むために使用されます。

**対処:** 正しいオプションとともに kixcontrol コマンドを再実行します。

4759I All debug tracing has now been turned off

**説明:** このメッセージは、kixcontrol -N コマンドが実行されたあとに表示されます。これは、すべてのデバッグトレースが、領域でオフにされたことを示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

4760W You cannot specify -D%s option from kixcontrol, option ignored

**説明:** このメッセージは、unikixtcp または unikixCommMgr でトレースをオンにするために、kixcontrol とともに -Dg または -Dh オプションのいずれかを使用した場合に表示されます。技術サポート担当者の指示により、文書化されていないオプションを使用できる場合があります。

**対処:** この種のトレースを実行する場合は、ご購入先に連絡してください。

4800E %s returned error code %s

**説明:** 最初の変数で指定された関数が、2 番目の変数で指定されたエラーコードを返しました。

**原因:** トランザクションマネージャー (TM) が、指定した関数で、致命的なエラーを返しました。たとえば、このエラーは、tx\_open が、実行していないリソースマネージャーへの接続を開こうとした場合などに発生します。コミット/ロールバック処理などの場合には、これは、終了コード 47 でトランザクションが終了する結果となります。トランザクション処理プログラムは再起動されます。

**対処:** tx\_open エラーの場合は、リソースマネージャーが正しく設定されていて、領域を起動する前に起動されたことを確認してください。unikixmain.dbg ファイルには、エラーの原因を判断するのに役立つ追加メッセージが含まれている可能性があります。tx\_begin、tx\_commit、tx\_rollback エラーは、通常、エラーに関係するサードパーティリソースが関わっています。設定されているリソースマネージャーからのエラーメッセージに関する xa\_\* があるかどうかを、unikixmain.dbg ファイルで確認します。XA 環境に関する詳細は、関係するサードパーティのマニュアルを参照してください。また、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』も参照してください。

4801E XA: Transaction processor configuration has changed.  
Region cannot be started.

**説明:** 領域の回復処理中に、Sun MTPは、設定されているトランザクション処理プログラムの総数が、回復を完了するのに不十分であると判断しました。

**原因:** トランザクション処理プログラムの総数が、回復を続行するのに最低限必要な数を下回る値に変更されました。

**対処:** トランザクション処理プログラムの総数を、回復を完了できる値に再設定します。設定する必要のあるトランザクション処理プログラムの総数については、エラーメッセージ KIX4806E を参照してください。この問題の修正方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』を参照してください。

4802E XA: Resource managers are configured. Recovery file must be configured.

**説明:** このエラーは、Sun MTP の領域が、ユーザー定義のリソースマネージャーとともに起動されたが、回復が VCT で指定されていないことを示します。これは、許可されていない設定で、領域は起動されません。トランザクション状態の情報が記録できるように、回復を設定する必要があります。

**対処:** VCT で、回復を可能にするよう、領域を再設定します。文書『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』にある、「XA 環境でのトラブルシューティング」に記載されている手順を使用します。

4803E XA: Error creating the TOC state table

**説明:** Sun MTPは、共有メモリーのスレッド制御 (TOC) 状態テーブルを作成できませんでした。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

4804E XA: Error creating the resource manager table

**説明:** Sun MTPは、処理ローカルリソースマネージャー (RM) テーブルを作成できませんでした。

**対処:** 内部エラーです。ご購入先に連絡してください。

4805E XA: Mismatch between configured RM and recovered RM state

**説明:** このエラーは、疑わしいトランザクションで領域にエラーが発生したあとに続いて領域が起動され、Sun MTP により、ユーザー定義のリソースマネージャーの数が、回復ファイルに記録されている数と異なることが検出されたことを意味

します。ユーザー設定される RM には、RM 設定ファイルで定義されるサードパーティのリソースマネージャーと、TCT のシステム全体部分で設定される保護セッションの両方が含まれます。

**原因:** 設定の変更は、今後の再同期実行を無効にする領域に対して行われました。これは、致命的な状態で、領域は起動されません。

**対処:** 次の手順を使用して、設定されている RM が、Sun MTP 復元ファイルに保存されている設定に一致していることを確認します。

1. `kixrcvdump -f recovery-file -I` を実行し、回復ファイルに記録されているリソースマネージャー設定を表示します。
2. `KIX_RM_PATH` 環境変数で定義されている RM 設定ファイルが、ユーザー設定のリソースマネージャーと一致していることを確認します。
3. 一致していない場合は、RM 設定ファイルを修正します。『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』を参照してください。
4. この領域を起動します。

```
4806E XA: Configured transaction processors is %d. Recovery
requires %d as a minimum.
```

**説明:** このメッセージは、エラーメッセージ KIX4801E に続いて表示され、現在のトランザクション処理プログラムの設定と、回復処理を完了するために、設定する必要のある最小数を示します。

**対処:** 回復処理が完了できるように、トランザクション処理プログラムの総数を、このメッセージで示される最小値以上に再設定します。この問題の修正方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 障害追跡とチューニング』を参照してください。

```
4807E XA: TOC terminated with code %d
```

**説明:** Sun MTPで、LUW 処理中に重大なエラーが発生し、トランザクション処理プログラムを停止し、XA 回復処理を実行するよう強制しました。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

4808E XA: Protected install rejected. Recovery file must be configured.

**説明:** 領域が、遠隔領域を持つ保護セッションをインストールするリクエストを受信しましたが、受信する領域が、回復用に設定されていません。インストールのリクエストは拒否されます。

**原因:** このエラーは、遠隔領域が保護されたセッションをリクエストし、ローカル領域で自動インストールされる場合に発生します。

**対処:** 保護セッションの自動インストールを有効にするには、受信する領域の VCT で回復を設定し、領域を再起動する必要があります。

4809E XA: Protected install rejected. Partner must be configured as protected.

**説明:** 遠隔領域が明示的に保護されないと設定されているため、Sun MTP領域が、遠隔領域を伴う保護セッションのリクエストを拒否しました。これは、許可されていない設定で、2つの領域でセッションを確立する前に、修正する必要があります。

**原因:** このエラーは、両方の領域が事前に設定されているが、接続設定が一致しない場合に発生します。

**対処:** 保護セッションを介して通信する場合は、遠隔領域からの保護セッションリクエストを受け入れるように、受信する領域の TCT を変更する必要があります。保護セッションを設定するには、「Access Method」フィールドの値を TCP+にします。領域間の通信が保護されていないセッションを介す場合は、「Access Method」フィールドの値が TCP になるように、遠隔領域の TCT を変更する必要があります。

4810I XA: Heuristic decision(s) configured in %s

**説明:** KIX\_HEURISTIC 環境変数が、発見的決定ファイルの場所を指すように設定されました。Sun MTP 回復処理プログラムは、クラッシュバックアウト処理の一部として発見的決定を処理します。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

4811E XA: Invalid heuristic decision [%s] specified for unikixtran%d. Heuristic ignored.

**説明:** 発見的決定ファイルで、COMMIT または BACKOUT ではなく、発見的決定が指定されました。発見的決定は無視され、記録されたトランザクションの決定が採用されます。

**対処:** 領域を再起動する前に、kixrcvdmp ユーティリティーを使用して、設定されているヒューリスティックを確認します。

4812E XA: unikixtran%d exceeds maximum allowed. Heuristic ignored.

**説明:** 発見的決定が、無効なトランザクション処理プログラムで定義されています。指定された処理プログラムが、この領域で設定可能な最大数を超過しています。発見的決定は無視され、記録されたトランザクションの決定が採用されません。

**対処:** 領域を再起動する前に、kixrcvdmp ユーティリティを使用して、設定されているヒューリスティックを確認します。

4813I XA: unikixtran%d has a configured heuristic decision of %s

**説明:** トランザクション処理プログラムは、記録されたトランザクション決定を上書きする有効な発見的決定を持っています。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

4814I XA: Forcing transaction outcome for unikixtran%d from %s to %s

**説明:** Sun MTPシステム管理者が、明示的に COMMIT または BACKOUT のトランザクション結果を強制しました。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

4815I XA: Transaction outcome is %s. Resetting the inbound CRM.

**説明:** Sun MTP 回復処理プログラムは、トランザクションの決定が既知であるため、上位 TM での依存性がないと判断しました。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

4820W XA: Inbound CRM received IPC error %d while awaiting resynchronization

**説明:** 領域のインバウンド CRM が、上位 TM から再同期フローを待っている間に、致命的な IPC 状態を受信しました。IB CMR は、この xa\_open コールが失敗したことを示す、XAER\_RMERR 状態を TM に返します。

**対処:** RM のオープンエラーの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』を参照してください。

4821W XA: Inbound CRM discarded IPC message type %d while awaiting resynchronization

**説明:** 領域のインバウンド CRM が、上位 TM から再同期フローを待っている間に、予期しない IPC メッセージを受信しました。IPC メッセージは無視され、処理が再開されて、再同期フローを待機します。

**対処:** ユーザーのアクションは必要ありません。

4822E XA: Inbound CRM received retcode %d on receive of superior status

**説明:** 領域のインバウンド CRM が、上位 TM との通信中に、LU6.2 リターンコードを受信しました。IB CMR は、この xa\_open コールが失敗したことを示す、XAER\_RMERR 状態を TM に返します。

**対処:** RM のオープンエラーの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』を参照してください。

4823E XA: Inbound CRM received retcode %d sending resynchronization response to superior

**説明:** 領域のインバウンド CRM が、上位 TM との通信中に、LU6.2 リターンコードを受信しました。IB CMR は、この xa\_open コールが失敗したことを示す、XAER\_RMERR 状態を TM に返します。

**対処:** RM のオープンエラーの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』を参照してください。

4824E XA: Inbound CRM received retcode %d deallocating session to superior

**説明:** 領域のインバウンド CRM が、上位 TM へのセッション割り当て解除中に、LU6.2 リターンコードを受信しました。IBCRM は、この xa\_open コールが失敗したことを示す、XAER\_RMERR 状態を TM に返します。

**対処:** RM のオープンエラーの詳細については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』を参照してください。

4825W XA: %s CRM received status %s during PREPARE processing

**説明:** 指定したシステムの ISC CRM は、PREPARE フェーズ中に XA 状態を受信しました。CRM は、TM に XA\_RBROLLBACK を返し、このトランザクションのパックアウトを強制します。

**対処:** 詳細については、メッセージ KIX4826W を確認します。

4826W XA: Check %s for errors related to GTRID %s

**説明:** 指定したシステムの ISC CRM は、PREPARE フェーズ中に XA 状態を受信しました。CRM は、TM に XA\_RBROLLBACK を返し、このトランザクションのバックアウトを強制します。このメッセージの前には、メッセージ KIX4825W が表示されます。

**対処:** 指定した GTRID に関するエラーメッセージの詳細については、パートナー領域のログファイルを確認します。

4827W XA: Resynchronization with %s subordinate has timed out

**説明:** 指定されたシステムの ISC CRM は、指定された時間内に、パートナー領域に接続できませんでした。CRM は、この xa\_recover コールが失敗したことを示す、XAER\_RMERR 状態を TM に返します。

**対処:** 再同期の時間切れについての詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア XA リソースマネージャーの使用』を参照してください。

4828W XA: Resynchronization with %s subordinate has been forcibly reset by user

**説明:** 指定したシステムの ISC CRM は、kixxa ユーティリティを使用して、ユーザーによりリセットされました。CRM は、遠隔システムの回復は必要ないことを示す状態を TM に返します。

**対処:** 詳細は、メッセージ KIX4829W を参照してください。

4829W XA: Verify partner is completed correctly. GTRID %s, outcome is %s.

**説明:** CRM は、この GTRID を、そのパートナー領域と再同期する試みを放棄しました (エラーメッセージ KIX4827W および KIX4828W を参照)。パートナーの処理単位 (UOW) は、kixxa ユーティリティを使用して、手動で完了させる必要がある場合があります。

**対処:** kixxa -s コマンドを使用してパートナーの状態を確認し、リセットが必要な場合は、kixxa -r コマンドを使用します。このメッセージに記録されたトランザクション結果は、パートナー UOW のリセット時に必要です。たとえば、GTRID 1|ABCD|1|1|1234 結果が COMMIT である場合は、kixxa -s コマンドを使用して、この GTRID がパートナーで未確定であるかどうかを判断します。GTRID が未確定で、unikixtran5 が未確定のトランザクション処理プログラムである場合は、コマンド kixxa -r 5=Commit を使用して、UOW をリセットします。

4901E %s - Terminal allocation failed for luname=%.8s, luname already allocated

**説明:** ユーザーは、割り当てられている LU 名を使用して、領域にログインしました。

**対処:** 一意の LU 名を使用していることを確認します。

4902E %s - Terminal allocation failed for luname=%.8s, termid=%.4s, luname already allocated

**説明:** ユーザーは、割り当てられている LU 名を使用して、領域にログインしました。

**対処:** 一意の LU 名を使用していることを確認します。

4903E %s - Terminal allocation failed for luname=%.8s, all terminals are already allocated

**説明:** ユーザーは、領域にログインしようとしたますが、すべての TCT エントリが現在割り当てられているのでできませんでした。

**原因:** VCT で指定されているユーザーの最大数に達しています。

**対処:** ライセンスで許可されている場合は、VCT でユーザーの数を増やし、領域を再起動します。許可されていない場合は、ユーザーの利用を増やすためにライセンスが必要となる場合があります。

4904E %s - Terminal allocation failed for luname=%.8s, termid=%.4s, all terminals are already allocated

**説明:** ユーザーは、領域にログインしようとしたますが、すべての TCT エントリが現在割り当てられているのでできませんでした。

**原因:** VCT で指定されているユーザーの最大数に達しています。

**対処:** ライセンスで許可されている場合は、VCT でユーザーの数を増やし、領域を再起動します。許可されていない場合は、ユーザーの利用を増やすためにライセンスが必要となる場合があります。

---

## 5000 ~ 5999 メッセージ

5000E Resources held by unikixmain

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

5001E Transaction did not complete shutdown in %d seconds,  
killing all processes

**説明:** 領域の強制シャットダウンまたはパニックシャットダウン中に、トランザクション処理プログラムが、指定した秒数内に、作業を完了できませんでした。このため、システムが、すべての処理を破棄しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

5002I MTP process %s has not yet initialized

**説明:** 指定した処理は、初期化を完了したことが判明していません。

**原因:** Sun MTPは、指定した処理が、初期化を瞬時に完了するものと予想します。初期化が行われないと、複数のメッセージが一定の間隔で出力され、最終的にシステムが停止されます。プロセスが unikixrcv である場合は、クラッシュ回復が完了するまで、KIX0773I メッセージとともに表示される場合があります。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

5003E System shutdown flag is set, will not continue region  
startup

**説明:** 起動中に、システムのパニック停止が設定されました。領域の起動が停止されています。

**原因:** これは、kixclean が実行されたために発生する可能性があります。

**対処:** 複数のユーザーが同時に領域の停止やシャットダウンを試みていないことを確認してください。

5004I %s is set to %s

**説明:** このメッセージは、KIX\_PGM\_MODE または KIX\_PGMTXN\_MODE 環境変数のいずれかの値を示します。

- メッセージが KIX\_PGM\_MODE is set to TXSERIES である場合は、C プログラム (共有オブジェクト) の新しいコピーが、新しい作業であるか同じ作業であるかどうかにかかわらず、プログラムの実行ごとに読み込まれます。
- メッセージが KIX\_PGMTXN\_MODE is set to TXSERIES である場合は、C プログラム (共有オブジェクト) がすべての作業後に解放されます。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

5005E MTP process type %s did not initialize, killing process id %d and aborting the region

**説明:** プロセス %s は、割り当てられた時間内に初期化を完了したことを unikixmain に通知しませんでした。

**原因:** これは、プロセスがループに入ったか、強制的に中止された場合に発生する可能性があります。

**対処:** Sun 認定サービスプロバイダに連絡し、ダンプファイルを提供します。

5006E KIXSYS environment variable greater than %d characters

**説明:** KIXSYS 環境変数で指定されているパス名が長すぎます。メッセージに、文字の最大数が指定されています。

**対処:** パス名の文字数が許可されている最大数以上にならないよう、KIXSYS 環境変数を再定義します。

5100E Failure to suspend PMF monitoring errno=%d

**説明:** このメッセージは、Sun Cluster 環境で、COBOL デバッガを実行しようとした場合に表示される場合があります。これは、Sun Cluster Process Monitoring Facility (PMF) によるトランザクション処理の監視が、アプリケーションプログラムのアニメート準備で保留できなかったことを示します。

**対処:** UNIX エラー番号を使用して、発生したエラーの種類と適切な修正方法を判断します。修正アクションを実行したあとで、プログラムを再度アニメートしてみます。

5102E SETUID failure errno %d

**説明:** このメッセージは、Sun Cluster 環境で、COBOL デバッガを実行しようとして失敗した場合に表示されます。

**原因:** Sun Cluster 環境で COBOL デバッグ環境を設定する処理は、権限を持つユーザーとして実行する必要があります。

**対処:** Sun Cluster 環境で COBOL デバッガを使用するためのシステムの設定方法については、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 高可用性 (HA) データサービス (Sun Cluster 用)』を参照してください。

5103E System call failure errno %d

**説明:** PMF 監視を保留にするために使用される UNIX システムの呼び出しが失敗しました。

**対処:** UNIX エラー番号を使用して、発生したエラーの種類と適切な修正方法を判断します。修正アクションを実行したあとで、プログラムを再度デバッグしてみます。

5104E Unable to suspend PMF monitoring for process %d.  
Reason:waitpid() failed errno=%d

**説明:** トランザクション処理プログラムは、COBOL デバッガを使用可能にするために、PMF 監視を保留にすることができませんでした。

**原因:** 指定されたシステムの呼び出しが、指定されたエラー番号で失敗しました。

**対処:** システムテーブルで UNIX エラー番号 (errno) を使用して、発生したエラーの種類と適切な修正方法を判断します。

5105E Unable to suspend PMF monitoring for process %d.  
Reason:exited with status %d

**説明:** トランザクション処理プログラムは、COBOL デバッガを使用可能にするために、PMF 監視を保留にすることができませんでした。終了状態が表示されません。

**対処:** 追加メッセージに、障害の原因が表示されます。

5106E Unable to suspend PMF monitoring for process %d.  
Reason:exited with signal %d

**説明:** トランザクション処理プログラムは、COBOL デバッガを使用可能にするために、PMF 監視を保留にすることができませんでした。

**原因:** デバッガが、指定されたシグナルを伴って終了されました。

**対処:** もう一度試します。問題が解決しない場合は、ご購入先に連絡してください。

5107E Unable to suspend PMF monitoring for process %d. Reason:  
exec(%s) failed errno=%d

**説明:** トランザクション処理プログラムは、COBOL デバッガを使用可能にするために、PMF 監視を保留にすることができませんでした。

**原因:** %s 変数で指定されたユーティリティーが実行できませんでした。

**対処:** システムテーブルで UNIX エラー番号 (errno) を使用して、発生したエラーの種類と適切な修正方法を判断します。たとえば、errno=2 である場合は、指定したユーティリティーが存在するかを確認する必要があります。

5108E Unable to suspend PMF monitoring for process %d. Reason:  
fork() failed errno=%d

**説明:** トランザクション処理プログラムは、COBOL デバッガを使用可能にするために、PMF 監視を保留にすることができませんでした。

**原因:** fork() システムの呼び出しが、指定されたエラー番号で失敗しました。

**対処:** システムテーブルで UNIX エラー番号 (errno) を使用して、発生したエラーの種類と適切な修正方法を判断します。

---

## 6400 ~ 6999 メッセージ

6490E COBOL Remote debugger is not supported in the current environment

**説明:** COBOL 遠隔デバッガは、現在使用している COBOL ブランドではサポートされていません。遠隔デバッグの使用についての詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

**対処:** CEDF トランザクションを実行します。「ブレイクポイントの設定」画面で、遠隔デバッグオプションを N に変更し、実行環境に適したデバッグオプションを選択します。

6501E %r Remote COBOL debugger Error: call CBL\_DEBUG\_START, status=%d, termid=%s, flags=%d

**説明:** 遠隔デバッグ中に、COBOL 実行時システムがエラーを返しました。

**原因:** このエラーは遠隔デバッガの終了時に発生し、無視されます。

**対処:** 遠隔デバッガの詳細は、COBOL ベンダーのマニュアルを参照してください。

6502E %r Remote COBOL debugger Error: call CBL\_DEBUG\_STOP, status=%d, termid=%s, flags=%d

**説明:** 遠隔デバッグ中に、COBOL 実行時システムがエラーを返しました。

**原因:** このエラーは遠隔デバッガの終了時に発生し、無視されます。

**対処:** 遠隔デバッガの詳細は、COBOL ベンダーのマニュアルを参照してください。

6503E %r Remote COBOL debugger Error: terminal %.4s not found

**説明:** 遠隔デバッグを行っていた使用不能の端末を再設定している間に、端末を TCT で見つけられませんでした。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6505E %r Cannot have both Local and Remote COBOL debugger.

**説明:** COBOL プログラムをデバッグするときには、ローカルまたは遠隔デバッグのいずれかを選択する必要があります。

**対処:** CEDF トランザクションを使用して、ローカルまたは遠隔デバッグのいずれかを有効にします。

6506E \$KIXREMANIMPORT not set/required for Remote COBOL debugger.

**説明:** COBOL デバッグを有効化する前に KIXREMANIMPORT 環境変数を設定する必要があります。

**対処:** 領域を停止して、設定ファイルの \$KIXREMANIMPORT またはシェルプロンプトで目的のポート番号を設定します。領域を再起動し、遠隔 COBOL デバッグを有効にします。

6507E %r Remote COBOL debugging Error: Port Number %d out of range

**説明:** KIXREMANIMPORT 環境変数に指定された値が 1025 ~ 65535 の範囲外です。

**対処:** \$KIXREMANIMPORT を 1025 ~ 65535 の値に設定します。

6508I Remote COBOL debugging Activated  
Animserv Port Number: %d, Debug Term ID: %s  
MachineID: %s

**説明:** 遠隔 COBOL デバッグは、CEDF で有効にされています。詳細は、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 開発者ガイド』を参照してください。

**対処:** 情報メッセージです。Sun MTP J3270 端末エミュレータソフトウェアを使用していない場合、表示された値を書きとめておき、MFNETX コマンドで使用できるようにします。

6509I Remote COBOL debugging already active  
Animserv Port Number: %d, Debug Term ID: %s  
MachineID: %s

**説明:** 遠隔 COBOL デバッグのセッションが端末で有効になっている間、CEDF、RCOBOL トランザクションが実行されました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6510E Call to %s not honored, Remote COBOL debugging not available

**説明:** このメッセージは、使用している COBOL のバージョンまたはブランドが COBOL デバッグをサポートしておらず、ユーザーが遠隔デバッグをオンに設定した場合に表示されます。

**対処:** 領域で現在設定されている COBOL のブランドまたはバージョンで、遠隔デバッグを使用しないでください。使用している COBOL ブランドにより、遠隔デバッグをサポートするバージョンにアップグレードしなければならない場合があります。

6550I Usage: kixeformat [-i] [-v] [-a | -b | -o <filename>]  
<filename>

**説明:** kixeformat ユーティリティーの使用方法メッセージです。このユーティリティーが使用されるのは、ご購入先の指示に従った場合だけです。

6551E kixeformat: options -a, -b, and -o, are mutually exclusive

**説明:** -a、-b、または -o オプションは同時に使用できません。

**対処:** 正しいオプションで kixeformat コマンドを再実行します。

6552E kixeformat: you must specify an input filename

**説明:** kixeformat コマンドには、フォーマット用の入力追跡ファイルが必要です。

**対処:** 入力ファイルを指定して kixeformat コマンドを再実行します。

6553E kixeformat: Invalid trace file: %s

**説明:** kixeformat の入力ファイルは無効な追跡ファイルです。

6554E kixeformat: malloc failed to allocate %d bytes

**説明:** malloc() UNIX システムコールはメモリーの取得に失敗しました。

**対処:** エラーが解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

6555E kixeformat: calloc failed to allocate %d elements of %d bytes

**説明:** calloc() UNIX システムコールはメモリーの取得に失敗しました。

**対処:** エラーが解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

6556E kixeformat: error opening input file: %s, errno = %d

**説明:** 指定された入力ファイルを開くことができません。

**対処:** ご使用のオペレーティングシステムのマニュアルを参照し、UNIX open() システム関数から返されたエラーコードを分析します。

6557E kixeformat: error opening output file: %s, errno = %d

**説明:** 指定された出力ファイルを開くことができません。

**対処:** ご使用のオペレーティングシステムのマニュアルを参照し、UNIX fopen() システム関数から返されたエラーコードを分析します。

6600E Failed on call to gethostname: errno = %d

**説明:** gethostname() システムコールへの呼び出しは表示されたエラー番号を返しました。

**対処:** ホスト名がこのシステムに設定されていることを確認します。

6601E Errno %d from %s of %s

**説明:** \$UNIXIX/lib/cnvtbl ファイルを使用する際にエラーが検出されました。

**対処:** エラーを調査して適切な対処をします。

6604E No FD entries available for new ES

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6605E %s failed, errno = %d

**説明:** エラー番号 %d で %s 関数への呼び出しが失敗しました。

**対処:** 詳細を調査して適切な対処をします。

6606E send (fd=%d) failed errno = %d

**説明:** ソケット FD への書き込みがエラー番号 %d で失敗しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6607E Shared Object name too long, must be less than 250 characters

**説明:** 共有オブジェクト名が長すぎます。

**対処:** 共有オブジェクトをリネームして、250 文字未満にします。

6608I Max number open files for this process will be %d

**説明:** プロセスで開かれるファイルの最大数を表示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6609E Failed opening EPI err log in \$KIXSYS directory, errno = %d

**説明:** EPI エラーログファイルを開けません。

**対処:** エラー番号を調査して適切な対処をします。

6610E stat() error on EPI error log, errno = %d

**説明:** EPI エラーログファイルの stat() 関数への呼び出しで、エラー番号が返されました。

**対処:** エラーを調査して適切な対処をします。

6668E %s kxchksrfile failed

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6669E Unable to open parent PID file, errno = %d

**説明:** デバッグ情報を書き込むための unikixtne.pid ファイルを開くことができません。

**対処:** エラーを調査して適切な対処をします。

6670E Unable to open message file %s, errno = %d

**説明:** unikixtne プロセスのメッセージファイルをオープンできません。

**対処:** エラーを調査して適切な対処をします。

6671E Connection to %s "%s:%s" Failed

**説明:** unikixtne プロセスは、領域に接続できませんでした。

**対処:** 領域が現在使用可能かを確認します。

6672E Connection to %s Failed

**説明:** unikixtne プロセスは、領域に接続できませんでした。

**対処:** 領域が現在使用可能かを確認します。

6673E IBM Terminal "%s" NOT SUPPORTED (Must be Model 2, 4 or 5)

**説明:** unikixtne プロセスは、指定された端末モデルをサポートしません。

**対処:** 端末のタイプをサポートされるモデルに変更します。

6674E %s Error returned from kxrecv\_sigusr2/kxrcvm: %d

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6675E %s Logo File Error Occurred, notify System Administrator

**説明:** unikixtne プロセスは、ロゴファイルを開けません。

**対処:** \$UNIX/lib/logofile ファイルが存在し、読み取り権を持っていることを確認します。

6676I Double Byte Character Set processing enabled.

**説明:** unikixtne プロセスを、DBCS オプションセットで開始しました。

6677I -%c option ignored

**説明:** 他のオプションと重複するために、unikixtne コマンド行のオプションが無視されました。

6678I Debug Tracing to file(s) \*\*%s.'pid'\*\* selected

**説明:** unikixtne デバッグ追跡情報が、指定されたファイルに書き込まれます。

6679E Unable to open debugging file specified

**説明:** unikixtne プロセスは、デバッグ追跡ファイルを開けません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6680I Support of TN3270E protocol has been disabled.

**説明:** unikixtne プロセスは TN3270E プロトコルを使用できません。

6681I Force keyboard reset has been turned ON

**説明:** unikixtne は、トランザクションの終了時にユーザーのキーボードがリセットされるよう指定しました。

6682I UNIX Login & Password Validation Have Been Turned OFF

**説明:** unikixtne プロセスは、UNIX ログインとパスワード検査をしないように指定しました。

6683I Screen capture file \*\*%s\*\* selected

**説明:** unikixtne プロセスは、取り込んだ画面イメージを指定されたファイルに書き込みます。

6684I Message capture file(s) \*\*%s.'pid'\*\* selected

**説明:** unikixtne プロセスは、収集したメッセージを指定されたファイルに書き込みます。

6685I Performance capture file \*\*%s\*\* selected

**説明:** unikixtne プロセスは、収集したパフォーマンスを指定されたファイルに書き込みます。

6686I TN3270 Server Port (%s) #%d selected

**説明:** unikixtne プロセスで指定されたサーバー名に、指定されたポート番号が選択されました。

6687E TN3270 -s Port Number (%s) Not Valid

**説明:** unikixtne プロセスに指定されたポート番号は無効です。

**対処:** ポート番号が数字だけになっているかを確認します。

6688I Default Transaction \*\*%s\*\* selected

**説明:** 指定されたトランザクションは、unikixtne 接続にログインする際に実行されました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6689E -X option takes only one character

**説明:** unikixtne プロセスで、-X オプションは 1 文字の引数だけを受け入れません。

6690E Invalid option: %c

**説明:** 指定されたオプションは認識されません。

6691E Terminating with core dump

**説明:** unikixtrin プロセスは、致命的なシグナルを受け取りました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6692I Terminating normally

**説明:** unikixtrin プロセスは、TERM または QUIT シグナルを受け取り、終了しました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6693I Ignoring unexpected signal

**説明:** unikixtrin プロセスは、シグナルを受け取りました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6694E Orphaned message found for terminal %s pid %d, discarded

**説明:** Sun MTPは、典型的には示された端末から送信されたトランザクションリクエストなどの、入力メッセージを破棄しました。エラーメッセージの PID は、リクエストが実行された時点で、端末ハンドラのプロセス ID となります。

**原因:** 端末は、リクエストの実行後切断されましたが、その前に、Sun MTP がリクエストを処理し、返信しました。端末が再接続される、端末が異なる識別子として再接続される、端末が端末ハンドラを通して元々接続されていたものとは別のものに再接続される場合は、Sun MTP が、元々の端末トランザクションリクエストを破棄します。再接続された端末からの新しいトランザクションが処理されます。

**対処:** トランザクションを再実行します。

6695E Message received is not an I/O Response message

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6696E Unable to send SIGUSR1 to a terminal on restart

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6697E Timed out waiting for terminal

**説明:** プロセスが強制的に中止されたあとは端末にメッセージを送信できません。

**対処:** 領域に再接続します。

6698E %s:Error shutting down print processor

**説明:** 印刷待ち行列にメッセージを書き込む際のエラーのために、unikixprt プロセスは終了され、再起動されます。

**対処:** アクションは必要ありません。

6699E Unable to find %s Cleanup application %s

**説明:** kixclean プログラムが、\$UNIKIX/bin ディレクトリにありません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6700E kxFormattedDump invoked again while currently in execution.

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6701E Unable to establish atexit for kxDumpWrapup.

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6702I Formatted dump requested, file is %s

**説明:** 書式付きプログラムダンプは指定されたファイルに書き込まれます。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6703I Program was cancelled, do nothing

**説明:** プログラムは取り消されました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6704E Illegal run state for user %d

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6705I Waiting for block num [%d] of file [%s]

**説明:** このプロセスは %s ファイルからの %d ブロック番号を待機しています。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6706I Waiting for the enq resource [%s]

**説明:** このプロセスは、表示された ENQ リソースを待機しています。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6707I Waiting for file [%s] record with key

**説明:** このプロセスは、表示されたファイルを待機しています。このメッセージのあとにキーが表示されます。

6709E DataBase commit not executed, Transaction inconsistent, db error =%d

**説明:** XA トランザクションの確認フェーズ中に、エラーが返されました。

**対処:** 重大なエラーです。不整合の状態データベースを実行した可能性があります。ご購入先に連絡してください。

6710E DataBase rollback not executed, Transaction inconsistent,  
db error = %d

**説明:** XA トランザクションのロールバックフェーズ中に、エラーが返されました。

**対処:** 重大なエラーです。不整合の状態データベースを実行した可能性があります。ご購入先に連絡してください。

6711E %s recovery file failed, errno = %d

**説明:** ORAXA\_ ファイルで実行される表示された関数の呼び出しが、表示されたエラー番号で失敗しました。

**対処:** エラーを調査して適切な対処をします。

6713E dbrecovery failed, return code %d

**説明:** 表示されたエラーが、xa\_rollback 中に発生しました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6714E db\_recfile does not contain the db recovery file name

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6718E Invalid header record length from Accounting file %s

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6719E Invalid data record length from Accounting file %s

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6722E Unknown Accounting header record type, %d

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6736E ERROR: This %s is not running at this time

**説明:** 指定された領域は現在動作していません。

**対処:** ユーティリティを再実行する前に、領域が実行中かを確認します。

6737E Error trying to link to dynamic terminal area

**説明:** 共有メモリーのこの領域にアクセスしようとする際のエラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6738E Error trying to link to user area

**説明:** 共有メモリーのこの領域にアクセスしようとする際のエラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6739E Error trying to link to shared vsam buffer area

**説明:** 共有メモリーのこの領域にアクセスしようとする際のエラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

6740E Environment string greater than 100 lines

**説明:** kixdump は、100 行を超える環境変数を出力できません。

**対処:** 手動で環境変数を表示するか、あるいは短くします。

6741E Environment string size greater than %d

**説明:** kixdump バッファは、表示された長さ以下の環境変数だけを保持できません。

**対処:** 手動で環境変数を表示するか、あるいは短くします。

6742I Entering Version %s

**説明:** kixfileinfo ユーティリティーは、Sun MTP のバージョンを表示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

6743E Invalid parameter for -B option, should be 's'

**説明:** kixdump の使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6744E This option requires the -G option be specified.

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6745E -b option must be greater than or equal to zero

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6746E Invalid argument for -E option, must specify 'tall' or 't<tran num>'

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6748E -e option must have a 4 character term id specified

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6749E -l option must be greater than zero

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6750E invalid parameter for -S option

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6752E invalid parameter for -s option

**説明:** このエラーは kixdump ユーティリティーの使用法のエラーです。

**対処:** コマンドを訂正して再実行します。

6755I dataset %s > %d char, truncating to %d

**説明:** kixfileinfo ユーティリティーメッセージです。

6756D usage: kixfileinfo %s <file\_name>|all

**説明:** kixfileinfo ユーティリティーの使用法のメッセージです。

6757E invalid hex address %s

**説明:** kixdump -s コマンドで指定された 16 進数のアドレスが無効です。

**対処:** アドレスを訂正して、コマンドを再実行します。

6758E invalid hex bytes %s

**説明:** kixdump -s コマンドで指定された、表示するバイト数が無効です。

**対処:** 表示するバイト数を訂正して、コマンドを再実行します。

---

## 7000 ~ 7799 メッセージ

7380I Removed the rdo group entry from %s

**説明:** gct.tbl ファイルに、rdo グループのエントリが含まれています。この GCT エントリは、Sun MTP 8.1 には必要ないため、削除されました。メッセージは、gct.tbl ファイルのパスを表示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7381I Removed the empty %s file

**説明:** gct.tbl ファイルの唯一のエントリが rdo グループで、このグループは必要ありません。このため、gct.tbl ファイルは削除されました。メッセージは、gct.tbl ファイルのパスを表示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7382I The rdo group tables must be copied from %s to \$KIXSYS/rdo.dir

**説明:** gct.tbl ファイルで指定されている rdo グループディレクトリは、Sun MTP 8.1 によって使用されている rdo.dir 場所ではありません。

**対処:** メッセージに示されているディレクトリから、rdo グループファイルを \$KIXSYS/rdo.dir ディレクトリにコピーします。

7383I Changed the DFHUSD environment from %s to KIXSYS in the fct.tbl of the rdo group

**説明:** rdo グループの fct.tbl ファイルにある DFHUSD ファイルで指定されている環境変数は、Sun MTP 8.1 で使用される KIXSYS ではありません。これは、KIXSYSに変更されました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7384I The DFHUSD files must be copied from %s to the \$KIXSYS directory

**説明:** rdo グループの fct.tbl ファイル、および VSAM カタログの DFHUSD ファイルで指定されている環境変数は、Sun MTP 8.1 で使用される KIXSYS ではありません。このメッセージは、kixcnvcat81 および kixcnvtbl81 ユーティリティによって表示されます。

**対処:** DFHUSD ファイル (DFHUSD.dta および DFHUSD.idx) をメッセージで示されているディレクトリから \$KIXSYS ディレクトリにコピーします。

7385I Removed the DFHUSD entry from the CATALOG

**説明:** VSAM カタログ (CATALOG ファイル) に、DFHUSD ファイルのエントリが含まれています。このエントリは、Sun MTP 8.1 には必要ないため、削除されました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7400F [%r] COBCPY and COPYPATH are defined in the current environment. Specify only one.

**説明:** 環境で、COBCPY および COPYPATH の環境変数が両方設定されています。\$COBCPY は Server Express、\$COPYPATH は ACUCOBOL-GT<sup>®</sup> 専用の設定です。

**対処:** 領域設定ファイルを確認します。環境変数または現在の実行環境に適していない変数をコメントアウトまたは削除します。Sun MTPを使用すると、領域ごとに1つの COBOL 実行環境のみを指定できます。

7504E kixdump did not have permission to send signal to unikixmain process, pid number [%d]

**説明:** kixdump を実行したユーザーには、unikixmain プロセスが存在するかどうかを確認する権限がありませんでした。

**対処:** kixdump ユーティリティーは、権限を持つユーザーによって実行され、領域の unikixmain プロセスにシグナルを送信する必要があります。

7561I Killing process %d

**説明:** kixhashut ユーティリティーが、指定したプロセスを終了しています。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7562I Removing IPC %d %d

**説明:** kixhashut ユーティリティーが、IPC [m|s|q] IPC- id-numberを削除しています。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7563I System shutdown was %s within normal shut down period

**説明:** %s が COMPLETED である場合は、領域がトランザクションを完了し、領域を終了します。 %s が NOT COMPLETED である場合は、一部のトランザクションが実行されてから、強制的に中止されます。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7564I System shutdown completed, check and release system resources

**説明:** 領域の終了までに割り当てられた時間が経過しました。処理が強制終了され、残りのプロセスと IPC リソースが削除されます。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7600F [%r] Invalid transaction server identifier:previous id=%d, current id=%d

**説明:** このメッセージは、プロセスが VSAM ファイルにアクセスしようとしているが、リクエストを処理している Sun MTP トランザクション処理プログラムが、リクエストを処理するために割り当てられたトランザクション処理プログラムと異なる場合に表示されます。メッセージには、トランザクション処理プログラムが終了され、新しいトランザクション処理プログラムが代わりに起動されたことが示されます。メッセージには、前および現在のトランザクション処理プログラムのプロセス ID も含まれます。

**原因:** この状態は、VSAM ファイルにアクセスする Sun MBM ジョブが実行している間に、領域が再起動された場合に発生します。実行されているジョブは、前のトランザクション処理プログラムによって所有されていたアドレス空間を再利用しようとする、追加手順を持つ場合があります。

**対処:** プロセスが Sun MBM ジョブでない場合は、プロセスを再起動します。プロセスが Sun MBM ジョブである場合は、ジョブを取り消して、再起動します。

7601F [%r] VSAM access denied for this process as associated transaction server has been restarted

**説明:** このメッセージは、実行に関連付けられたトランザクション処理プログラムが終了されたあとで、プロセスが VSAM ファイルにアクセスしようとした場合に表示されます。データの破損を防ぐために VSAM ファイルアクセスのリクエストは拒否され、プロセスは強制的に中止されます。

**対処:** プロセスを再実行し、新しいトランザクション処理プログラムが、VSAM アクセスをリクエストするプロセスに割り当てられていることを確認します。新しいトランザクション処理プログラムは、アクセスリクエストを付与します。

7602F [%r] CBCH error - unable to continue

**説明:** Sun MTP の内部エラーです。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

7603F [%r] Standard batch disabled - can't execute CBCH

**説明:** 領域が標準バッチ用に設定されているため、CBCH トランザクションは、実行できません。

**原因:** VCT の「Maximum Batch Jobs」フィールドはゼロに設定されます。

**対処:** VCT の「Maximum Batch Jobs」フィールドを 1 またはそれ以上の値に設定することで標準のバッチを有効にします。

7604F [%r] No program specified with CBCH transaction

**説明:** CBCH トランザクションは、プログラム名なしで実行されました。

**対処:** 有効な名前とともに、CBCH トランザクションを再実行します。

7605F [%r] MBM configured, CBCH not allowed

**説明:** Sun MBMバッチ処理を使用するために領域が設定されている場合は、標準バッチ機能を使って Sun MTPジョブを実行できません。

**対処:** バッチ処理に Sun MBM を使用する場合は、Sun MBM unikixjob コマンドを使用して、バッチジョブをこの領域に関連付けられたサブシステムに送信する必要があります。標準のバッチを使用する場合は、Sun MBM への接続を無効にするように VCT を変更し、領域を再起動してから、CBCH トランザクションを再実行します。

7707F Unable to acquire <%d> bytes of local memory for INQUIRE TSQUEUE command

**説明:** トランザクション処理プログラムは、INQUIRE TSQUEUE コマンドを実行するために十分なローカルメモリーを取得できませんでした。メッセージは、トランザクション処理プログラムが取得しようとしているメモリーの量を表示します。

**対処:** CINI システムトランザクションを実行し、トランザクション処理プログラムを再利用します。それでも問題が解決されない場合は、領域を再起動して、-M t または -M c オプションで unikixmain コマンドに異なる値を提供することで、トランザクション処理プログラムのヒープ空間をより多く割り当てなければならない場合があります。

7710E [%r] No Shared memory segments available for allocation

**説明:** プロセスに添付できる共有メモリーセグメントの数に関するシステム制限に達し、利用できるセグメントがなくなりました。

**対処:** Solaris プラットフォームでは、カーネル設定パラメータ SHMSEG を変更できます。AIX プラットフォームでは、この制限は固定され、変更できません。

7711E [%r] shmat() returned errno <%d>: The number of shared memory segments attached to this process has reached the system limit

**説明:** プロセスに添付できる共有メモリーセグメントの数に関するシステム制限に達しました。

**対処:** Solaris プラットフォームでは、カーネル設定パラメータ SHMSEG を変更できます。AIX プラットフォームでは、この制限は固定され、変更できません。

---

**注** – 多くの場合、メッセージ KIX7710E および KIX7711E はいっしょに表示されません。1 つは下位レベルのルーチン呼び出しから、もう 1 つは上位レベルからのメッセージです。

---

7713I Region started with invalid %s parameter value, %dMbytes.Changing to value %dMbytes

**説明:** 無効な値を持つ領域を unikixmain に対して起動しようとした。Sun MTP は、デフォルト値とともに提供されている値を上書きし、領域を起動しました。

Solaris プラットフォームでは、-s オプションとともに、16M バイト以下の値で領域を起動しようとした。領域は、16M バイトで起動されます (Solaris のデフォルト)。

AIX プラットフォームでは、領域は -M t オプションと 32M バイトの値 (AIX のデフォルト)、または -s オプションと 16M バイトから 256M バイトの値で起動されます。

**対処:** 有効な値になるように、起動値を変更します。

7714I The sum of parameters -Mt and -Mc (%dMbytes) cannot exceed the ulimit break value (%dMbytes). Please adjust the -Mt and -Mc values or the ulimit break value.

**説明:** ulimit -d コマンドで表示されるように、ユーザーのヒープ空間値は、-M t および -M c パラメータの合計より小さくなります。このメッセージは、AIX プラットフォームのみに適用されます。

**対処:** AIX プラットフォームの共有メモリーについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』を参照してください。

7720I Main memory temporary storage queue block size set to  
<%d>

**説明:** 領域の起動に unikixmain に -q オプションを使用した場合、unikixmain.log ファイルに書き出されるメッセージです。これは、領域が割り当てるデータブロックのサイズが、一時記憶域キューへ書き込まれることを示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

7721E %s option has no or an invalid size argument, <%d>.  
Use 1, 2, 4, 8, 16, or 32.

**説明:** 起動時に、unikixmain の -q オプションで、無効または Null の値が指定されました。%d 変数は、不正な値を示します。

**対処:** メッセージに示されている有効な値のいずれかを選択して、領域を再起動します。

7722E %s option has an invalid size argument <%s>

**説明:** unikixmain の -q オプションで提供されている引数に無効な情報が含まれています。メッセージの 2 番目の %s 変数には、引数の値が含まれています。たとえば、16 K バイトのブロックサイズに対し、-q16 ではなく -q16K と入力した場合などがあります。

**対処:** -q オプションの引数を修正し、領域を再起動します。

---

## 8600 ~ 8899 メッセージ

8600E Failed to allocate memory for fast mode operation

**説明:** 割り当てに使用可能なローカルメモリーがないために、メモリーを割り当てることができません。

**対処:** システムの記憶域割り当て要件を確認します。

8601E Job terminating due to recovery file full condition

**説明:** 回復プロセスを継続できませんでした。

**対処:** 同期点の数、回復バッファのサイズ、および回復ファイルの割り当てサイズを確認して調整します。

8602E Job terminating abnormally with shutdown=%s interrupt=%s  
system=%s

**説明:** ジョブは、以下のいずれかの状態により停止されました。

shutdown=TRUE: 領域が、直ちに停止された、またはパニック状態になった

interrupt=TRUE: ジョブを停止するシグナルが送信された

system=TRUE: 領域が停止された

**対処:** 内部エラーまたはオペレータの要求による停止です。

8603I Opened dataset %s in fast mode

**説明:** 指定したデータセットが高速モードで開かれました。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

8604E Mismatch of buffers = %d

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

8605E File not available for processing

**説明:** ファイルは、他のプロセスが制御しているか読み取り専用のため、使用できません。

**対処:** アクセス権またはマルチプロセスのアクセスを確認します。

8606E FastOpen Allocate failed = %d

**説明:** 使用可能なローカルメモリーがないために、要求された *n* バイトのメモリーの割り当てに失敗しました。

**対処:** システムの記憶域割り当て要件を確認します。

8614E <<<<< CISAM process can't exec >>>>>

**説明:** C-ISAM プロセスを実行できませんでした。

**原因:** ファイルが見つからなかったか、実行可能ではありません。

**対処:** ファイルの実行権、形式などを訂正します。

8615E <<<<< kixcisam: can't fork CISAM >>>>>

**説明:** 環境変数が不適切か欠落しているため、プロセスはフォークできません。

**対処:** メッセージ KIX8621E を参照してください。

8616I <<<<< CISAM has terminated >>>>>

**説明:** プロセスが終了したことを示す情報メッセージです。

8617E <<<<< ERROR Sending Message to STOP Transaction Processor >>>>>

**説明:** システム障害です。領域が停止している場合があります。

**対処:** 領域が起動し、動作していることを確認します。

8618E Sun MTP transaction processor is still blocked

**説明:** トランザクション処理プログラムは使用できません。

**対処:** 領域にトランザクション処理プログラムを追加します。

8619E <<<<< ERROR Receiving ACK Message from Sun MTP >>>>>

**説明:** システム障害です。領域が停止している場合があります。

**対処:** 領域が起動し、動作していることを確認します。

8621E <<<<< KIXCISAM not set correctly >>>>>

**説明:** KIXCISAM 環境変数が適切に定義されていないか、または設定されていません。

**対処:** 環境変数を正しく設定します。

8622E Please reset & try again!

**対処:** 問題を訂正して再試行します。

8623E ERROR -- kixfocus child died.Exit code %d Signal %d

**説明:** 子プロセスが使用不能の通知です。

**原因:** 予期しない FOCUS 製品の終了が発生しました。

**対処:** FOCUS の状態を調査し訂正します。

8624E >>>>> FOCUS process can't execute >>>>>

**説明:** ファイルが見つからなかったか、実行可能ではありません。

**対処:** ファイルの実行権、形式などを訂正します。

8625E <<<<< kixfocus: can't fork FOCUS process >>>>>

**説明:** 環境変数が不適切か欠落しているため、プロセスをフォークできません。

**対処:** メッセージ KIX8627E を参照してください。

8626I <<<<< FOCUS has Terminated >>>>>

**説明:** プロセスが終了したことを示す情報メッセージです。

8627E <<<<< FOCHOME not set correctly >>>>>

**説明:** FOCHOME 環境変数が適切に定義されていないか、または見つかりません。

**対処:** 環境変数を正しく設定します。

8800I Number of VSAM buffer pools configured to %d

**説明:** メッセージは、領域の起動時に表示されます。領域が使用するために設定されたバッファープールの数を示します。バッファープールの最小数は 16 です。

**対処:** メッセージに示されている値が予測した値と一致しない場合は、KIXVSAMPOOLS 環境変数を設定したかどうかを調査します。

8801I Cannot configure number of VSAM buffer pools if semaphores are used

**説明:** メッセージは、セマフォを有効にした領域を起動しようとしたが、KIXVSAMPOOLS 環境変数が設定されていることを示します。領域の起動が停止されます。

**原因:** デフォルトの相互排他（スピンロック）ゲート機構ではなく、セマフォを使用するように領域が設定されている場合は、VSAM バッファープールの数を設定できません。セマフォを使用する場合は、16 VSAM バッファープールのデフォルト値が有効になります。

**対処:** セマフォを使用する場合は、KIXVSAMPOOLS 環境変数の設定を解除します。相互排他を使用する場合は、unikixmain コマンドで -E オプションを使わずに領域を起動します。

8802F Number of index buffers (%d) is less than number of index buffer pools (%d)

**説明:** このメッセージは、実際の索引バッファより多い索引バッファープールがあることを示します。索引バッファより多くの索引バッファープールがあると、リソースが無駄に消費されます。Sun MTPは、索引バッファープールにつき、少なくとも 1 つの VSAM バッファを必要とします。

**対処:** VCT で設定されている VSAM バッファの数を増やすか、unikixmain に対して -I オプションを使用して、索引バッファの数を増やします。または、KIXVSAMPOOLS 環境変数で設定されているバッファープールの数を減らすこともできます。

8803F Number of data buffers (%d) is less than number of data buffer pools (%d)

**説明:** このメッセージは、実際のデータバッファより多いデータバッファプールがあることを示します。データバッファより多くのデータバッファプールがあると、リソースが無駄に消費されます。Sun MTPは、データバッファプールにつき、少なくとも1つのVSAMバッファを必要とします。

**対処:** VCT で設定されている VSAM バッファの数を増やすか、unikixmain に対して -I オプションを使用して、データバッファの数を増やします。または、KIXVSAMPOOLS 環境変数で設定されているバッファプールの数を減らすこともできます。

8804I Number of VSAM buffers increased to 128 from the configured %d

**説明:** このメッセージは、VSAM バッファの数が、指定されている値から 128 に増えたことを示します。

**原因:** VSAM バッファの数は、VCT で設定されます。VCT の値が、領域を最初に起動したときの典型値である、128 未満である場合は、起動時にこの値が、Sun MTP により 128 に増やされます。この値は、16 (バッファプールの最小数) と 8 (プールごとのバッファ) を掛けて決定されます。

**対処:** 『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア 構成ガイド』に提供されているガイドラインを基にして、VCT の共有バッファフィールドの数を変更します。

8805E Buffer pool mutex bitmask no. %d = %x at end of transaction %s

**説明:** このメッセージは、指定したトランザクションの終わりで、バッファプールがロックされたことを示します。通常、Sun MTPは、VSAM に関連したロックを、トランザクションの終わりで維持することはありません。このメッセージは、デッドロックやシステムのハングを引き起こす重大な状態が発生したことを示します。

**対処:** 領域でトランザクションアクティビティを監視し、システムのハングがないかどうかを確認します。必要に応じて、領域をシャットダウンし、再起動します。サポートが必要な場合は、ご購入先に問い合わせます。

8806I Cannot configure fewer than 16 buffer pools. Increased buffer pools from %d to 16

**説明:** 16 より少ないバッファプールを持つ領域を起動しようとした。領域は、起動を続行し、16 のバッファプールを設定します。

**対処:** KIXVSAMPOOLS 環境変数で、値が 16 以上に設定されていることを確認します。

---

## 9000 ~ 9499 メッセージ

9000I TP time outs waiting for recovery to complete [%d]

**説明:** Sun MTPは、回復プロセスで書き込まれた変更前イメージのコレクションを最適化しようとします。 %d は、トランザクション処理プログラムがこの最適化に失敗した数を示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

9001I TP serviced when waiting for recovery to complete [%d]

**説明:** Sun MTPは、回復プロセスで書き込まれた変更前イメージのコレクションを最適化しようとします。 %d は、トランザクション処理プログラムがこの最適化を利用した数を示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

9002I Logical File I/O Statistics

**説明:** このメッセージに続く行に、現在の Sun MTP セッションで行われた論理 I/O 要求が示されます。

9003I File Reads Writes Rewrites Deletes Startbrs  
Endbrs Resetbrs Unlocks Readnexts Readprevs

**説明:** このヘッダーに続いて、Sun MTP セッションでの VSAM データセットの論理 I/O 要求が表示されます。KSDS ファイルの場合、データファイル (.dta) と索引ファイル (.idx) に分けられます。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

9005I Physical File I/O Statistics

**説明:** このメッセージに続く行に、現在の Sun MTP セッションで行われた物理 I/O 要求が示されます。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

9006I File Reads Writes Allocs

**説明:** このヘッダーの下に、Sun MTP セッションでの VSAM の物理 I/O 要求が表示されます。KSDS ファイルの場合、データファイル (.dta) と索引ファイル (.idx) に分けられます。Allocs は、ファイルが拡張された、つまりブロックが取得された回数を示します。

**対処:** 情報メッセージであり、ユーザーのアクションは必要ありません。

9169E Duplicate alt key VSAM dataset:%s altkey dataset:%s

**説明:** 指定した VSAM データセットと代替データセットで、代替キーが重複しています。このエラーに続く情報は、主キーの 16 進数のダンプで、エラーを発生させた該当の代替キーとなります。

**対処:** 以下の中から、要件に最適のアクションを選択します。

- 入力から重複レコードを削除し、unikixbld ユーティリティーを再実行します。
- 重複が必要な場合は、FCT で属性を変更し、unikixbld ユーティリティーを再実行します。

9200I Cannot have multiple sequential files for  
9201I this record format. Only first file taken.

**説明:** カスタマイズされたレコード形式で提供できるのは、順編成ファイル 1 つだけです。

**対処:** unikixbld スクリプトを編集し、再実行します。

9218E Signal=%d Received -- Process abandoned immediately

**説明:** プロセスはシグナル %d を受信しました。配信されたシグナル %d は、Sun MTP で予期されたものではありません。

**対処:** シグナルの理由を調査します。SIGSEGV の場合は、ご購入先に連絡してください。

9251E Open failed for TMPDIR, using KIXSYS instead, errno=%d

**説明:** \$TMPDIR ディレクトリの一時ファイルは、エラー (%d) のため開けませんでした。ファイルは \$KIXSYS ディレクトリで開かれます。

**対処:** TMPDIR 環境変数が設定されているか確認します。設定されている場合は、アクセス権とリソースが使用可能なことを確認します。

## 第2章

# UT 系メッセージ

---

UT 系のメッセージは、ユーティリティーに関連付けされた Sun MBM メッセージです。オンライン環境で実行しているときに生成された UT メッセージは、Sun MTP 内部で使用される Sun MBM ユーティリティーに関連します。

---

## UT0200 ~ UT0299

UT0201(I) Records read %d excluded %d written %d summed %d RAM used %d KB, max allowed %d MB

**説明:** RAM used は、レコードをソートするために使用されるメモリーの量です。max allowed は、sortx がレコードをソートするために必要に応じて割り当てるメモリーの最大量です。

**対処:** RAM used が許容最大量に等しい場合、サブシステム設定ファイルの SORT\_WK 環境変数を設定することによって、割り当てられる必要なメモリーを増加できます。詳細については、『Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア 移行ガイド』を参照してください。

UT0202(S) sortx:error accessing VSAM datasets.  
You need to use the \$UNIKIX/bin/sortx executable to access VSAM datasets

**説明:** バッチノードで提供された sortx 実行可能ファイルを、VSAM ファイルのアクセスに使用できません。

**対処:** \$UNIKIX/bin/sortx 実行可能ファイルを使用する必要があります。

UT0203(S) Invalid infile parameter

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0205(S) Error in memory space request

**説明:** malloc() 呼び出しが原因のエラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0206(S) Invalid outfile parameter

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0207(S) Invalid excfile parameter

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0208(S) Missing or invalid sum element

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0211(S) Infile and excfile may not be the same

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0212(S) Outfile and excfile may not be the same

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0213(S) Infile and outfile may not be the same

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0215(S) Inrsz parameter must be specified for file system input

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0218(S) Invalid erropt parameter

**説明:** 無効なパラメータがエラーオプションに指定されました。

**対処:** 使用できるエラーオプションは、abt または igだけです。

UT0219(S) Invalid wkdir parameter

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0220(S) Invalid source parameter

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0222(S) Infile and source may not be the same

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0223(S) Invalid altseq at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0224(S) Found illegal item '%-10.10s' at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0225(S) Found unexpected keyword '%s' at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0226(S) Found unexpected hexadecimal string at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0227(S) Found unexpected literal at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0228(S) Found unexpected number at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0229(S) Found illegal item '%s' at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0230(S) Read error on infile:errno = %d

**説明:** 入力ファイルの読み込みエラーです。

**対処:** 入力ファイルの読み取り権を確認します。必要であれば、ソートパラメータも調査します。

UT0231(S) Report already set at line %d

**説明:** 内部エラーです。

**対処:** ご購入先に問い合わせてください。

UT0232(S) Collate already set at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを適切に変更します。

UT0233(S) Altseq already set at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを適切に変更します。

UT0234(S) Output already set at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを適切に変更します。

UT0235(S) Input file not found

**説明:** 入力ファイルを開く際のエラーです。

**対処:** アクセス権を調査します。

UT0236(S) Open wrong exception file:errno = %d

**説明:** creat() 呼び出しのエラーです。

**対処:** アクセス権を調査します。

UT0237(S) Open wrong output file:errno = %d

**説明:** creat() 呼び出しのエラーです。

**対処:** アクセス権を調査します。

UT0238(S) Write error on outfile:errno = %d

**説明:** write() 呼び出しのエラーです。

**対処:** アクセス権を調査します。

UT0239(S) Force field length > 1 at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0240(S) Invalid mem parameter

**説明:** 無効なパラメータが -m オプションに指定されています。

**対処:** -m オプションの値を変更して、もう一度コマンドを実行します。

UT0241(S) Source file not found

**説明:** open() 呼び出しのエラーです。

**対処:** アクセス権を調査します。

UT0242(S) Include:invalid length at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0243(S) Key:invalid length at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0244(S) Sum:invalid length at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0245(S) Arrange:invalid length at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0246(S) Found unexpected ENDSORT at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0247(S) Found unexpected ENDMERGE at line %d

**説明:** MERGE 文の使用法が無効です。

**対処:** MERGE 文を変更して、もう一度コマンドを実行します。

UT0248(S) Last record cannot be OMIT

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0249(S) Output record length not = output rsz data base file

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0262(S) Function interrupted by operator

**説明:** シグナル SIGINT は、コマンドに受信されました。

**対処:** 再実行します。

UT0272(D) Program error

**説明:** sortx コマンドは、SIGSEGV によって強制的に中止されました。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0280(S) Output record size differ between record types

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0281(S) Arrange field not within input record

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0282(S) Arrange invalid if output = addrout/keyaddr

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0283(S) Key lengths differ between record types

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0284(S) Key field not within input record

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0286(S) Sum field not within input record

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0287(S) Sum invalid if output = adddata/addrout/keyaddr

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0289(S) Zero length literal at line %d

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0290(S) Include/omit field not within input record

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0299(S) Key invalid

**説明:** 入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

---

## UT0800 ~ UT0999

UT0801(S) IEBUPDTE:Error(S) getenv(%s) failed.

**説明:** 指定された ddname は、ステップに割り当てられていません。

**対処:** ステップに適切なデータセット文を追加します。

UT0802(S) IEBUPDTE:Error(S) opening %s

**説明:** 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

**対処:** 指定したファイルの読み取り/書き込み権を調査します。

UT0803(S) IEBUPDTE:Error(S) getenv(%s) failed.

**説明:** 指定された ddname は、ステップに割り当てられていません。

**対処:** ステップに適切なデータセット文を追加します。

UT0804(S) IEBUPDTE:Error(S) opening %s

**説明:** 指定されたファイルへのアクセス時のエラーです。

**対処:** 指定したファイルの読み取り/書き込み権を調査します。

UT0805(I) ADDED file %s

**説明:** 情報メッセージです。

UT0806(W) WARNING:%s - not supported, statement ignored.

**説明:** 表示されたパラメータはサポートされていません。

UT0808(S) Invalid data in sum field at output record %d

**説明:** オーバーフローまたは無効なデータです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0809(S) Invalid data in key field at input record %d

**説明:** レコード出力の作成時のエラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0810(S) Invalid data in include/omit field at input record %d

**説明:** レコード出力の作成時のエラーです。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0819(S) Invalid wkdir parameter

**説明:** 作業ディレクトリへのアクセスまたは書き込み時のエラーです。

**対処:** 指定したパス名の各コンポーネントのアクセス権を調査します。

UT0823(S) Outfile and source may not be the same

**説明:** 入力パラメータ処理エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0824(S) Excf file and source may not be the same

**説明:** 入力パラメータ処理エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0838(S) Write error on excfile:errno = %d

**説明:** write() 呼び出し処理エラーです。

**対処:** 詳細は、errno 番号を調査します。

UT0842(S) Include:invalid position at line %d

**説明:** 入力パラメータ処理エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0843(S) Key:invalid position at line %d

**説明:** 入力パラメータ処理エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0844(S) Sum:invalid position at line %d

**説明:** 入力パラメータ処理エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0845(S) Arrange:invalid position at line %d

**説明:** 入力パラメータ処理エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0861(D) Memory allocation error:errno = %d

**説明:** malloc() 呼び出しが原因のエラーです。

**対処:** \$USER\_SETUP ファイルの SORTX\_DEBUG 環境変数を setenv SORTX\_DEBUG YES に設定し、関数を再実行します。結果をご購入先に連絡してください。

UT0862(D) Cannot allocate memory:errno = %d

**説明:** brk() 呼び出しのエラーです。

**対処:** \$USER\_SETUP ファイルの SORTX\_DEBUG 環境変数を setenv SORTX\_DEBUG YES に設定し、関数を再実行します。結果をご購入先に連絡してください。

UT0863(D) Premature end of temporary file

**説明:** 内部エラー、行の長さが無効です。

**対処:** \$USER\_SETUP ファイルの SORTX\_DEBUG 環境変数を setenv SORTX\_DEBUG YES に設定し、関数を再実行します。結果をご購入先に連絡してください。

UT0864(S) Cannot create temporary file:errno = %d

**説明:** 一時ファイルの open 時のエラーです。

**対処:** 詳細は、errno の値を調査します。

UT0865(S) Cannot open temporary file:errno = %d

**説明:** 一時ファイルの create 時のエラーです。

**対処:** 詳細は、errno の値を調査します。

UT0866(S) Temporary file open error:errno = %d

**説明:** 一時ファイルの open 時のエラーです。

**対処:** 詳細は、errno の値を調査します。

UT0867(S) Temporary file read error:errno = %d

**説明:** 一時ファイルの read 時のエラーです。

**対処:** 詳細は、errno の値を調査します。

UT0868(S) Temporary file error:errno = %d

**説明:** 一時ファイル処理内部エラーです。

**対処:** 詳細は、errno を調査します。

UT0869(S) ERROR on open, input file %s, errno = %d

**説明:** 指定されたファイルを開く際にエラーが発生しました。

**対処:** 詳細は、errno を調査します。

UT0870(S) ERROR accessing VSAM manager

**説明:** Sun MTP 領域へのアクセス時にエラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP が動作していることおよび KIXSYS 環境変数が正しく設定されていることを確認します。

UT0871(S) ERROR:VSAM FILE %s DOES NOT EXIST

**説明:** Sun MTP 内部テーブルで指定された VSAM ファイルへのアクセス時のエラーです。

**対処:** 指定したファイルが、Sun MTP テーブルで正しく定義されていることを確認します。

UT0872(S) ERROR locking VSAM FILE %s, internal error %d

**説明:** 別のプロセスがすでに VSAM ファイルをロックしています。

**対処:** このファイルで実行中の unikixbld プロセスがないかどうかを調査します。

UT0873(S) ERROR opening VSAM FILE %s

**説明:** 指定された VSAM ファイルでの open コールのエラーです。

**対処:** 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0874(S) ERROR unlocking VSAM FILE %s after a failed closing of the same file

**説明:** オープン後の VSAM ファイルをロック解除する際の内部エラーです。

**対処:** 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0875(S) ERROR closing VSAM FILE %s

**説明:** 指定された VSAM ファイルでの close コールのエラーです。

**対処:** 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0876(S) ERROR reading VSAM FILE %s

**説明:** 指定された VSAM ファイルから固定長レコードを読み込む際のエラーです。

**対処:** 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0877(S) ERROR reading VSAM FILE %s

**説明:** 指定された VSAM ファイルから可変長レコードを読み込む際のエラーです。

**対処:** 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0878(S) Usage:sortx -S source -i infile -o outfil  
-t filetype -s inrsz (mandatory only for FS file)  
[-x excfil] [-r erropt] [-w wkdir] [-m mem]

**説明:** sortx コマンド入力パラメータの構文エラーです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0879(S) ERROR value for -t option (must be VS or FS)

**説明:** sortx -t オプションで指定された無効なファイルタイプです。

**対処:** 有効な入力引数は、VS (VSAM) または FS (ファイルシステム) ファイルです。

UT0880(S) ERROR in DD\_SORTIN:vsam file must be unique

**説明:** 連結された VSAM データセットは受け付けられません。

**対処:** JCL スクリプトを調査します。DD\_SORTIN は、1 つの VSAM データセットだけを指します。

UT0882(S) SORTX:in validation mode is not executed

**説明:** 検査モードで動作しているとき、SORTX コマンドは実行できません。

**対処:** SORTX コマンドを実行する場合は、検査モードオプションを指定しないでください。

UT0883(S) ERROR unlocking VSAM FILE

**説明:** VSAM ファイルのロック解除時の内部エラーです。

**対処:** 詳細は、\$KIXSYS/unikixmain.log または \$KIXSYS/unikixmain.err を調査します。

UT0884(S) option %s repeated

**説明:** 無効な入力パラメータです。指定されたオプションが複数回定義されています。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0885(S) option %s not correct

**説明:** 無効な入力パラメータです。

**対処:** パラメータを訂正して再実行します。

UT0886(S) number %d too large

**説明:** 無効な入力パラメータです。

**対処:** パラメータを訂正し、コマンドを再実行します。

UT0887(S) argument %s too long

**説明:** 無効な入力パラメータです。

**対処:** パラメータを訂正し、コマンドを再実行します。

UT0888 (S) sortx :internal error

**説明:** 入力パラメータチェック時の内部エラーです。

**対処:** パラメータを検査し、コマンドを再実行します。

UT0889 (S) sortx:DD\_SORTIN variable not set

**説明:** 指定された環境変数が設定されていません。

**対処:** 指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

UT0890 (S) sortx:DD\_SORTOUT variable not set

**説明:** 指定された環境変数が設定されていません。

**対処:** 指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

UT0891 (S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0892 (S) sortx:DD\_SYSIN variable not set

**説明:** 指定された環境変数が設定されていません。

**対処:** 指定された環境変数を設定し、コマンドを再実行します。

UT0893 (S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0894 (S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0895 (S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0896 (S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリ割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0897(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0898(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0899(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0901(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0902(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0903(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0904(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0905(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0906(S) sortx:failed malloc

**説明:** malloc() 呼び出しによるメモリー割り当てができません。

**対処:** ご購入先に連絡してください。

UT0907(S) The VSAM file must be specified using DD\_SORTIN variable

**説明:** DD\_SORTIN 環境変数が設定されていません。

**対処:** \$DD\_SORTIN を設定し、コマンドを再実行します。

UT0908(S) ERROR in input record size

**説明:** -s オプションを使用して指定されたレコードサイズは、Sun MTP 内部テーブルで指定されている内部レコードサイズと一致しません。

**対処:** -s オプションを指定しない場合は、内部サイズが適用されます。JCL の LRECL パラメータが正確であることを確認します。

UT0911(S) Error: Batch node environment not set. Source the node batchenv file.

**説明:** バッチノードのコマンドを実行する前に、バッチノードの環境変数を設定する必要があります。

**対処:** バッチノード batchenv ファイルを使用します。

UT0912(I) RAM used %d KB, max allowed %d KB

**説明:** 情報メッセージです。

UT0913(I) RAM used %d MB, max allowed %d KB

**説明:** 情報メッセージです。

UT0914(I) RAM used %d KB, max allowed %d MB

**説明:** 情報メッセージです。

UT0915(I) RAM used %d MB, max allowed %d MB

**説明:** 情報メッセージです。



## 第3章

# 3270 クライアントメッセージ

---

この章では、3270 クライアントと 3270 クライアントイニシエータが生成するメッセージを示します。

---

## 3270 クライアントメッセージ

この節のメッセージの前には、3270 クライアントのモジュール名、つまり `unikixb` が付きます。後ろには SNA サーバー名、論理ユニット名、および SNA サーバーのセッションを識別する SNA セッション番号が付きます。メッセージの形式は次のようになります。

`[unikixb:SNA_SERVER:SLU31:20]` メッセージ

これらのメッセージは、`unikixb` を実行した UNIX ホストの端末画面にだけ表示されます。リダイレクション演算子 (`>`) を使用すれば、このメッセージをログファイルやエラーファイルにリダイレクトできます。リダイレクションについては、シェルの UNIX コマンドリファレンスを参照してください。

一般に状況を回復できない場合、3270 端末はシステムサービス制御ポイント (SSCP) ログイン画面に戻ります。

メッセージの説明で、`%d` は整数値、`%x` は 16 進数値、`%s` は文字列で置き換えられます。

ACTLU

**説明:** 論理ユニットが、有効なコマンドを受け取りました。このメッセージは、ネットワークオペレータによる操作が原因の場合があります。アクションは必要ありません。

All terminals assigned

**説明:** Sun MTP 領域に構成されているログオン端末は最大数に達しています。このメッセージは、接頭辞がなく、3270 画面にも表示されます。

**対処:** 構成を変更する必要があります。または、アクセスできるように他のユーザーをログオフさせる必要があります。

Argument Error from parent process! nargs = %d

**説明:** 端末ハンドラが unikixi コマンドから引数を取得できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Bid -rsp %x sen %x %x

**説明:** 端末ハンドラは、セカンダリ論理ユニットの制御を取得しようとしたが、拒否されました。

**対処:** 対処は必要ありません。端末で、別のトランザクションを開始する準備が整っていないことが考えられます。問題が解消されない場合は、このエラーについて、ご購入先に連絡してください。

Bind failed

**説明:** Sun MTP アプリケーションと端末ハンドラのセッションを結合しようとして失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Close failed close LU error:errno=%d, brx5\_errno=%lx

**説明:** Sun MTP 領域のクローズしたセッションがエラーになりました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Closedown error

**説明:** メッセージフローでエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

#### DACTLU

**説明:** 論理ユニットが、無効なコマンドを受け取りました。このメッセージは、ネットワークオペレータによる操作が原因の場合があります。

**対処:** 対処は必要ありません。

#### DFC req ru\_code %x dat %x %x %x %x

**説明:** LU から LU のセッションで、予期しないデータフロー制御コマンドを受け取ったので、無視されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

#### Error returned from read socket: %d

**説明:** %d のエラーが、ソケット読み込みで発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

#### Error Reading Piped Arguments

**説明:** 端末ハンドラが unikixi コマンドから引数を取得できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

#### Error Retrieving Bind data

**説明:** 端末ハンドラは、unikixi コマンドから必要なバインドデータを取得できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

#### Error sending sc\_msg

**説明:** セッション制御メッセージをセカンダリ論理ユニットに送信しようとしてエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

#### Fail to get machine name

**説明:** UNIX への呼び出しで、有効な戻り値を返せませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

#### Fail to create socket for host computer

**説明:** インターネットドメインソケットの割り当て要求が拒否されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Fail to create socket for terminal handler

**説明:** インターネットドメインソケットの割り当て要求が拒否されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Get socket failed errno %d

**説明:** インターネットドメインソケットの割り当て要求が拒否されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

gethostbyname failed

**説明:** 端末ハンドラを実行するコンピュータのホスト名の取得要求に失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

getsockname failed

**説明:** ソケット名の取得要求が拒否されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

habtRcls kxsndts failed %d

**説明:** 端末ハンドラと領域の通信の確立に失敗しました。端末ハンドラと領域の通信パスは、すでに存在していないことが考えられます。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

hread\_sockm:kxsndts failed

**説明:** 端末ハンドラと領域の通信の確立に失敗しました。端末ハンドラと領域の通信パスは、すでに存在していないことが考えられます。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Ign SC req ru\_code %x

**説明:** SSCP から LU セッションで予期しないコマンドが受け取られたため、無視されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Ign unknown req ru\_code %x

**説明:** LU から LU セッションで不明なコマンドが受け取られたため、無視されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Ign req ru\_code %x

**説明:** LU から LU セッションで予期しないコマンドが受け取られたため、無視されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Invalid FD For Piped Arguments

**説明:** 端末ハンドラが unikixi から引数を取得できませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Invalid KXmsg type %d

**説明:** 端末ハンドラが、不明なタイプ %d のメッセージを受け取ったため、無視されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Logo file error

**説明:** ログファイルが無効です。端末ハンドラは、この状況が修正されるまで、開始されません。

**対処:** \$UNIKIX/lib/logofile にログファイルが置かれていること、またプロセスでこのファイルを読み取ることができるようにアクセス権が設定されていることを確認します。問題が解消されない場合は、このエラーについて、ご購入先に連絡してください。

Memory allocation failed

**説明:** 端末ハンドラは、メモリーの割り当て要求を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Nonzero return code from kxsndts: %d

**説明:** 端末ハンドラから Sun MTP に通信しようとしたますが、失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Open LU, internal error = %d

**説明:** SNA サーバーの内部エラーが検出されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Open failed

**説明:** TPS PU5 サーバーへのセッションのオープンで、エラーになりました。

**対処:** このメッセージを unikixi の開始直後に受け取る場合、コマンド行で指定された applid は (-u xxxx)、TPS PU5 構成ファイルで定義されていません。unikixi を再度開始する前に、構成ファイルとコマンド行の引数を確認します。

unikixi は正しく開始されるが、3270 端末に接続するとエラーが表示される場合、SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログアウトしてからログインし直します。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

問題が解消されない場合は、このエラーについて、ご購入先に連絡してください。

Protocol error state %d event %d

**説明:** メッセージフローでエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Read command error

**説明:** メッセージフローでエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Req -rsp %x sen %x %x

**説明:** 端末ハンドラはセカンダリ論理ユニットに要求を作成しましたが、拒否されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Select rcode %d errno %d

**説明:** ファイル記述子が有効になるのを待機する UNIX 呼び出しが失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Send\_dfc\_msg failed

**説明:** データフロー制御メッセージをセカンダリ論理ユニットに送信しようとしてエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Send\_fmd\_data failed

**説明:** Sun MTP システムへのデータ送信がエラーになりました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Send\_ru failed Write to brxPU5 error:errno=%d, brx5\_errno=%lx

**説明:** Sun MTP システムへのデータ送信がエラーになりました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Serial file error

**説明:** シリアル番号制御ファイルが無効です。端末ハンドラは、この状況が修正されるまで、開始されません。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Server Disconnected

**説明:** SNA サーバーが切断されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

SIGINT

**説明:** 端末ハンドラが終了を要求する割り込みシグナルを受け取りました。このメッセージは、unikixi プロセスが強制的に終了されると表示されます。

**対処:** 対処は必要ありません。

Socket read returned zero length

**説明:** ソケットの読み込みで返されたデータがありませんでした。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Socket read returned %d

**説明:** %d のエラーが、ソケット読み込みで発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

SSCP-LU req ru\_code %x

**説明:** SSCP から LU セッションで予期しないコマンドが受け取られたため、無視されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Start up error

**説明:** メッセージフローでエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

Terminal closed by host

**説明:** Sun MTP システムが端末とのセッションをクローズしたことを示す情報メッセージです。これは、端末の操作者からの要求による場合があります。このメッセージは、接頭辞がなく、3270 画面にも表示されます。

**対処:** 対処は必要ありません。

Unable to locate GTA

**説明:** Sun MTP システムは、端末の内部制御構造を見つけられません。このメッセージは、接頭辞がなく、3270 画面にも表示されます。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Unable to connect to LU

**説明:** SNA サーバーは、要求された LU への接続を拒否しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。再実行します。

Unable to open file: %s

**説明:** 端末ハンドラは、必要なファイルをオープンできませんでした。

**対処:** unikixi の開始に使用したユーザー ID に、オープンするファイルのディレクトリへの書き込み権があることを確認します。問題が解消されない場合は、このエラーについて、ご購入先に連絡してください。

Unavailable LU

**説明:** SNA サーバーへのセッションのオープンが、エラーになりました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

MTP already running on this terminal

**説明:** この端末は、Sun MTP に接続されていましたが、不正な手順で切断されました。この3270メッセージは、接頭辞がなく、3270 画面にも表示されません。

**対処:** CEMT SET TERM ( . . . ) OUTSERVICE トランザクションを実行します。しばらくしてから、再度ログインします。この状況は、解決する必要があります。

---

## 3270 クライアントイニシエータメッセージ

この節のメッセージの前には、3270 クライアントイニシエータのモジュール名、unikixi が付きます。その後ろには、Sun MTP ホストの名前と SNAサーバーの名前が続きます。エラーメッセージの形式は次のようになります。

[unikixi:KIXHOST:SNA\_SERVER] エラーメッセージ

KIXHOST と SNA\_SERVER の名前が、エラーが発生した時点では不明場合があります。この場合、名前のフィールドには疑問符で表示されます。次に例を示します。

[unikixi:?????:?????].

これらのメッセージは、3270 クライアントイニシエータを実行する UNIX ホストの画面にだけ表示され、標準エラーに出力されます。また、リダイレクション演算子 (>) を使用して、ログやエラーファイルにリダイレクトできます。リダイレクションについては、シェルの UNIX コマンドリファレンスを参照してください。

次のエラーメッセージの説明で、%d は整数値、%x は 16 進数値、%s は文字列で置き換えられます。これらの記号に加えて、エラー状況を詳しく特定するシステムに依存した記述メッセージが続くメッセージもあります。

CINIT User-Data Length Too Long:Truncating

**説明:** 受け取った SNA CINIT メッセージの UDATA フィールドが、予測される最大長を超過しました。

**対処:** ログインコマンドを再実行します。UDATA フィールドの文字数を、8 に制限します。

CLOSE ERROR %d

**説明:** unikixi プロセスと unikixb プロセスのパイプのクローズ中、ファイルのクローズエラーが検出されました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Could Not Acquire Memory for Child Process Table Entry: %s

**説明:** malloc() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Could not open socket to SNA Server %s

**説明:** unikixi プロセスは、SNA サーバーに接続するソケットをオープンできませんでした。

**原因:** ローカルシステム上の TCP/IP が正常に動作していません。または、現在確立している接続が多すぎます。

**対処:** SNA サーバーが実行中で正しく機能していることを確認します。再実行します。問題が解消されない場合は、ご購入先に連絡してください。

Disconnecting SNA Interface

**説明:** Sun MTP 領域が使用できないことを端末ユーザーに通知します。

**原因:** KIXHOST システムと unikixi プロセスとの接続エラーによって、unikixi が SNA サーバーから強制的に切断されました。

**対処:** Sun MTP 領域を再起動します。

dup() call: %s

**説明:** dup() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Error %d Reading KIXHOST Socket

**説明:** KIXHOST へのソケット接続の読み込み中にエラーが検出されました。

Error Received Sending KX-message = %d

**説明:** KIXHOST システムにメッセージを送信しようとして、内部エラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Error in -C confirm option

**説明:** -C confirm (確認) オプションには、Display (表示)、Printer (プリンタ)、または Both (両方) の 3 つのパラメータのいずれか 1 つを使用できます。

Error Reading KIXHOST Socket!

**説明:** KIXHOST 環境変数で指定されたシステムへのソケット接続の読み込み中に、エラーが発生しました。

**対処:** \$KIXHOST で指定されたシステムが有効なシステムで、動作可能であることを確認します。

Error Sending INIT-SELF:errno %d

**説明:** PU5 ソフトウェアに INIT\_SELF SNA メッセージを送信しようとして、エラーが検出されました。

**対処:** PU5 ソフトウェアが正常に実行中であることを確認します。

execlp(): %s

**説明:** execlp() 関数は、%s で示した理由により失敗しました。

fork() failed: %s

**説明:** fork() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

gethostbyname() failed: %s

**説明:** gethostbyname() 関数は、%s で示した理由により失敗しました。

gethostname() failed: %s

**説明:** gethostname() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

getsockname() failed %s

**説明:** getsockname() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

Illegal Command Line Argument Detected

**説明:** unikixi プロセスの開始時に、不正なコマンド行引数が使用されました。コマンド行引数のリストについては、『Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア リファレンスマニュアル』を参照してください。

Internal Error In remove\_child\_pid().No such pid as %d

**説明:** unikixi プロセス内で、回復不可能な内部エラーが検出されました。プロセスは自動的に強制終了します。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Internal Error in sna\_open\_request() brx5\_errno= %d

**説明:** unikixi プロセス内で、内部エラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

IP bind failed: %s

**説明:** bind() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

KIXHOST %s Has Established Connection!

**説明:** unikixi プロセスが \$KIXHOST にあるシステムへの接続を確立したあと、このメッセージが表示されます。

LU not active on open reply

**説明:** PU5 SSCP ポートのオープン時に、予期しないエラーが発生しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

NEGATIVE RESPONSE RECEIVED

**説明:** PU5 ソフトウェアから、否定応答を受け取りました。

No Response from KIXHOST %s. Waiting...

**説明:** %s で指定された \$KIXHOST システムが停止中だと判断されると、unikixi プロセスは継続して接続を再度確立しようとします。このメッセージは、接続が再度確立されるまで、定期的に表示されます。

Open LU, internal error = %d

**説明:** PU5 ソフトウェア内で、内部エラーが発生しました。

**対処:** Sun MTP のコマンド行に指定された APPLID (-u sextets) が、TPS PU5 サーバーに定義されていることを確認します。PU5 ソフトウェアを再起動します。

問題が解消されない場合は、このエラーについて、ご購入先に連絡してください。

pipe() failed: %s

**説明:** pipe() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

[remove\_child\_pid] INTERNAL ERROR pid = %d hashslot = %d

**説明:** unikixi プロセス内で、回復不可能なエラーが発生しました。プロセスは自動的に強制終了します。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

Secondary LU-LU sess msg rcved

**説明:** unikixi プロセスは、予期しない LU-LU メッセージを受け取りました。

Signal() failed: %s

**説明:** signal() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

SNA Server %s is Unknown

**説明:** %s で指定された SNA サーバーシステムが (ローカルシステムまたは -b コマンド行オプションで指定されたシステム)、TCP/IP に認識されていません。

SNA Server %s not a registered service

**説明:** SNA サーバーソフトウェアが、指定されたシステム (ローカルシステムまたは -b コマンド行オプションで指定されたシステム) 上に正しくインストールされていません。

SNA Server %s Has Not Responded in %d Minutes.Waiting...

**説明:** SNA サーバーが通信していないことを unikixi プロセスが検出すると、あらかじめ定義されている間隔で再度接続を確立しようとします。

SNA Server %s Not Responding. Waiting...

**説明:** SNA サーバーの PU5 ソフトウェアは、unikixi プロセスによる要求に応答していません。

**対処:** PU5 ソフトウェアを再起動します。

SNA interface disconnected

**説明:** PU5 SSCP は、警告なしで切断されました。

**対処:** PU5 ソフトウェアを再起動します。

socket() failed: %s

**説明:** socket() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

SSCP Port Unavailable

**説明:** PU5 SSCP への接続をオープンしようとしたますが、SSCP のポートが使用できなかったため失敗しました。PU5 SSCP のポートは、使用不能であることが考えられます。

**対処:** 停止してから、PU5 ソフトウェアを再起動します。

SSCP-LU sess msg rcved

**説明:** PU5 ソフトウェアから、予期しない SSCP-LU メッセージを受け取りました。

Unexpected msg %x received from MTP

**説明:** unikixi プロセスは、予期しないメッセージを受け取りました。このメッセージは破棄され、通常の動作が続けられます。

Unexpected Error from select() %s

**説明:** select() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

Write to child pipe failed: %s

**説明:** write() システムコールは、%s で示した理由により失敗しました。

**対処:** このエラーについては、ご購入先に連絡してください。

再実行します。SSCP でダイアログに入力して端末を回復し、ログオフしてからログオンします。SYS REQUEST キーを押し、logoff と入力して Enter キーを押します。次に、ログインし直します。

## 付録A

# ISC メッセージ - サブエラーコード

この付録では、第1章で説明したISCメッセージの一部に使用されるサブエラーコードの一覧を掲載します。

表 A-1 プライマリリターンコード (3 / 1)

リターンコード	16 進数
AP_OK	0x0000
AP_PARAMETER_CHECK	0x0100
AP_STATE_CHECK	0x0200
AP_ALLOCATION_ERROR	0x0300
AP_DEALLOC_ABEND	0x0500
AP_DEALLOC_ABEND_PROG	0x0600
AP_DEALLOC_ABEND_SVC	0x0700
AP_DEALLOC_ABEND_TIMER	0x0800
AP_DEALLOC_NORMAL	0x0900
AP_PROG_ERROR_NO_TRUNC	0x0C00
AP_PROG_ERROR_TRUNC	0x0D00
AP_PROG_ERROR_PURGING	0x0E00
AP_CONV_FAILURE_RETRY	0x0F00
AP_CONV_FAILURE_NO_RETRY	0x1000
AP_SVC_ERROR_NO_TRUNC	0x1100
AP_SVC_ERROR_TRUNC	0x1200
AP_SVC_ERROR_PURGING	0x1300
AP_UNSUCCESSFUL	0x1400
AP_CNOS_PARTNER_LU_REJECT	0x1800

表 A-1 プライマリリターンコード (3 / 2)

リターンコード	16 進数
AP_CONVERSATION_TYPE_MIXED	0x1900
AP_NODE_STOPPING	0x1A00
AP_NODE_NOT_STARTED	0x1B00
AP_CANCELLED	0x2100
AP_BACKED_OUT	0x2200
AP_LS_FAILURE	0x2300
AP_OPERATION_INCOMPLETE	0x4000
AP_OPERATION_NOT_ACCEPTE	0x4100
AP_CONVERSATION_ENDED	0x4200
AP_ERROR_INDICATION	0x4300
AP_EXPD_NOT_SUPPORTED_BY_LU	0x4400
AP_BUFFER_TOO_SMALL	0x4500
AP_MEMORY_ALLOCATION_FAILURE	0x4600
AP_INDICATION	0x0210
AP_ACTIVATION_FAIL_RETRY	0x0310
AP_ACTIVATION_FAIL_NO_RETRY	0x0410
AP_LU_SESS_LIMIT_EXCEEDED	0x0510
AP_FUNCTION_NOT_SUPPORTED	0x0610
AP_DATA_POSTING_BLOCKED	0x0810
AP_PATH_SWITCH_NOT_ALLOWED	0x0910
AP_CP_CP_SESS_ACT_FAILURE	0x0A10
AP_TP_BUSY	0x02F0
AP_COMM_SUBSYSTEM_ABENDED	0x03F0
AP_COMM_SUBSYSTEM_NOT_LOADED	0x04F0
AP_THREAD_BLOCKING	0x06F0
AP_INVALID_VERB_SEGMENT	0x08F0
AP_UNEXPECTED_DOS_ERROR	0x11F0
AP_UNEXPECTED_SYSTEM_ERROR	0x11F0
AP_STACK_TOO_SMALL	0x15F0
AP_INVALID_VERB	0xFFFF

表 A-1 プライマリリターンコード ( 3 / 3 )

リターンコード	16 進数
AP_MIXED_API_USED	0x16F0
AP_IN_PROGRESS	0x17F0
AP_COMPLETED	0x18F0

次の表は、セカンダリリターンコードの一覧です。

表 A-2 セカンダリリターンコード ( 1 5 / 1 )

リターンコード	16 進数
AP_ALLOCATE_NOT_PENDING	0x09050000
AP_ALLOCATION_FAILURE_NO_RETRY	0x04000000
AP_ALLOCATION_FAILURE_RETRY	0x05000000
AP_INVALID_NODE_TYPE_FOR_HPR	0xC8020000
AP_BAD_CONV_ID	0x02000000
AP_BAD_CONV_TYPE	0x11000000
AP_BAD_ERROR_DIRECTION	0x05010000
AP_SEND_EXPD_INVALID_LENGTH	0x24010000
AP_RCV_EXPD_INVALID_LENGTH	0x25010000
AP_EXPD_BAD_RETURN_CONTROL	0x26010000
AP_EXPD_DATA_BAD_CONV_STATE	0x27010000
AP_BAD_LL	0xF1000000
AP_BAD_REMOTE_LU_ALIAS	0x03000002
AP_BAD_RETURN_CONTROL	0x14000000
AP_BAD_RETURN_STATUS_WITH_DATA	0xD7000000
AP_BAD_SECURITY	0x13000000
AP_BAD_SYNC_LEVEL	0x12000000
AP_BAD_TP_ID	0x01000000
AP_BAD_LU_ALIAS	0x03000000
AP_BAD_DLOAD_ID	0x03000001
AP_BAD_ATTACH_ID	0x03000001
AP_BAD_TYPE	0x50020000
AP_BO_NO_RESYNC	0x00002408

表 A-2 セカンダリリターンコード (1 5 / 2)

リターンコード	16 進数
AP_BO_RESYNC	0x01002408
AP_CANT_MODIFY_PORT_NAME	0x04100000
AP_CONFIRMED_BAD_STATE	0x41000000
AP_CONFIRM_BAD_STATE	0x32000000
AP_CONFIRM_NOT_LL_BDY	0x33000000
AP_CONFIRM_ON_SYNC_LEVEL_NONE	0x31000000
AP_COS_NAME_NOT_DEFD	0x10080000
AP_CP_OR_SNA_SVCMG_UNDELETABLE	0xF3010000
AP_CPSVCMG_ALREADY_DEFD	0x21020000
AP_DEALLOC_BAD_TYPE	0x51000000
AP_DEALLOC_CONFIRM_BAD_STATE	0x53000000
AP_DEALLOC_FLUSH_BAD_STATE	0x52000000
AP_DEALLOC_LOG_LL_WRONG	0x57000000
AP_DEALLOC_NOT_LL_BDY	0x55000000
AP_BAD_PARTNER_LU_ALIAS	0x5B010000
AP_DEF_PLU_INVALID_FQ_NAME	0x74020000
AP_DEL_MODE_DEFAULT_SPCD	0xF4010000
AP_DLC_ACTIVE	0x01100000
AP_DUPLICATE	0x8D020000
AP_DUPLICATE_CP_NAME	0x02100000
AP_DUPLICATE_DEST_ADDR	0x03100000
AP_DUPLICATE_TG_NUMBER	0x15530000
AP_DLC_DEACTIVATING	0x86020000
AP_ALREADY_STARTING	0xC0010000
AP_DUPLICATE_PORT	0x10100000
AP_DUPLICATE_PORT_NUMBER	0x05100000
AP_DUPLICATE_PORT_NAME	0x06100000
AP_FLUSH_NOT_SEND_STATE	0x61000000
AP_INVALID_AUTO_ACT_SUPP	0xB5020000
AP_INVALID_CN_NAME	0x21080000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 3)

リターンコード	16 進数
AP_INVALID_CNOS_SLIM	0x17020000
AP_INVALID_COS_SNASVCMG_MODE	0x1C020000
AP_INVALID_CP_NAME	0xCA010000
AP_INVALID_DATA_TYPE	0x05070000
AP_INVALID_DEFAULT_RU_SIZE	0x1D020000
AP_INVALID_DLC	0x10050000
AP_INVALID_DLC_NAME	0x07100000
AP_INVALID_DLC_TYPE	0x08100000
AP_INVALID_FQ_LU_NAME	0xFD010000
AP_INVALID_FQ_OWNING_CP_NAME	0xDB020000
AP_INVALID_LIMITED_RESOURCE	0xCE010000
AP_INVALID_LINK_ACTIVE_LIMIT	0x09100000
AP_INVALID_LINK_NAME	0xC1010000
AP_INVALID_LINK_NAME_SPECIFIED	0xB0020000
AP_INVALID_LINK_ENABLE	0xBA020000
AP_INVALID_CLU_COMPRESSION	0xBB020000
AP_INVALID_DLUR_SUPPORT	0xBC020000
AP_INVALID_LU_ALIAS	0xB1020000
AP_INVALID_MAX_NEGOT_SESS_LIM	0x14020000
AP_INVALID_MIN_CONWINNERS	0x1E020000
AP_INVALID_MODE_NAME	0x15020000
AP_INVALID_NAME_LEN	0xC5020000
AP_INVALID_NETID_LEN	0xC6020000
AP_INVALID_MAX_DECOMPRESS_LVL	0xC9020000
AP_INVALID_COMP_IN_SERIES	0xCA020000
AP_INVALID_NODE_TYPE	0xC4020000
AP_INVALID_NUM_LS_SPECIFIED	0xB2020000
AP_INVALID_NUM_PORTS_SPECIFIED	0x0B100000
AP_INVALID_NUMBER_OF_NODE_ROWS	0x02080000
AP_INVALID_NUMBER_OF_TG_ROWS	0x09080000

表 A-2 セカンダリリターンコード (1 5 / 4)

リターンコード	16 進数
AP_INVALID_PORT_NAME	0x0C100000
AP_INVALID_PORT_TYPE	0x0D100000
AP_INVALID_RECV_PACING_WINDOW	0x16020000
AP_INVALID_TARGET_PACING_CNT	0x18020000
AP_INVALID_TG_NUMBER	0x15500000
AP_INVALID_MAX_RU_SIZE_UPPER	0x19020000
AP_INVALID_SET_PROT	0x00070000
AP_INVALID_NEW_PROT	0x01070000
AP_INVALID_SET_UNPROT	0x02070000
AP_INVALID_NEW_UNPROT	0x03070000
AP_INVALID_SET_USER	0x04070000
AP_INVALID_SNASVCMG_MODE_LIMIT	0x1A020000
AP_INVALID_WILDCARD_NAME	0x8C020000
AP_INVALID_STATS_TYPE	0x06070000
AP_INVALID_TABLE_TYPE	0x07070000
AP_LINK_ACT_BY_LOCAL	0x15100000
AP_LINK_ACT_BY_REMOTE	0x14100000
AP_LINK_DEACTIVATED	0x13100000
AP_PARTNER_NOT_FOUND	0x13200000
AP_PARTNER_NOT_RESPONDING	0x13300000
AP_ERROR	0x13400000
AP_LINK_DEACT_IN_PROGRESS	0x12100000
AP_LINK_NOT_DEFD	0x17100000
AP_LOCAL_CP_NAME	0xD7010000
AP_LS_ACTIVE	0xDA010000
AP_MISSING_CP_NAME	0x15510000
AP_MISSING_CP_TYPE	0x15520000
AP_INVALID_CP_TYPE	0x15520000
AP_MISSING_TG_NUMBER	0x15550000
AP_MODE_NAME_NOT_DEFD	0xF5010000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 5)

リターンコード	16 進数
AP_MODE_SESS_LIM_EXCEEDS_NEG	0x20020000
AP_MODE_UNDELETABLE	0xF6010000
AP_NO_PORTS_DEFINED_ON_DLC	0x0F100000
AP_NO_USE_OF_SNASVCMG	0x17000000
AP_NODE_ROW_WGT_LESS_THAN_LAST	0x04080000
AP_PARALLEL_TGS_NOT_ALLOWED	0x15570000
AP_PIP_LEN_INCORRECT	0x16000000
AP_PORT_ACTIVE	0x0E100000
AP_PORT_DEACTIVATED	0x08070000
AP_INVALID_SET_PASSWORD	0x09070000
AP_PS_CREATION_FAILURE	0x18100000
AP_P_TO_R_INVALID_TYPE	0xA1000000
AP_P_TO_R_NOT_LL_BDY	0xA2000000
AP_P_TO_R_NOT_SEND_STATE	0xA3000000
AP_RCV_AND_POST_BAD_FILL	0xD5000000
AP_RCV_AND_POST_BAD_STATE	0xD1000000
AP_RCV_AND_POST_NOT_LL_BDY	0xD2000000
AP_RCV_AND_WAIT_BAD_FILL	0xB5000000
AP_RCV_AND_WAIT_BAD_STATE	0xB1000000
AP_RCV_AND_WAIT_NOT_LL_BDY	0xB2000000
AP_RCV_IMMD_BAD_FILL	0xC4000000
AP_RCV_IMMD_BAD_STATE	0xC1000000
AP_R_T_S_BAD_STATE	0xE1000000
AP_SECURITY_NOT_VALID	0x51600F08
AP_SEND_DATA_CONFIRM_SYNC_NONE	0xF5000000
AP_SEND_DATA_INVALID_TYPE	0xF4000000
AP_SEND_DATA_NOT_LL_BDY	0xF6000000
AP_SEND_DATA_NOT_SEND_STATE	0xF2000000
AP_SEND_ERROR_BAD_TYPE	0x03010000
AP_SEND_ERROR_BAD_STATE	0x04010000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 6)

リターンコード	16 進数
AP_SEND_ERROR_LOG_LL_WRONG	0x02010000
AP_SNA_DEFD_COS_CANT_BE_CHANGE	0x0A080000
AP_SNA_DEFD_COS_CANT_BE_CHANGED	0x0A080000
AP_SNA_DEFD_COS_CANT_BE_DELETE	0x11080000
AP_SNA_DEFD_COS_CANT_BE_DELETED	0x11080000
AP_STOP_PORT_PENDING	0x11100000
AP_TG_NUMBER_IN_USE	0x15540000
AP_TG_ROW_WGT_LESS_THAN_LAST	0x05080000
AP_TRANS_PGM_NOT_AVAIL_NO_RETRY	0x00004C08
AP_TRANS_PGM_NOT_AVAIL_RETRY	0x31604B08
AP_TP_NAME_NOT_RECOGNIZED	0x21600810
AP_SYSTEM_TP_CANT_BE_CHANGED	0x22600810
AP_SYSTEM_TP_CANT_BE_DELETED	0x23600810
AP_INVALID_CONV_TYPE	0xA1020000
AP_INVALID_SYNC_LEVEL	0xA3020000
AP_INVALID_DYNAMIC_LOAD	0x24600810
AP_INVALID_ENABLED	0x25600810
AP_INVALID_PIP_ALLOWED	0x26600810
AP_UNKNOWN_PARTNER_MODE	0x18000000
AP_UNRECOGNIZED_DEACT_TYPE	0x0E050000
AP_LU_NAME_WILDCARD_NAME_CLASH	0x8E020000
AP_TP_ACTIVE	0x19100000
AP_MODE_ACTIVE	0x1A100000
AP_PLU_ACTIVE	0x1B100000
AP_INVALID_PLU_NAME	0x1C100000
AP_INVALID_SET_NEGOTIABLE	0x1D100000
AP_INVALID_MODE_NAME_SELECT	0x1E100000
AP_INVALID_RESPONSIBLE	0x1F100000
AP_INVALID_DRAIN_SOURCE	0x20100000
AP_INVALID_DRAIN_TARGET	0x21100000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 7)

リターンコード	16 進数
AP_INVALID_FORCE	0x22100000
AP_INVALID_CLEANUP_TYPE	0x24100000
AP_INVALID_COS_NAME	0x25100000
AP_INVALID_SESSION_LIMIT	0x26100000
AP_INVALID_DRAIN	0x27100000
AP_INVALID_PRLI_SESS_SUPP	0x28100000
AP_INVALID_LU_NAME	0x29100000
AP_MODE_NOT_RESET	0x2A100000
AP_MODE_RESET	0x2B100000
AP_CNOS_REJECT	0x2C100000
AP_CNOS_COMMAND_RACE_REJECT	0x5F010000
AP_CNOS_MODE_NAME_REJECT	0x57010000
AP_INVALID_OP_CODE	0x2D100000
AP_EXCEEDS_MAX_ALLOWED	0x5C010000
AP_DEACT_CG_INVALID_CGID	0x6C020000
AP_INVALID_SESSION_ID	0x12050000
AP_INVALID_NN_SESSION_TYPE	0x13050000
AP_INVALID_SET_COLLECT_STATS	0x14050000
AP_INVALID_SET_COLLECT_NAMES	0x15050000
AP_INVALID_SET_COLLECT_RSCVS	0x16050000
AP_LU_NAU_ADDR_ALREADY_DEFD	0x12020000
AP_DIR_ENTRY_PARENT	0x38100000
AP_NODE_ALREADY_STARTED	0x39100000
AP_NODE_FAILED_TO_START	0x3A100000
AP_LU_ALREADY_DEFINED	0x3B100000
AP_IMPLICIT_LU_DEFINED	0x3C100000
AP_PORT_INACTIVE	0x3D100000
AP_ACTIVATION_LIMITS_REACHED	0x3E100000
AP_PARALLEL_TGS_NOT_SUPPORTED	0x3F100000
AP_DLC_INACTIVE	0x40100000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 8)

リターンコード	16 進数
AP_NO_LINKS_DEFINED	0x41100000
AP_STOP_DLC_PENDING	0x42100000
AP_INVALID_LS_ROLE	0x43100000
AP_INVALID_BTU_SIZE	0x44100000
AP_LAST_LINK_ON_ACTIVE_PORT	0x45100000
AP_DYNAMIC_LOAD_ALREADY_REGD	0x46100000
AP_INVALID_LIST_OPTION	0x47100000
AP_INVALID_RES_NAME	0x48100000
AP_INVALID_RES_TYPE	0x49100000
AP_INVALID_ADJ_NNCP_NAME	0x4A100000
AP_INVALID_NODE	0x4B100000
AP_INVALID_ORIGIN_NODE	0x4C100000
AP_INVALID_TG	0x4D100000
AP_INVALID_FQPCID	0x4E100000
AP_INVALID_POOL_NAME	0x4F100000
AP_INVALID_NAU_ADDRESS	0x50100000
AP_INVALID_ENABLE_POOL	0x50300000
AP_LU_NAME_POOL_NAME_CLASH	0x51100000
AP_INVALID_PRIORITY	0x52100000
AP_INVALID_DNST_LU_NAME	0x53100000
AP_INVALID_HOST_LU_NAME	0x54100000
AP_PU_NOT_DEFINED	0x55100000
AP_INVALID_PU_NAME	0x56100000
AP_INVALID_PU_TYPE	0x56600000
AP_INVALID_MAX_IFRM_RCVD	0x57100000
AP_INVALID_SYM_DEST_NAME	0x58100000
AP_INVALID_LENGTH	0x59100000
AP_INVALID_ISR_THRESHOLDS	0x5A100000
AP_INVALID_NUM_LUS	0x5B100000
AP_CANT_DELETE_ADJ_ENDNODE	0x5C100000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 9)

リターンコード	16 進数
AP_INVALID_RESOURCE_TYPE	0x5D100000
AP_PU_CONC_NOT_SUPPORTED	0x5E100000
AP_DLUR_NOT_SUPPORTED	0x5F100000
AP_INVALID_RTP_CONNECTION	0x60100000
AP_PATH_SWITCH_IN_PROGRESS	0x61100000
AP_HPR_NOT_SUPPORTED	0x62100000
AP_RTP_NOT_SUPPORTED	0x63100000
AP_COS_TABLE_FULL	0x64100000
AP_INVALID_DAYS_LEFT	0x65100000
AP_ANYNET_NOT_SUPPORTED	0x66100000
AP_INVALID_DISCOVERY_SUPPORT	0x67100000
AP_CONVERSATION_TYPE_MISMATCH	0x34600810
AP_PIP_NOT_ALLOWED	0x31600810
AP_SYNC_LEVEL_NOT_SUPPORTED	0x41600810
AP_PLU_ALIAS_CANT_BE_CHANGED	0xB3020000
AP_PLU_ALIAS_ALREADY_USED	0xB4020000
AP_CANT_DELETE_IMPLICIT_LU	0xB6020000
AP_LU_ALIAS_CANT_BE_CHANGED	0xB8020000
AP_LU_ALIAS_ALREADY_USED	0xB9020000
AP_UNKNOWN_USER	0x32100000
AP_NO_PROFILES	0x33100000
AP_TOO_MANY_PROFILES	0x36100000
AP_INVALID_UPDATE_TYPE	0x37100000
AP_INVALID_USERID	0x90020000
AP_INVALID_PASSWORD	0x91020000
AP_INVALID_PROFILE	0x93020000
AP_INVALID_DLUS_NAME	0x00900000
AP_NO_DEFAULT_DLUS_DEFINED	0x01900000
AP_INVALID_PU_ID	0x02900000
AP_PU_ALREADY_ACTIVATING	0x03900000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 10)

リターンコード	16 進数
AP_PU_ALREADY_DEACTIVATING	0x04900000
AP_PU_ALREADY_ACTIVE	0x05900000
AP_PU_NOT_ACTIVE	0x06900000
AP_DLUS_REJECTED	0x07900000
AP_DLUS_CAPS_MISMATCH	0x08900000
AP_PU_FAILED_ACTPU	0x09900000
AP_PU_NOT_RESET	0x0A900000
AP_PU_OWNS_LUS	0x0B900000
AP_INVALID_FILTER_OPTION	0x0C900000
AP_INVALID_STOP_TYPE	0x0D900000
AP_PU_ALREADY_DEFINED	0x0E900000
AP_DEPENDENT_LU_NOT_SUPPORTED	0x0F900000
AP_INVALID_DSPU_SERVICES	0x10900000
AP_DSPU_SERVICES_NOT_SUPPORTED	0x11900000
AP_INVALID_DSPU_NAME	0x12900000
AP_DSPU_ALREADY_DEFINED	0x13900000
AP_INVALID_SOLICIT_SSCP_SESS	0x14900000
AP_INVALID_BACK_LEVEL_SUPPORT	0x15000000
AP_INVALID_BKUP_DLUS_NAME	0x15900000
AP_SEC_REQUESTED_NOT_SUPPORTED	0x16900000
AP_INVALID_EFFECTIVE_CAPACITY	0x24080000
AP_INVALID_TIME_COST	0xD6010000
AP_INVALID_TP_NAME	0xA0020000
AP_INVALID_BYTE_COST	0xD1010000
AP_DEF_LINK_INVALID_SECURITY	0x22080000
AP_INVALID_PROPAGATION_DELAY	0x23080000
AP_INVALID_USER_DEF_1	0xC3010000
AP_INVALID_USER_DEF_2	0xC4010000
AP_INVALID_USER_DEF_3	0xC5010000
AP_AS_NEGOTIATED	0x07000000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 11)

リターンコード	16 進数
AP_AS_SPECIFIED	0x00000000
AP_FORCED	0xB7020000
AP_INVALID_LS_NAME	0xB7030000
AP_INVALID_LFSID_SPECIFIED	0xB7040000
AP_INVALID_FILTER_TYPE	0xB7050000
AP_INVALID_MESSAGE_TYPE	0xB7060000
AP_CANT_DELETE_CP_LU	0xB7070000
AP_ALL_RESOURCES_NOT_DEFINED	0xB7090000
AP_INVALID_LIST_TYPE	0xB70A0000
AP_RESOURCE_NAME_NOT_ALLOWED	0xB70B0000
AP_LU_MODE_SESSION_LIMIT_ZERO	0x5D010000
AP_QUEUE_PROHIBITED	0x18900000
AP_ALLOCATION_ERROR_PENDING	0x00000300
AP_DEALLOC_ABEND_PROG_PENDING	0x00000600
AP_DEALLOC_ABEND_SVC_PENDING	0x00000700
AP_DEALLOC_ABEND_TIMER_PENDING	0x00000800
AP_UNKNOWN_ERROR_TYPE_PENDING	0x00001100
AP_INVALID_SVCMG_LIMITS	0x60010000
AP_INVALID_PARTNER_LU	0xFE010000
AP_INVALID_LOCAL_LU	0xFF010000
AP_INVALID_BYPASS_SECURITY	0x22020000
AP_INVALID_IMPLICIT_PLU_FORBID	0x23020000
AP_INVALID_SPECIFIC_SECURITY	0x24020000
AP_INVALID_DELAYED_LOGON	0x25020000
AP_INVALID_CNOS_PERMITTED	0x26020000
AP_PW_SUB_NOT_SUPP_ON_SESS	0x26050000
AP_SESSION_FAIL_ALREADY_REGD	0x68100000
AP_CANT_MODIFY_VISIBILITY	0x69100000
AP_CANT_MODIFY_WHEN_ACTIVE	0x6A100000
AP_INVALID_BASE_NUMBER	0x6B100000

表 A-2 セカンダリリターンコード (1 5 / 1 2)

リターンコード	16 進数
AP_INVALID_NAME_ATTRIBUTES	0x6C100000
AP_NAU_ADDRESS_MISMATCH	0x6D100000
AP_POSTED_DATA	0x6E100000
AP_POSTED_NO_DATA	0x6F100000
AP_SEC_BAD_PROTOCOL_VIOLATION	0x58600F08
AP_INVALID_TEMPLATE_NAME	0x19900000
AP_CLASHING_NAU_RANGE	0x1A900000
AP_INVALID_NAU_RANGE	0x1B900000
AP_INVALID_NUM_DSLU_TEMPLATES	0x1C900000
AP_GLOBAL_TIMEOUT_NOT_DEFINED	0x1D900000
AP_INVALID_RESOURCE_NAME	0x1E900000
AP_INVALID_DLUS_RETRY_TIMEOUT	0x1F900000
AP_INVALID_DLUS_RETRY_LIMIT	0x20900000
AP_INVALID_MIN_CONLOSERS	0x21900000
AP_INVALID_MAX_RU_SIZE_LOW	0x22900000
AP_INVALID_MAX_RECV_PACING_WIN	0x23900000
AP_RU_SIZE_LOW_UPPER_MISMATCH	0x24900000
AP_LU_ALREADY_ACTIVATING	0x25900000
AP_LU_DEACTIVATING	0x26900000
AP_LU_ALREADY_ACTIVE	0x27900000
AP_INVALID_MIN_CONTENTION_SUM	0x28900000
AP_COMPRESSION_NOT_SUPPORTED	0x29900000
AP_INVALID_MAX_COMPRESS_LVL	0x2A900000
AP_INVALID_COMPRESSION	0x2B900000
AP_INVALID_EXCEPTION_INDEX	0x2C900000
AP_INVALID_MAX_LS_EXCEPTION	0x2D900000
AP_INVALID_DISABLE	0x2E900000
AP_INVALID_MODIFY_TEMPLATE	0x2F900000
AP_INVALID_ALLOW_TIMEOUT	0x30900000
AP_POST_ON_RECEIPT_BAD_FILL	0x31900000

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 13)

リターンコード	16 進数
AP_POST_ON_RECEIPT_BAD_STATE	0x32900000
AP_INVALID_HPR_SUPPORT	0x33900000
AP_INVALID_LU_MODEL	0x34900000
AP_INVALID_MODEL_NAME	0x35900000
AP_INVALID_CRYPTOGRAPHY	0x36900000
AP_INVALID_CLU_CRYPTOGRAPHY	0x37900000
AP_INVALID_RESOURCE_TYPES	0x38900000
AP_CHECKSUM_FAILED	0x39900000
AP_DATA_CORRUPT	0x3A900000
AP_INVALID_RETRY_FLAGS	0x3B900000
AP_DELAYED_VERB_PENDING	0x3C900000
AP_DSLU_ACTIVE	0x3D900000
AP_INVALID_BRANCH_LINK_TYPE	0x3E900000
AP_INVALID_BRNN_SUPPORT	0x3F900000
AP_BRNN_SUPPORT_MISSING	0x40900000
AP_INVALID_UPLINK	0x41900000
AP_INVALID_DOWNLINK	0x42900000
AP_INVALID_IMPLICIT_UPLINK	0x43900000
AP_INVALID_ROCP_NAME	0x44900000
AP_INVALID_REG_WITH_NN	0x45900000
AP_LS_PENDING_RETRY	0x46900000
AP_INVALID_COS_TABLE_VERSION	0x47900000
AP_CFRTP_REQUIRED_FOR_MLTG	0x48900000
AP_INVALID_MLTG_PAC_ALGORITHM	0x49900000
AP_LIM_RESRCE_INVALID_FOR_MLTG	0x4A900000
AP_AUTO_ACT_INVALID_FOR_MLTG	0x4B900000
AP_MLTG_LS_VISIBILITY_MISMATCH	0x4C900000
AP_SLTG_LINK_ACTIVE	0x4D900000
AP_MLTG_LINK_PROPERTIES_DIFFER	0x4E900000
AP_INVALID_ADJ_CP_NAME	0x4F900000

表 A-2 セカンダリリターンコード (1 5 / 1 4)

リターンコード	16 進数
AP_INVALID_SEND_TERM_SELF	0x50900000
AP_INVALID_TERM_METHOD	0x51900000
AP_INVALID_DISABLE_BRANCH_AWRN	0x52900000
AP_INVALID_SHARING_PROHIBITED	0x53900000
AP_INVALID_LINK_SPEC_FORMAT	0x54900000
AP_INVALID_CN_TYPE	0x55900000
AP_INCONSISTENT_BEST_EFFORT	0x56900000
AP_INVALID_CN_TG	0x57900000
AP_INVALID_LINK_SPEC_DATA	0x58900000
AP_DLC_UL_ONLY	0x59900000
AP_ADJ_CP_WRONG_TYPE	0x5A900000
AP_CP_CP_SESS_ALREADY_ACTIVE	0x5B900000
AP_NO_ACTIVE_CP_CP_LINK	0x5C900000
AP_INVALID_IMPL_APPN_LINKS_LEN	0x5E900000
AP_INVALID_LIMIT_ENABLE	0x5F900000
AP_INVALID_LS_ATTRIBUTE	0x60900000
AP_SOME_ENABLED	0x62900000
AP_NONE_ENABLED	0x63900000
AP_INCONSISTENT_IMPLICIT	0x64900000
AP_INVALID_PREFER_ACTIVE_DLUS	0x65900000
AP_INVALID_PERSIST_PIPE_SUPP	0x66900000
AP_ACTIVATION_PROHIBITED	0x67900000
AP_INVALID_NULL_ADDR_MEANING	0x68900000
AP_INVALID_CPLU_SYNCPT_SUPPORT	0x69900000
AP_INVALID_CPLU_ATTRIBUTES	0x6A900000
AP_INVALID_REG_LEN_SUPPORT	0x6B900000
AP_LUNAME_CGID_MISMATCH	0x6C900000
AP_INVALID_DDDLU_OFFLINE	0x6D900000
AP_SEC_BAD_PASSWORD_EXPIRED	0x00FF0F08
AP_SEC_BAD_PASSWORD_INVALID	0x01FF0F08

表 A-2 セカンダリリターンコード (15 / 15)

リターンコード	16 進数
AP_SEC_BAD_USERID_REVOKED	0x02FF0F08
AP_SEC_BAD_USERID_INVALID	0x03FF0F08
AP_SEC_BAD_USERID_MISSING	0x04FF0F08
AP_SEC_BAD_PASSWORD_MISSING	0x05FF0F08
AP_SEC_BAD_GROUP_INVALID	0x06FF0F08
AP_SEC_BAD_UID_REVOKED_IN_GRP	0x07FF0F08
AP_SEC_BAD_UID_NOT_DEFD_TO_GRP	0x08FF0F08
AP_SEC_BAD_UNAUTHRZD_AT_RLU	0x09FF0F08
AP_SEC_BAD_UNAUTHRZD_FROM_LLU	0x0AFF0F08
AP_SEC_BAD_UNAUTHRZD_TO_TP	0x0BFF0F08
AP_SEC_BAD_INSTALL_EXIT_FAILED	0x0CFF0F08
AP_SEC_BAD_PROCESSING_FAILURE	0x0DFF0F08
AP_BAD_TPSID	0x01FF0000
AP_NOT_OWNER	0x02FF0000
AP_INSUFFICIENT_PRIVILEGES	0x03FF0000
AP_INVALID_CALLBACK	0x04FF0000
AP_BAD_TP_TYPE	0x05FF0000
AP_ALREADY_REGISTERED	0x06FF0000
AP_ATTACH_MANAGER_INACTIVE	0x08050000
AP_CANNOT_START_TP	0x010000F0
AP_INVALID_DATA_SEGMENT	0x06000000
AP_INVALID_PROCESS	0x25050000
AP_LU_ALIAS_NOT_RECOGNIZED	0x020000F0
AP_PIP_NOT_SPECIFIED_CORRECTLY	0x32600810
AP_TOO_MANY_TPS	0x43020000
AP_UNDEFINED_TP_NAME	0x06050000
AP_INVALID_TG_CHARS	0x18030000
AP_CANT_CHANGE_TO_ZERO	0x5D010000



# 用語集

---

---

## 数字

3270 SNA デバイス (名詞) IBM SNA 3270 データストリームを表示するターミナルデバイス。

---

## A

ABEND (名詞) EXEC CICS コマンドを使用して、タスクを異常終了する。

---

## C

COMMAREA (名詞) 通信領域。指定した端末と通信するタスク間で、データの受け渡しに使用される領域。領域を使用して、タスク内のプログラム間でデータを受け渡すこともできる。

---

## E

EBCDIC (名詞) 拡張 2 進化 10 進コード。(名詞) 多くのデータ処理システム、データ通信システム、および関連付けされた装置で情報交換に使用される、8 ビット文字のコード化文字セット。

exec interface block

(EIB) (名詞) CICS プログラム内の各タスクに関連する制御ブロック。EIB には、アプリケーションプログラムの実行中に役立つ情報 (トランザクション識別子など) と、プログラムのデバッグのためにダンプを使用する際に役立つ情報が収められる。

---

## I

IPC (名詞) プロセス間通信。

I/O (名詞) 入出力。

---

## J

JCICS (名詞) Java CICS。Java アプリケーションの CICS サービスへのアクセスを可能にする Java クラスのセット。

---

## L

LU6.2 (名詞) 分散処理環境のプログラム間での一般的な通信をサポートする論理ユニットタイプ。

---

## R

RDBMS (名詞) リレーショナルデータベース管理システム。

RIDFLD (名詞) レコードを特定するフィールド。

---

## S

**SOSI フィールド** (名詞) SOSI (Shift-Out, Shift-In) フィールドは、シングルバイトとダブルバイト文字両方を含んだ 3270 フィールド。SOSI フィールドのすべてのダブルバイト文字は、SOSI 文字で挟まれている必要がある。

**SQL** (名詞) 構造化照会言語。一連の情報へのアクセスと更新に使用されるリレーショナルデータベース言語。

**SSL** (名詞) セキュアソケットレイヤー。

**Sun Mainframe Batch Manager ソフトウェア (Sun MBM)**

(名詞) 制御された環境でバッチジョブを実行するための機能を提供するバッチマネージャー製品。Sun MBM は、バッチ生産負荷を処理し、開始時刻やバッチプロセスの最大数、およびジョブの優先順位といった割り当てられたパラメータによってジョブをスケジューリングする。

**Sun Mainframe Transaction Processing ソフトウェア (Sun MTP)**

(名詞) プロセス間通信サービス、ソケット、および COBOL、C、PL/I などの機能を使用してアプリケーションを実行するユーザーアプリケーション。クライアント以外の Sun MTP のすべてのコンポーネントは、メインサーバープロセスである unikixmain によって起動する。

**Sun MTP グループ**

(名詞) 特定のアプリケーションのテーブルファイルセット。ファイルはファイルシステムの単一のディレクトリに配置されている。ディレクトリは GCT にリストされる。

**Sun MTP シェルスクリプト**

(名詞) \$UNIKIX/bin に配置されたシェルスクリプトのユーティリティプログラム。

**Sun MTP 領域**

(名詞) システム上の異なるアプリケーションを定義するプロセス変数、リソース変数、および環境変数のセット。

---

## T

**Table Manager** (名詞) Sun MTP テーブルで領域のリソースの定義に使用する Sun MTP 機能。

**TCP/IP** (名詞) インターネットの基礎となるネットワークプロトコル群。伝送制御プロトコル (TCP) は、信頼性の高い全二重データストリームを提供するプロトコル。インターネットプロトコル (IP) は、TCP のパケット配信サービスを提供するプロトコル。TCP プロトコルは、ユーザープロセスではなく、IP と連携する。

- TCTUA (名詞) 端末ユーザー領域。端末に関連するトランザクション間で、データの受け渡しに使用される。
- TIOA (名詞) 端末の入出力領域。
- TN3270 プロトコル (名詞) 従来の TCP/IP Telnet プロトコルの拡張で、ASCII 以外の文字、IBM-3270 などのブロックモードデバイス、Sun MTP などのアプリケーションで、TCP/IP を介した通信を可能にする。TN3270E も含まれる。
- TN3270 サーバー  
(unikixtnemux) (名詞) Sun MTP で、TCP/IP - TN3270 プロトコルを使用して、PC、Macintosh、および UNIX システムで実行する 3270 エミュレータのサポートを有効にする。TN3270E もサポートする。

---

## U

- unikixdcl サーバー (名詞) DCL プロトコルスタックを使用する SNA サーバーへの遠隔接続の数と状態を監視する Sun MTP サーバー。
- unikixmain サーバー (名詞) Sun MTP メインサーバープロセス。
- unikixqm サーバー (名詞) MQSeries 接続の数と状態を監視する Sun MTP サーバー。
- unikixrc.cfg  
ファイル (名詞) unikixdcl、unikixqm、および unikixtnemux サーバーについての情報を収めたりソースファイル。起動時に、Sun MTP Communications Manager は、unikixrc.cfg ファイルを読み取り、該当するサーバーを起動する。
- unikixtcp サーバー (名詞) TCP/IP 接続の数と状態を監視する Sun MTP サーバー。
- unikixtnemux  
サーバー (名詞) TN3270 サーバープロセス。「TN3270 サーバー」を参照。

---

## V

- VSAM 構成テーブル  
(VCT) (名詞) 基本の Sun MTP 構成パラメータを定義する制御テーブル。
- VSAM データセット (名詞) VSAM 規則に従って編成、格納、およびアクセスされる関連データの名前付き集合。
- VSAM ファイル VSAM データセットを参照。

---

## あ

- アカウントティング** (名詞) ユーザーのアカウント情報を体系的に収集、記録、解釈、および表示する方法。
- アカウントティング  
ジャーナル** (名詞) 関連付けられたジャーナルのアカウントティングレコードを Sun MTP が書き込むファイル。ジャーナルファイル名は物理ファイル名に対応する。
- オブジェクトの所有者が任意の ACL をコントロールする。
- アクセス制御エントリ  
(ACE)** アクセス制御エントリ。ACL を参照。
- アクセス制御リスト  
(ACL)** (名詞) アクセス制御リスト (ACL) は、1 ユーザーまたはグループのオブジェクトへのアクセス権または監査権を指定するアクセス制御エントリ (ACE) で構成される。
- アクティビティー  
カウント** (名詞) Sun MTP が保全性の管理に使用する方法。アクティビティーカウントは、各 VSAM ファイルヘッダーに置かれ、領域がファイルを開閉するたびに増加する。
- 宛先管理テーブル (DCT)** (名詞) 一時データコマンドで処理される、宛先の名前またはキューを含んだ Sun MTP テーブル。テーブルは、これらのキューに割り当てられた特性の定義や管理に使用される。
- アプリケーション  
プログラミング  
インタフェース (API)** (名詞) アプリケーションプログラムで使用される事前定義のインタフェース。API はルーチン名とルーチンの引数から構成され、関連付けられたアプリケーションプログラム言語の構文に従う。

---

## い

- 一時記憶域テーブル  
(TST)** (名詞) ローカルおよび遠隔の一時記憶域キューの記憶域と回復を定義する Sun MTP テーブル。
- インターネット  
プロトコル (IP)** TCP/IP を参照。

---

# か

## 外部プレゼンテーション インタフェース (EPI)

(名詞) CICS 以外のアプリケーションプログラムが、1 つ以上の標準 3270 端末として Sun MTP を表示することを可能にするプログラムを作成するための API。EPI アプリケーションは、実際の 3270 端末のように Sun MTP と通信する。

## 外部呼び出し インタフェース (ECI)

(名詞) DPL の規則に従いサーバーで実行中の CICS プログラムを、CICS 以外のアプリケーションプログラムが呼び出すことを可能にするプログラムを作成するための API。

## 会話型 トランザクション

(名詞) トランザクションが有効な状態の間に続けられるユーザーのダイアログ (通常は SEND/RECEIVE のシーケンス) のひとつ。

## 仮想記憶アクセス方式 (VSAM)

(名詞) さまざまなアクセス方式によってレコードにアクセスする方式。

ESDS (入力順データセット)。レコードは順次に記録され、アクセスされる。

RRDS (相対レコードデータセット)。レコードは、データセット内で占める位置番号によって検索される。

KSDS (キー順データセット)。レコードは索引またはキーによって検索される。

## カタログファイル

(名詞) VSAM データセットの名前と情報を含むファイル。

## 画面生成ユーティ リティー (SGU)

(名詞) 開発者がユーザーインタフェースの画面を描き、コンパイルされた基本マッピングサポート (BMS) マップを作成することを可能にするユーティリティー。そのあと、このユーティリティーを使用して、開発者は画面メニューやデータエントリ画面を定義したり変更したりできる。SGU は、マップセット、マップセット内の複数のマップ、およびマップ内のさまざまなフィールドの定義を提供する。画面属性 (数値や明るさなど) もフィールドごとに指定される。

## 環境変数

(名詞) プログラムファイルやアプリケーションの位置を定義する変数。クライアントとサーバー両方が環境変数を使用する。

---

## き

- キー順データセット (KSDS)** (名詞) キーによって参照される可変長レコードの索引編成 VSAM ファイル。
- 機能シップ** (名詞) アプリケーションプログラムに透過的なプロセス。リソースが他の CICS システムに実際に配置されている際に、このプロセスを使って CICS はそのリソースにアクセスする。
- 基本マッピングサポート (BMS)** (名詞) データストリームを端末とやり取りする機能。入出力表示データをフォーマットする。BMS マクロ命令は Sun MTP BMS アセンブラで使用され、物理および記号定義のマッピングファイルを作成する。

---

## く

- クラスタ** VSAM クラスタを参照。
- グループ** (名詞) 特定のアプリケーションのテーブルファイルセット。ファイルはファイルシステムの単一のディレクトリに配置されている。ディレクトリは GCT に定義される。
- グループ管理テーブル (GCT)** (名詞) グループを定義する Sun MTP テーブル。各グループは、特定のアプリケーションの情報を含んだファイルシステムのディレクトリを定義する。
- GUI** (名詞) グラフィカルユーザーインターフェース。

---

## こ

- 顧客情報管理システム (CICS)** (名詞) ユーザー作成のアプリケーションプログラムによって、遠隔端末で入力されたトランザクションの並行処理を可能にする IBM ライセンスプログラム。データベースの構築、使用、管理の各機能が含まれる。

---

## さ

- サインオンテーブル (SNT) (名詞) Sun MTP トランザクションを使用する認証されたユーザーのリストを含んだ Sun MTP テーブル。
- 索引ファイル (名詞) ブロック番号とそのブロックでの最上位のキーで構成されるキーポイントが収められる。キーはレコードを指す。

---

## し

- システム間通信 (ISC) (名詞) TCP/IP や SNA ネットワーキング機能、または SNA アクセス方式のアプリケーション間機能を使った別個のシステム間の通信。
- システム初期化テーブル (SIT) (名詞) システムの初期化情報を含み Sun MTP システム名を識別する Sun MTP テーブル。
- システムネットワーク体系 (SNA) (名詞) 情報単位を伝達し、ネットワークの構成と動作を制御するための論理構造、形式、プロトコル、および処理順序。
- ジャーナル管理テーブル (JCT) (名詞) トランザクションが、他のテーブルで参照されている 1 つ以上のジャーナルファイルを書き込むことができるかを指定する Sun MTP テーブル。ジャーナルはアカウントティングデータの書き込みにも使用される。
- 処理プログラムテーブル (PPT) (名詞) Sun MTP トランザクションが参照するアプリケーションプログラムと BMS マップセットをリストする Sun MTP テーブル。
- シングルバイト文字セット (SBCS) (名詞) 文字ごとに 1 バイトを必要とする言語スクリプトはシングルバイト文字セット (SBCS) と呼ばれる。たとえば、英語、スペイン語、およびフランス語がシングルバイト文字セット (SBCS) である。

---

## す

- スパンファイル (名詞) 複数のファイルシステムに渡ってセグメント化されるファイル。

---

## せ

**セグメント** (名詞) スパンファイルの一部分。スパンファイルを参照。

---

## そ

**相対レコードデータ  
セット (RRDS)**

(名詞) VSAM データセット。このレコードに含まれるデータセットでの位置番号で検索される。

**ソケット**

(名詞) 異なるネットワークプロトコルを使用可能にするプロセス間通信の仕組み。

---

## た

**ダブルバイト文字セット  
(DBCS)**

(名詞) 一部の言語スクリプトは、文字の表現に 2 バイトを必要とする。そのスクリプトはダブルバイト文字セット (DBCS) と呼ばれる。たとえば、日本語、中国語、および韓国語がダブルバイト文字セット (DBCS) である。

**ダンプファイル機能**

(名詞) Sun MTP からディスクファイルやシステムプリンタに、VSAM データセットのレコードの一部またはすべてを書き込む機能。

**端末管理テーブル (TCT)**

(名詞) 端末、プリンタ、および遠隔システム接続の識別情報を収めた Sun MTP テーブル。

---

## つ

**追跡機能**

(名詞) kixdump コマンドを使用してアクセスされるメモリーに追跡エントリを作成する。デバッグに使用される。

---

## て

- データエントリ画面** (名詞) テーブルデータの追加、変更、または削除を行う Sun MTP 画面。データエントリ画面は 1 つ以上のエントリとサブエントリ画面を持つ場合がある。
- データセグメント** (名詞) クラスタのデータ部分を含むファイル。
- データセット** VSAM データセットを参照。
- データ変換テンプレート  
テーブル (CVT)** (名詞) あるコードセットから他のコードセットに (たとえば、EBCDIC から ASCII に) データ変換を行うテンプレートを定義する Sun MTP テーブル。ある環境から別の異機種システム混在環境に、データを転送する際に必要となる。
- データファイル** (名詞) レコードを持った 1 つ以上のデータブロックで構成される。
- データファイルエディタ** (名詞) VSAM データセットの構築、変更、またはダンプが可能な Sun MTP メニュー。
- 伝送制御プロトコル  
(TCP)** TCP/IP を参照。

---

## と

- 同期点** (名詞) アプリケーションプログラムの実行での論理点。この論理点で、プログラムによるデータベースの変更は、整合性があり完全で、データベースにコミットが可能。この点まで持続した出力は宛先に送信され、入力メッセージキューから削除され、他のアプリケーションでのデータベースの更新が可能になる。プログラムが異常終了した場合、回復機能と再起動機能によって、更新は前回完了した同期点の前にバックアウトしない。
- トランザクション  
イニシエータサーバー  
(unikixtrin)** (名詞) Sun MTP サーバースステムのエージェントとして動作し、必要な Sun MTP メッセージキューにメッセージを配置する。トランザクションサーバーと開始サーバーが、出力メッセージ用に同じデータグラム機構を使用することにより、遠隔クライアントを通して直接対話できるようになる。ひとつの unikixtrin プロセスは、遠隔の 3270 デバイスクライアントすべてをサポートする。
- トランザクションクラス  
テーブル (TXC)** (名詞) 領域に定義されたトランザクションクラスに関する情報を含んだ Sun MTP テーブル。

トランザクション経路  
指定

(名詞) Sun MTP または CICS 領域と接続した端末による、同じあるいは異なるシステム上の他の Sun MTP または CICS 領域でトランザクションの実行を可能にする。

---

## に

入力順データセット  
(ESDS)

(名詞) データレコードを入力順に格納する可変長 VSAM ファイル。

---

## は

パーティション  
外キュー

(名詞) 「DCT -Extrapartition Destinations」画面で識別されるキューに書き込まれるすべてのデータを収めた順編成ファイル。ファイルは、エントリで指定したレコード形式と長さで開かれる。

---

## ひ

非同期処理

(名詞) プロセスの継続中に、メインフレームによる Sun MTP 領域でのトランザクション開始を可能にする、あるいは Sun MTP 領域によるメインフレームでのトランザクション開始を可能にする双方向のプロセス。

---

## ふ

ファイル管理テーブル  
(FCT)

(名詞) Sun MTP アプリケーションプログラムがアクセスする VSAM データファイルについての情報を含んだ Sun MTP テーブル。各ファイルに関連付けられたテーブルは特性のセットであり、アプリケーションプログラムが実行したコマンドの検査や実行を行う Sun MTP コマンドルーチンで使用される。

ファイルシステム

(名詞) 物理ディスクドライブをパーティションと呼ぶ小単位の領域に分割する機能。パーティションには、ファイルシステム、スワップ空間、ブートセクタその他の情報を含めることができる。

ファイルのアクセス権 (またはモード)	(名詞) オペレーティングシステムの定義に従って、ファイルへのアクセスを制御する。
ファイルマネージャー	(名詞) VSAM カタログでの VSAM ファイルの定義に使用される。ファイルタイプ、キーの長さ、サイズなどのファイルの属性を定義できる。
不正終了	(名詞) タスクの異常な終了。アプリケーションは、EXEC CICS ABEND コマンドを実行してタスクを異常終了させることができる。異常終了と同じ意味。
プログラム管理テーブル (PCT)	(名詞) トランザクションの特定と初期化で Sun MTP が使用する制御情報を含む Sun MTP テーブル。
プログラムリスト テーブル (PLT)	(名詞) システムの起動、ユーザーの起動、またはシステムの終了の際に Sun MTP が自動的に開始するプログラム名を含んだ Sun MTP テーブル。
分散トランザクション 処理 (DTP)	(名詞) システム間または領域間リンク上で互いに同期通信し合うトランザクション間での処理の配布。
分散プログラムリンク (DPL)	(名詞) 領域のプログラムが他の領域のプログラムに同期リンクするシステム間通信の方法。

---

## ま

マニュアルページ	(名詞) man コマンドを使用して、コマンドの使用方法を表示できる。たとえば、grep コマンドについて表示するときは、プロンプトで man grep と入力する。
----------	---

---

## も

モニター管理テーブル (MCT)	(名詞) 領域で有効な状態にあるアカウントのデフォルトタイプ (トランザクションとユーザーロギング) を制御する Sun MTP テーブル。このテーブルには、アカウントを制御するフラグが付いた単一のエントリが含まれる。
---------------------	---

---

## り

**領域** Sun MTP 領域を参照。

---

## る

**ルートファイルシステム** (名詞) オペレーティングシステムと関連するファイルを含む。絶対ファイル名の最初の文字は、スラッシュ (/) で表される。

---

## ろ

**論理ユニット (LU)** (名詞) SNA で、エンドユーザーが SNA ネットワークにアクセスして別のエンドユーザーと通信するためのポートまたはエンドユーザーがシステムサービス制御点 (SSCP) によって提供される機能にアクセスするためのポート。



# 索引

---

## 数字

- 3270 クライアントイニシエータメッセージ, 295 ~ 300
- 3270 デバイスクライアントメッセージ, 287 ~ 295

## I

- IEBUPDTE メッセージ, 277

## R

- Remote Animator, 247

## S

- sortx メッセージ, 281
- sortx ユーティリティ, 271
- Sun Mainframe Transaction Processing. 「Sun MTP」を参照
- Sun MTP
  - ISC サブエラーコード, 301
  - ISC メッセージ, 142
  - TN3270 クライアントおよびサーバーメッセージ, 160 ~ 161
  - ソケットインタフェースメッセージ, 161 ~ 165
- Sun MTP メッセージのカテゴリ, v

## T

- TN3270 クライアントおよびサーバーメッセージ, 160 ~ 161

## U

- UT 系メッセージ, 271

## V

- VSAM, 282

## X

- XA メッセージ, 236

## し

- システム間通信 (ISC)
  - サブエラーコード, 301
  - メッセージ, 142

## そ

- ソケットインタフェースメッセージ, 161 ~ 165

## め

### メッセージ

3270 クライアント, 287 ~ 295

3270 クライアントイニシエータ, 295 ~ 300

IEBUPDTE, 277

ISC, 142, 301

Remote Animator, 247

sortx, 281

TN3270 クライアントおよびサーバー, 160 ~ 161

UT 系, 271

XA, 236

カテゴリ, v

形式, v

ソケットインタフェース, 161 ~ 165

メッセージの形式, v